

西塩田時報

號一廿第

行發日一回一月每
錢三金 料寄廣
錢十金 行 料寄廣

大正十四年七月廿五日印刷納本
大正十四年八月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村
編輯印刷 齋藤 誠
兼發行人 齋藤 誠
今野 上田 吉六 二六
印刷所 山崎活版所
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

自分への言葉

宮澤 兵部

役人とは眞面目に働いて居る者を見張り番する者の名稱である云ふた人のある事を前に讀んだ事がある。

自分達は人事ではないのだ、靜かに己れ自身を考へて見たい、自分は偉らくならなくもい、もう決して云ふまいと、前に考へて見た事があつた。自分を飾る、表面を飾る、自分の心持ちを胡摩化さんとする、自分の言葉を今も呪わしく思ふて居る。百の名論もそれは言葉であり、考へてある事に過ぎないのだ。農村が今行き詰まつて居るのか、又行き詰まつて居ないのか、自分は知らない。然し暮しづらくなつて来たこと云ふ事は、自分の様なボンクラの者にも幾分響いて居る。

都會文明が入つては、それを悲しんで居る者の足下に、いつも都會文明が入つて居る事が多い事を、自分達はいつも見せ付けられて居る。都會文明が入つてもい、ではないか。總ての者に誠の祈りと、自省があるならば、與へられたものを、どの様なものでも受け入れて行く事の出来る、用意と自信があるならば！然し農村の眞に要求する者は、言の論をばく者よりは、心の奥底に自分は自然である云ふ事を、潛めて最上への歩みを唯一の祈りとして、其の日の勞働にいそむ一人の農夫である。過去の幾多の偉人は農民を虐待して居た。目に見ぬ力もて虐待して居た、偉人も必要であらう、又善人も必要であらう。然し何日の世になつても、自分を救ふ者は只自分達が有るばかりではないだろうか。

只ボンヤリ働いて居る事がい、と云ふのではない、名論が悪いと云ふのではない。如何なる人の言葉も自己に眞面目がある時は、何時も自分達に反省と奮起を起さして戴かれる事は良く頭かれる事ではあるが心に農業を嫌ふて居りながら。眞面目で働いて居る者を、ヒガメで見居りながら口に上手の事を云つて居る者の言葉は、空想か、さもなければ眞面目に働く者を食物と

御寄附

南洋に御奮闘される小池鈞夫殿より左記の通り御寄附がありました誌上を以て厚く御禮申上ます

金貳拾圓 西塩田村史編纂費の中へ
金拾六圓 時報發刊費の中へ

農村を救ふ者は誠の祈りを持つて一人の農夫あるのみと、云ふ事を自分達はいつも考へて居た。美的農業を推奨する前に、自分達は食ふための農業を味つて行きたい、落ち付けない心持ちはこんな事を書く事によつて尙更、闇に入つて行く様な氣がして来る、自分がこうしたものを何ふした心持ちで書かうとするのか、自分にもはつきりしない。

然し自分としては一ツの願がある、それは時報に投稿する者の氏名を明らかにして、戴きたいと云ふ事だ。何々生は本當に氣持が悪い、もうそれだけで其の文章を讀まなくとも、様な氣がしてしまふ。『時報』こうした性質のものに自分は名論を聞かうとは願つて居ない。只自分の知つて居る村人がどの様な考へを、持つて居るかを知らたい。そうして言葉をかはさぬ中にも、手を握つて行きたい。離れへになつて居る自分達もつながら居るのだと云ふ事を知つて行きたい。そして自分達が生きて行かねばならない強みを握つて居たい。天に居ます吾が神と祈る前に、地に作つて居る吾が友と手を握つて行きたい。人間の本當の事は生きて居る其の事だ。人間で本當に落ち付く事は作つて居る自分達だ。働いて居る其の時だ。人間はやはり今の自分達が一番尊いのだ、過去はいつ迄たつても過去だ、未來はいつ迄たつても未來だ、現在はいつ迄たつても現在だ。然し自分達の過去は自分達の血であり肉であり、自分達の未來は自分達の願ひであり、自分達の祈りでなければならぬ。そして自分達の生きて行く其の事が現在なのだ。

過去を過去として葬らうとする、自分の達を沈滞せしめる。過去を見詰める反省の念と、將來を見詰める誠の祈りとを、心に瀆め一歩一歩大地に足を踏みしめながら、最上への歩みを心かからの祈りとして其の日の勞働にいそしんで行く自分達でありたい。是れが自分への言葉である。いつも春田の畦返し、それさへ自分には今出来ないで居る。(をばり)

静夜

京にて S

生

漚てしなく限りない大空は
深い底知れぬ湖の面のやうな
その中にボツリと浮びてた月
は
水晶の様に透き通つた玉の
やうに
もう夏だと云ふのに空気が冷た

い
月明りの静かな夜空に
電車のしきる音の
哀調をそゝる事よ
母戀しの念を懐きつ
構内の操練場をソッパ歩く
雨上りのうす湿つた大地に
ヒヨロ高いボプラ樹の影が長
い
一四六五・日記帳より

暑中御伺

- 西塩田 役場
- 西塩田 村小學校
- 西塩田 村農會
- 西塩田 信用購買組合
- 西塩田 村軍人分會
- 西塩田 婦人同志會
- 西塩田 青年團
- 西塩田 聯合衛生組合
- 西塩田 村保安組合
- 西塩田 消防組

いつでも

掃ける人工孵化秋蠶種

晩秋蠶迄

經濟便利燈特約店

山田 誠竹堂 竹内兼太郎

養蠶家の福音

優良晩秋蠶人工孵化種

品種

正白×新白

發蛾

八月七日頃より豫定に候間多
少に不拘御下命下されば度候

西塩田村

蠶種製造 東川慶包

山稼

たしち

炭をやくカマドなどいそ珍らしく思ひにつ、に冬の日くらしぬ。まづ黒な飲け茶碗にナミ、と注いだ茶湯を浴びること存みし。一粒も残さずで辨當たべれば足らざりしかと母の間ふめり。湯に入れば顔手足となくしみ痛む山稼ぎせはかく荒れもせり。

役場欄

告示第十七號

大正十三年度本村歳入出決算左記ノ通り完了本月十四日本村會ノ認定ヲ經タリ大正十四年七月十五日

西壙田村長齋藤重太郎

記

歳入ノ部

金 壹、五七、五四

金 五壹七、七〇

金 壹、八八、九七

金 八五五、六六

金 四〇六、五七

金 壹、參、八七

金 壹、六九、〇〇

金 七六、七、參七

金 四、九、五八

金 六、六、〇〇

金 三、三、四、七一

金 二、四、〇、七一

金 一、二、五、二〇

金 一、〇、一、〇二

金 三、〇、六、七〇

金 三、四、〇、六六

金 五、五、二、八二

金 一、五、八、七一

計 二、五、二、四五、五七

歳出臨時部

金 八八、〇、〇〇

金 四、六、〇、二、六四

金 二、三、五、三三

金 五、〇、七、五

金 一、九、一、一

金 四、一、九、七五

金 七、八、八

金 七、一、四九

金 四、四、八〇

金 七、六、七、三七

計 七、四、九、一、二

歳出合計 三、七、四、四、六九

歳出入差引 殘金 一、八、一、二、七二

大正十四年度へ繰越

大正十三年度西壙田村外二ヶ村

財産組合歳入出決算

歳入

一 財産ヨリ生ズル収入 一、五、四、四、一三

二 使用料手数料 二、七、六、〇〇

三 繰越金 一、二、六、四

四 四分賦金 一、二、八、〇〇

合計 三、一、一、二、七七

歳出 經營部

一 役場費 七、二、二、五、四

二 會議費 四、六、六〇

三 財產費 二、一、一、四六

四 基本財産造成費 一、四、八、七、二一

五 諸稅 九、七、〇、三

經常部計 二、五、七、四、八四

臨時部 一、〇、八、〇、四

一 財產費 二、六、八、二、八八

歳出合計 二、六、八、二、八八

差引 大正十四年度繰越四百貳拾九圓

八拾九錢

今月の納稅

縣稅戶數割前半期分

納稅日 八月二十五日

大正十四年度西壙田村二ヶ村

共有澤山財産組合歳入出決算

歳入

一 財產收入 五、一、六、一、三

二 使用料 八、五、〇、〇

三 繰越金 一、九、四、五、七

歳入合計 七、九、五、七〇

歳出

一 役場費 一、〇、二、〇、八

二 會議費 四、二、〇、〇

三 財產費 一、〇、〇、〇

四 基本財産造成費 三、二、七、九八

五 諸稅 二、八、〇、八

歳入合計 五、〇、〇、一、四

歳入出差引 金 貳百九十五圓五十六錢

大正十四年度へ繰越

川西兒童健康相談所

設置

川西十ヶ村傳染病院組合では今回兒童健康相談所を併置して兒童の保健衛生的事項の相談に預ることとなつた。その主なる事項は左の如くである。

一、育児法に關する事項

二、乳兒の養護(乳兒の取扱法及乳兒の榮養方法の教示)

三、乳兒に關する醫學的診察事項

四、疾病の有無に關する事項

五、正當の發育を遂げしむるに必要な相談事項

六、食物、衣服、住居、運動等の醫學的方面に關する事項

その他必要に應じ兩親及兒童の教養に關する調査研究事項

而して農閑期に於ては毎月一回場所及日時を定めて醫師各村を巡回檢診及相談に預ること云々。尙檢診及相談は無料にして檢診の結果治療を受けんとするものは川西醫院の定むる規程により藥費を徴するものである。

徴兵検査の結果

既報の通り本村壯丁身体検査は七月二十一日小縣郡衙に於て執行されました。其結果合格者は左之通りであります

甲 小松晴 躬 甲 山 極 稔

甲 小松義 公 甲 福 田 勝

甲 大庭久 實 甲 竹 下 才 人

甲 兒玉光 照 甲 西 井 義 一

甲 西澤大 覺 甲 福 澤 家 與

甲 小宮山 源 一 二 乙 宮 澤 喜 十 郎

甲 龍澤福 次 郎 二 乙 宮 澤 完 三 郎

一 乙 瀧 澤 忠 義 二 乙 重 田 儀 市

一 乙 山 極 辰 夫 二 乙 山 下 喜 三 男

一 乙 竹 下 久 人 二 乙 勅 使 川 原 忠 一 郎

二 乙 宮 澤 義 士 二 乙 小 宮 山 三 三 郎

二 乙 小 林 辰 巳 二 乙 福 田 眞 澄

本年度壯丁教育調査問題

本年度壯丁の學力試験は七月六日本村小學校に於て施行された。その問題は左の如くである。

●國語 尋卒セザル者ノ部

ツバメハ田ヤハタケノ作物ニツク虫ヲ取ツテタバマスカラ、人ノヤクニ立ツ鳥デス。

(一) 二百十日は立春から二百十日目の日である。この日はよく大風が吹くから、厄日といつて、農家ではここに心配する。

●算術 全 (以上讀み方)

(一) 一日ニ米ヲ二升五合タベル家デハ三十日米ガ何程イルカ。

(二) 昨日ノ午後十時三十分ニ寝テ今日ノ午前七時ニ起キルト幾時間タコトニナルカ。

●國語 尋卒者ノ部

二題共棒線ノ文字ノ讀ミ方文意把握を以て遠ク百世の後を憂ふものは、古來聖賢の心事にして、須らく後人の模範とすべき所なり。此の如き人は、身死すとも其の功滅びずして、永く萬世の景仰する所となる。棒線ノ所ニ假名ヲ附シ文意把握)

●算術 全

(一) 尋卒ノ部、第二問題ニ全ジ

或商人靴下一ダースヲ五圓四十錢ニ賣リ、此ノ靴下三足ノ原價ニアル利益ヲ得タリ、一足ノ原價何程ナルカ。以上

(二) 進歩したる社會に於ては社會と個人との關係密接にして、公益は私益と不離の關係を有す。公益をはかるは即ち私益をはかる所以なり。而して公益を計るの第一歩は、各々自己の職業を通して社會に貢獻するの通を計るにあり。

●算術 全

(一) 甲乙丙三人ノ大工ガ或仕事ヲスルニ甲ダケデハ三日カ、リ乙ダケデハ四日カ、リ丙ダケデハ六日カ、リト。三人デ一緒ニ此ノ仕事ヲスルト幾日ト幾時間デ仕上ルカ。但シ一日ニ働ク時間ハ九時間デアアル原價二十圓ノ商品ヲ定價ノ二割引ニ賣ルモ四割ノ儲ケガアルヤウニ定價ヲ附ケルニハ定價ヲ幾ラトスレバヨイカ。

●國語 高卒者補卒者ノ部

尋卒者ノ部、第二問題ニ同ジ

(一) 一人を以て博く徳兆の爲に盡し、一代を以て遠く百世の後を憂ふものは、古來聖賢の心事にして、須らく後人の模範とすべき所なり。此の如き人は、身死すとも其の功滅びずして、永く萬世の景仰する所となる。棒線ノ所ニ假名ヲ附シ文意把握)

●算術 全

(一) 尋卒ノ部、第二問題ニ全ジ

或商人靴下一ダースヲ五圓四十錢ニ賣リ、此ノ靴下三足ノ原價ニアル利益ヲ得タリ、一足ノ原價何程ナルカ。以上

大禮賑恤資金支給

昨年の旱害を受けて生計困難な者に對し本縣大禮賑恤資金中より本村分七百五十圓四拾壹錢を支給され本村にては左の如く配分した。

配分方法(旱害免租反別割 八分 六百分也 三圓四拾壹錢を支給され本村にては左の如く配分した)

種別 標準免租反別割 支給金額

區分 早害免租反別割 支給金額

戸數 數 一 支給金額

支給額計

十人 七、六、二、三〇

東前山 八、一、六、五〇

西前山 八、〇、七、四〇

手塚 二、一、五、〇〇

野山 一、三、九、五〇

野山 三、五、〇、七〇

計 三、四、〇、九八〇

六〇〇、〇〇

一、四、四、一、四

一、四、三、六、七

一、四、二、〇、七

一、三、七、八、三

二、四、五、五

六、一、七、一

五、六、〇、〇

六、八、三

小學校だより

成績通知に就いて

第一學期の成績を御通知することになりました、申すまでもなく兒童の賦に付いては、學校と父兄の方々と共に力を盡すことに依つて其の効果を挙げ得る事と存じます。従つてお互に兒童の生活状態や學習態度を調査し談合する事によつて環境を整理し、教科の本質に添ふ復習や自學的態度を執る様に努め度いと思ひます。而し御多忙の事でもあり亦わざ／＼御出掛け下さる憶却も御座ますでせうが其の機を得ませんので、學期の成績を御通知するせめてもの手段として、止むな／＼概括的な評語を用ふることに致して居る譯で御座います。平常の學習狀況と試験による學科の成績とを斟酌して表はされた評語故、昨年度に比較して進歩あり擔任者の標準の差によつて多少の異なるものあるは當然であります。

優秀なる學力は最も望ましいのは勿論であるが、知育は兒童教育の終ては無く概括的に通知し得ない然かも人間生活として大切な情操や意志的方面のある事を考へて載きたい。小學校教育は將來の人間生活の基礎づけであります。缺點ある者も一面の優秀な何物かを持てる爲め健實なる人生の行路に躍進しつゝあるのが現世です。此の學科の成績の優秀のみによつて、人間として可否を價值づけたり或は弊の手段として毀譽することは考へるべきです。要は、教育の一部分の通知で學校と家庭との兩方面の生活をつくら御話合ひ下さつて兒童教養の爲めに、よりよき道を選ばれんことを望む次第で御座ります。

暑中休暇について

酷熱に對する身体の狀況を考慮して設けられた休暇でありますから、出来るだけ衛生に留意し病魔に犯されぬ様にすることは勿論否積極的に此の炎暑と戦ふことが出

來得る様な剛健な身体をこそ鍛練すべきだと思ひます。而し學習の中途にある者に長い休暇に復習を省くことは切角築きあげられた學習態度を傷め、學力を低下するの遺憾に堪へませんので、各學年に應じた相當の課題を命する事に致しました。涼しい朝の間の僅かの時間を選んで日課としての復習をさせて戴きますれば幸甚です。

運動部より

野球部に於ては選手の大分苦められた、切角選出された選手の中には家の事情と言ふわけで中途で止め去年一年間練習上げた選手には逃げられたつた九名の選手を選び出すのに甚だ惱まされた

去年の今頃大飛躍したのを考ふる冷汗が滲み出る

それでも最近左のメンバーに依て炎熱焼かんばかりの砂を蹴つて猛練習をしてゐる

- 投手 竹内和男
捕手 増澤三七郎
一壘 武田俊雄
二壘 小林正衛
三壘 武田正助
遊撃 佐藤幸雄
左翼 東川廣太郎
中堅 吉池深海
右翼 山極義人
補缺 吉澤文雄
全 佐藤甚太郎

庭球部に於ては最近恐るべき技術を發揮し川西の覇者泉田校へ遠征して五組全勝と云ふ好成绩を得た、此の元氣を最後迄持續してほしい。

メンバー、左の如くである

- 倉坂きのへ 佐藤はつよ
小山ちかよ 大庭みつ
瀧澤富子 山下しず子
瀧澤壽子 保科ふじみ
- ◆すゝめ
- 藤三 樋口芳己

やだやだめ
家の米をさらつて
さらつた米を
子にくれた

◆今朝

ちよんく
梅の木でないた
すいめが
つぎの技へ
とんだ

幕三 小林泰正

役場のおばさん
役場のおばさん
私に赤い下駄くれた
赤い下駄を
下駄くれた
私は一日うれしくつて
いびつてた

幕三 竹下久江

◆春

春が来た
春が来た
春が来た
春が来た
春が来た
春が来た
春が来た
春が来た
春が来た
春が来た

幕三 市村節

◆蓮

お池のまん中に
はすかちんぼり
芽を出した

幕三 小池傳

◆白毛のたんぼ

白毛のたんぼ、
おぼけのたんぼ、
あつちへいつたり
こつちへいつたり
こん／＼とんでつた

幕三 佐々木けさの

◆七月の夕べ

落日は
哀愁をそよ
名残の冷たさ
くろ／＼と寝る中に沈む
死のやうなげにゆらぐ
青葉の嘲笑
古典的の
なぞめいた星
幽遠の彼方に光る

秋 葉 生

ホアラは
哀傷の涙をほら／＼と落す。

◆椿

風に吹れて
花びらちらちら……
花びらちらちら……
まつかなお星さん
おちるやう。

三年 早川正喜

◆藤の花

去年
父さん山からふんできた
きれいに咲いた。

三年 齊藤敬枝

◆竹やぶ

さら／＼竹やぶ
風の音
ちよる／＼小川
水の音
ちよる／＼さら／＼
風の音 水の音

三年 市村徳市

◆金の星

びか／＼光る
お星様
くら／＼空に
たひ／＼

三年 黒坂重子

◆すみれ

小川にすみれが
ながれて来た
それがすてたのやら……
風をい／＼と
ながれて行く

三年 全 人

◆春の光

こつちの光が
雨にのれて
赤く光った。

三年 全 人

◆青草

春が吹くと
おもしろい
おどろかす
おどろかす

三年 佐藤七郎

◆たんぼ

たんぼが吹くと
たんぼのおちる
あめかへにゆく。

三年 宮澤清治

◆さも

さも、さも、
まつかなさも、
青葉の中から
まつかなさも、
おもしろ。

三年 中村みよこ

新町支部通信

◆五部消防の仕事。五部消防では消防デーをトし新町区中全部の外燈磨きをなし又非常の場合通路防害となごき枝葉の枝拂を行なふ事差細なる事であるが感心すべき事である。

◆悪魔拂執行。家内安全、豊年萬作を得ん爲當區固有之大神樂を以つて七月十六日虫祭當日午後一時より笛太鼓の音も勇ましく神前に於て一神樂を舞ひ區中各戸洩れなく悪魔拂をした大に悪魔も追拂はれ區中安泰であらう。

△別所温泉に於ける

信州婦人夏期大學

長野婦人會並に信州婦人社主催の信州婦人夏期大學は其四回を例年通り八月九日から十二日迄四日間小縣郡別所温泉常樂寺に開く筈に講師はお伽話の大家として又兒童研究家として天下に其の名を轟はれて居る久留島武彦氏並に日本産業協會理事山中省三氏の兩名の外に特に本回は東京家庭製作品獎勵會長田村松枝女史を聘して佛蘭西刺繡の實地研究をなす筈に聴講料は金貳圓にして實費宿泊の便もあり聴講希望者は八月五日迄に長野市西長野町庚百〇五番地信州婦人夏期大學會宛にて申込を要す

會 人

◆地質調査、小縣教育會の委嘱を受けて佐藤知氏清水静夫氏の兩名は七月十八九の兩日獨胡山、鉄城山及澤山の連峰に亘つて地質調査を行った。

◆視察、埴田五ヶ村組合立實業補習學校建設に關し模範學校視察の爲藤村長六川校長、黒坂重市郎佐藤清五郎の各委員は七月廿二日中込及池田方面へ出張した。

◆電話設計。七月二十二日電話建設設計の爲逓信局技手徳田三夫氏來村。

◆七月十七日、西埴田村外二ヶ村財源組合の決算認定會を七月二十四日には澤山組合の全上を本村役場に開會した。

◆府縣道、別所丸子線は本年度豫定改修箇所工事を七月中旬より開始。

西塩田時報

號二廿第

行發日一回一月每
錢三金價定
錢十金行料告廣

大正十四年八月廿五日印刷
大正十四年九月一日發行
長野縣小縣郡塩田村
編輯印刷人 樋口秀實
兼發行人 樋口秀實
全縣上市市六二六
印刷所 山浦活版所
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

田舎生活と都會生活 及人情

東京 福澤龍登

此の題目を掲げましたけれどもほんとは私の親愛なる皆様に掛けたものである所であるが、若し若し若し人々に都會に出るふごのどんなに悪いことであるかといふことを知つて頂ければ幸甚の至りと思ひ、まして中澤多七君に、さういふ、まことに眞實の紙面を拜借致しました。

田舎の生活と都會の生活及兩者の人情！
現今文化生活と云ふ語は流行語の様です。してそれは必ず都會生活にのみ行なはれ得る。又行はれて居る様に考へられて居るの。は全く間違ひであると思ひます。先づ衣食住から申します。

従來衣服は歴史的にも重大なる關係がありますが、およそ時代地方（國別縣別）職業年齢性の別（男女）其人の趣味性質等によりて異なります。故に時代表を代表するところへ言ひ得るのです。又虚榮心の表顯とも云ふことが出来ず、現今都會地方を通じて一般に服装の進歩したことは喜ぶべきことです。然し進歩と云ふ外に都會人のあまりに贅澤であることを私は憤慨に堪へません。東京の人は己の虚榮心の強いことを充分現はして居ります。確に第二の元祿時代出現です。元祿の後如何に國家が疲弊したか、松平定信之を愛へ「町人は絹物着るべからず」町人開口して羽織の裏下着などの見へない所へ絹物を胡化して使用せし由、此れは餘談です。が兎に角其風習が明治の時代まで傳つて居りました。然るに大正の御代となり江戸の人間は折角松平老中が下へ追込んだ着物表へ浮び出させ然も東西諸國の衣服まで真似て實に混沌たる有様です。大藏大臣濱口氏がお紛白にまで税をかけても一向駄目です。藝者の様な人間がウヨウヨして居

ます。亡國の兆！震災以後特に東都の人の衣服は贅澤を極める様になりました。私は只々堅實なる地方の人々に此の悪風を傳はらぬことを、否斷然として薄弱なる都會人などに感服されないことを御願ひしてやまなう。次で、此處に御願ひ致し度いことは都會の人は多くの着物を持ちません。夏が來れば冬着を質屋に利用し冬が來れば夏衣を利用します。然るに田舎の人は着なむ着物を作ります。之れだけは他まで戒しむべきことです。

第二に食の問題です。私は父から父の元に居りました時「田舎の人は糠食だによつて皆營養不良だ」といふことを聞きまして憤激したことがありますが、そして又大根と國産など云ふ某博士の言葉など信じたこともありません。現今の進歩した食糧品の研究によりまして全く正反對であつたことを知ることが出来ず、近來叫ばれて居るビタミンABCと云ひ又はアルカリ性食品と云ひ此等は新鮮なる植物性食品中に最も多いことを我々は知ることが得ました。田舎の人は此の有効なる食品に恵まれて居ることを喜ばずには居られませんが、東京の人は疲勞勞の多き肉食をしますが之は却つて皆糧は都會人を憐むべきことです。只今は田舎の人に過食を慎むべきです。これは國家經濟上から見ても由々しき大問題であると思ひます。此間に一寸つけ加へて書かせて頂きますが都會の人は今米價に困まらされて居ります。然し米を作ることに如何に苦辛を要するかを知つて居ます。私に敢て高價であるとは申しませんが、食糧問題に就きましては一ヶ年に五十万人乃至八十万人宛増加する我國民は今後最も研究

を要することです。住所！これこそ皆様は大自然への感謝であり都會人に對しての誇りであり、貴族當者を除いて申しますならば都會人は朝から晩まで塵埃の中に而も座敷一間に住んで居ると申しても決して過言ではありません。田舎の人は自然の大公園に住んで居ります。都會人公園あるを以て何が文化生活ですか、座敷一間に勝手廊下位の家に

住むことかどうして文化生活でせう、笑止千万です。然し都會人には此の公園なるものが如何に必要であるかを痛感せずには居られませんが、公園其他劇場圖書館等の種々の娯樂機關は必要所を過ぎないのです。田舎にても之等必要と認めらるゝものは青年諸君率先して設立完全を計られ、ば何等都會に衰へることがないと思ひます。只教育機關の設備のみはやむを得ませんが然し都會にのみ學校を設けたのは政府も失政を覺り現今は地方への教育設備を急ぎつゝあることを見受ける次第であります。

です、自己の利益のためには如何なることも致しませんが、一般に道徳心に乏しく不正です。都會人は精かす、紡がず只利益の賣買によつて生きて居ます。呉服屋は隣の家を買ひ斯くして結核は取り入る人紡ぐ人は重に地方人でそれを安く買ひそれを高價に賣つて互に生きて居ります。然し之等の人は貧しき生活を送つて居る未だ哀れむべきも、之を大にし又は共同の營業を營んで居る全く不生産的の銀行保險會社株取引等一部の人々の私腹を肥やすもの、如何に發達して居るかに驚かされます。試みに我が帝都の大建築を見る、多くは之等の建築によつて充されて居ります。而して斯の如く好妙に地方人の作製せし財寶を中央に收

待遇されて居る區は他にないのです。オ、諸兄よ、一致して立ちとうではありませんが第二に青年若女が都會に走らんとする原因としては一つの本能の現れであると思ひます。本能は適當の時期と刺激が與へられて始めて現れますが時期は到來せる時輕薄な新聞雜誌小説活動寫眞等單なる一時的衝動に動かさるゝ所甚大だと思ひます。親愛なる諸兄よ、此の岐路に立つ青年弱女自身であることを自らが知り又互に戒め合ひ喜導されんことを祈ります。

烏帽子岳

卷き寄する狭霧のあしの早くして谷を埋む烏帽子の峯は雄大の山のうね／＼打ち續くその山並の見れば飽かなく嶺の。岩根に立ちてはる／＼と我が來し方を打ちみやるかも。淺間嶺は南の空に打ち立ちて遙かに高く煙り吐くかも。萬歳を叫べば聲の大空に吸はれて消へぬ峯の靜もり。

●心身共によみがへる好時季が到來します農村青年の絶好の慰安は庭球、野球であります。家業のお暇をみて大いに活躍して下さい。今度庭球用ネットが新調されました（道具は役場にあります）

運動部より

一、運動した身体無りがきく。
二、運動家の心、常に剛健。
三、いつも晴々としてゐられる。
四、邪念の起るヒマがない。
五、気分が轉換されていゝ。
六、大人も子供に立返られる。
七、心配事もツイ忘れる。
八、鍛へた身心イザと云ふ時役に立つ。
九、社交を圓滑ならしむ。
十、無我三昧の境に入れる。

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

金拾圓也

東川慶包殿より時報發刊費の中へ右金圓の御寄附がありました。誌上を以つて厚く御禮申上します。

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

御寄附

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

運動部より

●心身共によみがへる好時季が到來します農村青年の絶好の慰安は庭球、野球であります。家業のお暇をみて大いに活躍して下さい。今度庭球用ネットが新調されました（道具は役場にあります）

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

烏帽子岳

水清き田代は代し高原を流るゝ音のいさざやけく夕ざればこの高原の草原は露し宿せり愁ふるがごと高原の夏の夜空の清きかも星を數へて當なくあゆむひんがしの野のかざろひを見てあれば肌さやけし高原の冷朝にして草を群れ食む牧場の牛の集ひを珍らしと見る

●心身共によみがへる好時季が到來します農村青年の絶好の慰安は庭球、野球であります。家業のお暇をみて大いに活躍して下さい。今度庭球用ネットが新調されました（道具は役場にあります）

運動部より

一、運動した身体無りがきく。
二、運動家の心、常に剛健。
三、いつも晴々としてゐられる。
四、邪念の起るヒマがない。
五、気分が轉換されていゝ。
六、大人も子供に立返られる。
七、心配事もツイ忘れる。
八、鍛へた身心イザと云ふ時役に立つ。
九、社交を圓滑ならしむ。
十、無我三昧の境に入れる。

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

御寄附

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

運動部より

●心身共によみがへる好時季が到來します農村青年の絶好の慰安は庭球、野球であります。家業のお暇をみて大いに活躍して下さい。今度庭球用ネットが新調されました（道具は役場にあります）

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

御寄附

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

運動部より

●心身共によみがへる好時季が到來します農村青年の絶好の慰安は庭球、野球であります。家業のお暇をみて大いに活躍して下さい。今度庭球用ネットが新調されました（道具は役場にあります）

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

御寄附

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

●長野縣聯合青年体育大會は縣の明治神宮全國青年團競技豫選會を兼ねて合同主催の下に十月十日十一日の二日間長野市城山グラウンドに舉行せらるゝ事になりました。●小縣郡聯合青年團では九月中旬に一定の場所各町村青年會員中より出場希望者を募り豫選競技をなし成績優秀と認められたる者を出場せしむ事になりました。●参加資格は廿五歳以上三十歳以下の青年會員と限られてあります。希望者は役場へ行つて詳細をお聞き下さい。

村會

八月二十四日午前九時より役場樓上に村會開會、左記の件を議決した。

一、本年度歳入追加豫算の件

歳出臨時部に於て

土木費貳百貳拾圓 水害臨時應急工事費

寄附金八百貳拾八圓 (縣道九千線改修費寄附金)

以上二款を追加し繰越金及雜收入に於て歳入補額。

一、就學獎勵資金設置並に管理規程設置の件(規程別紙の通り)

一、學校組合規約設置の件

小縣郡中壙田村別所村西壙田村東壙田村

富士山村の五ヶ村は實業補習學校の事務

を共同處理する爲町村制第二百二十九條第

一項に依り町村組合を設くるものとす

一、學校組合規約設置の件

(規程別紙の通り)

一、組合會議員選舉の件

中壙田村外四ヶ村學校組合規約に依り組

合會議員選舉の結果左記の者當選

- 佐藤清五郎 黒坂重市郎 樋口左近

◆小縣郡中壙田村外四ヶ村學校組合規約

第一條 小縣郡中壙田村外四ヶ村ハ大正九

年文部省令第三十二號實業補習學校規程

第一條ノ目的ヲ達スル爲メ實業補習學校

ヲ設置シ其ノ事務ヲ共同處理スル爲メ町

村制第二百二十九條第一項ニ依り町村組合

ヲ設ク

第二條 本組合ハ中壙田村西壙田村別所村

東壙田村富士山村ヲ以テ組織シ小縣郡中

壙田村外四ヶ村學校組合ト稱シ組合役場ハ

中壙田村役場ニ置ク

第三條 本組合會議員ノ定數ハ十四名トシ

各村會ニ於テ其ノ村公民中村會議員ノ被

選舉權ヲ有スル者ヨリ左ノ員數ヲ選舉ス

中壙田村四人別所村二人、西壙田村三人

富士山村二人

第四條 議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ四ヶ

年トス

第五條 議員中欠員ヲ生シタルトキハ補欠

選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期ハ

前任者ノ殘任期間在任ス

第六條 本組合ニ組合長組合長代理者並ニ

收入役各一名ヲ置ク

第七條 組合長ハ中壙田村長ヲ組合長代理

者ハ中壙田村助役ヲ收入役ハ中壙田村收

入役ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 本組合ニ委員若干名書記一名ヲ置

クコトヲ得

委員設置ニ關スル規程ハ組合會ノ決議ヲ

以テ之ヲ定ム

書記ハ組合長之ヲ任免ス

第九條 本組合ノ經費ハ左記ニ依リ之ヲ分

賦ス

一、學校新設備費中校地購入及地均費ハ

中壙田村ニ於テ負擔ス

但シ本組合解散ノ場合ハ中壙田村ニ

還附ス

一、前項以外ノ經費ハ前年度縣稅戶數割

負擔額ニ二分賦ス

◆西壙田村就學獎勵資金設

置並ニ管理規程

第一條 本村ハ就學獎勵ノ資ニ充ツル爲メ

毎年度豫算ニ定ムル金額ヲ蓄積シ本規程

ニ依リ之ヲ管理ス

第二條 左ノ收入ハ資金トシテ蓄積ス

一、就學獎勵交付金

二、資金ヨリ生シタル利子

三、資金トシテ指定シタル寄附金

第三條 資金ノ管理方法ハ本村基本財産管

理規定ヲ準用ス

第四條 資金支出ノ必要アル場合ハ村會ノ

議決ヲ經テ之ヲ行フ

第五條 本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◆村史編纂進捗

本村々史編纂主任小山眞夫氏は其の後郷里

武石村の自宅にあつて資料を前に専ら執筆

の勞をなされてゐる。最近の報告によれば

既に明治維新以前の分は大部分完成の由で

ある。

役場内村史編纂室では炎暑の折柄ではある

が七月下旬より宮澤久三郎佐藤知の兩委員

が毎日つめかけて資料の整理に忙殺されて

ゐる。やがて生れ出する村史は必ずや榮あ

る輝きを放つことであらう。

◆簡閱點呼

本年度に於ける本郡内簡閱點呼に關する會

場及區域は夫れ々發表になつたが本村小

學校は其の點呼場として指定され来る九月

二十四日壙田五ヶ村を區域として執行され

ることとなつた。執行官は陸軍歩兵大佐村

田凱一氏で今回は更に軍事思想普及の趣を

以て青少年地方有力者學校職員其の他一般

人士の成るべく多く見學することを希望す

ること。

◆衛生課より

本村聯合衛生組合では夏の衛生に就て村内

一般に印刷物を配布しましたが目下傳染病

患者の發生期に迎ひお互に注意をして今年

は一人の傳染病患者も出さない様に致した

ものであります。

◆凡て傳染病は飲食食物により口

から傳染します故に食物に最も注意せ

ねばなりません野菜物や殊に魚類其他種々

の食料品は何處で病毒が附いて來ぬとも限

らぬから可成生の儘では食べない様にす

るが肝腎であります。

又嘔も病毒の媒介をしますから食物の蠅を

防ぐ事に氣を附け之が驅除をする様にお互

ひに心掛けませう。

◆傳染病豫防には清潔と云ふ事が大

事な事で衣類等は常に洗濯をし又臺所と便

所の清潔を怠らない様に致しませう。

◆勤儉獎勵に關する婦人團

体代表者協議會

八月二十日上田市役所に於て開催せる婦人

團體代表者協議會に於て協議せる事項は左

の如くである。因に本村より出席せらるる

ものは武田さん、大庭君を、竹内のふ子、

兒十多貴子の四人であつた。

協賛事項

二、九月一日より向ふ一週間を勤儉強調週

間となすこと。(關東地方大震災記念日なるに付

其の實現に當り非常時に際する設備整備等に考慮を

拂ひ通常考案實施に努むるべし)

三、非常袋等を作成し重要品の整理を爲し

置くこと(非常袋の製法に關する要領を爲し

置くこと)非常袋の製法に關する要領を爲し

Table with financial data: 九月一日を記念する爲組合員各位は勿論、御家族の皆様金額の多少にかかわらず是非御實行をお願いします、新に御勧めいたします次第です。

Table with financial data: 西壙田信用購買組合 産業組合デー 九月一日は産業組合法發布二十五周年に相嘗するに就き全國一般産業組合は此の日一齊に産業組合デーを舉行し本組合に於て當日皆さんと共に此の日を記念する爲め總ての点に於て組合は出来る限りの御便宜を御計りいたします。

Table with financial data: 九月一日を記念する爲組合員各位は勿論、御家族の皆様金額の多少にかかわらず是非御實行をお願いします、新に御勧めいたします次第です。

放送電話とは！ (一)

雷 兒 雄
あまりムカシクは、かたくりますから、ほんとうにゴツト申上げます。

◎物事にナレると、珍らしくもオカしくもなくなるものです。ラヂオだつてその通りちつとも不思議でもなければ、六ヶ敷いものでもない、たゞ考へかた一つ。
「オイツ……諸君！大棒事だ……」と、號外を見て、一人が大聲にサワイダとす。つんばでない限り、人々は耳をたてるでせう、そうして棒事の内容を聴かうとするでせう。

◎そこには線がない、けれども話が聞けるコリヤア不思議だトビ上る等の處を、ちつとも不思議がらぬからおかしい。口から音波が出る、鼓膜が、其の通りに振動するとして話が聞けて、しかも線がない立派な無線電話でなくてはなせう。

◎一人がシヤベレは、其のまわりの誰れにも聞ける、ラヂオだつて其の通り。一ヶ所だつて話すれば、同じく誰れにも聞けてしまふ。聞けぬやうにするには、小聲で、こゝろに密でやらなきや駄目だ。

◎ラヂオだつて、波長といふものを替へてやれば出来ない事はない、それだつて「内密話」は江戸まで聞けるの御多聞に漏れずその波長に合せれば、誰れにも聞けてしまふから、頗る仕末が悪い。

◎その仕末の悪いところがラヂオの取柄だから面白い、ソレ暴風、やれ、砂糖の暴落、演説だ音響だ、なんだかんだ、一ヶ所だつて送話したが最後、何百何千万人でもこれを受ける、完全な機械と、耳さへ持つてゐたら馬鹿でもノルマでも、それこそ一視同仁的に聞けて了ふ。

◎これを名づけて放送無線電話とは穿つてゐるでせう。ラヂオは何百何千哩といふ遠方まで通ずる、人間の音聲はゴク近い所に

に限られて通ずる、これが異ふ点だ。勿論そこにはそれだけのしかりと手数を費すからで、つまり電波(後で申上げます)といふもの、御厄介になるからである。

◎だからラヂオはいはば音波を送信機といふもので電氣的に變化して、送り出し、受信機といふもので元の音波に戻して受話するもの……と考へれば、それでザツとした理屈は深んと思ひます。

◎物を出ると音がする、固体が振動して、波動が出来る証據だ、池中に小石を投げると波が起る液体波動即ち水波だ、人がシヤベレ、音聲を發する氣體波動即ち音波といつてゐる、つまり物体が振動したから音波が出来るわけである。

◎電氣だつて打撃を與へると、振動する。即ち振動電流電波が出来るといわけだ。◎それでは電波はばうして起すか、といふので、電氣に拳骨をくれるなんてわけに行かぬから簡単に實驗するわけにゆかない、勢い六ヶ敷い理論になり勝ちなもの。

◎呼鈴の鈴をおすと、ベルは鳴る、バネが振動するからだ、勿論電氣が振動したからバネも振動したので、其の附近には振動電流が起つてゐる、水が振動したのを水波といふなら、電氣が振動して流れるのを、電波といふて何の苦情もない筈だ、尙呼鈴の棒の先の玉を、もぎとつてしまふと抵抗が少くなるから、振動は一層盛んになる、即ちよりはげしい振動電流が起つてよいわけだ、事實立派な電波が起つてゐるのだ。

◎普通に通電の電流は、一秒間に、六十回ほどの往復をしてゐるので、この一秒間に往復する數が一万回以下を交番電流交流といふてゐる、それが早くなつて一万回以上になつたものを振動電流(オッシレイション)といふ。

◎電波は普通の水波など、異つて眼にも見えない手にも觸れない代りに、風にもゆるがないし、棒で叩いても歪まない、しかし金の棒にあたることたまたまない、電波は忽ちまわつて金棒の中へ吸込まれる、そして其の産みの親と同じく振動電流となつて、金

棒の中に流れやうとする、必ずしも金棒のみに限らない凡て金物や水(電氣の良導體)に突き當ると電波は電流となつて、其の物体の中に吸ひ込まれてしまふ。けれど電波は電氣よりズウ／＼しい、といふのも電氣の遇れない石でもゴムでもエポナイでも、硫黄でも、山でも土地でも家でもコンクリートも何んでもかでも、突き廻してごん／＼と進んで行く性質を持つてゐる

◎水中に小石を落とすと波紋が出来、それが速くひろがるに従つてだん／＼波紋が小さくなつてしまふにはなかつてしまふ、電波だつて同じ様に火花式(六ヶ敷いからはぶく)なんかに起したのでは減衰して行くですから火花式の電波は電氣には使へるが電話には使へない。始めにツンと大きくゆれても直ぐ消へてしまふ如きは電波はいくらも速く流れてしまふ、結局波と波との間に強い所と弱い所と出来て所々大きな隙が出来ると電波に切れ目が出て来る、電

信ではカチとかガとか何んぞか耳に入る音さへ立てれば何か信號が出来ればいづれでも「ア」か「カ」か「サ」がサツパリ解らない聲となるから困る。

◎そこで電話に必要な電波と云ふのは、始めも終りも同じ様に、いつも同じ強さで振動して流れるやうな波でなくては駄目で、この波をコンチニアスウェーブ(不減衰波)といふてゐる、符號はC.W.です。

◎音は普通には空氣の振動であつて空氣の中に一種の波を起して傳はつてゐるのであるが音の波はこれを又電氣の振動に變へるものが出来る、即ち音の波の高い所は電氣のなみを高く、音のなみの小さいところはやはり電氣の方も弱く流れるやうな具合にすれば、其の割合で云つて音の變化の通り

の形で電氣の流れの變化が出来てくる筈です。

そこで普通電話と同じやうな送話器(マイクロフォン)に「ジェー、オー、エイ、ケイ、こちらは東京放送局であります」とやするのと「ジェー」といふ時は「ジェー」と云ふ音の振動に従つた變化が送話器の中で起る其の變化に應じて同じ形の電流の振動が送信機(送話機)の方はいはば必要でもなし又一寸六ヶ敷なりますからハッキリします。然し現今短波長の研究が進んで送話器の質

現も近いうちと存じますから送話器の研究も面白い事と思ひますがそれは特種の方のものでしたします。内に起る、それが(二)不減衰電波)にのつて一秒間三億米の速さで

大正九年に第一回國勢調査を行つてから五年目に相當するので法律の規定により、今秋十月一日を期し簡易なる國勢調査を施行せらるゝ事になつたのである。

國勢調査は國家社會の實況を知らんが爲めに、全國の人口に就て調査するのであるが、今日の複雑な社會状態に於ては公簿の調査や統計等の間接調査では人口の數だけでも到底正確には知る事が出来ないのであつて大仕掛けに多數の調査員を使つて直接實地に調査するこの國勢調査によるの外はないのである。

今秋の國勢調査は十月一日午前零時現在により帝國の版圖内にある人口に付き(一)氏名 (二)男女別 (三)出生の年月(四)配偶の關係の四者を調査するのである。この調査の爲め各町村では内閣から任命される調査員が九月二十一日から準備調査を始め、申告書の用紙を各世帯に配り十月一日から五日迄に申告書を集めて整理するのである今秋の國勢調査の調査方法は

大正九年の第一回とほぼ同一であるが二三異なる点もあるから今左にその異同を明らかにする。

一、申告書 第一回の調査には世帯票を用いたが、今回は個人票を用ふるのである。今回の調査は市町村で結果の編成をするのであるから、申告書をその儘使へる個人票を採用したのである。

二、調査項目 前回の調査に比し異なる最も主なる点は調査項目が簡易なる点である。即ち前記の如く四項目に局限せられた然し何れの事項も必要止むを得ざるこのみであるから簡易の故を以て輕視する事があつてはならぬ。第一氏名は正確に知る爲めに必要で氏名を知るの目的ではない。

第二男女別は人間社會の基礎をなす男女の割合を知らうとするのである、第三出生の年月は國民の年齢を知る爲めであつて幼年、壯年、老年の割合が判れば一國生産力も知れ將來に於ける人に増減の模様も推測せらるゝのである。第四配偶の關係は未だ結婚しない者か、現に夫や妻であるか、配偶者に死別又は離別したものが相當の年齢に達して配偶を得ない者がどの位あるか、その他社會が健全であるかどうかも知れるのである。

三、結果の編成 前回に於ては中央集計主義であつたが、今回は調査の結果を速に公表し社會の需用に應ずるの趣旨で、地方分査の方法を探り、真ちに市町村で結果を編成することになつた。

本調査は、各人の正直な申告が集つて始めて正確な調査の結果が得らるゝのであるからよく調査の趣旨を了解して好意ある協力が望ましいのである、國勢調査は總て事實によつて申告することが主眼で、出生の年月や配偶の關係は必ずしも戸籍と同一でなくとも差支へなく、又婚禮を済ませた夫婦や内縁關係の夫婦でも有配偶と申告するのである。生れて未だ名のないものは名つてくすと記入するので、氏名の不明のものには通稱を書き入れて差支へない。

詳細部 就いては近く國勢調査員が任命されてから指導を仰ぐ事になるが、大略右事項を了解し國家の重大なる事業に對し所期の目的を達することに努力するが肝要である。

◆今秋施行の國勢調査に就て

大正九年に第一回國勢調査を行つてから五年目に相當するので法律の規定により、今秋十月一日を期し簡易なる國勢調査を施行せらるゝ事になつたのである。

國勢調査は國家社會の實況を知らんが爲めに、全國の人口に就て調査するのであるが、今日の複雑な社會状態に於ては公簿の調査や統計等の間接調査では人口の數だけでも到底正確には知る事が出来ないのであつて大仕掛けに多數の調査員を使つて直接實地に調査するこの國勢調査によるの外はないのである。

今秋の國勢調査は十月一日午前零時現在により帝國の版圖内にある人口に付き(一)氏名 (二)男女別 (三)出生の年月(四)配偶の關係の四者を調査するのである。この調査の爲め各町村では内閣から任命される調査員が九月二十一日から準備調査を始め、申告書の用紙を各世帯に配り十月一日から五日迄に申告書を集めて整理するのである今秋の國勢調査の調査方法は

大正九年の第一回とほぼ同一であるが二三異なる点もあるから今左にその異同を明らかにする。

一、申告書 第一回の調査には世帯票を用いたが、今回は個人票を用ふるのである。今回の調査は市町村で結果の編成をするのであるから、申告書をその儘使へる個人票を採用したのである。

二、調査項目 前回の調査に比し異なる最も主なる点は調査項目が簡易なる点である。即ち前記の如く四項目に局限せられた然し何れの事項も必要止むを得ざるこのみであるから簡易の故を以て輕視する事があつてはならぬ。第一氏名は正確に知る爲めに必要で氏名を知るの目的ではない。

第二男女別は人間社會の基礎をなす男女の割合を知らうとするのである、第三出生の年月は國民の年齢を知る爲めであつて幼年、壯年、老年の割合が判れば一國生産力も知れ將來に於ける人に増減の模様も推測せらるゝのである。第四配偶の關係は未だ結婚しない者か、現に夫や妻であるか、配偶者に死別又は離別したものが相當の年齢に達して配偶を得ない者がどの位あるか、その他社會が健全であるかどうかも知れるのである。

三、結果の編成 前回に於ては中央集計主義であつたが、今回は調査の結果を速に公表し社會の需用に應ずるの趣旨で、地方分査の方法を探り、真ちに市町村で結果を編成することになつた。

本調査は、各人の正直な申告が集つて始めて正確な調査の結果が得らるゝのであるからよく調査の趣旨を了解して好意ある協力が望ましいのである、國勢調査は總て事實によつて申告することが主眼で、出生の年月や配偶の關係は必ずしも戸籍と同一でなくとも差支へなく、又婚禮を済ませた夫婦や内縁關係の夫婦でも有配偶と申告するのである。生れて未だ名のないものは名つてくすと記入するので、氏名の不明のものには通稱を書き入れて差支へない。

詳細部 就いては近く國勢調査員が任命されてから指導を仰ぐ事になるが、大略右事項を了解し國家の重大なる事業に對し所期の目的を達することに努力するが肝要である。

骨の軟かさ

W I 生

汗ばんだ體を別所の△△湯に浴した私は、同浴中の村人から、廿人に近い今年の壯丁中たつた数名の甲種合格を出しただけで、隣村の八木澤の一區にも及ばないと言ふ話を聞いた。そして其原因が温泉に浸り過ぎる事まで軟かになつてしまつたんだらうと言ふ最後の結論を下した老人の話に興味ある事にも思つた。

涼しさを帯びた夕方の空気を、湯上りの體に心ゆくばかり浴びながら、夏の陽の薄れてゆく坂路をさば／＼と歩んだ。松の音が、一際高くジジと喧しく起つた。青々とした田の面には田草取る人が蠢いてゐる。折から地揺ぎをさせて上つて来る自動車の響、道を避けてばつと立つ砂ほりを手拭で覆ひつゝ、車上をながめやつた。そこには華美と金權を誇るにも似た女と男とがゐる。

暑中御伺ひ申上候
本年の當地は案外涼しく、陸上陸下の感有候、猶南支の暴動事件も全無候及、な見事無事消光罷在候御寄書處様下度候
支那間島龍井村
天園鐵路公司 齋藤繁雄

た。私とそれ等のブルジョアらしい生活を誇るやうな人達との間には何等の交渉もない。而し甚だしい人間同志の無意味な間隔と差別とは遂に断絶の間に大きな障壁と溝梁とを作る反抗的な態度をさへ起さしめずには置かない。地響の音に腰を延して田の中に立見する若者。今それ等の人々の心を慰む時、労働は神聖だと言つても労働してゐる人々は、それだけ幸福の位置にあるか又止むなき境過のいたす處とのあきらめなく、眞實に幸福と思ひつゝ、土の香に親しんでゐる者が幾人あるだらうか。殊に思想に生活に目覺めんとしてゐる若い者には、吾々は何故にこの炎天に湯のやうな田の中で草を取り、彼等は何が故に人形の如く着飾つて笑ひ與じつゝゐるか。吾々は終日暗

黙の中に汗を流して土を耕してゐるのに、何故に彼等は自動車上に藝妓と戯れて走るか。安易に就き歌樂を欲するは人の性情である。此の地の青年の体格が下降した「骨の軟かさ」は其の因つて來たるもの實に愆うした思想上に在りはしないだらうか。他の土地とは異つた感情を持たせられず、居られない人々の思想が現實の生活に及ぶ變化はあり得べき事だ。

土の藝術！ それは今日の文藝家の上に高唱されてゐる。農民生活の中に潜む深い藝術の光りを見出さんとする彼等の運動は、い。而し彼等の中に眞實に土の香を味ひ、流るゝ汗の中からにじむやうに生まるゝもの一換言すればほんとうの農民の生活を體驗して、そこに藝術の殿堂を建てんとする者が幾人あるだらうか。

或はほんご遊戯的な耕作や一年半年位筋肉労働に没入した文藝家にさへ多大な驚異を感じる現時の文壇であるのを見ても、其の一般がどの位の程度のものであるかは推すに難くない。

長塚節氏の「土」は極めて陰慘な農民の生活を描いて終始してゐる。而し現實に亦農民の間に斯の如き人生の暗い世界に終始してゐるものがいくらかもある。人知れず咲く深山の花のその如くに。ソロモンの榮華も其の榮に野に咲く白百合の一枝にも及ばない。雖も白百合の生るの意味を知らなければ、徒らに問は羨みの中に羨むか或は憤慨より反抗の世界に轉するであらう。

手塚支部通信

去月十日の大豪雨に當屆は實にヒドイ目に逢はされた、無量寺裏山からの押出水に上下久保は最も慘害を受けた、床上までも浸りに浸らせんとして消防その他の出動で危うく止められた家も十數軒に上つた。殊にヒドクツタの市村多三郎氏市村藤作氏等に實に御氣の毒に地へなされ、その爲にちよつとした物議なども醸されたが、無事に解決した。その他道路河川の破損も夥たしく翌日は消防が出動してそれ等の應急修理をした程だ、新聞によつてみるに可成全国的にもその前後にイタヅラをしたらしい難であつた。

中産階級滅亡の危機

青年會では舊學校敷地に約二百歩程の大宇よりの借地に見本菜園を經營してゐるが、
◆中産階級滅亡の危機
昨年の本誌に「中産階級の悲哀」とか云ふ様な題目の下に、租税賦課の上に軽く中下の重いことを指摘してその不合理を詰つてあつたのを記憶してゐるが、茲に本村本年度の縣稅戸數割の發表をみるに、更にこの問題を痛切に感じないではゐられないことだ。

東前山支部通信

◆東前山支部通信
近年著しく登山熱の昂つて來た事は各方面より見て喜ばしい事だ、當支部青年有志も本月中旬淺間山及び八つ嶽二山の踏破を試み各々精神の獲物を携へて無事下山した。●小池泉氏 理事官に任せられ朝鮮慶安北道地方課長に榮進
●黒坂勇氏 上水内郡産業主事補に任命され八月十日赴任した。
●植林下草拂、武拾參日青年會所有植林の第二回下草拂を執行した。

烏帽子登山

八月二十一日日本村小學校生徒職員有志五十級に對する理解はいまだ全く絶無に近いと思はれる。
◆烏帽子登山
今日の社會の現状をみるに、實に激流的な奔勢を以つて下増階級が増加しつゝあるのであるが、是はどの階級から茲に直下してくるのかと云ふに殆ど中産階級のそれである。

請負入札

八月二十五日西壠田村外二ヶ村財産組合では組合林の變切作業を請負入札に付した。尙全日林産物業、葺、胡桃等の拂下入札をした。
◆請負入札
であるが聊かワキ道にそれて自分にも分らない事を書いたが、惟ふに事は小さいが村の現状をその故にある事を想はねばならないであらう。

小學校夏季休業

八月四日より全二十四日迄暑中休暇をした本村小學校は二十五日から始業することに。元氣のいい生徒達が休暇中鍛へた眞黒な身体を健康品評會の様に見ることが出来る。

今月の税金

◆今月の税金
畑租雑地租 第一四一分
所得稅 第一四一分
納税日 九月二十六日

國家に於ても、かの一時政界に暗影を投せしめたところの稅政の整理が企圖され、更に亦地方稅の整理にまで手を延ばしつゝ、ある所以のものは財政の安定確固を期するに在るは勿論だが、その根本的觀念は新時代の社會政策の一面を稅政に採り入れるのにあることは明白にみられる。

然るに本村のそれはこの時代の趨勢に適應するどころか寧ろそれに背反するかに思惟せられる程、何等さうした新時代の意識に欲知してゐるのである。
かゝる有様であつては村の前途に暗い陰影が刻まれ投げつけられないであらうか。私はそれを深く憂れたいではないか。

この歴史的事實に徴して今日の社會の狀況をみれば、應にその危機の第一線にいまや進みつゝあるものと思はれる。
吾が村の事を云ふべくして筆をとつたの

西鹽田時報

號三十第
 行發日一回一月每定
 錢三金價定
 錢十金行一料告廣

大正十四年九月廿五日印刷納本
 大正十四年十月一日發行
 長野縣小縣郡西鹽田村
 編輯印刷
 兼發行人 樋口秀實
 全經上四市六二六
 印刷所 山崎活版所
 全經小縣郡西鹽田村
 發行所 西鹽田青年團

勤儉週間に就て

W I 生

勤儉週間は九月初旬第四の回を重ねて行はるに似て實際問題は極めて然からざるを見られた。初回より回を重ねるに従つて其響き。同じ十一月十日を以て見るも大正七年感は薄められ、宣傳の當局若くは經濟にはスバに對獨休戰談判あり八年の當時は機關關係者以外の一般には馬耳東風の感當に經濟界の沸騰期にて生糸一捆四千圓をさへ加はつた。是れが素因は種々あろうが稱へ十二圓五十錢拂込の鐘紡株が五百圓をプロレタリアに強ふる事切なるに比し、よ賣買さるゝ、猫も杓子も株に手を出すこと多く爲すべきブル階級の無反省極まること。第二は其期を得ざること。其の第三に於て宣傳の不徹底なることである。

其の第一回は大正十三年十一月十日戊申詔書下附の記念日を以て行はれた。初めてなる意味に於て吾々は等しく眞摯なる態度を以て緊張した週間を迎へた。然るに當時の新聞紙上の報道は富豪に依て裏切られた事を掲載された。試みに記憶に残る二三を挙げるならば、大坂道頓堀の中座に吉右衛門かゝり、特等は満員にて二十日間四十七組の総見あり、カップニー常に變らす煙草の煙が渦を巻いた。三越白木屋の如き木の綿物は賣れず。絹物の賣れが多く、神戸の金満家が三千圓のダイヤの注文に行き、尙美室に入れる婦人はエナメル巻七圓のダイヤを平氣？むしろ誇かも知れぬ！で買ひしとか。多くを列挙するの要はない。一は制するも一種の茶番狂言の類に等しき其の推して一般を知るに足る。かゝる富豪階級の無反省は、水を飲み腕を枕とするも尙輕に打ちて勤儉力行せんとする階級との間に險惡な階級意識を高調せしめ、かゝるに對する意味の薄さを慨嘆せしむるに到らう。

其二はその時期の問題である。金融逼迫して不況のドン底にある世相に對して勤儉は宜しき位を自覺すれば、憂國の士ならずとも須ら

勤儉力行はれ勉めんとする浸潤の力は、常住座臥其の念頭に深く滲んで、眞實の民力となり不斷の成果を見るであらう。過般社會局より資料を得て、教化團體聯合會に於て發表せる二三の表を掲げて參考に供することとする。苟くも日本人にして此の表を見懷を現在に至らば誰か感慨なきを得やう。

◎國別 富

米(含玄米)	七、〇〇〇億圓	六、五八〇億圓
(以下全)	五、六〇〇億圓	七、九一〇億圓
二、〇〇〇億圓	四、八二〇億圓	
一、六六〇億圓	二、七七〇億圓	
六、〇〇〇億圓	一、六三〇億圓	
五、〇〇〇億圓	八、九〇〇億圓	

土地建物其他一切を換算したものの、英米の十分の一にも及ばず甲斐なき。

◎日本の國債

大正八年度	參拾貳億七千八百萬圓
大正九年度	參拾七億七千八百萬圓
大正十年度	四拾億七千七百萬圓
大正十一年度	四拾參億四千壹百萬圓
大正十二年度	四拾七億參千萬圓
大正十三年度	四拾八億壹千九百萬圓

此の國債の國民一人當りは八拾六圓貳拾五錢である。我西鹽田村の現在人口三千八百人の合計は實に參拾貳萬七千七百七拾圓にして村發出參萬五千圓に對して約九倍に當る。昨日生れたばかりの赤ん坊も、大きな顔してゐる隣の隱居も。知らずに出來た借金が八拾六圓あるのだ。

伊	全	貳百圓
ベ	全	壹百九拾五圓
英	全	壹百四拾八圓
佛	全	壹百四拾八圓
日	全	七拾參圓
印	全	參拾九圓
本	全	參拾九圓

◎日本の貿易

大正四年	輸出超過 壹、八四〇〇萬圓
大正五年	同 參、八參〇〇萬圓
大正六年	同 五、八七〇〇萬圓

前略 朝鮮で小兵も何の變りもなく毎日演習致して居りますから他事乍ら御休心下さい。朝鮮の變つた事等少く書きたいとは思ひますが、聞があつてもなかく等み手にする暇とては見出せず、何も御知らせ出来ませんで申すけりません。

朝鮮の今年の氣候は晝は八十五度位から夜は六十度位です。稻は漸く出揃ひました。廣い土地にのみならず生活をしてゐる朝鮮人が驚かまじい次第です。山は澤山で大部分はハダカ山です。松がある位で雜木は多きません。果實園でも經營して牛で飼つて暮したら非常に無理に外國でなくとも此の朝鮮に水田なり畑なりを経営したらと思ひます。そして相當利益も上る様に思はれます。下略 (九月十三日)

◎各國の耕地面積に對する人口密度

大正七年	同	參、貳〇〇〇萬圓
大正八年	輸入超過	四、五〇〇〇萬圓
大正九年	同	參、參九〇〇萬圓
大正十年	同	參、六九〇〇萬圓
大正十一年	同	貳、五參〇〇萬圓
大正十二年	同	五、參五〇〇萬圓
大正十三年	同	六、四六〇〇萬圓

伊太利 三〇五人
 英吉利 二二六八
 獨逸 一八五八
 佛蘭西 一〇八八
 一方糶米は十町八段歩なればこれを我國の九百六十九等分すれば一人當り僅かに三百十二坪の耕地に過ぎない。とは心細いではあるまいか。單に耕地のみならず、其の天産極めて薄過にある事の貧弱其物の名に背かす。金銀は言ふに及ばず。鉄、石炭、石油棉花等の日用主要品に至るまで、惠まれざる事の甚だしいものがある。

更に試みに消費方面を擧げるならば。
 ◎酒の消費高
 大正四年 四、四二四、〇〇〇石
 大正六年 五、八七〇、八〇〇石
 大正八年 七、一三四、〇〇〇石
 大正十年 六、七六八、〇〇〇石
 大正十二年 七、三三二、〇〇〇石

◎煙草の消費高
 大正四年 七、七億 萬本 七、〇四萬圓
 大正六年 一〇、七、二千萬本 六、九四萬圓
 大正八年 一七、七、九千萬本 六、六六萬圓
 大正十年 二七、七、一千萬本 六、六一萬圓
 大正十二年 消費の價格は約二億七千萬圓で平均一日約七十四萬圓が煙になる。これは煙に巻かれてハイカラになるも無理ならぬではないか。世間體に留意して安分の生活をしてゐない事は其の結婚費に見るも、年收二千圓の家庭に於て、英獨佛僅かに其の一割を以て當つて、我國に於ては、伊の四割、露の八割をはるかに越つて年收の二十割乃至二十五割を使用し、支那の三十割之れに當つるの愚と比せられつゝある現狀である。

以上は其の一端に過ぎぬが一事が万事。我國力の現狀こそ思へば瞭然然然たるを得ない。

其の数字は何物よりも雄辯に大教訓を提示してゐる。慨世憂國の士ならずとも誰か民力の涵養を憶はざるものがある。

告示第二六號

衆議員選舉人名簿調製ニ付他市町村ニ於テ國稅ノ納ムル者ハ其ノ市町村ノ証明ヲ供シ十月五日限リ本村役場ニ届出ラシムルコト大正十四年九月二十五日

告示第二七號

府縣制第十二條ニ依リ縣會議員選舉人名簿ヲ本月二十日ヨリ十五日間本村役場ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供ス大正十四年十月

縣議補充選舉了る

今回の縣會議員補充選舉は衆議院議員の選舉にも見ざる激戦であつたは衆目の見る處である。本村に於ても其の激戦であればある程投票事務に關しては最善の注意を拂つて遺漏なきを願つた。参考の爲に左記に投票録を掲げて見ると。

投票録

一、大正十四年九月二十六日西壙田村役場ニ於テ投票ヲ執行ス

投票所ノ管理者左ノ通り

西壙田村長 齊藤重太郎

投票所ノ事務ニ従事セシ書記左ノ通り

西壙田村助役 竹下繁松

全 村書記 黒坂 勝

全 村書記 荒井精一

全 村書記 金澤欣治郎

投票立會人左ノ通り

西壙田村十人 武田正雄

全 村前山 宮澤友一

全 村手塚 河川秀實

全 村全 東川慶包

投票所ハ午前八時之ヲ開キタリ

六、投票所管理者ハ投票立會人ト共ニ投票ニ先テ投票所ニ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票匣ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ投票所管理者及投票立會人列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

七、左 選舉人ハ投票用紙ヲ汚損シタル旨ヲ以テ其ノ引替交附ヲ請求シタルニ依リ之ガ引替交附ヲナシタリ

小縣郡西壙田村 佐藤清五郎

八、小縣郡書記田中十郎ハ投票所監視ノ爲メ入場シタリ

九、長野縣巡查部長齊藤治一並ニ長野縣巡查池田金雄ハ投票所取締ノ爲入場シタリ

一〇、午後五時ニ至リ投票所管理者ハ投票所ヲ閉口ベキ時刻ニ至リタル由ラ告投

票所ノ入り口ヲ鎖シタリ

一、午後五時二分投票所ニ在ル選舉人ノ投票終了シタルヲ以テ投票所管理者ハ投票立會人ト共ニ投票匣ノ内蓋及ビ外蓋ヲ鎖シタリ

二、投票區域内ノ選舉人總數四七八名

投票シタルモノ 四三九名

投票所管理者ハ此ノ投票録ヲ製シ之ヲ朗讀シタル上投票立會人ト共ニ署名シタリ

投票所管理者 西壙田村長 齊藤重太郎

投票立會人 武田正雄

宮澤友一

東川慶包

樋口秀實

午後五時二十分投票所ハ管理者及樋口立會人ト共ニ池田巡查に護衛されて、自動車で郡役所へ届けられた。到着順七番目。

かくて選舉は済んだ。秋空高く晴れる日光の下に、燈火親しき長き夜の茶話に、互ひの戰跡を語りつて和解決し、來るべき普通選舉の前には心の準備をして置くことが肝要ではあるまいか!

十月の納税

家用醬油稅 本年度前学期分

村稅戶數額 本年度後学期分

納稅日 十月二十五日

聖書の教へに就て

福澤龍登

聖書の教へに就て書かせて載くにはあまりに拙なる者である。然れ共止めんとして止め難き切らるる心持に襲はれて止むを得ざる事を知つて載ければ幸甚の至りである。

此の前に自分としては一つの叫びがある。

それは如何なる知識を以てしても又如何なる道徳の哲學を以てしても解決する事の出ない不可解なる現世に、併乍ら必ず生きて踏みつけ向き反りて汝らを噛みつぶらんか。我等に信仰なき時、假令有らん限るの智識を獲得なきも、何千萬の財寶を積むも、到底眞の平安の與へらるる事なす。自分としては確信するのである。噫親愛なる諸賢よ、聲を大にして叫ばせて載きた。然れども信仰薄き自分を思ふ時却て諸賢の信仰を傷けるを感じ今は只聖書の一句の教へに就てのみ述べて載せたいと思ふのである。

新約聖書のマタイ傳七章一節「なんぢら人を審くを審かれざらんためなり」これ實に恐るべき教である。各々自身自身の胸に手を置きて黙思反省せよ已れの審かるるのなるを思はずして果して他人を審くの權を我等各自注意すべきは我等は罪多き世に生れ、育てられる故に惡に對しての感の純なることである。依つて惡を惡と感ずるを得ず己れの總ての行爲に對して絶對に罪惡を感ぜざる事さいあるのである。

「色情を懐きて女を見るものは既に心のうらみを淫したるなり」とキリストは教へたり。實に我等心せざる所にも亦罪の潜み、惡の誘惑の多きを感ぜざるを得ず、又キリストを我等の免したる如く我等の負責をも免し給へ」と日常家庭にありて不平の心起りし時、只此の祈り、此の教へを心せしむ。如何にして不平を抱くを得んや怒るを得んや怒ら不平をやはらざる怒は晴れ而して常に罪より免されし喜びを味つて生くるを得るのである。二節より「己れがさばく審判にて己もさばかれ已れがはかる量にて已れも量らるべし、何故兄弟の目にある塵を見ておの目にある梁木を認めぬか視よおの目が梁木のあるに、いかで兄弟にむかひて汝の目より塵を取り除かせと言ひ得んや。偽善者よ、まづ己れが目より梁木をとり除けさらば明かに見えて兄弟の目より塵を取

り除き得ん」五節まで

次に第六節に「聖なるものを犬に與ふるなまた眞珠を豚の前に投ぐな。恐らくは足に踏みつけ向き反りて汝らを噛みつぶらん此處に聖なるものは靈的に清きものであり即ち聖書の教への如き古人の教訓の如き又は愛情の如きものである眞珠は此の世の寶である即ち金錢又我我等に必要な物質の總てである」と解するを得る。

我等世の人の中より犬の如き人豚の如き人を例へせるならば犬の如き者は最も恐るべきものである何んとなれば犬の如き人は頭腦鋭敏にしてささく人を欺くこと更にたくみにして心中惡らつ蠢猛なり實にキリストは斯るものを犬と呼びしならん、豚は單に愚鈍なる人を例ふ。我等犬の如き人の眞の愛情を與へ見よ愚へ、人に反抗し且つ苦しい恩を報ゆるに仇を以てするが如くならん。オ、世の正しき人の注意せねばならぬことである。我等は豚の如き人に情愛を與ふるならば噛みつかるとは免るゝを得るのである。然り而して何んの價値なきを知る。尊き正者よ、神の如き大なる權威保持必ずや犬に聖なるものを與ふべからざるを確信せねばならぬ。豚の如き愚なる者に財寶を持たせることにより如何なる利あるかを思へ、瓦を持たせたりと何んの變りあらんや。然り此の教への如何に眞なるかを信ぜざるを得ないものである。はたして然りである、吾等與ふるの既に罪惡なるを感づるなり。與ふるを許されし人の呉れ、も意を用ひねばならぬことである。

「聖書は説明すべきものでない、説明することによつて價値を引下げ見せしめるものである。主キリストの御前に御詫言ひ致し居ります。」終り

また遠く

中澤多七

縣會議員の補選選挙位にふんばつて懸して回つたことですな無然として憂はし氣な面持ちが向けられるとき、實になんとも答へられぬ。御尤もであるからである。然し吾人人に誤解があつてはならぬ。縣會議員だから、なんでもいふと云ふのでは、その人の頭腦に懸つてゐる。外部の認識があつても内部の認識に缺けてゐる。量を形を假して實を心なすて居らぬ。國會から縣會まで村會だから、一段づつ下つたものだからだめと思ふのは間違つてゐる。大學の教授と中等學校の教諭に、はたまた小學校の先生に質的差別を附すものと誤まつてゐる如くに、代議士と縣會議員と村會議員とを誤まつてゐる位に、代議士と縣會議員とを誤るゝは正當とはいへぬ。國會と縣會と村會と、そこに外部の差別をなすて直ちにその内容の質的差別を立てるの眞に國體、村會のそれぞれの任務を正しく認識せしめたいといへぬ。さて、その運動と稱するでか騒ぎに至つては如何なるもの、皆ひごころ無然とさざるを得ぬものである。選挙を立派に正しく利用すれば生きたい、政治教育になり民衆の政治自覚を促すものであるが、わが選挙は實にその点遺憾に堪へぬ。幾分望みを措くのは今の普通選挙である。それでもアルツヨア政治家やアルツヨア政黨によつて汚濁せられる心配がある。一千万新有権者にして自覺しないならば普通選挙の一步に待たされるのは見へてゐる。

それら私にはたゞなる善政を欲するものでない、ふとを言つておこが。一人の偉人が出て、善政を布くことは封建制度下に於ける政治理想であつたかも知れぬが議院政治の理想には遠い。民衆政治、大衆政治の制度組織下にあつては正義の政治こそ、その理想であり期待である。

大衆政治に英雄主義、人物主義は禁つてゐる。不必要なるばかりでなく。大衆政治を不可能にせしめるものである。され故に大衆政治に英雄主義人物主義を拒否するものである。正義の政治をして一日も早く來らうとしたい。

十月行事

一日 國勢調査全國一齋

二日 十人支部直江津方面旅行

三日 小學校修學旅行松本諏訪

新町支部臨方面旅行

七日 手塚支部全上旅行

十一日 各支部野球旅行

十三日 東前山支部野澤方面旅行

十七日 神嘗祭、小縣聯合青年團野球庭球

二十日 小學校開校紀念日

廿五日 ヲリ五日間清潔検査施行

卅一日 納税

天長祝日

職業選擇に就いて

池田基寛

生きとし生けるものは誰しも永久の生を希ふ事は言ふ迄もない事ではあるが、世が文明になるに従ひ最少の犠牲を以て最大の効果を擧げなくてはならない。言葉を変へるといふ努力で大きい生産を擧げる。その事が世の進歩であり文明の思澤であると思はるゝに事實は世が益々進歩發達するに反比例して衣食住の物質生活、經濟生活が年と共に脅威せられ壓迫せられ生活が益々困難となるは怎うした原因に依る事であらう乎。

嘗て數年前某新聞社は農家の二三男以下は如何にすべき乎の問題を知名の士に送りその解答を發表した事があつた。實際原始的産業である農業、そして窮迫せる農村に於て多數の子弟を有する父兄、識者、經世家等は一家の消長の上に子弟將來の幸福の爲めに廣く農村問題社會問題として考慮すべき重大な問題ではないかと思ひます。先づ各村々に多數を有する小學校卒業後數年間の青年は今後如何に生くべきかは父祖の業を繼承すると確定せざる人々の胸に起る、我身を省る際、自分といふものを意識する際に於ての深刻な悩みであると思ひます。生れ出たものは生きねばならぬ

如何に自分の知能力量を發揮し最大限の活動を發見し自己共存共榮する社會を現出せしめ生れ出た義務を果し、この人生を有意義に送らんとは誰しも考慮し又前途に目標を定め自分を一歩々々それに近づかしむべし努力せねばならぬ事と思ひます。抑然らば此等青年は如何なる事をなすべきでありませうか。各家庭の境遇により各人の能力の差異趣味の有無不適等によりその進路は多種多様でありませうが、然し各々自分に適する職業を選擇しそれによつてのみ自立し自己を益し社會生活を營む事が出来るものと思ひます。

我國に於ては明治維新迄は誰もが知る如く世職世襲であり嚴然たる士農工商の階級制度は賢愚不適を顧みず一律にこの階級の桎梏に數百年の間各々五十年の生涯を押し込めて、事物れかしと祈り文明を阻害し且武士の威權を恣にし太平の夢を貪つて居たのであります。一度封建制度は破れ明治維新の黎明は米艦の黒煙にホトホトと曙光を現はし、五ヶ條の御誓文に新政治の大理想は示され、自由民權の思想は朝野の風靡し憲法に據り居住及移住言論著作信教等の自由は認められ職業階級は崩壊し解放せられ茲に職業の自由を見るに至りました。此職業、轉業の自由は我々の生活範圍の擴大であり大きな喜びであります。轉往古を回顧し古人の生涯に對して現代の人生

内容の豊富さは他の物質文明の進歩と相俟つて幾許でありませう。昔時は自分の意志に依らずに各家により先天的に運命づけられた職業である以上は總てのものに、興味を覺れ生活快感を味ふ事は固より社會國家に貢献する事は比較的少少であつた事であろう。尤も農民國民の食糧生産者として士の直下に位置相當の地位を占めて居たといへ、それは單に強者の納米機關といふ意味に於てに過ぎなかつた事でありませう。かゝる職業の時代にはこれに對する觀念は餘りに宿命的であり沈滞した引摺られて行く弱者の仕方なしに生きる道であつた事でありませう。

現今では此職業の意義と學問上それの立場で定義をして居ます。經濟學では狭義の場合『一定の形式による財貨の獲得行為』といひ心理學上では『一定の形式を以てする心身の勞動なり』といひ教育上では『國民生活上に必要な活動を分業的に分担する事をいふ』とあります。それによつて活動資料を目的對象に心身の活動上にも道徳や環境の影響によつて異なる事はその顔の如くしと申します。人々個々獨特の性質體質は精神動勢に興味を有し得意とする人もありませう。肉體勞動に特殊の能力を有する人もありませう。或者は人々を統括して事業を經營する才能に長じた人もありませう。右は概括的に申したのですが尙これも分美すれば幾多の種類を生ずる事であろう。

されば先づ各人の心身に内在する特質をして興味を感じ努力を傾ける事が出來終生これに従事しやうとする決心の出來る職業が理想的のものでせう。併し年齢若く春秋に當り青年に於ては常識少く經驗や見聞の狭き往々空想的非現實的目標を定め大言雙語して空しく青年期を過す者も出來ませう。自分は相當に研究し進路を定めても無理解な父兄が只一時的の家の都合の爲めに福者樂の將來の光明を度外視し快々として福鳴しても財力豊ならざる爲め不運を天に叩きつ場合もありませう。併し父兄師長先輩子弟は共に力を盡しあつて適材適所に就かしむる様努力すると共に子弟は自己の定めんとし又は定められた職業に對しては他く迄努力を精進魂を打込んで、貴賤なしといふ職業の進化美化を計るべく雄々しく勇ましく精進すること發達たる意氣に富み人生の首途にある青年の自己を活かすと共に、生れ出た使命を果す所以であると思ひます。

運動部より

郡聯合青年團主催で来る十月十七日に野球庭球競技大會が行はれます、参加組數は一ヶ町村庭球は三組野球は一組づ、参加出來る事になりました、で西壩田青年團では豫選會を兼ねて九月廿七日に庭球大會を行ひました處、手塚支部が優勝しました。尙野球庭球會は十月十一日に舉行す事になりました。

郡聯合青年團主催の野球庭球競技會の出場選手は左の通り推薦されました。

庭球部

- 大 島 山下(義) 宮 澤
山下(忠) 横 山 黒 坂
山 尾

野球部

- 投捕 一 二三遊 左中右補々
大東山 齋金 青前春 横竹 東
庭 川 極 藤 澤 木 島 原 山 内 川

手塚支部通信

農繁期の休會も終つて九月二十日例會を

私の花



昨日つんで来た つばみのお花 何時咲いた きれいに咲いた

五つ咲けよ

床のくわびんに さしますから

ねこ

うちのこねこは ゆうべかへるに ぢやれつた

死んだ母さん

かへるの小便目に入つた 母ちゃんあらつておくれたら にやにや小屋へこんでつた

かあさん

かあさん 土の中にゐる

おれのてく

赤、黄、みどりや ならんでおどれ 赤、黄、みどりの 赤、黄、みどりの 赤、黄、みどりの 赤、黄、みどりの 赤、黄、みどりの

駐在巡查交代 本村駐在巡查池田金雄氏は本月一日附別所村に轉任、後任として川邊村より吉江信氏來村、就任した。

自十一月十日

勤 儉 週 間

勤 儉 週 間 爲 の 國 爲 の 身 は 儉 勤

至十一月十六日

◆秋燈漫言

秀 三

現代の人間はいろいろな苦痛と煩悶とを背負つてゐる。そしてあるものは此の悩みの中に如何に生きようかと苦しむかある者はその痛々しきより逃避するより外あるまいと考へるに到る吾等は此の迷路に立つてゐる。

◆我々は人間と生れた以上正しく強く何物にも眞裸体で打つかつてゆかねばならぬ何故生れたかという様な論理的過誤に陥ることなく只人間としてどこ迄も人間らしく進んでゆかねばならない。

◆喜ぶもよい。悲しむもよい。泣くも笑ふもよい。涙と悦と淋しさと凡てをそのまま請入れるだけの熱情が豊かであつて欲しい。

◆超越して独自の境を開くは固より望ましい所だが全く浮世を捨て、了つてはならない。自己を確立すると共に誤らざる自

役場より

◆村會開會

十月二十八日午前九時より役場内に村會を開き左記の件を議決致しました。

記

一、本年度本村歳入出豫算追加更正の件歳出に於て中壠田村外四ヶ村學校組合費本村負担分參千貳拾六圓及び國勢調査費百貳拾圓を追加更正致しました。

二、村稅戶數割附加稅追加賦課徵收の件前記歳出を補填する爲雜收入に於て追加するに共計戶數割附加稅を縣稅一圓につき金八錢宛十二月二十日限り賦課徵收することになりました。

三、寄附金増額承認の件

府縣道別所九子線中大正十五年度施行本村地籍改修工事費の中へ全額の六割迄寄附するの件を承認することになりました。

一、縣稅戶數割隨時決議の件

己を浮世の中に放置して正しく強くつかしき人間味の絶頂にまで浸透せしめなければならぬ。

◆此の思索の過程によつて自ら別種の宗教が生れる。哲學が生れる。文學が生れる。

◆我々は更に政治について考へる。これについても我々の深刻なる考察と嚴正なる批判とを誤つてはならない。

◆專政々治より立憲政治になつた。立憲政治といふ言葉が民衆政治に代つた。が而し昔も今も與望を民衆に失つてはならないといふ事實には相違がない。只民衆自身の自覺の上に差異あるのみだ。

◆曲りなりにも政黨政治にまで歩んで來た今日最も慎重に考へなくてはならないのが民衆だ。政黨屋でなくして我々自身だ。政權を目的の投機師でなくして利害に直面する一般國民だ。

◆四月以降戶數割の納稅義務發生したるもの二名につき左記の通り其の納額を決議致しました。

決議年額	全上納額	氏名
六、〇〇	三、〇〇	廣田公男
四、四	二、二	小島源藏

◆縣會議員選舉人名簿

九月十五日現在により調製したる縣會議員選舉人名簿は既報の通り十月二十日より十五日間關係者の縦覧に供し十二月十五日を以て確定名簿となるのでありますが今年昨年より有権者が十人殖へて五百十二人でありました。

◆會 人

◆送迎會。池田巡査を別所村に送り、吉江巡査を迎へたにつき十月五日日本村役場内に送迎會を開いた。村議總代其他有志四

何ごでも塗りかへられることを忘れてはいけぬ。此をよく看視するのが即ち民衆の緊要なる權利であり責任である。

◆政黨屋は此に地盤といふ安全地帯を設ける。そして民衆に眼がくしをして好きな様に引張り廻す。ピスケット欲しさに目隠しをせられたり甘い口車に乗せられて連れ込まれたりする。憐れにも眼の自由を奪はれた彼等は盲信盲従だ。其で政黨屋は與望を得たといひ政權を得たと言ふ

◆我々はいつまでも眼隠しの不自由にあるべきではない。我々是我々の權利と責任とのあるところに立脚して我々の權利を誤らず我々の責任を全うすべく奮起しなくてはならない。

◆我々は何れの政黨にも入つてはならない我々は好んで眼隠しをされる必要は更がないのだ。即ち民衆をして政黨の政策とその實行の跡を審議して朝に居ると野に居るとの別なく自らの立脚点から自由に嚴正なる批判を下し我々の信する所に

十餘名出席。

◆縣參事會員來村。府縣道別所九子線來年度工事施行個所視察の爲十月二十六日篠崎瀬戸の兩縣參事會員來村。

◆竹下助役、西澤茂一郎兩氏は養蠶組合懇談會出席の爲十月二十四日下伊那郡飯田町へ出張二十八日飯田。

◆川西兒童健康相談所。設置趣旨宣傳の爲十月二十一日川西病院組合長及石井醫學士來村。各婦人會幹部役場に參集して相談所の内容巡回回診等の件につき一般に趣旨徹底方を協議した。

◆甲子橋。まだ未完成であつた村道前山線甲子橋は十月中旬より再工事起し下旬に完成した。

◆六川校長、十月二十八日上田驛發にて松本横須賀、霞ヶ浦等の軍隊慰門の爲出立十一月三日飯村の豫定。

進まなくてはならぬ。さうする事によつて我々の權利を愛し我々の責任を重んずる力と勇氣とを保持しなくてはならない

◆若し民衆が凡て政黨に籍を置いた曉には其處に選舉の必要は更に認められないではあるまいか。一々入黨を登録してその大多數なる政黨がいつも政權を縦にしたなら我々は本統にデク人形だ。眞に政黨を極めて入黨するなら領かる、節もあるが只政黨といふ概念に捕はれて出處進退することは何といふ愚かだ。

◆大衆政治といふも民本政治といふも要は民衆自身の爲だ。後來は知らず現在の文化の程度に於ては或る点迄は英雄主義と專政主義とを容認せぬ譯にはいかない。我々の團結の爲に我々の選出した人については許容し得る範圍に於て自由に其の手腕を發揮せしめるだけの寛恕と大量とを持たなければならぬと思ふ。

◆國稅相談デー

◆上田稅務署應接室に於て
◆毎月第二日曜日を期して

納稅は直接に私共の經濟生活に影響するものでありまして「稅務の民衆化」は常に高唱されてゐる處でありますけれども稅法及唱の申告手續不明の爲に思はざる損害を招いたり、不平を洩らしたりすることがあります。政府ではこれを甚だ遺憾として先年稅務監督局に國稅相談所を設置致しました。之が徹底を計るには尙多多くの相談所を設置するを良として今回上田稅務署にも該相談所を設置されました。毎月第二日曜日の午前九時から午後四時迄國稅全般に涉り相談に應ずると云ひます。所得稅、營業稅、相続稅、其の他稅金のことで不服の方やわからぬことのある方は御遠慮なくお出掛けになつて理解ある納稅をされる様御勧めします。

支部通信

東前山支部通信

見學旅行。十月十二日出發方面へ旅行した。下高井地方の異つた風物に接して一行は大いに得る處があつた。一泊して歸途は河東線松代に下車。象山の遺跡を尋ねた。道路修理。年中行事の里道修理は十月初旬執行全部終了した。

住宅改善組合設立。藤の木に於て今回住宅改善組合が設立された。大正十五年度より向ふ五ヶ年間に亘つて組合員協力して住宅の改善をなす山。

十人支部通信

下村農事組合共同作業。まいに抜根機を購入し向稻麥機を購入して組合総出で共同作業を行へ其業績を上げた。

祝賀茶話會。常支部では天長祝日當夜祝賀茶話會を開き互に意見の交換をなし十時半散會した。

西前山通信

今度私共の部落に處女會が生れました。健全なる發育を祈つて止みません。

事務所前にピンポン臺を設置して秋の長夜のつれづれに盛に技を練つて居ります。農村娯樂には適はしいと思ひます。

十月六日午前七時出發長野市に見學旅行

カメラマン

カメラマンも大勢あるから中には真に下手なのがあつてたまふ方が、若くは若く出て本統に因る。時世の進運に伴へて本統に因る。時世の進運に伴へて本統に因る。時世の進運に伴へて本統に因る。

山梨縣では今度女教員にも校長の免状を與へることに。その第一回に三名の女の校長先生が出来た。女教員万歳。

飲んだ迄はよかつたが歸りに靴を間違へて後から下男に追駈けられた。役場のお役人に少女課笑論者ごだけ御報告上げました。この夏若槻内務大臣警視廳を視察して遺失物の山を見

を致しました。縣立農事試験場信濃毎日新聞社、縣立工業學校等を見學。長野市一泊翌七日は上山田温泉に一日の清遊を試み夕刻無事歸りました。

手塚支部通信

青年會の旅行。青年會では十月六日河東鐵道によつて瀧温泉方面へ旅行した同所に一泊して翌日は豊野を経て長野市に到り善光寺に參詣した。當地で樋口岩人君の好意を受けそれより信濃毎日新聞社を參觀し歸途につき午後七時上田驛で散會した。一行二十名。

眞綿講習會。婦人會では十月十日より一週間樋口會長宅にて眞綿講習會を開催した。講習員四十名によつて美しい眞綿が澤山作られた。十六日茶話會を催し時節柄お芋お菓子で景氣を副へ盛會であつた。講師は金澤さきみ氏。

地蔵尊大祭

昨年の大早魘に靈驗あらたかであつた地蔵尊の大祭は十月十五日盛大に行はれた。餘興として山車、子供角力、花火大島一座の芝居で手塚未曾有の人数があつた。

十一月の納税

金千八百五十四圓四錢 畑租地租第二期分
金六百四十九圓五錢 所得稅第二期分
金六百四十九圓五錢 營業稅後半期分
金六百四十九圓五錢 縣稅戶數額
金六百四十九圓五錢 縣稅地租附加稅
金六百四十九圓五錢 縣稅營業稅附加稅
納稅日 十一月二十六日

青年修養講習會

郡聯合青年團では例年の通り郡下青年の智徳の向上に資して青年團体の振興を圖る目的を以て左記に依り青年修養講習會を開催することになった。本村からも講習員正員四名補充員一名を詮衝して出席せしめる筈である。

十一月十九日より二十五日迄六日間會期 別所村常樂寺(共同宿泊受講) 講師 帝大教授 河合榮次郎氏 東京市政調査會員 諸間 驥一氏 文學士 高倉 輝氏 文學士 半田 孝海氏

運動部より

本團年中行事の野球競技會は十月十一日小學校グラウンドに舉行されました。各部落チームは必勝を期して奮戦しましたが左の通り結果でありました。尚日没の爲め優勝戰は延期されました。

- 一回戰 山田 西前山 東前山 手塚
- 二回戰 新町 野倉
- 三回戰 東前山 新町 山田不戰
- 優勝戰 山田 東前山

小縣青年野球競技會第二回大會は十月二十五日に丸子農商學校庭で舉行されました。野球部では各地方で豫選して八チームの出場を見ました。本團野球部は川西の豫選で一回戰は青木チームを五對二で敗りましたが二回戰で強敵泉田チームに八對四で敗れ豫選に失格しました。

庭球部では各村三組づゝの出場の處本團からは左の三組が出場しました。(山下) (宮澤) (山下) (曲尾) (齊藤) (黒坂) (宮澤) (山下) (曲尾) (齊藤) (黒坂) (山下) (宮澤) (山下) (曲尾) (齊藤) (黒坂) (山下) (宮澤) (山下) (曲尾) (齊藤) (黒坂)

人物月旦

人物月旦といふても一々訪問して書く譯ではない。只頭の中に浮んだ人たちに於いて後先もなく文字通り牛の涎の様にペンの動くがまゝにまかせただけだ。當るも八卦當らぬも八卦。失禮の段は幾重にも御容赦、幸にうまいつたら拍手掲采を願ひます。

齋藤重太郎君 (一) 今春三度選ばれて村長となり縣下に名村長として其名が高いとすれば充分だらう。本年五十一歳の働き盛りの精力の絶倫なことは家庭には十人の父となり外には紅燈の巷に其名隆々たるを思へば驚くばかりだ。酒は除り用ないがあの短少なる躰軀を以て得意の伊那踊を踊るを見れば不思議に絶われない。ノドも美しく義太夫のくさりと語るころを聞けば村長には惜しい位だ。

朝は息よりも早く起きてコヤシかつともやれば喉も持つ。讀書も随分やらしい好景氣時代に出来た泡沫會社の整理に何万と投げ出したと言ふよだがそれが御氣の毒ではあるが名譽稅として當然負戦奮闘の結果準備優勝戦で壙尻の田澤、馬場に惜敗しました。

柿は凶作

昨年の早害を蒙つてか本年は全村に亘つて柿は凶作だ。十一月と云へば人家の間に赤く色附いた柿が平和の象徴の様に美しく見られるのが本村の特色であるのに今年そうした景色は見られない。秋の夜語りに柿く仕事も本年は少ない譯だ。

所感(一)

共同生活を於て其の一分子であつた我達は其の全体を愛し全体の改善に努むる責任がある事を知らねばならない。若しその一人が我儘勝手すれば他人も亦我儘勝手をすり互に我儘勝手を縦にして内省しない時に担すべきであるかも知れない。九牛の一毛にも及ばぬものだからさう看板に出すにも當らない譯だ。

いづれの銀行會社の重役等の片書も數へ切れぬほどあるが矢張君の全生命を打込むは政治方面だらう。今に雖伏してゐる。後に一氣呵成の希望もないではない。

性格が交際家肌に出上つてゐるに才氣喚醒み込みの早いことは驚くべきものである。而もこれが長所でもあり又短所である。見られて時に排難の轉を聞かぬでもない。

現在本村に人材多きが中に恐らく村長としては尤も適任であらう。外に君に並ぶ才物が時に見當らないことは村の爲に遺憾であるが仕方がない。万村長としていつ迄も其腕を奮ふてもらひたいが恐らく君のためには今期を以て大過なきに去つてもつと大舞臺に活躍するが得策かと思ふ。

那復誰となり従て其責任もいよ／＼大なる譯だ。希くは自重自愛自活の爲に益々奮闘を望んで止まない。

は社會の秩序は失ひ衝突は免れない。従つて我儘勝手は一見利己の様であつて、しかも他日苦痛の報を受ける事が免れないのである。能く共同生活の意義を解し社會の人の利益を侵さず内にはなす所をなして社會教育に目覺め、何事も理解にのみ進んで共同生活のため努力する所であつて始めて共同生活の一員となる事が出来るのである。

世には直権直行の人、すなわち自分の心に感じがある之れは大きい行をなして意にない人があつた。輕々な行をなして意にない事がある。偉りたい事があつても先ず忍耐を以て胸に手を置き其の事情を由來を憶りて發した後の結果を考へて置くべき價があつたら、いかるのである。五十錢の品物を一圓で買ひ入れる愚者はないけれども、いかる價のなきに、いかる者ははいくらもある。これ等は五十錢の品を一圓で買入れる人より愚を證して居ると思はれる。

小學校たより

天高く氣清い運動のシーズンを迎へては、恰ご全勢力を体育方面に向けました。快活な精神と健康なる身体の鍛練は運動其物に依つて得らるゝ事は申すまでもありません。

【庭球大會】九月二十日上田小縣教育會部會主催の庭球大會が開催されました。夏季からの猛練習によつて腕の鳴る各校の選手は何れも優勝を期待してゐたことせう。本校の選手小山大庭組は善戦奮闘最後の優勝戦まで戦ひましたが、壙川小學校のために惜敗しました。別所の大會に於て先に優勝し川西に覇を稱へた我が校が一舉にして全郡に於けるそれを期して居たのが残念でした。然し其の優秀は認められ我庭球史上に特筆すべきレコードを作つた事は喜ばしい事でした。

【野球大會】同じ主催の野球の大會は、九月廿七八の兩日上田市に於て舉行されました。集まるもの廿四チーム、本校は第一回戦に於て神川と仕合ひ善戦いたしました。五對四で敗れました。昨年度に於ける選手が無かつたため春からの練習振りに活氣の少なかつたのは、望み少ない原因の大きなものでした。亦一面それだけ來年度には期して待つべきものがあるうご信じます。

【修學旅行】年中行事の中で最も兒童の樂しみにしてゐる修學旅行は十月月上旬に舉行しました。

第一、二 別所、野倉、郷土の野倉を知らぬ者が少くありませんのは遺憾です。引卒の先生の中にも始めての方があつて大變感に入られた様子でした。桃源郷にも似た野倉の自然に。

尋三、四 田澤温泉

尋五、六 碓氷及妙義山

子供の不思議は先づ停車場の噴壺から始まる。蒟蒻、陸稻、黍、棕呂、芭蕉など初めての子等多く驚異の眼は、やがて百聞一見に如かざる眞知となる。

第二石門から大砲岩までの險難は震へ

上つた者もありましたが其の岩上が奇若の屹立を眺めた時は等して快哉を叫ばずには居られませんでした。

高一、二 諏訪松本方面

三泊四日の長旅行で、保福寺、和田等の大峠を越ゆるで天候が氣遣はれましたが、昨年度徹頭徹尾雨に遭遇したのに引換へ今年は晴則な日で、湖の夕映やアルプスの英姿に欽慕奮躍したものがあつたせう。

【旅費と小使錢に就いて】

一時に多額の費用を要し爲に折角の旅行に参加する事が出来ない者が假令ざれどもあるとすれば甚だ遺憾であり、然らざる者でも一時の支出は快よしとしない故、旅行貯金として毎月貯蓄をし之れに充つること、せば如何にやと思ふ。貯金は大切である然し消費を考ふるは更に必要である。消費經濟に對する知識と心構を比較的開却した過去の社會と教育とは大いに隔て直さねばならぬ。今年度の小使錢の使途を調査すると、個々には個人的の趣味や金錢使用に對する態度が現はれ、家庭に於ける様子もその見ゆ。之を総合すれば統計的に兒童の經濟的生活態度を察知する事が出き參考される点が少くない。

調査人員尋五、七十八人。尋六、六十四人。高二、三十八人。

学年	平均	最高	最低
尋一	107.1	100.0	114.1
尋二	107.1	100.0	114.1
尋三	107.1	100.0	114.1
尋四	107.1	100.0	114.1
尋五	107.1	100.0	114.1
尋六	107.1	100.0	114.1
尋七	107.1	100.0	114.1

【記念運動會】本校々舎新築満十周年に當り第十回の校庭運動會が開催された。有志者の寄附によつて青空に万国旗は翻り

綱引の競技は一場の光彩を添へた。七十餘番の競技は走馬燈の様に展開されて、綱引や棒倒しに力こぶを入れた觀衆は、白虎隊や荒城の月に嚴肅なシーンを味はされた。女神の山に陽が没する頃、万歳と共に閉會は告げられました。

十周年の記念に當り特に金品を寄贈された有志の芳名を摘録して感謝の意を表する次第です。

- 小池徳右衛門殿
- 大口 武平殿
- 小池堅次郎殿
- 武田助左門殿
- 春原 義勇殿
- 大口 金平殿
- 小山 久士殿
- 竹内喜右門殿
- 宮澤 勝彌殿
- 齋藤 洋爾殿
- 和方 平吉殿
- 瀧澤 一三殿
- 宮澤 多殿
- 小池五郎作殿
- 瀧澤 清松殿
- 石川藤太郎殿
- 中島 榮知殿
- 山極 周平殿
- 樋口 勇殿
- 竹内 武内殿
- 宮澤 八十八殿
- 宮澤 聖八郎殿
- 齋藤 重太郎殿
- 佐藤 高紹殿
- 竹内 頼母殿
- 齋原 佐與松殿

歩みませう

歩み得るだけ歩みませう
 爺を振つてたはれるまでも
 善に向つて歩みませう

一点を見つめて雨だれ石の如く
 青年期は第二の誕生日やありませんか
 幸此の期に有る我々は修養に盡善に最善の努力が肝要です、何者にも成り得ること言ふ可能性を自由自在に統制し得るの特権があるのです、お互に此の特権を認識此の特権を尊重して逡巡せずに歩みませう

蟬りなく誠心に凝固つた猛進しませう
 朱に交はれば赤くなる
 惡に染らず善を選びませう
 此の世の中は自分の都合のよいものは善とし然らざるものを惡なりと指定する傾向があると思はれるでせう、元來善惡な

艦内生活 宮澤 生

黒坂環一郎殿

総員起床の喇叭は喧しく吹奏され早朝の静寂も瞬間に破れ續いて釣床納め終つて休息する。その列前寒風身を切る朝も、暑い、汗玉の流る時も一層の元氣は身体に呼び起すには居られぬ、況んや「甲板」を持つ手には堅い、日本海軍魂は握られる……

甲板掃除は三十分以内にして四邊の汚塵、甲板も見る中に鏡の如き色艶と化し、寒さを厭はす暑さを厭はず元氣よく且つ又心愉快に努力した各分隊員の努力を美しく物語つてゐる様に思はれる、總て朝食の食事も甲板掃除にて十分腹を空らした甲斐あつておいしく進む、食後の休憩も煙草盆や破廊

のものは自己以外に或る標準ありて此の標準に照し見て兩者の判断がつくのです
 眞直なる杖も水中にては曲りて見ゆ
 誰人も悪口を言はれると一時に怒り氣持はしない辨解心の起るのは人情であるのです
 併し神の言葉であるご我身の反省が肝要である

青年には魂の花があるやないか
 然るに大半は死骸に冠冠を着せたりやな事を喜び羨やんで居る空しからずや我等青年は血の出るものでなくてはならぬ歩みませう焦らず

百難を排し萬難を凌いで
 事業に對して満空の熱心と誠意を捧げて
 其の事業と共に艶れん覺悟で
 此所に初めて青年の誇るべき魂の花があるやないでせうか。

(一九二五、一九、一六)

内の周圍にて稜々と雑談に與じ七時三十分より、居住甲板掃除から、武器手入及び金物磨き、次から「ご行はれるのである終つて各分隊の手前課業と水兵分隊は水兵に關する事と主計科は主計科機關科は機關科と看護兵は看護の事と船醫兵は船醫科と軍樂科は軍樂と各配置訓練及び教育其他諸々の訓練作業に就き十一時三十分には課業止めに對して食事となる、各卓にては級の下の兵隊が皆な食事用意して、揃つて破顔満々たる内に圍れるのである、食後は一時間の休憩にて書前の勞苦を慰安する爲に涼い風に吹かれつゝ休み又は自分の自由自在な事をして休む、午後一時十五分より課業を終つて時で殊に軍隊の事として休憩も時業も確實に勵行されるが、馴れると最も愉快になる、斯くして夕食となると同時に入浴

上陸の喇叭は物凄く耳に聞ゆる、各自の心は舞ふのである、我々艦内生活して一日千秋の思で期待して上陸用意に急ぐ、勿論上陸番だけであるが四時四十五分にて「タンテイ」にて上陸して、各人の下宿に歸つて翌朝の朝食迄に歸郷する事になつてゐるのである若し時刻を切る時は時間に對する罰に處す事になつてゐるのである。

上陸番が行くと殘員は又別科の位置に整列して三十分ばかり別科を行行終つて一日の課業は終る事になるが、嚴肅なる軍規の許に發動する軍隊生活も、日曜公暇日には艦長より父下は一兵卒に至る一團となり、恰も我が父子の様になり與ひ擊刺相撲と相親む時誰か協同一致報國の痛快を感じぬものがあらうか、斯の如き生活に依り、陸下の股肱たるの實を擧げて、名譽ある軍人たることを、理解し意識ある報國の任務は遂げられるのである。

◆燈下親しむべき候みな様の御勉強を願ひます
 ◆時報原稿も一層着て御投稿を願ひます
 ◆今月は印刷所へ送稿後三三到着しました
 ◆が次號へ廻しますから御承知を願ひます
 ◆もう直にお正月となりませう……

◎編輯室より

◆燈下親しむべき候みな様の御勉強を願ひます
 ◆時報原稿も一層着て御投稿を願ひます
 ◆今月は印刷所へ送稿後三三到着しました
 ◆が次號へ廻しますから御承知を願ひます
 ◆もう直にお正月となりませう……

西墟田時報

號五廿第

日一月一年四十四大
號三金行
號三金行

大正十四年七月廿五日印刷
大正十四年十二月一日發行
發行所 西田時報編輯部
印刷所 西田時報印刷部

放送電話 (二)

市村 覺 一

そしてこのでも受信機(これは後で申上げます)に振動電流を以て流れ込み受話器(レシーヴァ)に通じて同じ音や聲になるのです。電流が一万回以上交互に振動すること振動電流と云ふことは御存じのことへびます。今電流を一秒間に百万回振動させて見ると、電氣の波が百万回振動した。その百万の波の波の速力三億米を除去した答三億米。それはいふまでもなくこの百万といふ波の一つの長さであることは尋常小學生でも分る筈です。この波の長さを電波長、昇して波長といふてゐます。

◆今度日本で許された波長は、長距離用三百五十米乃至四百米、短距離用二百五十米から三百五十米と限定されてゐます。

歳末之辞

今年も、もう残り僅かとなりました。来る年も又来る年も今年こそと言ふ大きな意氣込を以て歩いて来たにもかかはらず、いよいよ総練定の時期となつて見ますと思ふこの半も遙し得なかつたのは何といふ淋しさでせう。

親戚知己の中に思はぬ不幸を見出された人、將來に希望を断たねばならなかつた人、人毎に内容の相違はあるものゝ、何れかの形に於て何程かの悲しみを持たれなかつた人は恐らくありますまい。

けれども私共はこれから先いつまでも

早い振動電流では、受話器の振動板は動き切れるものでない、たとへ動くとしてもそんなに速い振動は人間の耳には聞けない。そこでいろいろ研究されて検波器(デテクター)といふものが発見された。それは磁石ですが、これに振動電流を通すと、電波の山のごころが、谷のごころしか通さぬといふ便利な物です、だから流石の振動電流もこれにはへこたれて整流されてしまふ。こうなればもう、しめたものだ、受話器の振動板は幾々と振動するから人間の鼓膜も振動する。そこで始めて話や音楽が聞けるから、人間様は、コッパ不思議だぞ仰しやる、平たくいへば電波が音波をかつたらう役目をするのが検波器であるといふてもさうしつつかへない。検波器として磁石を使ふから、これを磁石検波器(クリスタルデテクター)と呼んでゐます。

◆然しこの磁石検波器では、電波にオンブをしてゐる音波がすつかり、かつさらつてしまふわけに行かぬので、百哩二百哩と遠くなるご用事がたりない、そこで完全に音波を一つのこらす、さらに取らうといふのが真空管(ヴァキュームチューブ)で、これに依るご始んど全く整流される。つまり音波が全部さられるから、感度が頗る鋭敏になるわけだ。真空管を検波器として用ふるの、真空管検波機といつてゐます。

うなもが出来る

◆これが又厄介なもので、磁石や真空管一節を用ひただけの受話機では、お役に立たぬといふので、大抵一名増幅器アンプリファイヤーといふものが出来上つた。こいつを使ふと五六十倍にもなつて素敵ない大聲をまくしたて、くれる。とに角隅太い、F偉い大きな聲を張りあげてはくが「ヒナガハ、シナガハ……山の手線のかへ」なんてヒカシだかさつぱり分らぬ受話器で聞けば、まことに立派なリズムも増幅器にかけたら、おじやんだ。

◆まだ右の如ふに研究の余地がごつかりと残つてゐます、お互の爲めに研究したいものです。ごもごもに、何もなしで聞けるやうに。

◆以上で簡単な(ほんごうにザットした)無線電話の原理は終ります。(一四、八、一)

雀追決算報告

手塚長畑

一、総反別 壹万九千七百坪
一、期間 自九月一日至十月四日三十日間
総額 一四、四六五 (一) 壹万四千二百
内訳 七、九四〇 火薬一、二百卅四
三、〇〇〇 雷管千ヶ
六、七五 發火金四百五十
四、〇〇 石油罐二ヶ
六、〇〇 紙代
一、八〇〇 銃砲修繕料三回分
内譯 一四、七七五 百坪當り七錢厘宛
收入總額 一五、二七五
一、八〇〇 紙代
六、〇〇 銃砲修繕料三回分
内譯 一四、七七五 百坪當り七錢厘宛
收入總額 一五、二七五
一、八〇〇 紙代
六、〇〇 銃砲修繕料三回分
内譯 一四、七七五 百坪當り七錢厘宛
收入總額 一五、二七五

イヌカの嘴

警察署が新築されたといふので金十圓の寄附を仰付かつて公會堂の夜會に招待された。花火が上がる。藝者が二百人も来て御酌をしてくれる。名譽なことだ。

政治は「まづこのことだ。だから御祭り騒ぎをするのが當り前だ。

◆當り前のことでも氣になるが、當り前のことで氣にならないのが展覽會だ。

◆人が立派に着飾つて歩くのを見ると腹を立てる男がある。自分も欲しがつて御ふくろ様におだる娘がある。けれども暫らく待ちたま。

◆千両役者を見るには大枚の御金が入る。只で見ると誰がどうしたつて損のたつ譯ではないのだ。通り一遍の見世物だと思つて心を沈めたがよからうせ。

◆青年の軍事教育に結構。只その方策を誤つたら寧ろやらない方がよい。教育と言ふ語は實に立派だ。只よき教育家を得なかつたら寧ろ誘惑と言ふべきだ。

◆これにしても我村に良い圖書館を欲しいと思ふ。良い書籍は必ず良い人を造るに相違ない。中田の様に、浦里の様に村營の圖書館を持つ村を羨ましく思ふ。それかあらぬか本村の青年間にも何等かの準備があるご聞か。村當局者並に村民各位の熱誠なる賛同を得たら、獨り青年の喜びのみではない。必ずや本村文化諸施設の上に貢献するごころが大であらうご信する。

郡農會主催品評會に付て

去月二十九日三十日の兩日に渡り本郡農會主催品評會を上田市公會堂に開催された。當日は畠界諸名士の新研究談があつた。因に本村の出品は左の三点である。

桑苗木
改良鼠返 宮本養蠶組合
一ノ瀬 山田東組農事組合
鼠返 中塚口農事組合

役場欄

電話開通
電報に報告して置きました本村役場へ電

電話開通
電報に報告して置きました本村役場へ電
話架設の件は去る十一月六日より工事に着
手致しまして青年團の人手供給を受け十一
月十九日に其の工を終りました。二十日よ
り開通致しまして今ではチリン／＼と通話
が出来た様になつた譯であります。御使用
は隨意でありますから御用のおありの節は
御使ひ下さい。

尚電話番號は西塩田のニシ即ち別所二十
四番であります。

郵便局へ電話架設の件も其の筋々様々に交
渉を重ねて居りますから速からずこれ開
通の運びなることとせう。そうなること西
塩田も便利がよくなつて地方産業の發達上
お互ひに嬉びに堪へません。

今月の納税

村税戸別割進分
村税第四期普通納税割
納税日 二十日

村會招集

十一月二十八日午前九時より役場内に村
會を招集して左記の件を決議致しました。

- 一、川西傳染病院組合會議員選舉の件
選舉の結果 齊藤 市太郎
瀧澤 清松
宮澤 久三郎
一、本村歳入増進加豫算の件
一、實業補習學校廢止の件

兒童健康相談

十一月十六日は既報の通り川西傳染病院
の石井醫學士が兒童の健康相談に預る爲本
村に巡回されました。役場に於て各々其の相
談に應せられました。當日來場されました
兒童の数は三十六名でありまして色々兒童
健康上について教へられました。

各村ともこの施設については其の効果の
大なるを嬉んで居ります。故兒童を持たれる
父兄は其の都度御出陣の上相談に應じて下

さい。
尙本村巡回は毎月十六日午後二時より同
四時迄でありまして診察を受けるものは初
生兒より學齡期迄の兒童であります。

村誌編纂

村誌編纂の事業は實に容易の仕事ではあ
りません。故今春以來小山主任を始めとして
各委員が熱心に様々の調査をして稍々完成
の域に進みましたが、愈々脱稿するまで
には尙幾多の月日を要することとあります。
十一月に這入つてからは編纂室はめつきり
活氣付きました。宮澤委員を筆頭に樋口勇、
山極博人の兩補助委員が詰めてきつて色々
調査を進めてゐます。小山主任も時々來村
されて種々の打合せをされること共に各種の
調査を各部落の委員に委嘱されて行かれま
す。

大字惣代會

十一月七日役場内に大字惣代會を開き左
記の件を協議致しました。

- 一、秋休み期日に關する件
十一月十日 十一日の兩日に決定
一、村史編纂資料に關する件
十一月十日 十一日の兩日に決定
一、道路當時修繕に關する件
その他

社參向

- 十一月二十五日の新嘗祭に各神社に參向
されたのは左の通りであります。
神社名 供進使 隨行員
郷社鹽野神社 阿蘇新郡長 齋藤村長
郷社八幡社 齊藤村長 黒坂書記
郷社水上神社 竹内助役 荒井書記
郷社山出神社 竹下助役 金澤書記
郷社王子神社 齋藤村長 黒坂書記
郷社皇子社 金澤書記

入營兵壯行會

別報本年度入營兵士の壯行會は十一月二
十八日午後一時より本村小學校に開會致し
ました。參會せるもの二百餘名、兵役優待

會長齋藤重太郎氏の開會の辭について六川
小學校長、佐藤分會長の壯行の辭あり入營
兵士を代表して大庭久實氏の謝辭がありま
して午後四時半盛會裡に閉會致しました。

川西事務研究會

十一月十六日浦里村役場内に川西役場事
務研究會が開かれました。本村からは竹下
助役、樋口收入役、黒坂金澤兩書記の四人
出席致しました。研究項目は土地、土木、會
計、稅務、徵稅の五科目で縣稅戶數制課課方
法について、道路認定上の諸問題につい
て議論の花が咲きました。

兵事雜報

○左の諸士は演習召集の爲め十二月三日午
前八時各入營を命せられ三週間軍隊教育を
受ける筈
騎上 内田文彌 歩一 小林珠喜
步上 吉池二樹男 砲一 安藤鶴喜
步一 吉池 要 砲二 宮越常太郎
步一 兒玉彦助 歩一 竹下義太夫

○本年徵集兵にして現役兵證書を交付せら
れし者は左の通りにて内騎兵第二十七聯隊
及騎重兵第十四大隊へ入營する者は十一月
下旬郷里を出發した。
近歩三 小松義公 戰戰團八小松晴男
少五〇 大庭久實 騎十八 瀧澤福次郎
全 竹下才人 騎十三 兒玉光昭
全 福田 勝 騎十七 小宮山源一
全 嶺高輪 西洋大覺

○大正十五年徵兵適齡に當る者は明治三十
八年十二月二日より明治三十九年十二月一
日の出生者にして右に該當する家族を有
する各戸主は同年一月中に徵兵適齡届を村
長に差し出す事になつて居ます。今役場に於
て調査せる處によること左記四十八名です。

- 佐藤 吳 齊藤勝夫 小林 薫
黒坂 清 小出清己 小松 清
木下 幸 安藤忠雄 吉田信夫
小松清吾 柳澤尙士 和田正人
若林孝男 宮澤宗良 白倉高木
松井清吉 宮澤清春 西澤又八郎

小池 豊 日向永次郎 曲尾守次
荒井久三郎 金澤富平 市村 駿
市村儀市郎 山極越海 大口勇次郎
横山孫太郎 中澤農夫兒 大島司馬
黒坂左京 小島海作 倉澤川次郎
福田英雄 會津三好 福田真澄
成田三郎 前島雄之助 中村康明
竹内清之 竹内實治 竹内衛佐雄
竹下壽雄 竹内義市 竹下新市
確井 弘 瀧澤福次郎 保科正春

會人

●國調紀念攝影 十月一日施行した國勢調
査を紀念する爲十一月二十二日本村内國
勢調査員は役場に於て紀念攝影をした。
●縣道測量 來年度工事を施行すべき縣道
別所九子線本村内新前橋以東の豫定地測
置は十一月十四日の兩日縣技手出張の上
施行した。

●青年團理事齋藤清人氏は來る十二月十一
日華燭の典を擧げられる由
●縣有林掃除に關する入札は十一月十
八日現場に於て施行

塩田五ヶ村農産物品評會

塩田五ヶ村聯合農會主催第二回農産物品
評會は十一月廿一日より三日間東鹽田小學
校に開會された。本村よりの出品は百餘点
に上つた。二十三日午後一時より全校内に
審査講評があり審査長井上技手は各細目に
互つて審査經過を述べ百三十余名の入賞者
に對して賞狀の授與をした。終つて懇談會
にうつり各入賞者の實験談並に臨席の縣農
會渡邊技師の農耕作共同經營に就いて講演
があつて閉會した。

青年修養講習會

豫て報告して置いた小縣郡聯合青年團主催
青年修養講習會は一日繰延べ十月二十日よ
り六日間別所村常樂寺に開會された。
本村よりの出席者は左記の通り

- 黒坂 邦一郎 宮澤 茂士
竹下 照司 吉田 信夫
平山 武男
尚講師の中務問一先生は都合により變
更されて立教大學專修大學教授河西太一
瀧先生が見られた。

婦人會員の見學

婦人會にては去月十四日午前八時半五加
電車停留所出發にて六川會を始めた。七十八
名の會員にて見學に上川へ參りました。
午前には蠶絲專門學校へ行き多數の爲め二
組に分れ本村出身の樋口助教授其他の案内
で養蠶製絲紡績の各部の見學全校で素食を
し午後は針線校長に農村の婦女主婦に對し
ての適切な御講話をお聴きし尙人造絹糸と
天然絹糸水綿との交雜織入組のメリヤス等
種々珍らしいものを見せて戴き辭去して染
織講習所へ參り全所の講習一般のお話をき
く機織工場へ入り終羽二重其他を織る實況
を見赤絹糸の實際を見尙染色に就いての
色々のお話やクレオン染の方法等具々に
教はり辭去して公會堂へ行き眼下の小縣平
原を展望して夕刻歸りました。

和歌

手拭なかく緒へはらまきしゆるまの民の心
見はけり
蕪蕪り語るさ、めのがははは世に死の人に
らじこそ思ふ
おのが身をかりにがして世の中の道な清よむ
え竹節かな

鹽田公民學校の開校

十月六日地鎮祭を行った鹽田公民學校の工事は其後進捗を急ぎ十一月一杯には竣工し十二月一日落成式に併せ始業式を行ふ事になりました。當日は五ヶ村組合の男女生全部登校盛大に式を行ふ事になりました。五ヶ村の以前の實業補習學校を合したたて専任教員六名女九名屬託員男女三十八名合計五十三名の大きな組織の學校となりました。鹽田文化の爲めに一段の活躍が出来る事と思ひます。

小縣郡鹽田公民學校學則

- 第一章 總則
第一條 本校ハ小縣郡鹽田公民學校ト稱ス
第二條 本校ハ小學校ノ教科ヲ幸ヘタルモノニ對シ小學校ノ教育ヲ擴充シ公民的教化ヲ施シ實業ニ關スル知識技能ヲ得セシメ健全ナル國民ヲ養成スルヲ以テ本旨トス
第三條 本校ノ課程ヲ分テテ前期後期高等科トス
第四條 第二章 修業年限學年學期
本校ノ修業年限ハ前期二ヶ年後期三ヶ年 高等科一ヶ年以上トス
第五條 本校ノ學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
第六條 學年ヲ學習期 實習期ノ二學期ニ分ツ
第七條 學習期四月及十二月 翌年三月迄(學校)
實習期五月十一月迄 (家庭)
高等科ハ主トシテ科目制トシ學期ノ區分ヲナサズ
第三章 教授時數及時刻
第七條 本校ノ授時數及時刻ヲ定ムルコト左ノ如シ
學習期 男子四百五十時間以上 女子四百九十時間以上 全右
實習期 巡回指導
高等科 隨時指導
第四章 休業日及儀式
第八條 本校ノ休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ
第九條 大祭日 一、祝日 一、日曜
一、年末年始休業 自十二月二十五日 翌年未休業 一週間
一、組合村々社例祭
一、本校ノ儀式左ノ如シ
一、始業式
一、修卒業證書授與式
一、創立記念式
第五章 教科目及教科課程
第十條 本校ノ教科ヲ定ムルコト左ノ如シ
男子 修身、國語、數學、農業、木工科、理科、地理、歴史、公民科、体操
女子 修身、國語、數學、農業、木工科、理科、唱歌、体操、家事、裁縫、作法
高等科 任意ノ科目ニテ指導ス
第十一條 各科教授課程及毎學年教授時數ハ別表ニヨル 但其ノ他必要ナル特殊事項ハ隨時講習ニヨリ之ヲ授ク
第六章 入學退學
第十二條 本校ノ入學期ハ毎學年ノ始メトス
第十三條 本ノ入學資格左ノ如シ
前期一學年 尋常小學校卒業者
後期一學年 前期修了者高等小學校卒業者及之ニ準スルモノ
入學志願者ハ親權者又ハ後見人ヨリ別記様式ニヨル願書ヲ差出ス
退學セントスルモノハ其ノ事由ヲ具シ學校長ニ届出ツヘシ
第七章 卒業
第十四條 本校生徒ハ修卒業ハ出席時數ヲ參酌シ卒業ノ學業操行ヲ考査シ學校長之ヲ決定ス
第十五條 修了卒業證書ハ別記様式ニヨリ學校長之ヲ授與ス
第八章 賞罰
第十六條 本校生徒ニシテ品行方正學業ニ勉勵シ其他他ノ模範タルト認メタル時ハ表彰スルニシテ生徒タルノ本分ニ悖リ又ハ他ノ妨害タル行爲アリタ

第一號表

Table with columns for subject (科目), year (年), and time (時數). Rows include Arithmetic (算術), Japanese (國語), and Physical Education (修身).

第二號表

Table with columns for subject (科目), year (年), and time (時數). Rows include Agriculture (農業), Music (唱歌), and Sewing (裁縫).

第三號表

Table with columns for subject (科目), year (年), and time (時數). Rows include Mathematics (數學), Japanese (國語), and Practical Education (實業).

講習會雜感
十一月二十日 雨のシヨボクノ降る常葉寺に郡下百十餘名の講習生は集まつたのであります。若人の協同生活——一堂に會して製食を共にし共に講習を受ける、私達は恐ろしく思ひます。
每日の時間割は午前五時半起床、直ちに體操、それから七時半迄に入浴をし朝食を攝るのであります。八時からは講座に這入りまして十一時半迄講義を聞き、晝食後は一時より三時半迄講義がありまして後は自由時間に入浴をしたり散歩をしたり致し自由毎勉研究會或ひは茶話會課外講演等があつて仲々忙しうございませぬ。

今日高倉先生の講演がありました。ユ一モアに富んだ講演で倦くことを知らずに聴くことが出来たこと。私は講演が大嫌いでメツタに出たことがありませんが今回は前園長宮下周さんに恐ろげなまでに引張り出された譯であります。ご背を笑はせたりしました。
朝の露は何時も氣持よく感じました。佛陀の光りが私達の頭上に浴せられ自ら清浄な天地に浴する様に感じました。散り行く紅葉に埋められた常葉寺に觀音様の温かいく恵まれた光に浴して講演を聴き、夜は研究會懇談會等に時を過す、各自の意見交換等も趣味多くして嬉しく勉強致して居ります。..... 竹下照司

信購組合より

十一月一日川西の産業組合事務担当者廿八名は郡役所宮澤主事補引率の下に東北部模範組合傍陽、本原南組合の事務視察をなしたり本組合より参名行けり。

十一月九日午前八時より役員會開會小林、佐藤、瀧澤、黒坂、齋藤、池田の監事は一日熱心に各帳簿に涉り詳細の監査をなし、翌十日附事業成績表を長野縣知事へ報告せり。

十一月十五日には東北部長村、傍陽村、本原村、神村、の四組合より中壠田組合と西壠田組合とを視察に來れり本組合へは午後一時より午後三時半に涉り經營法事務法等に特色々々意見の交換をなしたり。

十月十四日十月廿一日現在本組合事業成績表を示せば次の如し聞以下省略

出資金 參六八〇〇圓
掃出資金 壹九八〇四圓
貯金總額 壹七六參五四圓
貸付金 參四七八八圓
預入金 壹參六七壹八圓
借入金 九參參〇圓
六九七九圓
全賣却高 八〇壹參九圓
組合員 六百十八人
一組合員平均貯金額 貳八九圓

十一月一日川西の産業組合事務担当者廿八名は郡役所宮澤主事補引率の下に東北部模範組合傍陽、本原南組合の事務視察をなしたり本組合より参名行けり。

運動部より

十一月二十九日から自治神宮外苑で舉行された神宮競技に本縣代表八百リレーに本村より小池茂氏が出場されました。

十一月十四日午後二時から本園野球大會優勝戦は山田對東前山によつて舉行されました。

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡行年五十才

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

東前山支部通信

野球優勝。青年團各支部野球リーグ戦の決勝戦に優勝の榮冠を得た吾が支部は十一月十四日事務所に祝賀會を開いた。

十一月例會。十一月十五日午後七時より事務所に例會を開き各種報告及び協議を圖りて後本年入会する會員、小宮山源一、大庭久賢、小松義孝、小松晴房の四君の爲に送別會を催した。

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

新町支部通信

御日出多一東、當區の桑野正雄君宮越常太郎君山極久憲君右三君は近々に花嫁を御迎へする。又福澤利只君家では男子出産し大喜びで居る。

十一月十日秋休を利用して青年會では王子神社供奉精米を製調す。

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

人物月旦

山極忠恕君
同人も上田市役所の表々から入て直ぐ左手、受附の窓を覗くと偉大なる体格をドシッとして机に向てセツセ仕事をしてゐる一人の男を見出すだらう。其れが君だ。

君の容貌は冠蓋貴族に人の心に迫る強い意氣が、一服穿の間に表はれてゐる。何物にも正面から對峙するを説教せずんば止まぬといふ男性の力を保持してゐる。

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

秋夕

草 笛 生
小夜更けて米搗く水車の音高く聞ゆるなり明日は日和か
吹かれし裏山ゆけば寂しかり栗拾ふ子に露ふりかゝる

乾びたるまゝにからみて朝顔の實はまださけすこの秋の日光に
秋めける向ひの畑に來てみれば柿二つ成り少し色づく

夕づきて樹の林に風さほぐ落ちしこの葉に思の穴多し
零める風の吹くなり昔戸川に米を磨ぐ人に言葉かけたき

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

十一月二十日瀧澤定次郎氏妻瀧澤ひさ氏死亡

役場欄

郡長行政視察

十二月十四日小縣郡長阿蘇温藏氏は久保郡書記を従へて行政視察の爲來村されました。役場事務については議事、勸業、統計その他各書類について檢閲を了し、齋藤村長に案内されて學校及産業組合の事業を視察されて歸られました。

因に阿蘇郡長は赴任以來始めての來村であります。

村議惣代聯合協議會

西鹽田郵便局へ電話架設の件については山極局長の熱誠と齋藤村長を初め村内各有力者の努力によつて遂に別項の通り十二月十四日附認可の指令を得るに至りました。これに要する費用は總計二千五百圓でありまして工事施行上直ちにこの用途の道を講

十一月の納税

納税日 一月十日

一金八百四拾四圓四錢 田租第一期
 一金四百拾五圓九拾四錢 宅地租第二期
 一金四百六拾五圓五拾八錢 所得稅第三期
 一金千四百拾七圓四拾錢 縣稅營業稅

納税日 一月二十五日

兒童健康相談

十二月十六日は例によつて川西病院の石井醫學士が來村されました。當日來村された者は十八名でありましたが何れも兒童の健康や教育に理解を求められる人達で相談の結果嬉こんで歸られた事と思ひます。

毎月本村巡回の十六日と定められてあり

ますので學齡期迄の兒童をお持ちの方はお忘れなく御出掛下さい。

尙本月は石井醫學士の「兒童健康相談に與りて」を投稿して戴きましたから御讀み下さる事を希望します。

營業名及課稅標準の申告

營業稅法第十三條に依つて納稅義務ある營業者は毎年一月三十一日迄に營業名及課稅標準を詳記して稅務署に申告することに於て居りますので前年國稅營業稅納稅者及國稅營業の資格あるもの(年内二千圓以上の賣上あるもの)は右期間に後れない様申告することを勧め致します。

尙役場に於て該申告書の取扱は一月二十日迄致しますから便宜上役場へ御出しの方は本日迄に提出して下さい。

用紙は役場より送附のもの——

内親王殿下御生誕奉祝

皇孫殿下の御生誕は七千万同胞の等しく慶賀する處であります。

本村に御慶事の吉報が届いたのは六日午後八時四十五分でありまして別所郵便局から電話を以つて「本日午後八時十分内親王御生誕遊さる」と云ふ通知がありましたので役場では直ちに手塚の警鐘を以つて村内の歡びを報ずると共に各大字惣代へ宛て「内親王御生誕につき明日七日は村民一同國旗を掲げて奉祝の誠意を表する様通知したのであります。

七日は早朝から村内の各掲示場には御生誕奉祝の文字が鮮かに示され、軒場に輝く日章旗は歡喜と幸福とに靡びてゐるのであります。

小學校では校長先生の訓詞について若き小國民の萬歳三唱があり、授業は休んで御祝の誠意を表はしました。

その他役場、産業組合、銀行何れもこの佳き日を壽ほんで休業致しました。

十二月初七日の吉日を卜して宮内省告示第三十三號により内親王の御名を成子と命ぜられ照宮と稱せらる旨發表せられた事は

衆知の次第であります。

竹の園生の御祭の天地と共に窮りなき事を祈り奉り奉祝の誠意を表する次第であります。

電規第四一六號

長野縣小縣郡西鹽田村
 大正十四年七月二十日附長野縣西鹽田郵便局ニ電話通話事務開始ノ請願ヲ受理ス其ノ維持費年額左ノ如シ但シ次年度以後ニ於テハ之ヲ改定スルコトアルベシ

大正十四年十二月十四日
 逓信大臣 安達謙藏印
 一金四百拾四圓也

會人

▲異動地檢査 十二月十四日本村異動地檢査の爲上田稅務署より高見澤囑出張村内異動地の檢査を了した。

▲土地調査會 十二月四日上田市公會堂に上田稅務員管内土地調査員會開會、本村よりは黒坂書記及び土地調査員山極博人倉坂藤衛の兩氏出席した。

▲松間伐入札 西鹽田村外二ヶ村財產組合では十二月六日入札に執行した。

▲學令簿檢閱 十二月三日學令簿檢閱の爲宮原部書記本村に出張した。

▲川西有志懇談會 十二月八日別所村劇場に開會本村より十余名出席した。

▲西鹽田政教俱樂部發會式 村内有志によりてなる政事團體政教俱樂部は十二月二日新町座に於て發會式を擧げた。

▲農會技手 竹下幸氏は十一月二十六日限り辭職した。

▲竹下助役、郵便局へ電話架設の件について富士山郵便局長並に本村局長と共に名古屋通信局へ十二月十九日出張。

▲相續稅調查 十二月十九日相續稅調查の爲高見澤囑上田稅務署より來村された。

一月行事

- 一日 四方拜
- 二日 野倉手塚支部新年會
- 三日 東前山支部新年會
- 四日 御用始め
- 五日 第二部第五部役替
- 六日 西前山支部新年會
- 七日 第四部役替
- 八日 新町支部新年會
- 九日 野倉總集會
- 十日 第三部役替
- 十一日 入營兵士出郷
- 十二日 公民學校始業
- 十三日 山田總集會
- 十四日 出初式
- 十五日 藏開
- 十六日 青年團役員新年會
- 十七日 小學校始業
- 十八日 巡回診察
- 十九日 やぶ人
- 二十日 山田支部新年會
- 二十一日 西前山總集會
- 二十二日 東前山總集會
- 二十三日 手塚總集會
- 二十四日 十人新町總集會
- 二十五日 ビンボン大會
- 二十六日 消防役員會
- 二十七日 天下泰平

火防宣傳の歌

火事の七分は炬燵と行火
 金網かけるを忘れぬやうに(都々逸)

炬燵に金網忘れぬやうな
 よい娘求めてかゝにする
 私の娘は自慢ぢないが
 炬燵に金網忘れぬやうな
 炬燵に金網忘れぬやうな
 炬燵に金網忘れぬやうな
 炬燵に金網忘れぬやうな

炬燵に金網忘れぬやうな
 炬燵に金網忘れぬやうな
 炬燵に金網忘れぬやうな
 炬燵に金網忘れぬやうな

學校だより

○十二月五日 父兄懇談會
 午前授業參觀があり午後は校長からの一般に就いての希望がありました。父兄から學校への希望として服装の事などがあり。各受持との懇談は。實際の成績物を根據として。忌憚なく語り合ひました

終つて兒童音樂會を開きましたが、可愛幼年生の合唱は殊に掲采を得ました本日出席された父兄は

尋一 三四人 尋二 二九人
 尋三 二二人 尋四 一八人
 尋五 一九人 尋六 二〇人
 高一 九人 高二 九人
 計 一六〇人(約二割五分)

○十二月七日 皇孫殿下御生誕に當り奉祝式を舉行

○十二月十八日
 高等科生徒の實習によつて得られた穀物や野菜によつて試食會が開かれました。慈うした會は教壇を離れて、尙且つそれによつて得られぬ親しみを得られることをうれしく思います

○十二月十八日 皇孫殿下御生誕に當り奉祝式を舉行

○十二月十八日 皇孫殿下御生誕に當り奉祝式を舉行

○十二月十八日 皇孫殿下御生誕に當り奉祝式を舉行

青木訓導送別會

十八日夜、役場學校學務委員及校醫によつて開かれました。同氏は滿二ヶ年在職せられ今度家事上の都合で、退職せらるゝ事になりました。

○年末年始休業 二十九日より、一月五日まで續いて六日より十二日まで寒中休業になります。

兒童健康相談に與りて

石井生

凡そ人が此の世に生れて來ますれば必ず各々務むべき仕事があります。然し熟考考へて見ますに人間の一生に本統に仕事らしい仕事があるならば眞に子供の教育であります。人の子の親としてより強き、より賢き、より善良な子供を造り出して社會人類の爲めに盡し度いと欲するは至情であります。又人として此れ程立派な奉仕の働きが他にありませんか。然らば此の大切な役目は何處で誰の手でせらるべきか。此は云はずも哉家庭に於いて温き愛のこもれる父母の手でされねばなりません。茲に於て此の教育に必要な智識と熱心が各々子の親に必要となる譯であります。

左に過日來川西各村を巡回して、澤山の兒童に接し感ずるまゝの二三とかくあらま欲しと念する事共を記して參考に供へむと存じます。

一、乳離は何故させねばならぬか、又何ヶ月頃から始むべきか。

よく世間に出る乳を強いて止める必要はあつてから丈夫だとか申して、満二年になつても尚それ以上になつても甚しいものは五六歳位になつて未だ母親の乳房に吸ひつき子供もあり、又之れをさせる親もあります。然し此は間違つて居ります。その理由は乳兒が生れて一ヶ年位迄は成程母乳のみで充分に發育いたしますが、然しそれ以上になると、母乳のみでは乳兒の發育に缺くべからざる養分、即ちカルシウム、鉄分、鹽分等が足りないのであります。それ故強ひて母乳のみを長く用ひますと、乳兒は皮膚の青黄い、手足の肉がグニャ／＼した、頭の圍が胸の圍に比べて大きく、齒も遅れ、立つのも歩くのも遅れて來ます。又非常に疳が高くなり、夜泣きをして落つて眠らず、又よく怒る、又學校へ上つても覺わが惡く成績も不良となる。則ち乳離が遅れると乳兒の身心の發育が不となるのです。

然らば乳離は何時頃から始めたらよいか。この事は自然が實によく私共が教へて呉れます。母乳許りで足りない云ふ時期になると齒が生へて來て食物を欲しがらる様になる。それが乳離を始むべき時期です。即ち八九ヶ月の頃からそろ／＼始めて行くのが良いのです。

先づ乳兒が生れてから九ヶ月か拾ヶ月から一月に一回だけオマージを與へて故障が無ければ一週間に三回と云ふ様段々に移行して行かねばならぬ、又オマージの代りに醬油、ソーブ、糖類等を味つけたオマージを與へてもよい、副食物はホーレン草、ジャガイモ等を煮て、裏漚にしたものがよく菓子類は餅ものよりビスケット、ボール、ツエー、フア、等を好みます。

二、「くさ」の出來た子供をよく見受ける。子供の皮膚は割合に弱いものだから一寸判つたとか、或は二三日湯に入れたか、かかてよく濕疹を生じ易い、濕疹は胎毒が外に吹き出したもの故放つて置いたら方がよいと考へる者が少なくありません。然し此は間違ひであるため却つて頭や首に「グ」が出來たり腎臓炎になつたり又折角治つても後が禿になつたりするものですから出來だけ早く又根氣よく治療せねばなりません。

「くさ」は第一に豫防が肝腎です、身体を清潔にする、食物は淡白のものをよく用ひ常便通を規則正しくする事。不幸にして發生したら醫師に療を受けねばなりません。又よく藥を塗るに痲皮の上から塗る人があります。これは効きません。先ず痲皮をオレイン油のやふな油で丁寧に拭ひ取り其の次に膏藥を厚く貼つて置かねばなりません。

三、次に此の子はよく「ドロ」をかくて困る。とか又宅の子は「疳の虫が強く不可ません」とか云ふ事を聞かれます。そして此の様な子供は揃ふてよく夜泣きをする傾向があります。此の場合よく「かんの虫」を押へる爲等云つて余や鍼をする或は又下劑を失

鱈にかける人もある、然し此れ等は醫學上から「かんの虫」云ふ特別のものがあるのではなく何處か身体に故障があるか又は教養法上の誤りからかゝる状態になる事があります。兎角一子等で親が余り我儘勝手に育てると少の事でも腹を立て痲痺を起し此が「かんの虫」と言はれる事になる、又夜一寸した事にビク／＼驚いて泣く子供には寢室には電燈をつけて置き寢る前に矢蝮に飲み食させぬ事、衣服は寛かに着せ便通を整へて置く事、又恐ろしい話や芝居活動にも十分意を用ひる。

格て凡そ何事にも中庸の大切な事は申す迄ありません、然し此の育児の上にも殊更に其の忽にすべからざるを知るのです。唯無暗に甘いばかりの教養は決して薬になりません、さりごと辛きに失すれば縮みま

鹽田公民學校の近況

(男子部)(二十日自讀)

客月二日より授業開始の公民學校本校は専任六名囑託八名で毎日五時間宛新校舎の木の香の高い教室、日當りよく暖かな學窓で授業をして居ます。今各村前の生徒数を表示すると左の如くです。

Table with columns: 村名, 前期, 後期, 後期, 計. Rows include 富士山, 東鹽田, 西鹽田, 中鹽田, 別所, 計.

五、國家主義と個人主義 全三 増澤 恒人(別)
六、人生の春 全二 清水 清人(中)
七、職業に就いて 全一 室賀 信人(富)
八、感想 全三 黒坂 榮壽(西)

手塚支部通信

◆支部通信◆
◆手塚支部通信◆
◆本會幹事齋藤清人君は良縁ありて埴科郡中之條より良妻を迎へ十二月十一日華燭の典を挙げられた。

山田支部通信

◆山田支部通信◆
◆竹下文平氏は良縁ありて青木村細谷より良妻を迎へ十二月十一日華燭の典を挙げられた。

西前山支部通信

◆西前山支部通信◆
◆處女會發會式 當區處女會にては十一月

◆ピンポン大會開催
本月二十五日豫て計畫中のオール西鹽田ピンポン大會を左記に依り開催する。不明の向は本團運動部に就て承せられたい。

二十日當區事務所に於て發會式を舉行した宮澤會長の開會の辭を始め竹下助役宮澤婦人會長の祝辭と校長先生の講演などあり盛會裡に散會。

◆東前山支部通信
十二月例會は七日午後七時より事務所にて開き六川校長先生の講演を聴きました。

十二月例會は七日午後七時より事務所にて開き六川校長先生の講演を聴きました。

十二月例會は七日午後七時より事務所にて開き六川校長先生の講演を聴きました。

農村の若人に捧ぐ

小池 豊

若人よ、自由の天地が吾々の前に開かれて
若い伸びんとする力は限りなき大自然の恵
みを受けながら育つて行きます。

農村の若人よ、三伏の夏も厳寒の冬もいつ
も變らずに、自然は微笑んで私達の心を受
入れて呉れるでは有りませんか、詩的な農
村の万物は私達若人の境遇に對して慰めの
言葉を送り、自然の藝術を伸び行く私等の
心の中に育つて呉れます。

若人よ、現境に對する不安も不服も総ては
一時の間わに外ならない、やがて農村にも
パラダイスのタイムが訪れませう、現在の
悶々悩みはやがて人生の行路に大きな光明
を見出した時に徐かれます。農村の復活は
御身等の行くべき道定むべき心によつて決
するものと信じます。

若人よ、そりや人生ですもの、悶々も悩み
も有ります。而して之は何如なる職業に就
くとも結局は誰しも味は、なげればならぬ
道程ではないでせうか、果敢ない人生に生
を受けて恵まれた健康な身を自然美にひた
りながら一日一日のライフを送つて行くの
がせめても慰め否大きな喜びでなければ
なりません。

若人よ、物質の術に彷徨ふ人間の間に在つ
ても私達若人は精心の糸を求むる事を忘
れたくないと思ひます、片田舎の農村に在
つても時代の進歩に後れぬ丈夫の修養と、何
物をも愛するさうして恐れぬ信仰の力とが
有つてほしいと思ひます。人をねたんだり
争つたりせしめたり悲しんだり笑つたりす
る許りの人生でなく、落着の有る真に何物
をも寛容するさうして果敢ない人生に幸福
の鍵を握り得る行路を辿りたいもので御座
います。

若人よ、戀知る若人の胸には赤い愛の血潮
は漲つて居ります、田舎の隅にも野に咲
く紅い花の様な戀の花が咲く事せう、而

し自由戀愛の叫びは高くともどこに戀愛の
自由が得られます、愛する者と愛される者
が何の支障もなく生活を営むにはあまりに
防げ多い私達の周囲です、多くの誤解と防
げに顧み得た愛の生活でも、ごうかするこ
其の第二日目から愛を破られる様な危い所
に立たされる世の中です、眞の戀愛の時代
はまだ来て居りません。

若人よ、唯自然に自由に行き遠く大自然の
中にいだけられて自然賞美の内に自己の職業
に覺めて農村發展の爲國家社會の爲に勞動
神聖をモットーとして、迷はず唯一途に永
遠の事業に勤められん事を祈つて擲筆致しま
す。

郡聯合處女會創立

囊に白石小縣郡長の盡力によつて其の創
立を促されて来た郡聯合處女會は愈々十二
月十八日小縣郡役所に創立委員會を開會し
左記規約を議定して茲に創立を見るに至つ
た。尙幹事長には宮越ひろ子氏當選。本村
評議員は大庭益雄氏である。

規約

- 第一條 本會ハ小縣郡内ニ於ケル處女會ヲ
所テ小縣郡役所ニ置ク
- 第二條 本會ハ小縣郡内ニ於ケル處女會ヲ
以テ組織シ相互ノ連絡を圖リ智徳ノ修養
心身ノ鍛鍊ヲ講シ以テ處女及處女會ノ健
全ナル發達ヲ目的トス
- 第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 1 幹事十名(内一名幹事長トナス)
 - 2 評議員 各町村一名
- 第四條 幹事ノ任期ヲ二ケ年トシ一名ハ幹
事會ニ於テ囑托シ九名ハ各選舉區ヨリ三
名宛其選舉區評議員ノ互選ニヨリ選出ス
- 第五條 選舉區ノ區劃左ノ如シ
 - 第一區 川東十二ヶ村
 - 第二區 依田窪三町八ヶ村
 - 第三區 川西十ヶ村
- 第六條 幹事長ハ選舉區選出幹事ノ互選ニヨルモ
ノトス
- 第七條 評議員ノ任期ハ二ケ年トシ各町村處女會
ニ於テ選出ス
- 第八條 役員ニ欠員ヲ生ジタル時ハ補次選舉ヲ行
フ補欠者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
- 第九條 幹事長ハ本會ヲ代表シ會議ノ議長
トナル幹事長事故アルキハ他ノ幹事之レ
ヲ代理ス
- 第十條 幹事會ニ於テ囑托セル幹事ハ庶務ヲ專掌
シ選舉ニヨリ選出セル幹事ハ會務ノ計劃
運用等ニ關スル協議機關トナル
- 第十一條 評議員ハ本會規約豫算決算其ノ他重要事
項ノ議決ヲナス
- 第十二條 本會ハ評議員會ノ承認ヲ得テ顧問
ヲ置クコトヲ得
- 第十三條 本會ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ
行フ
 - 1 總會年一回
 - 2 講習講演會
 - 3 體育會旅行
 - 4 諸般ノ研究會
 - 5 其ノ他
- 第十四條 本會ノ經費ハ各町村處女會、負擔
金特志家ノ寄附金補助金其ノ他ノ收入ヲ
以テ之レニ充ツ
- 第十五條 各町村處女會ノ負擔金額ハ評議員
會ノ議決ヲ經ルモノトス
- 第十六條 本規約ノ變更ハ幹事ノ發議若シテ
十評議員五名以上ノ建議ニヨリ評議員會
ノ議決ニヨルモノトス

火防宣傳

毎月一日は消防デーであるが、殊に昨冬
十二月一日は時節柄大々的に舉行した。各
部では午前六時一齊に警鐘を打て部員總出
動各戸に巡廻して火防の宣傳に力めた。

殊に第一部では去る九月大洪水の跡の道
路普請に出勤して大字より貰つた金を投出
して炬燵網を各戸に配布して一層消防思想
の啓發に盡した。この計金は宣傳を如實に
表はしたもので時節柄大に好感を以て迎へ
られた。

尙十二月二十日には縣下一齊の火防宣傳
デーとして宣傳に力めた。

又二十五日より三十日迄例年の通り夜警
を行つた。

霜月集

金澤草市

冬近き寒さとなりぬこの里の道べにきこ
ゆ機織りの音
田の畦にこぼれし大豆拾ひつゝ小鳥は鳴
かす過ぎにけり
朝風にうごくご見ゆる芒の藪しとぞ霜降
り雀の聲す
皆窓わた嬉しかりけり目を閉ちて打打つ
音を聞きつゝゐるも
この雨に紅葉の色の褪せにけむいたくす
がれる向い山肌
獨りゆくこの山道は標の實數多おちをり
落葉まじりに
吾が家の煙あたらしよき匂ひ暗き夜なれ
ど鼻をつきつゝも

編輯室から

◎新年になつておめでとうございませう。
本年も亦相變らず御ひたうきの程お願い
いたします。

◎今年はやだそうぞうですね。虎は一日に千里
行つて千里歸ると言ふことぞうです。ごうか
千里行つて又千里行く様にお互に力めよ
うではありませぬか。

◎時報ももう第四年を迎へました。乞食の
子も三年たてば………さいふごともあ

西壙田村農會勞資協議會

昨冬十二月十三日本村役場樓上に於て小
作部委員會を開會し全員出席左の通りで協
定した。

- 一、小作米取引標準
- 1 小作米一升の重量(玄米)三百九十匁
最低限度 三百八十五匁
- 2 小作米一升の價格
玄米一升 金三十四錢
九斗荷一駄金三十圓六十錢
大豆一升 金十九錢
一石荷一駄金十九圓
- 3 俵裝の標準重量
米大豆共俵裝一俵の重量一貫二百匁
- 二、勵行事項
- 1 小作米は其の小作地より收穫したるも
のを以て納むるを通例とす
但し米以外の收穫物に就ては此限りに
非ず
- 2 俵裝に用ゐる藁は乾燥せるものを以て
調製すること
- 3 取引米には正味重量又は全重量と風裝
重量を附すること
- 4 納入期日 十二月二十日
- 三、小作人表彰又は獎勵方法
一升の重量三百九十五匁以上の良米を納
入するものには地主に於て適當の金品を
贈與すること

村の新聞(發行數)

「村の新聞」時報は次第にその効果が
認められて來て現在小縣郡下では左の通りで

青木時報	壙尻時報
浦里時報	長村時報
豊里時報	福津時報
壙川時報	泉田時報
室賀村報	川邊時報
中壙田時報	富士山時報
東壙田時報	和時報
和田時報	

役場欄

齋藤村長を送る

本村々々として九年有餘村治の爲に献身の努力を捧げて來られた齋藤重太郎氏は去る一月十五日限り退職されることになった...

二月の税金

金七百九十四圓五十五銭 田租第二期分 金六百五十六圓七十一銭 縣稅追加戸數割分 納稅日二月二十五日

後任村長に

齋藤村長辭職の後を嗣いで村長の椅子に腰を下すべき人物の物色については村會議員に於て慎重審議を重ねて來たが二十三日の村會に於て竹下繁松氏が萬場一致を以て推薦された...

大字惣代更迭

本年一月任期満了して改選を行つた大字名及惣代の更迭は左の如くである。 大字名 新任者 退任者 東前山 鷲原義男 春原義勇 手塚 小池 恭太郎 樋口 一

消防組役員會

一月二十六日午前九時より役場に於て消防組役員會を開會し現組頭齋藤勇氏辭職の件について協議し結局組頭の申出を容るることとして後任者選舉の處左記の通り當選した。 組頭 樋口 寄位 組頭代理 荒井 精一

産婆看護婦講習生募集

標記に關し信濃衛生會會長より應募方申越に付き左記應募要件御覽の上多數御出席下さい 一、講習期間 大正十五年四月より六月 二、應募資格 1 身体強健にして素行方正なるもの 2 高等小卒卒業又は同等以上の學力あるもの 三、採用人員約一百人 四、講習科 不要 五、採用試験科目、國語、作文、算術、高等小

青年講座の發行

文部省内財團法人社會教育會に於て左記要項に依り講義録「青年講座」を發行する由であります。希望者は御申下さい 一、發行 毎月一冊半年十八冊にて終了 一、定價 一冊金參拾錢(郵稅共) 別の時事報道質疑應答讀者文藝を掲載の別冊を附録として無代にて毎月添付す 一、申込 東京市麹町區元衛町文部省構内財團法人社會教育會宛 一、代金拂込は三月以上のこと凡て前金のこと(振替口座東京七四二〇〇番) 一、創刊號大正十五年二月紀元節を以て發行の豫定 一、本講座に續いて女子講座發行の豫定科目執筆者其他發行要旨必要の向は直接全會へ照會せらるること。

學卒業程度但高等女學校卒業者は無試験採用

六、願書差出期限大正十五年二月末日迄に信濃衛生會宛願書を差出すべし願書には履歷書醫師の身体検査書戸籍謄本(又は抄本)を添付すべし 七、講習科目、看護婦學、看護婦實地產婆學、產婆學實地、傳染病學、消毒調劑學、看護婦心得產婆心得

會人

一、竹下助役 一月十六日町村長會議の爲郡役所へ出張 二、巡回診察 兒童健康相談の爲川西病院の石井醫學士は一月十六日來村した。 三、出初式 恒例による本村消防出初式は一月十一日小學校に於て舉行、上田警察署より警部補徳間靜真氏が臨監した。 四、事務引継 一月十七日役場に於て齋藤前村長より竹下助役に事務の引継があつた 五、寄贈 栃木縣太田原町武田傳次郎氏(本村出身)より青年團へ「大田原小誌」を寄贈された。 六、縣道別所九子線大正十五年改修工事に關し一月二十日關係地主は役場に參集して潰地並に支障物移轉の承諾書を提出した。 七、一月二十二日役場に於て時報編輯員打合せを開いて編輯上について協議した。

壠田公民學校の近况

公民學校に於て一月十五日の生徒數を調べました所左の通りでした

Table with columns for gender (男子, 女子) and school types (本校, 富士東壠中壠西壠別所, 女子合計). Rows show counts for elementary, middle, and high school levels.

小學校たより

昨冬退職された青木先生の後任に本村出身の小山久士先生が下される事になりました。軍隊といふ嚴肅な環境に精神教育を受けた小山先生を迎へる事が出来た事は喜ばれた事でありませぬ。又野倉は例年の如く尋一は今年より三月間分教室で授業をする事となり小平銀次郎先生が熱心に教へて居られます。

ピンポン大會

本團運動部主催のピンポン大會は一月二十四日午前十時小學校に開催しました。四日間の腕前を今日こそは參加選手約八十余名の盛會でありました。殊に手塚、西前山、東前山の婦人會員の意氣込みのすく一勝負毎に緊張の度を加へて競技は益々白熱化してゆきました。が本年度の手塚支部の市村正喜君が本年度の選手權を得て名譽あるメダルを授けられました。當日の主なる戦跡は左の通りであります。

健康に對する感想

10 健康に對する感想 三吉川 茂(富) 11 國家生活の目的 三石井 一雄(中) 12 所感 一平 西山友次郎(別)

茶話會餘興

唱歌巡禮 中壠田後期三年全 月の夜 西壠田後二 獨奏 中壠田後二 冬の月 中壠田後二 濱千島 後二 牧人の嘆き 別所後三 田舎の夕暮 前山けさき 尚其他男子の薩摩琵琶唱歌浪速節ハモニカの合奏等あり盛會裡に四時散會しました。

准決勝

佐藤信秋 横山斷太郎 市村正喜 齋藤清人 決勝 市村正喜 佐藤信秋 西前山 尚本大會に際して左の諸店の御好意を厚く感謝いたします。 武田酒店、喜福堂、綿屋商店、藤屋商店 曲尾藥舖、龜屋商店、栗林商店

信購組合より

一月四日役員新年會開會
午後一時より事務所にて理事監事會開會
箱田事務理事開會の辞に續いて前年度の事

一月五日より七日迄棚卸執行
毎日早朝より理事監事數名づゝ出張ありて
熱心に寒さも厭はず詳細な調査をした

組合員數 六五人
出資總額 壹萬貳千圓
拂込出資金 壹萬貳千圓

貸付金現在高 壹萬貳千圓
預け金現在高 壹萬貳千圓
購買品仕入高 八千五百圓

右表は圓以下切捨てました購買品は其年
度内の取扱高を示し其他の科目は全部其年
度未調の現在高を示してあります

通常總會の御通知
期日二月廿日頃の豫定 決定次第發表しま
す。

決議事項
一、財産目録、貸借対照表、事業報告書、剩
餘金處分案承認の件

肥料商況

昨年末の株式界の般盛につれ新春の初立合
は頗る活況を呈しました共一時的に
一般人氣に漸次冷靜に立返り株式を始め

御注文を願います組合でも相當安價に手合
が出来ましたから數量の取調の關係があり

過燐酸石灰 二、〇八〇
内地硫安 七、二五〇
白色硫安 六、九〇〇

産業組合役員組合員其他の人々の心得ふ
可き事項
一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません

一、組合員を愛する事妻子と同じでなければなりません
二、正義を愛し善末の徳を離れず不正事をしてはなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

支那通信

七、名刺の爲め其の他自分の爲めに組合を利用してはな
りません
三、無事
一、過ちを未然に察し、いふ好意を以て常に監査をせねばなりません

一、記録は明確に收支は正確に記さねばなりません
二、組合員に對する責任を重んじねばなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

一、理事は組合の事を充分に承知せねばなりません
二、理事の職業は組合の事業と利害相するものでなくてはなりません

西壙田政教俱樂部たより

吾が俱樂部は一月十九日幹事會を召集し
左記の件を協議し併せて村の時局に鑑みる
ところあり左の如き聲明をなせり

◎政治結社届出の件
◎自治研究部設置の件
◎自治研究部は幹事會員並びに會員の中より簡拔推薦の件

◎幹事長選舉の件(山極寛氏幹事長に當り西壙田役場に到る)
◎中央道路改修速成の件(新町檢田見よ)

◎縣道別所佐久線速成運動の件
◎縣道別所佐久線新町檢田見より西内村地籍縣道に達する道路開鑿運動を起すの件

◎上松鐵道開通の機運を促し本村を通過せしめる爲め極力運動を起すの件
△聲明書
吾が西壙田政教俱樂部は創立當時に於て聲明せるが如く不偏不黨常に高處大處より大觀して「村」の大衆と俱に正義に立脚して自治体の向上發展を圖り地方啓蒙の重きに任ずるの氣を負ふものである

◎上松鐵道開通の機運を促し本村を通過せしめる爲め極力運動を起すの件
△聲明書
吾が西壙田政教俱樂部は創立當時に於て聲明せるが如く不偏不黨常に高處大處より大觀して「村」の大衆と俱に正義に立脚して自治体の向上發展を圖り地方啓蒙の重きに任ずるの氣を負ふものである

◎上松鐵道開通の機運を促し本村を通過せしめる爲め極力運動を起すの件
△聲明書
吾が西壙田政教俱樂部は創立當時に於て聲明せるが如く不偏不黨常に高處大處より大觀して「村」の大衆と俱に正義に立脚して自治体の向上發展を圖り地方啓蒙の重きに任ずるの氣を負ふものである

西前山支部通信

一月十七日に毎年の例によりて青年會で
新年宴會を催した
一月二十日夜婦人會では初會と共に學校の石森先生を御願ひして有益なるお話を聞き終りに茶話會ありて午後十一時閉會した

一月四日春季總會開會す道に新年初頭の會丈あつてお互の胸に潤達旺盛さが充滿されて居た
一月八日兒玉光昭君志野騎兵第十三大隊四ノ一に入營せらる可く出郷會員全部村界迄社送す

一月十五日當區婦女會新年會開催さる
一月二十一日保科若松氏川村村某家へ一月二十二日宮澤たけし氏神科村某家へ各々千鶴萬龜の御目出度さ眼に耳に慶ならざるはなし

一月十八日 大字惣集會開會、事務報告、計報告等あり、副總代瀧澤清吉氏事務職につき後任者選舉の處兒玉益貴代氏當選した

一月十日區の初集會ありて多くの協議事項を一決してから新年宴會が催された
一月十二日の夜當支部では初會致し二三の協議をなし役員の選舉をして午後十一時

一月十日區の初集會ありて多くの協議事項を一決してから新年宴會が催された
一月十二日の夜當支部では初會致し二三の協議をなし役員の選舉をして午後十一時

一月十日區の初集會ありて多くの協議事項を一決してから新年宴會が催された
一月十二日の夜當支部では初會致し二三の協議をなし役員の選舉をして午後十一時

西塩田時報

第 八 廿 號

大正十五年三月一日發行
一月一回發行
零售每份三錢
廣告一料十錢

大正十五年三月五日印刷
編輯部 西塩田村
印刷部 山浦活版所
發行所 西塩田青年團

公設電話開設に就て

西塩田郵便局長 山極 八太郎

世の文明は既に無線電話の時代に入らんとするの今日、本村に公設電話のないことは、文明生活の不具者も同様なものである。如何に中央集権とは申しながら本村の爲に甚だ遺憾とする處でありました。不尙本問題に就て、當面の責任者として、大正七年八月二十一日當局開設以來々々其の筋に陳情を怠らなかつたのであります。然るに政府は豫算額の不足と既設局と除りに近距離なる理由として、年々受理相成難き旨通達を繰返すのみにて、殆んど絶望であつたのであります。

時は流れ行く

福田 賢吉

其の後大正十二年一月帝國議會に、龍野代議士の紹介を以つて、該問題を請願し、一方貴院に對して、今井五介氏を煩し提案したのであります。爲に運動効を奏しまして採擇せられた事は、當時新聞紙上で御承知の事と存じます。而して其の後着々運動の歩を進められた際、偶々未曾有の大震災に遭ひ、萬般の經費は節減せられ、諸事業年々繰り返す同じ行事でありながら、人は緊縮の有様となり、遂今日に及んだのであります。昨年一月再び運動を起し、各方面の縁戚知友を呼び運動を続け、其の間幾多の障害を排して、只管目的の達成に努力したのであります。熱誠は遂に當局を動かし、最後逡信大臣を其の官邸に訪ひ、親しく陳情の結果、意外の御同情を得、全國としても類例なき近距離に、逡信省所屬の公設電話通話所を設置し、且つ呼出區域は村内殆んど全園に渡り、通話區域は、東京、名古屋

の昇る様に、其の日を重ねて行くうちには、長いものにも逢はう、短いものも見よう、清いものも出よう、醜いものも現れよう、富む者もあらう、貧しくなる者もあらう、□□なものも、△△なものも、

告示第七號
大正十五年三月一日より西塩田郵便局に於て電話通話事務を開始す
呼出區域は左の通り
一、大字新町一圓
一、大字十人一圓
一、大字山田一圓
一、大字手塚一圓
一、大字前山一圓
大正十五年二月二十三日
西塩田村長 竹下繁松

御挨拶
黒坂重一郎
前本村助役竹下君村長に昇任の後を享けて、測らずも私が其後任に推薦せられ就職する事になりました。

新しきは創造である。創造の動力は想像である。想像を孕み計劃を衝み、希望に燃わて、初日

大正拾五年度西塩田村外二ヶ村財産組合歳入出豫算

歳入	六〇〇圓
一、財産ヨリ生ズル收入	六〇〇圓
二、使用料	二六〇圓
三、繰越金	三〇〇圓
四、分賦金	二、三六〇圓
歳入合計	三、五二〇圓
歳出經常部	四三七圓
一、役場費	四三七圓
二、會議費	五五圓
三、財産費	三〇〇圓
四、基本財産造成費	二、一二圓
五、諸税	一一二圓
六、豫備費	二九圓

歳出經常部

歳出臨時部	三、一五五圓
一、財産費	三、一五五圓
二、公債費	一〇圓
歳出臨時部	三六五圓
歳出合計	三、五二〇圓
歳入出差引残ナシ	

酒は薬か

市村〇〇子

昔から長い歴史を見てもまた近年の學術上の研究の結果を見ても酒を飲む事がどれ程悪い事であるかは明瞭であり、酒を多く飲んだ爲め脳を悪くしたとか心臓腎臟肝臓の病氣に罹るとか云はれて居ります。胃病や食道病は大酒家に特別多いと云ふ事も統計が遠慮なく語つて居ります。かふ云ふ恐ろしい酒の害は飲む其人ばかりでなく子孫の体質にも多大なる影響を及ぼすなど常々醫學者の説く所です。然し一方に澤山に酒を飲むけれど別に病氣もせず健康である長生をして居ると云ふ酒の害を否定する者があります。これは例外であつて偶然其人が健康であるのでつたり酒を飲んでも著しく健康が害はれず長生して居るの酒を飲んだ爲め健康であるなど云ふ事は決してありませぬ適量に飲む事は身体に大分ある様です。たしかに薬に於ては毒と薬と大分ある様です。たしかに薬に於ては毒と薬と大分ある様です。たしかに薬に於ては毒と薬と大分ある様です。

御寄附

西塩田時報發刊費の中へ左記の通り御寄附がありました。誌上を以つて厚く御禮申上げます。

一、金拾圓也	武田傳次郎殿
二、金拾圓也	六川 静治殿

高き死亡率を示してゐる事は百餘年來行はれてゐる保險會社の死亡者の年を分類せる結果を見ても明瞭であります。即ち少しも飲まない人の平均生存年限より四年程短命と云ふ事になるのです。之れは類るか人の被保險者の死亡統計に現はれた数字であります。而して英國の生命保險では禁酒者は掃込みの割引をして居ります。之れは理屈でなく事實上して居ります。之れは理屈でなく事實上して居ります。之れは理屈でなく事實上して居ります。

どうか目覺めたる青年諸君よ。飲酒は自身一個の問題でなく日本民族の體質の向上の爲めに大問題である事を覺り禁酒を實行する様に大奮發をして戴きたいものであります。

役場より

助役就職

竹下助役が村長に就任の結果助役が欠員となつて居りました...

土地調査員會

二月十八日午前九時より役場内に村内土地調査員會を開き左記の件を協議致しました...

澤山財産組合

西壺田村外二ヶ村共有澤山財産組合では二月十九日午後一時より西壺田村役場内に組合會を開會し大正十四年度事務報告の後左記の件を議定した...

退職慰勞金贈呈

西壺田村外二ヶ村財産組合では元組合長齋藤重太郎氏が在職中の功勞に酬ゆる爲去る二月十七日組合會の決議を以て金壹百圓を贈呈することにした...

聯合衛生組合總會

二月二十三日午後一時より本村役場内に於て本村聯合衛生組合及保安組合の總會を開催し大正十三年度歳入出決算認定大正十四年度歳入出決算認定をす...

種豚交附さる

小縣畜産組合に於て本縣より種豚三頭を交附せられ本村農會へ一頭配布せられた...

稲作之十大要項

一、種類の選擇は、粒の中心を取り中性的のものにして米質優良、耐肥料、耐病蟲害等に強き多收型の作り安き品種を選定し...

婦人欄

思ひ出す儘に 貞子 前より衛生に付いて時報の一端を拜借しやうかと思つて居りました...

處女會たより

新町處女會發會式、二月十四日午後一時より事務所にて發會式を舉行した、小林代理として樋口收入役御出下された...

三月の税金

田租第三期 一命七下九拾四圓五拾五錢 田租第四期 一命七下九拾四圓五拾五錢...

おめでたい一束

山田竹下俊君は二月六日中壺田村五加より良妻を迎へられた。

山田竹下徳人君

山田竹下徳人君は東山山竹内頼母氏長女榮氏と婚約なり三月十七日華燭の点を擧げられる。

新町は今日も

新町は今日も一つ御祝儀があつた。宮越まつ子氏は別所工藤義義氏の所へ嫁せられた。

十、水落し時期

十、水落し時期、稲が乳熟期を越し黄熟期の始め頃に至らば水は不必要なれば切落すべきものではないと思ひます。

おめでたい一束

山田竹下俊君は二月六日中壺田村五加より良妻を迎へられた。

山田竹下徳人君

山田竹下徳人君は東山山竹内頼母氏長女榮氏と婚約なり三月十七日華燭の点を擧げられる。

新町は今日も

新町は今日も一つ御祝儀があつた。宮越まつ子氏は別所工藤義義氏の所へ嫁せられた。

十、水落し時期

十、水落し時期、稲が乳熟期を越し黄熟期の始め頃に至らば水は不必要なれば切落すべきものではないと思ひます。

おめでたい一束

山田竹下俊君は二月六日中壺田村五加より良妻を迎へられた。

山田竹下徳人君

山田竹下徳人君は東山山竹内頼母氏長女榮氏と婚約なり三月十七日華燭の点を擧げられる。

新町は今日も

新町は今日も一つ御祝儀があつた。宮越まつ子氏は別所工藤義義氏の所へ嫁せられた。

十、水落し時期

十、水落し時期、稲が乳熟期を越し黄熟期の始め頃に至らば水は不必要なれば切落すべきものではないと思ひます。

支部通信

西前山支部通信

△輕便唧筒設置 當區にては曩に失火突撃の消火器として簡易な唧筒を備ひ置きしも、より放水力大なる輕便唧筒設置の必要を認め區消防役員諸士の御努力に依つて之が設備を見るに至つた。

△軍人會活動、當區軍人會は例に依り事務所用の新伐方を區より受け二月十一日朝來の物降りを侵し終日活動す、終つて暖酒に冷へし休憩を温め夕刻散會す

△當支部は電氣料集金方法を呈送種々試みしが今度の四軒宛全員にて分担し是を毎月例會を利用して當夜取り纏の法に依れば計算上將又例會の出席率に一舉兩得の手段であるとして一決した

△眞綿加工講習會、當區處女會では修養事業の一として區内一般婦人の希望者をも合せ本月末頃より三日間右講習會を催さる由因に講師は高澤清子氏なりと。

野倉支部通信

△昨年十二月中旬當區の會根正一氏外七名發起人となり、別野倉道の一部に急勾配にして且、嶮峻なる所あれば改修することに決し三月工事に着手するといふ、工事費三百五十圓、人夫百五十人なりと

手塚支部通信

△一月二日支部の役員満期にて改選致しました、其の結果、會長樋口勇氏、副會長中澤和作氏、幹事は樋口岩次郎氏、勸使川原忠一郎氏、中澤惣吉氏、市村嘉市郎氏、樋口英章氏、大島司馬氏、樋口作彌氏、石川顯吾氏が當選致しまして理想の幹部が組織されました、文庫員の小池豊氏が都合上辞され樋口架榮義氏が文庫員になりました

△二月七日午前九時より青年會事務所内に於てラヂオを致しました、私達區の人達は始めてラヂオを耳にして青年の奉仕慰安に

心からなる嬉びを見せて歸りました。△支部の樋口潔氏は小縣農蠶講習生として通學されて居ます。

△西澤大覺氏は昨冬宇都野宮騎重兵第十四大隊に入營されましたが一月二十八日除隊にて歸郷されました。

山田たより

當部落の火の見櫓は朽ちて危険であつたが今回鐵柱で建する事に決定された、川西十ヶ村に未だ鐵柱の櫓は一つもないこの事出来上つたら當部落の一偉觀だろう、又ポンプのホース二本購入する事になつた是で六本連結する事が出来部落中ホースの届かぬ家は一軒もなく万一の時の場合に遺漏なきを期する事が出来る様になつた。

△當山田野金會が昨年の十二月解散した滿八ヶ年間毎月十錢積立元利合計十六圓二十錢余になつたとして總額六千四百圓と云ふ中々多い、今年から又八ヶ年積立する事になつた。

△二月十二日に山田集會場で本村蠶種製造家が參集して優良蠶種の製造其の他の意見の交換をした、蠶業取締所より相澤技手が出席された。

△當支部では例年の如く二月一日より早起會をして居る最早々起會は今年で十一年になり相當の成績を上げて居る。

△尙又二月一日より火の用心の爲に午前十時頃全部落隱なく見廻る事にした此の事を永續する意氣込で會員一同眞面目にやつて居る。

△芳坂みち子氏は長らく病氣の處一月三十一日死去された享年廿八才。

△芳坂勇吉氏は滿二十ヶ年前山銀行に務められしが病魔の爲二月十九日死去された、享年七十五才。

△芳坂久登君養母よし子氏は二月十六日死去された、在郷軍人會第六班會葬した。

△二月一日より四日間、婦人會主催にて滋野村より講師を聘して染色講習會を開いた出席者三十余名。

新町支部通信

△區民慰安會、一月二十八日青年會婦人會一致の主權にて郡産業部囑託鹽川村の浪花亭瀧丸氏を招き正月浴衣浪花節會を開催した。あはたゞ嬉しい正月も終る頃、區の多數は心ゆくまで楽しい気分にとつた。

△當區の副業組合は蠶細工品の受付を開始した。三月二十日まで毎、十日、二十日、三十日の受付とした。需要者は組合長に申込まれたし。

△敬老會、二月二十二日例年の如く、青年會婦人會の主權にて古稀に達する人二十名を招待する事が出来敬老會を開催した。招待される高齢者が年々増加する傾向であるのは何より心強い事である。會員の心を盡した御馳走や數々の余興の續出に老人を

標語

- 一、働くは愉快に生きて行く道
二、情けは不愉快にじび行く道
三、我儘勝手は信用を失ふ
四、已れを省みざるものは進まず
五、小意地を曲げれば大事成らず
六、嫉みは相互破壊の基
七、協調は行く道を開く
八、享樂は愧ぢざるを期せよ
九、怒れば愚鈍になる
十、職業に忠實は成功の基

初め會場に溢れた觀衆は薄ら寒い夕開の迎も忘れて楽しんで浸つた。此の日黒坂重助翁は招待せられた喜びの心に此の擧を讃せられ祝辭を寄せられた。

△中村式箱飼講習會、二月二十三日午前一時より新町事務所に於て深澤氏の中村式箱飼育法の講演會があつた。

△當區檢田見の道祖神祭ではやさしい子供に芝居を演らせ、其の親達は酒を呑み乍ら見物であつた、子供と親とが一緒に楽しむ道祖神は珍しかった。

十人支部通信

△當支部にては二月十一日紀元節の佳節に

當り軍人分會と合同にて、祝賀茶話會を開き、二三の感想發表あり、午後十一時以盛會裡に閉會せり。

△當區養蠶組合にては二月十三日、大字公會場に總會を開き、種々協議し、終つて宴會を催した。

△二月二十日當區消防役員、協議委員、並に伍長にて、ポンプ置場設置に付き、協議會を開き工費百五十圓以内を以つて、間口九尺奥行二間ものを、火の見櫓の下に新設する事に決定した。

△區民多年の宿望であつた、東前山當區直通通踏は、此の設兩區總代立合の上實地踏査をなし、是が丈量設計を本村役場に出願せり、因に同道路は東前山藤の木立町接續点より縣道を買ぬき産川を渡りて、當區中村に合するものにて、長さ三百間である。

學校から村内の皆へ

御願ひ

數年前から小縣郡上田市教育會では、郷土研究の一として、郡市内に於ける先史時代原始時代の遺物や遺跡について研究調査して居ります。本村としても曩に鳥井龍藏博士小山真夫先生の御指導のもとに、村内各所の御盡力を仰いで、郡内としても相當に各種の資料も擧げられて居ります。併しなから村内皆さんの中には、前に本紙に紹介いたしました以前に、或ひは皆さん御自身或は猶將來見出される方があるかも知れせん、申さざる迄もなく數千年前の遺物や遺蹟のごとくから、完全なものとは決して限りません、石器や土器の一破片でも、研究調査の資料としては、貴重な生命を持つてゐる事は往々ある事です。

幸春にも向つて参りますから、田や畑の手入れなどの時に、意外の場所から、どんな石器や土器又は其の破片などが發掘されぬ限りません。こんなものなんか……」の御考へでなくて、何卒道調査研究の尊い資料として、大切に取扱はれて、實に御

手數ではありませうが、學校が役場かへ御知らせ下さるか或ひはどんな方法でも宜しいです。そして又何時か拜見に上つたら御見せ下さい、小學校生徒にでも頼んで學校へ御貸し下さらば幸の至ります。尙ほ實は教育會から、近い將來に郡市内の當時の遺物遺蹟を網羅する精密な圖版(主に寫眞の圖書が出版される筈ですが、若し本村内で立派なものが是に洩れる様なことがあつても、著作者は申す迄もなく、本村としても遺憾の極みと思ひますから、吳々も、研究調査御援助の程御願ひ申します。御參考までに、今迄の所本村として相等に其等遺物が發見された所を左に記してみます。

- 西前山 (東矢、西矢、倉、中原、宮原、銀杏木等)
手塚 (金井、口明、紺屋村、立石、五反田、樋口、口、口等)
山田 (堀、木、北塚、竹ノ下等)
野倉 (六平等)
壺田公民學校の近況
先月六日に公民學校各部の女子五百余名中壺田部校へ參集女子部のみの校友會を午後一時より致しました唱歌の獨唱あり演説あり運動判斷の話、ハートモニカ獨奏等あり隨分盛會でした。因に西壺田部校の分は左の如くです。
唱歌 鈴蘭 後一 樋口光野
全 露地の細道 全 竹内宗子
全 里心 後二 武田可乃
全 冬の月 後三 瀧澤お柳
話 贅澤に就いて 後二 瀧澤たけじ
又二月十七日には、男子部の校友會がありました。校友會長坂田周平君の開會の辞あり辨論部長齋藤卓君の進行員下藤外(續く)

◆鹽神糯の由来

瀧澤歌之助

本村の舊農家である全氏多年農作物の改良に没頭せられ今同様の新品種を作出する。左記はその作出經過即ち苦心の記録である。

小農が種の良い種を作出せんと思ひ立ち大正十一年九月鹽田(大正五年見出稲)と大古よりの赤上総よりの見出し稻名づけて神代上総と云ふ。二種の内鹽田を雌とし神代上総を雄にして人工交配を行った所稲十五粒稔實し十二年播種せしに十五粒の内生青せし五本の良苗を得たり。挿秧後三本は葉細く分蘗は様々にして二本は葉太く分蘗は中位にして穂の形状厚く長くして腹白皆無穂先赤黒く上総に似たり。分蘗多き葉の細き方は小粒にして種々の變化を來し中小粒のものは腹白少し。双方皆乾燥したるに大粒の方は、變異によりてか糯種に變化したり。それを十二年より十四年迄栽培したるに糯種の變化は更に糯種に通じ種は糯に固定し良糯種を作出するを得るに至りました。

鹽神糯の特性 大正十三年の大乾魃にて田面白く龜裂を生じ除草は一回だにせず。水は池水により十五日毎に三回灌げるのみ、然るに稲の收量は二割減位なりき。熟期中生、葉丈中、分蘗中の多腹白皆無、多收の型にして、穂粒以上の收量を得。昨十四年鹽田五ヶ村の品評會に出品したるもの百坪當り玄米三俵と九升の成績なりき。糲種御入用の御方には御分讓致します。

若ければこそ

市村儀市郎

今年からこそしつかり踏みしめて行かう。私は此の世は辛い世の中にはうり出され、延びよ、生きよ、正しく、美しく、こゝろ呼ばれる時、どんなに苦しいか知れませぬ、人生は永遠の理想の追及では無いのでしようか、そして理想の光明に導かれ、一日一日と断つて努力によつて、永遠の道程を歩み、其處に人生の姿が見られて、其

人物月旦(三)

世間が騒々しかったので、月旦も暫く沈黙してゐた。幸が静かになつたから、又故顔を持ち上げる次第。山極 寛君

君の経歴については事新らしく書くまでもない。ある意味に於て其名郡下に鳴り響いてゐる。体軀肥大、眼光炯々、一見して其の凡ならざる事が分る。加ふるに頭腦明晰、談論奔放、眞に英傑の面影がある。惜しむらくは性來大酒を好み、酔餘の失敗多し、過去に於て殆んど批難の中に生きて來たことだ。現在深く禪林に入り酒を断つて只管に精進の路を歩んでゐると聞く。而し人間としての君を深く考察するときは、月旦子は酒を離れて得るごころの君の浮世の地位よりも寧ろ昔の儘の君の惡母(?)な

◆和歌

横の舍主人

◇竹下村長と黒坂助役兩君の御就任を壽きて
位山をぞをつらねてのぼるかなその眞心をしてをさしは
◇銀婚の春をむかへて
白かねの花みる春になりけり進み行くよにおくれながらも

異郷に働く者

福田生

あはたずしい昔の街を見すばらしい三人の男が血の氣のない肌……彼等は今何を求めてゐる。食? 嗚呼、人生の落伍者よ……お身等は斯うした異郷に何を求めに來たのか? あのなつかしい故郷の山や……川は……どうしたんだ魂の抜けたやうな。ほんくら人間の格好をしてゐるけどものお身等は影のやうな。人生を何處迄追つて行くのだ

若葉のみどり

草苗生

ひたむきに歩み來たりてかへり見る心おのづかしく淋しかりとも
思ふぞすじのまこと心の通じてはあらじと
我か病いなばと人の世のおもひ描ける事多くもてり
たまかきに烟にし來れば目さやに若葉のみどり手にとりに見つけ
しづかき冬木立見ればしばしなごむ想いすばなき身にしあれども
つ、ましく心も冬に入りてよりこひかなしもよ君おもひ居り

◆カメラ

◆青年團役員新年會は流石に盛會だつた。酒の酔が相當に廻つて聲が高くなつて來る頃になると若い者の元氣は素晴らしい。花屋の女中さん達総出でも間に合はない位に烈しく喧ひ立てる。御飯やお汁を盛つて貰つてゐたでは、はがゆいので茶碗を持つて立つて行つてお櫃の中からすしひ出すと云ふ始末、女中さん達お櫃を抱へて「マア」。

◆東前山支部でラジオの公開をした時は時節柄流石に賑はつた。たま〜アンテナに故障が來て放送中に途切れると後ろの方の小さい子供「かあやん今の人は何處へ行つたの?」

童話

▲冬の間 尋三 山極みすね
▲草 尋三 宮澤義十郎
▲ポブラ 尋三 黒坂重子

雪がふつて草が枯れた。足でふむくと、音が出る。
▲ポブラ 尋三 黒坂重子
寒い北風、ホッラの着物、月はお空に、風が吹く、ホッラ寒から、夜はふけた。
遊びに行つた、跡 高一 瀧澤よし子
後なふりかへつたら、新雪の中に、下駄のあとが、淋しく残つた。
▲枯葉のお舟 高一 東川廣太郎
ちよろろ、小川に、枯葉のお舟、けやきの葉の舟頭で、靜かに小川を下つて行く。

◆編輯室より

竹内武治

◆紙上の匿名は差支ありませんが新聞紙法により発行して下さる関係上編輯室まで本名を御知らせ下さらないと困ります。片カナや變態カナはいけません。○や、も一割御ざり下さい。

西塩田時報

愛國心

文學士 高倉輝

本稿は去る三月七日青年團總會の際に於ける高倉先生の講演要でありませぬ。

一文責在記者

愛國心と云ふことについてお話をしたひと思ひます、何事もさうでありますけれども世の進展につれて社會の総ては刻々に變化して行くのであります、昨日の善も明日は悪になつて行くことさきも珍らしくありませぬ、それについて一つのお話を致しませぬ。

明治維新當時江戸に一軒の鬘附元結間屋がありました。當時鬘附元結が下つて國民全部丁髷を切落すことになつたのであります、彼は思ひました。人間の頭は丁髷があればこそ美觀を保つてゐるんだが、これを切落して了つたらさぞ變な格好になつて見られないであらう、これはやがて又丁髷を結ぶ時代が来るに違いないと、そして折から安くなつた。鬘附及元結等を親類の人達や近所の人達の止めるのも聞かないで、ごん／＼買つて致しました。然るに何時迄經つても丁髷を結ぶ時代は來ずに世は遷り時は變つて、返つて丁髷姿が可笑しなものに見へる様になつて行きました。彼はその爲に大變な損を致しまして震災前迄東京のある處に住んで居りましたが今ではどうなつたか知りませぬ。

兎に角これは事實であります、このお爺さんの失敗は結局時代の進歩を理解しなかつたことに原因して居るのであります。世の變遷——それは殆んど豫想外の方向へ進展して行くものであります。その方向を見誤つたが最後のお爺さんの失敗を繰返さねばなりません。

且つては愛國者の代表として尊敬を受けて來た楠正成も和氣清勝も時の變遷につれて其の感激の程度は自ら變つて行きます。軍神と云はれた乃木大将も、廣瀬中佐も私どもの子供時代よりは其の崇拜の程度が薄らんで參りました。戰爭を中心とする愛國心は今や人心を離れて行つて、併しその爲に愛國心がなくなると云ふのではありませぬ。それは他の形に於て現はれて行くのであります。

門閥を尊重するは昔から我が國の風習であります、祖先の名を恥かしめない様にと、名刀の譽れをけがさない様にと云ふことでもあります。

日本の國は建國以來立派な國である、子孫はそれを守つて行かねばならぬ、祖先の爲に名譽を傷けない様に——歴史をけがさない様に、過去のこののみを誇りとして、それを愛國者として行くことに汲み及ぶたが、從來の愛國者でありました。けれどもそれは少なくも現在に於ける眞の愛國者の取るべき道ではないと思ひます、日本の武士道、大和魂、それは從來祖先の名を恥かしめぬにありましたが、さうした考へはもう何んの感激も持たなくなりまして新らしい意味に於ける眞の愛國者は歴史を誇り名譽を守つて行くだけでは物足りないものであります。如何にして日本の國を發展させるか？ 如何にして世界に貢獻する國

號九廿第

行發日一回一月每 定
錢三金 價
錢十金行一割廣

大正十四年三月廿五日印刷植本
大正十五年四月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村寄宮
印刷所 山浦活版所
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

民になるか？、を考慮せねばならぬと思ひます、要するに過去よりも現在及未來に於て、より日本人が向上し進歩することを心掛けることではなればなりません。

日本人の各個人が優れた人間になり、日本人の光りが外國を照し、日本人の思想が外國に及ぶ様に——換言すれば日本の國を世界に及ぶ様に——

スクラツプ

天才の結婚生活には幸福でなかつたものが多い。ソクラテスが女房に苦しめられ通したことは逸話として有名だ。シエクスピリア、ダンテ、バイロン、カーライル、ゴッテ、支那の孔子様は女房に就いては一言も仰言つてはゐないが、女房と小人とは養ひ難しと嘆聲を洩らしてゐるところを見ると苦勞も並々では無かつたらしい。

アダム、スミスは婦人に對する嚴勸を書物に對して移したと言つてゐる。獨身で終つた人の中にはカント、デカルト、スピノザ、ライブニッツ、ヒューム、シヨウペンハウエル等の哲學者をはじめ、ニウトン、ピット、ベネト、ヴェン、ガリレオ、レオナルドダビンチ、コペルニクス、メンデルゾフ、ヴォルテール、シャトブリアン、フロートベル等の名を見出すことが出来る。

世界的意義ある國に完成させて行く努力をすること、それが眞の愛國者の探るべき道だと思ひます。

吾々日本人が一步一步勝れた人間になつて行く——即ちそれによつて他人の誰しもが損をしたり減つたりするものはない、人間がよくなつて行くことは眞の富でありませぬ。先ず吾々自身を成長させ日本人として勝れた國民となり人類に貢獻して行かねばなりません。

其の昔戰國時代には武田上杉の兩雄は甲斐と越後に陣取つて互に相國をなした。さうした群雄割拠は今から思へば餘りに無意味のことでありませぬ。時の變遷につれてそれ等は打つて一國となり今や又國と國との団体に協調して國際聯盟等の形に於て一々の個人に協調して居ります。戰國時代の個人には怨うして世の變遷は想像も及ばなかつたことと思ひます。互ひに相國ごころは、その勝利者あることに依つて敗殘者を出さずにはおきませぬ。さうした無意味のことは可成りさけて眞の人間の使命を全ふすることに進みたいと思ひます。

從來の所謂愛國者は日本人の欠点は成るべくこれを覆ひそのいゝ處だけを高調して「吾々の祖先は斯々である」と誇つてゐたのであります。祖先の手柄をどの様に讃へるに過ぎぬ。名刀は鞘に治めて置くべきであらう。我々日本人は如何なる欠点を持つてゐるか？ それを矯めて眞の日本人として歩一歩完成へ向つて努力せねばならぬと思ひます。要は現在及未來の問題です過去の事實は現在及未來に向つて如何なる意義を持つつか？によつて價值が定まるものであります。これ迄日本人はその欠点を覆ふことのみ汲み及ぶて來たが爲に、世界的に勝れた文化は持つて居りませぬ。武士道と云つても大和魂と云つてもそれは少しも外國文化に影響した例はなく却つて日本はいつも儒教佛等外國の文化の影響を受けてゐるのではありません。

さうした外國文化の恩恵に浴してゐるばかりでなく吾々日本人は眞の日本文化を持つて外國を動かして國威を海外に輝かして行くに努めねばならぬと思ひます。それには前にも申した國民全体が勝れた人類となりそしてその日本人の間から眞に偉大なる人物を出して行かねばならぬと思ひます。

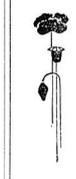
國民全体が優れた人間になることはお互ひの自覺であります日本人としての自覺日本人としての使命を感じて生きて行くことそれでありませぬ。

トルストイの童話の中に「人間にはどれだけの土地を要するか？」と云ふ暗示に富んだものがあります。(省略)無暗に必要な以上の土地を要求することは要りませぬ。人間本來の使命を忘れて無暗に慾望の角を延ばす時そこには見るも無慘な淺ましい姿があるのであります。

トルストイのこの童話によつて土地に對する露西亞人の考へは全く變つて來たと思はれます。それはやがて世界に擴がつて根本的に人類を動かして居るのであります。眞に自覺めたる力が人類を動かすそれは實に偉大なるものがあるではありませんか？ 要するに人間に必要なものは土地ばかりでなくそれを耕作することであり運用する人でありませぬ。

トルストイの書いたものに尙「教子」と云ふのがあります。(省略)これも實に暗示を持つてゐるものであります。他を清くする爲に自ら清くなり他を強くする爲に自ら強くなり他を燃やす爲に自ら燃やさなければならぬことを云つてゐるものであります。唯口先ばかりで他に善を強めることは返つて反感を覺へるものであります。先ず自らその善を行つて行くこと、それは根本的に他を動かさずには置きませぬ。

世の變遷につれて愛國の思想も變つて行くこと自前にも申しましたが新しい愛國心は先ず自らを完成させることに努力すべきであります。各個人々々を自覺させ成長させ完成させて始めて日本人全体が人類の目的に直進して進むことが出来る、その日本人の中から眞に偉大なる人間を造り出すことさうした意味に於ける日本の國の完成に向つて努力を惜しまない心、それが新らしい意味に於ける愛國心の發露でなければならぬと思ひます。



事務報告書 (其ノ一)

大正十五年一月一日ヨリ全年十二月三十一日ニ至ル一ケ年間本村役場ノ取扱ヒタル事務ノ概要ヲ摘録シ左ニ之ヲ報告ス

一、施設ノ大要

未曾有ノ大旱魃被害ノ後ラ享ケテ勤儉力行ノ美風ヲ養成セザルベカラザルヲ惟ヒ力メテ財政ノ緊縮民力ノ涵養ヲ圖リシト雖モ農村自治ノ根本精神ニ則リ、和衷協同ノ實生活ヲ基根トシテ村治百年ノ大計ヲ謀ラザルベク教育、産業ノ振興生活及風教上ノ改善消費經濟ノ計施設ヲ怠ラズ内ニハ役場處務規程ヲ改正シテ事務ノ處理分課ヲ明カニシ其整理ノ敏速ヲ圖ルト共ニ他方ニハ村史編纂委員ヲ督勵シテ村史ノ完成ニ最善ノ努力ヲ盡シ或ヒハ電話架設ノ工ヲ起シテ役場及郵便局ニ其ノ設置ヲ見ルニ至リ縣道ノ改修登記所設置等ニ對シテ公益ノ爲ニ援助スルコト少ナカラズ村内各種團體ヲ督勵助長シ相聯繫シテ時運ノ進展ニ順應スルニ努メタリ

Table with columns for dates (e.g., 二月二十八日, 四月一日), positions (e.g., 再選就任 村長, 村會議員), and names (e.g., 齊藤重太郎, 佐藤清五郎).

四月十三日 辭職事務衛生委員 小林留次郎

再選就任 土木委員 吉野 茂七

再選就任 林巡視員 春原義勇

當選就任 瀧澤 重

當選就任 瀧澤與四郎

當選就任 佐藤清五郎

當選就任 黒坂重市郎

當選就任 樋口 左近

當選就任 幸

技術員 樋口 左衛門

川西傳染病院 武田助左衛門

組合會議員 宮澤久三郎

當選就任 瀧澤 清松

當選就任 瀧澤 清松

當選就任 齊藤市太郎

如シ 豫算ニ關スルモノ 七件

一條例規程ニ關スルモノ 五件

一選舉ヲ行ヒタルモノ 八件

一其ノ他 三十件

合計五十件召集回数十五回ニシテ前年ニ比シテ少シ、而シテ其ノ筋ノ認可又ハ許可ヲ要シタルハ左記十一件ニシテ、總テ其ノ手續ヲ了セリ、

一處務規程改正認可稟請 二月五日

一村長就職認可申請 二月二十八日

一礦採取出願 二月二十八日

一公金預入先許可稟請 三月二日

村稅賦課方法

大正十五年度村稅は左の課率により賦課するに於て二月二十七日の村會に於て可決された。

一、地租附加稅 地租一圓に付 其他六十六錢

一、國稅營業稅制 本稅一圓に付 六十一錢

一、所得稅制 全 十四錢

一、戶數稅制 縣戶一圓に付 四圓五錢

一、縣稅營業稅制 本稅一圓に付 八拾錢

一、縣稅雜稅制 全 八拾錢

一、內遊興稅は本稅一圓に付 以上

一、公益ノ爲寄附ヲナス件許可稟請 六月三日

一、基本財産續入許可申請 六月三日

一、西鹽田實業補習學校廢止認可稟請 十一月二十九日

一、村會議員選舉 十一月二十九日

六、學 務 小學校内部ノ監督、教育能率ノ増進ニ就テハ專ラ六川校長ニ委任スルモ學務委員ト協力シテ就學ノ督勵、出席割合ヲ向上ニ努メ學校醫ヲ督シテ兒童ノ衛生ニ注意シ機宜ノ措置ヲ講シタリ、

學齡簿ノ整理、學事統計、學事ノ報告等ハ敏速處理ニ努メタリ

十二月末現在就學在籍兒童數ハ左ノ如シ

尋常科 男 四八人 女 三六人 計 八四人

高等科 男 零人 女 零人 計 零人

十二月現在職員數 本村正教員八人 專科正教員一人 尋常科正教員四人 代用教員四人 計 十七人

中鹽田村外四ヶ村學校組合ノ設立ヲ見タル結果本村實業補習學校ノ廢止トナリ、鹽田公民學校ヲ中鹽田村ニ建設シタルハ本年ノ一大事業ニシテ教育ノ振興上慶賀ニ堪ヘザル處ナリ、然シテ教授期間ハ十二月一日ヨリ翌年末日迄ノ冬期間ニシテ晝間教授ナリ

女子部授業ハ公民學校西鹽田部(小學校)ニ於テ之ヲ行ヘリ生徒在籍數ヲ示セバ左ノ如シ

男子部 一八三人 五六人

女子部 三六〇人 九三人

猶社會教化風教上改善ニ關シテハ戶主會主婦會、青年團、婦人會、其他各種團體ノ共鳴ニ俟テ修養施設タル各種講習會、圖書館ノ經營、時報ノ發刊等時代ノ要求ニ遅レザランコトヲ期セリ

七、社 寺 國體ノ精華ヲ發揚シ大和民族ノ粹ヲ保全スルニハ神佛宗教ノ念ヲ普及セザルベカラズ以テ神社ト寺院ト隆興ニ就テ常ニ力ヲ致シ其ノ財產管理方法ニ對シテハ極注意セリ

郷社並ニ指定村社ニ對シテハ祈年祭、例祭、新嘗祭ノ各々祭ニハ本職又ハ助役役進使トシテ參向シ何レモ無滯祭事ヲ執行セリ

尙皇孫御降臨ニ際シテハ各神社共其ノ報告祭ヲ執行シ皇運ノ無窮ヲ祈願セリ

八、勸 業 産業及工商業ノ振否ハ管ニ村經濟ニ影響スルニ止ラズ延テハ國家經濟ノ消長ニ及ボ

ス所大ナルヲ以テ農産方面ニ在リテハ專ラ村農會ノ活動ヲ促シ、生産能率ノ増進ト農業經濟ノ充實ニ努力セリ

即チ大旱害ノ後ラ享ケテ一般農家經濟ノ復興ハ容易ナラザリシモ産業組合ノ活動ト相俟テ農業資金ノ融通調和ヲ講シ一方養蠶組合ノ活動ニヨリテ養蠶技術ノ向上ニ力メ災過ノ傷痍ヲ癒スニ努力セリ

今一ケ年間ニ於ケル農産物ノ生産高ヲ示セバ左ノ如シ

種類 作付別 收穫高 見積價格

米 一七、七六八 四、四三六

大豆 一、〇五五 二、三〇〇

小麥 一、〇五五 二、三〇〇

干柿 一、〇五五 二、三〇〇

生糸 一、〇五五 二、三〇〇

春蠶 一、〇五五 二、三〇〇

夏秋蠶 一、〇五五 二、三〇〇

炭 一、〇五五 二、三〇〇

草 一、〇五五 二、三〇〇

(以下次號)

今回内務省の訓令により流水を引用するもの、調査をすることとなり、本部長より各町村長に發して、五月三十日迄に各管理を各町村長に發して提出することとなつた

右は從來引用水量、取入口の構造等判然せざるものがあり、河川管理上支障少なからざるを以て今回詳密なる調査をなし、管理上遺憾なき様にしたいと云ふ趣旨に出でたるもので、該訓令による流水を引用するものは舊慣に依るものと否を問はず、總て調査の上調査に圖面を添へて提出することになつてゐる。

而して本調査は河水引用に關する基礎的調査なるを以つて細大洩れなく調査を要することである。

本村に於てはこれが調査の爲に二月六日役場内に大字總代會を開いて、之が調査の方針を定め、委員を擧げて調査することにあり、三月二十日更に委員會を開いて具體的調査に關し打合せをした。

大正十五年度本村豫算

Table with 2 columns: Budget Category (e.g., 歳入, 役場費, 土木費) and Amount (e.g., 一、五三〇圓, 五〇〇圓). Includes sub-sections like 歳入, 歳出, 歳入合計, 歳出合計.

前村長齊藤重太郎氏在職中の功勞に報ゆる為本村會に於ては金五百圓也を贈呈するこゝに決定し三月二十八日贈呈式を舉行した

◆學務委員改選

本村學務委員四名は三月三十一日限り任期満限につき三月十八日の村會に於て改選の結果左記四氏當選致しました

◆青年團總會

青年團總會は三月七日小學校に開會した諸般の報告に續いて青年修養講習會出席者の報告あり、後團則變更を可決して晝食、午後は文學士高倉輝先生の別項の如き講演あり茶話會を催して午後五時閉會した

◆評議員會

三月十八日役場内に青年團評議員會を開き團則變更に伴ふ役員改選を行ひ理事を推薦して其の承認を得た。其の結果は左記の通り

◆信購組合より

役員改選、二月十四日總會に於て理事二名欠員の補欠選挙の結果理事に樋口一氏山極乾氏の兩名當選した

専務理事を組合長に推選。續いて専務理事の選挙となり、投票の結果理事武田正雄氏當選し三月五日より就任された

◆支那通信

三月十日午後一時より事務所に於て開會信用評定委員會開會

◆新町支部

副業組合受附止、同組合では一月以來製加工品を受付けてゐたが二十一日を以て受付を休止した

◆東前山支部

例に依つて本年も二月二十八日に敬老會を開きました。招待せる高齢者(七十才以上)

小学校入學用必需品が參つて居ります。即ちカバン類學生帽子其他學用品一式取揃つて居りますから御利用下さい

◆養蠶用石灰並にホルマリン養蠶用木灰

養蠶用石灰並にホルマリン養蠶用木灰蠶繭等の注文を願ひます。數量取纏めの都合がありますから大至急注文書を御差出下さい

◆會と人

森林愛護の思想普及の目的を以て三月十日午前には壙野神社に於て、午後には野倉公會場に於て講演會を催した

◆手塚支部

去る五日午後七時より例會を開いた。手塚公園の手入、敬老會、野鼠驅除等の協議をなした

◆山田支部

小縣郡聯合軍人分會主催の見學旅行に六班では班長引率六名は一行に加り二十一日無事歸郷した

◆西前山支部

ボツト試運轉 當區は先頃設置せし輕便脚筒につき是が使用法を知らしむ可く三月十六日老若男女學つて試運轉をした

本村書記一名欠員の處三月八日附を以て大字新町、福田正雄氏任命せられて就職されることとなつた

◆山形歩兵第三十二聯隊附木下三太郎

氏は三月五日附歩兵大尉に昇進された。氏は三月二十五日午後一時より役場内に軍人分會評議員會開會

◆四月三日全縣下に亘つての植樹デー

宅地の空地乃至は畑の隅等を利用して適宜植樹せられた

◆甲寅同級會にては他界したる同級生齊藤

製安雄、前島千松兩氏の靈を慰むる爲三月二十三日無量寺に追悼會を催し、兩氏の墓參をした

◆軍人分會にては三月十日陸軍記念日のト

して小學校に紀念式を舉行し、午後戦病死者の追悼會を催した

◆竹田せん氏三月十八日死亡された

竹田せん氏三月十八日死亡された。三月二十九日農區の委託を受けて野鼠驅除執行

◆三月十四日午前九時より、青年會場に於

て婦人會青年會主催にて敬老會を行つた。當區の七十才以上のお爺さんお母さんが五十三名、余興部には青年會員一座の(残る月影)全六場の長作物外に種々の余興があつた特に(残る月影)には白頭の客人袖をしぼりし者も有りました

◆三月十四日午前九時より、青年會場に於

て婦人會青年會主催にて敬老會を行つた。當區の七十才以上のお爺さんお母さんが五十三名、余興部には青年會員一座の(残る月影)全六場の長作物外に種々の余興があつた特に(残る月影)には白頭の客人袖をしぼりし者も有りました

◆土木工事

當區は道路改修計劃に依つて今春は當區馬場より手塚區に亘る新道路及宮原より新町に通する赤川筋の架橋工事に着手の筈

西 田 時 報

滯 歐 雜 感

黑 坂 邦 一 郎

昨冬別所常葉寺に開催された小縣郡青年團主催の青年修養講習會に於て法學士河合榮次郎先生の二日間に出遇ひました講演の一端を申述べて見ます。何分貧弱なる私事と河合先生の御講義が思想問題であり比較的むづかしかつたので充分理解に御座り得る事の出ない事は實に遺憾でありまはつたお詫言はねばならぬのであります。そうして本紙面に限りありますが大畧にして開連や抜かした所もありまはつたが敢て願ふ次第であります。

第一に英國國民の自尊心—英國屬國民の獨立運動、唯今印度獨立運動が英國内に叫ばれて居るけれど唯一人としてその運動に反對を唱へるものはないやうであります、それは今度英國國民が族國民を奴隸的に取扱つかい生命を傷つけ辱げて來た態度が餘りに卑劣であつたといふことを憤慨して今迄の誤まればねばならないといふ様なことが英國國民が一般に自覺されて來たやうであります。唯今英國内に於て各所に印度獨立運動演説會が開かれつゝあります。が英國國民全般かそれに賛成して唯一人としてそれに反對を唱へるものはないやうであります。そして人類愛に目覺めつゝ生活の自由といふ様な暖かい生活を望むるのであります。たゞさへば各自の生活の學校を造り設備が設けてあつて各自が人格の自尊心と相手と相手とが解説され自分であらためて人に接するやうな様に本當に清い人格を造り上げることに進みつゝあるやうであります。次に英國國民の團體組織。即ち理想主義の實現は英國人の家庭生活の自由といふことで如何に英國人はこれより進みつゝあるか今迄は

大正十五年四月廿五日印刷
大正十五年五月一日發行
長野縣小縣郡西壩村常葉寺
編輯印刷 樋口秀實
發行所 樋口秀實
全縣上市市六二六
印刷所 山浦活版所
發行人 西壩田青年團

ありませう。次に社會運動を起して社會を發見したのは(十九世紀千八百四十年)の中頃國家を見出した時國家の一人として多く仕んでゐる國民即ち國家生活であるところの會員が社會の發見と共に政事運動を起しそれに伴つて生じて來たものが國家生活以外の社會運動を起したのであります。そして社會の政員のための反對を來たした時にも社會運動を起すものであります。

兵であつて外國領土や治國のための軍國主義であり、其の内にも自國軍國主義と外國軍國主義と別かれるものであります。従來は報國強兵としての軍國主義であつたのであります。

經濟社會の活動は國家の人格を改革する社會であつて前者の社會運動は勞働問題であり、後者の社會運動は社會問題なるものであります。勞働問題には、個人主義的社會政策、獨立的主義の個人主義、個人主義は獨立的の主義を唱へたものであつて自分自身が自分の生活を営むものから個人主義といふ、五十年前から日本にも資本主義組織が外部の状態の個人主義を造り、資本主義、私利私欲等が答はつてゐます。超絶的理想主義には普通我々と個人我々の對立。人格主義には普通我々と人格統一。自己尊嚴。自己權利主張。社會運動。婦人權利等があつて、理想には國家と經濟社會が必ず伴ふものであつて、理想なるものに精神的努力の必要。社會存在。自我の統一。人格の成長。向上發展等があつて、國家には社會の集團即ち國家々族。學校教會。組合。國家の命令政令等が入るべきであります。經濟社會には交換現象とては町から農村へ農村から町へ復雜的交換現象が現はれて、社會制度に個人成長と個人の努力に寄らしむるものがあります。

社會問題とは何んであるか。それは社會運動の基礎となるものであつて、個人主義成長のための社會運動と資本主義經濟のため社會運動とが生じまして成因の異なる社會制度と社會改造運動。人格の成長の社會制度的意義も造らしむるものであります。社會制度的成因の成長なる社會改造運動。資本主義。個人主義の社會組織。個人主義の人格發展なる人格主義等は皆理想主義外面的對立の努力なるものであります。以上で講演は終つた譯であります。以上で講演は終つた譯であります。以上で講演は終つた譯であります。

御 寄 附

左記の通り御寄附がありました。誌上を以て厚く御禮申上す。

一金壹百圓 本村小學校木財庫ノ内へ
齊藤 重太郎 殿

一金五圓 時報發刊費ノ中へ
武州熊谷町保科 忠雄 殿

大正十五年度西壩田青年團決算報告

- ◆ 收入之部
- 一、會費 貳五圓參五錢
 - 二、補助金 壹五〇圓
 - 三、寄附金 六零圓貳五錢
 - 四、事業收入 五五圓八五錢
 - 五、基本金利息 參圓七錢
 - 六、雜收入 貳參圓八〇錢
 - 七、繰越金 四四圓九七錢
 - 計金 五九五圓九四錢
- ◆ 支出之部
- 一、事務所費 貳九圓五五錢
 - 二、會議費 五六圓八五錢
 - 三、事業費 參五圓四〇錢
 - 内 報費 貳貳圓八壹錢
 - 四、補助費 六八圓
 - 五、圖書費 六四圓五九錢
 - 六、圖書費 壹五圓四〇錢
 - 七、補助費 貳七圓參七錢
 - 八、雜支出 六八圓七八錢
 - 九、雜支出 五五圓參五錢
 - 計金 四四圓五九錢

社會問題とは何んであるか。それは社會運動の基礎となるものであつて、個人主義成長のための社會運動と資本主義經濟のため社會運動とが生じまして成因の異なる社會制度と社會改造運動。人格の成長の社會制度的意義も造らしむるものであります。社會制度的成因の成長なる社會改造運動。資本主義。個人主義の社會組織。個人主義の人格發展なる人格主義等は皆理想主義外面的對立の努力なるものであります。以上で講演は終つた譯であります。以上で講演は終つた譯であります。以上で講演は終つた譯であります。

事務報告書(其二)

九、統計
統計ノ事務タル、町村ハ勿論、政府及地方廳ガ施政方針ヲ確立スル根柢ヲ作ルノ資料トナルベキヲ以テ迅速且ツ的確ヲ要スルカ...

一〇、林務
村有林二十五町八反四畝歩ノ中既植地保護手入及倭林作業ニ付テハ林業委員五名ヲ以テ專ラ其ノ任ニ當ラシメ受託縣有林ノ經營ハ縣當局ノ指示ニ基キ巡視員四名ヲ料勵シ...

土木事務ニ就テハ町村道ノ整理河川產物採取出願道路占出願等ヲ主タルモノトシ幾多繁雜事務ヲ來スニ至レリ...

府縣道別所九子線ノ改修工事ハ本村大字前山地籍ニ於テ六十間ヲ施行シタルノミニテ他ハ翌年改修スルコトニナリタルモ右ニ關スル買收並ニ上地ノ手續ハ之ヲ了シタリ...

人口ノ増加ト社會組織ノ複雜ニ伴ヒ戶籍事務ノ劇甚ハ年ト共ニ著シク顯著屈書ノ受理發送等ハ總テ法令ノ定ムル處ナルヲ以テ些ノ怠慢ヲ恕サズ常ニ裁判所ノ監督ト共ニ研究調査ヲ怠ラズ敏速且ツ正確ニ處理スルニ努メタリ...

一ケ年ニ於ケル出生及死亡數並ニ年未現在ノ人口戶數ヲ示セバ左ノ如シ
一出生數男五九人 女六一人 計一一人
一死亡數男二五人 女二五人 計五〇人
年未戶數人口

シキ次第ナリキ
土地事務ハ逐年異動地ノ多キヲ加ヘ地目變換土木工事ニ伴フ分算其ノ他所有權移轉ニヨリ臺帳及名寄帳ノ整理ハ細心ノ注意ヲ要シ...

一七、會計
金錢出納ノ事務タルヤ町村行政上最モ主要ナル事務ニシテ之ガ整否ハ一村ノ興廢ニ係ル重務ナルヲ以テ諸帳簿及證憑ノ檢閱監査ハ極メテ嚴正ヲ守リ村長ノ例月檢査ノ外監督官廳ノ檢査ヲ受ケルニ村會議員立會ノ上臨時會計檢査ヲ執行シ其ノ嚴正ヲ期セリ...

一八、雜件
國勢調査ノ施行ハ十月一日午前零時現在ニテ全國一齋ニ行ハレ本村ニ於テハ調査員十五名ノ活動ニヨリ細密ニ調査ヲ了シ...

Table with columns: 戶數, 男, 女, 計, 平均. Rows: 本籍, 現住.

一入寄留者男四三人 女四四人 計八七人
一出寄留者男七一人 女七三人 計一四四人
一三、兵事
兵事ニ關スル事務ハ國防計畫ニ隨ヒ法令ノ改廢異動頻繁ニシテ之ガ整理多忙ヲ極ムル...

一四、衛生
本村衛生組合ヲ督勵シ春秋二期ノ清潔法ハ勿論トシホーム檢診治療種痘ノ接種傳染病及結核ノ豫防ニ努メ村内醫師ト聯絡シテ時期ヲ誤ラズ衛生思想ノ喚起ヲ計リタル結果...

一六、稅務
稅務ノ整理ト課稅ノ公平トハ納稅義務者ノ好感ヲ馴致シ延イテハ納稅成績ニ影響スル處大ナルヲ以テ細心ノ注意ヲ以テ公平ナルヲ示セバ左ノ如シ

Table with columns: 稅種, 稅額, 調查金額. Rows: 國稅, 縣稅, 村稅, 合計.

Table with columns: 令書發付數, 調查回數. Rows: 國稅, 縣稅, 村稅, 合計.

Table with columns: 世帯數, 人員, 實數. Rows: 世帯數, 男, 女, 計.

Table with columns: 野倉, 山田, 新町, 手塚, 西前山, 東前山, 十人, 計.

Table with columns: 野倉, 山田, 新町, 手塚, 西前山, 東前山, 十人, 計.

一、本村表彰規程第一條ニ依リ紀元節ノ住晨ヲトシ宮澤久三郎氏ヲ自治功勞者トシテ表彰シタリ、氏ハ多年公共ノ事ニ竭シ熱誠自治ノ進善ニ力ヲ致シ其ノ功績多大ナルモノアルハ村民ノ等シク之ヲ認ムル處ナリ...

◆青年團評議員會
五月四日午後八時より役場に於テ青年團評議員會開催、別項記載の大正十四年度決算を認定し尙、秋季に於テ青年團として見學旅行を舉行する申合せ等ありて散會。

◆銃槍術優勝名譽旗
上田市小縣郡内出身で、明治維新以來の諸戰役に、國難に殉せられた幾多將士の英靈を祀る招魂社は、毎年四月二十二日が祭日に當つて居ります。當日は其の境内に於テ毎年上田市小縣郡兩聯合軍人分會主催の擊劍銃槍術大會が開かれ、銃槍術に於テ尤も成績優良の分會を表彰する爲めに、優勝旗があるの、各町村分會は極力其の榮譽を得ることに努力致して居ります。

本年は優勝旗を得ざれば已まぬといふ、選手諸君の旺盛なる意氣込みで、數日間猛練習した上に、競技會場内の活動は又水際たつて目覚まし、十數年來希有の好成績を以て、見事優勝の榮を擧げました。據田方面に於テ此の優勝旗をかつかざ込んだ事は、痛快の極みでありませうか。
樋口岩次郎君 瀧澤 勝君
吉澤 豊君 小林 勝君

Table with columns: 野倉, 山田, 新町, 手塚, 西前山, 東前山, 十人, 計. Rows: 野倉, 山田, 新町, 手塚, 西前山, 東前山, 十人, 計.

西田時報

第一冊

每星期一回發行
定價 金三錢
廣告料一錢

大正十五年五月廿五日印刷
大正十五年六月一日發行
編輯 長野縣小縣郡西田村 西田時報社
印刷 山浦活版所
發行所 西田時報社
兼發行所 樋口 秀 實
今藤上田市六六六
今藤小縣郡西田村

乳兒の育て方

内務省衛生局

本書は「赤児を丈夫に育てるにはどうすればよいか」といふことにつき一般の心得べきことを摘記したもので保健衛生調査委員醫學博士瀧川昌世氏の執筆に基き同調査會小兒に関する特別小委員會の審議を経たものである。公共團體、公益團體等に於て印刷し及ぶ限り廣く一般國民間に頒布を見るやうにしたい。就中市町町村役場に於て出生届と引替に手交するときは最も読む所である。乳兒の育て方につきなほ詳しく知り度い者は當局編纂の小冊子「夏と子供」「冬と子供」「醫師の來る迄」等を參考せられ度い。

「小供は國の寶で」丈夫な子供は他日健全な國民となる。子供を丈夫に育つれば家は榮わ國は盛んになる。

親の健康が第一

生れつき丈夫な赤児は健康な親から生れるよい母乳も赤兒の十分な世話も健康な母親にのみ望まれる。

お七夜までの赤兒

生れて七八時間後赤兒が眠りから覺めたらすぐ母乳をつける。産後三四日間は初乳といつて黄色い乳が出るが飲ませる方がよい。マクリを用ゆる必要はない。生後お七夜までは赤兒はいろいろのことが起る。

イ、皮膚が黄色くなる 生れて二、三日目頃から皮膚が黄色くなり、四、五日位で消える。時には二週間以上もつゞくことがあるが心配するに及ばぬ。

ロ、臍の緒がとれる 臍の緒はだん／＼／＼からびて七日目位迄にされてしまふ。其の痕は二週間位で治るものである。

ハ、乳房の腫れ 時によると生後三四日目

乳と其の飲ませ方

健康な母親の乳が何より良い。母の食物は直接母乳の基となるから母親は滋養の多い食物(魚鳥、獸肉、牛乳、脂肪のある物、新鮮な野菜、果物等)をとり、まめに立働いてよく運動し食物が充分消化されて乳のよい成分となる様に心掛けることが緊要である。

イ、飲ませ方

初め一ヶ月位は二、三時間置き(一日七八回)に飲ませる。育つにつれて度数を減じ三、四ヶ月頃からは四時間置き位とし一晝夜五六回、夜はなるべく飲ませぬ様にす。飲ませる時間は毎回十五分から二十分位でよい。飲ませる前には必ず乳房をきれいに拭く。

ロ、離れ

七八ヶ月の頃から一日二、三回、重湯、葛湯「ソツツ」、牛乳、野菜汁、果物汁などを少しづつ與へる。誕生近くには軟かい粥、麩、鶏卵(かきたま汁)、玉子豆腐(豆腐)、ほうれん草、じやがいも等の裏漉し又はパン、ビスケット、カルヤキ類を與へ、

誕生過ぎにはお粥に魚肉、野菜、果物の裏漉し等消化し易いものをお菜として與へてよい。

ニ、牛乳、コンデンス煉乳、粉乳 母乳の不足のとき、病氣などで飲ませられぬ時は新鮮な良い牛乳を飲ませる。それが得られぬ時は煉乳、粉乳をのませる。その飲ませ方は赤兒の發育の工合、四季の關係などで一様に行かぬから、醫師や育兒相談所に相談するがよい、牛乳の薄め方や分量は大略次の表による。

生後	授乳の(牛乳と水の割合)	一度	回数	一日全量	砂糖量(一回)
一日	二	一	一	五	〇
二日	二	一	二	一〇	〇
三日	二	一	二	一五	〇
四日	二	一	二	二〇	〇
五日	二	一	二	二五	〇
六日	二	一	二	三〇	〇
七日	二	一	二	三五	〇
八日	二	一	二	四〇	〇
九日	二	一	二	四五	〇
十日	二	一	二	五〇	〇
十一日	二	一	二	五五	〇
十二日	二	一	二	六〇	〇
十三日	二	一	二	六五	〇
十四日	二	一	二	七〇	〇
十五日	二	一	二	七五	〇
十六日	二	一	二	八〇	〇
十七日	二	一	二	八五	〇
十八日	二	一	二	九〇	〇
十九日	二	一	二	九五	〇
二十日	二	一	二	一〇〇	〇

牛乳の薄め方

授乳の(牛乳と水の割合)

一度

回数

一日全量

砂糖量(一回)

備考

一、普通四角な角砂糖一個は凡そ七グラム、牛乳百八十グラムは約一合である。

二、生後六、七ヶ月頃重湯、肉汁、野菜汁、果物汁などを與ふる場合には授乳量をかげんする。

入浴

出来るならば毎日湯に入れる。耳に湯を入

れぬ様にし頭のまはり、腋の下、股の間な

ぞ殊によく洗ひ丁寧に拭き、亞鉛華澱粉な

どをつけて「たぐれ」をふせぐ、咳をしたり

熱があつたら入浴は見合せぬ。

衣 服

輕き清潔なものを選び「じゅばん」や「お

しめ」は、まめにかへる、着せ過ぎぬやう、胸

や腹を強くしめぬやう手足の運動の自由

出来るやうにさせる。

子供は日の當る明るい室におくことが大切で暖い日には室を開け放ち新鮮な空氣や日光にあてるがよい、衣服や寝具を絶えず日

にはすことを怠つてはならぬ。

外 出

生後三、四ヶ月になつたら寒くない時分には

戸外に連れ出し、新鮮な外氣を吸はせ日光

にあてることは體のために良いことである

春秋の穏な日、夏の朝夕などは、もつと幼

赤兒でも外へ出して差支がない。

室

輕き清潔なものを選び「じゅばん」や「お

しめ」は、まめにかへる、着せ過ぎぬやう、胸

や腹を強くしめぬやう手足の運動の自由

出来るやうにさせる。

年と共に養蠶が、盛んになつて來るに従つ

て蠶糞の生産量も亦年増加して來た一般

の養蠶家は如何に之を處理して居るか、未

だ、完全なる處理法を行つて居る人々は甚

だ、少いと思ひます而して蠶糞はどの位の

有効成分を含んで居るかと言ひますと蠶兒

の齡及び其他種々の事情によつて異つて居

りますが、平均の含有成分は凡そ次の様で

あります

窒素、四〇% 磷酸、三% 加里、二% 水分、二〇%

右の表によつて見ますと肥料中最も貴重な

所の窒素の量が一番多く含有されて居り

ますから此の蠶糞を完全に處理したならば

現今生産費中最も高率を示して居る金肥を

節約することが甚だ大であると思ひま

す然らば其の方法如何と申しますと先づ蠶

糞を貯蔵すべき壺を作ることでありませ

これは單に蠶糞を處理するばかりでなく人糞

尿或は其他の液肥を貯蔵し又は金肥を液肥

に混じて腐敗せしめて施用する等今日一農

家に一、二の肥料壺を作つておくことは甚

だ必要なことでありませ就中糞處理には唯

一無二の思ふ壺にはまる事と思ひます而し

て壺の大きは幅三尺長さ六尺深さ三尺此の

坪五十四立方尺であります普通三和土にす

るもよいけれども最も理想的に作るにはコ

ンクリートが一番良いと思ひます此の配合

方法はセント一、砂二、礫四の割合を可と

し上塗はセメント一、砂三の割合に混する

のを可とします而して藪百貫を收穫する農

家は凡八十立方尺乃至百立方尺の壺を必要

とします

蠶糞處理には土壺に鎮壓處理するを以つて

理想と致します猛烈に生産する蠶糞を立處

に處理することが出来るのは此の方法より

(以下欄外につゞく)

赤兒に病氣はすぐうつる

親、兄妹、子守などに病氣があると赤兒にす

ぐうつる殊に流行感冒、氣管や肺の病は一

番危険である、咳をする人は赤兒の側に寄

らぬやうにする。

赤兒の病氣はすぐ重くなるから決して油斷

してはならぬ、赤兒が吐いたり、下痢した

り又は咳や發熱したなら醫師にすぐ相談せ

ぬと手遅れになることが多い、殊に夏牛乳

直接町村稅負擔額調

大正十五年度郡下各町村に於ける町村稅負擔に關する調査は左表の通りである
尙昨年度本村の村稅總額は二万三千九百五十七圓總戶數六百八十三戶一戸當三十五圓〇七錢六厘總人口三千六百二十八人一人當り六圓六十一錢七厘である
本年に於て増額せる理由は主に縣道寄附金と中央道路新設費に因るものであること
(表)

Table with columns: 町村名, 總稅額, 戶數, 全上一戸當り, 總人口, 全上一人當り. Lists various municipalities like 宮土山, 東壙田, 中壙田, etc.

信購組合より

五月九日午後一時より本組合役員會を兼ね前組長合の慰勞會を舉行した、多年の勞を謝する爲感謝狀に添へ金五拾圓を送呈した終つて花の塔の原に於て役員員の慰安會を舉行した。
●左に本組合の諸規定を參考迄に御知らせいたしします。(現在實行事項)

一、購買品は現金又は通帳をお持ちにならなければ品物は差上げません。
●田肥料及夏肥の注文を取纏めます。組合員の皆様、今！今が注文の最好期で御座います。
●米國魚粉 一噸 七、〇〇〇
●白色獨逸安 一噸 六、二〇〇
●米國魚粉 一噸 七、〇〇〇
●白色獨逸安 一噸 六、二〇〇

壙田公民學校大正十五年度男子部入學者

本村より公民學校へ通學するものは次の通りであります
(一部一年六名)
吉田彦喜 武田俊雄
山極文雄 小松壽男
二部一年(四名)
荒井龜知 保科義廣
武田久雄 箱田清衛

共はまづ第一に口中衛生を重んぜねばなりません其れにはまづ齒の掃除と保護が必要で御座います。
●恐るべき蠅軍の襲來！退治せよ早く！
●養蠶上簇期と煉炭
●催青室たより
本年度本村に於て催青にかゝる春蠶種の統計を示せば左如し

Table with columns: 村別, 前期一年, 後期一年, 計. Lists student numbers for various schools and districts.

支部通信

手場支部より

五月三日は、當一部消防の創立以來第四拾九回の紀念祭にして、午前九時より、部員一同整列し、八幡社に今年の無難を祈る、後大池の堤にて、機具の手入及び出水演習をなす、午後は宴會にして、村長樋口演習をなす、頭領並副頭領總代副總代の諸氏臨席され、樋口組頭より詔書の奉讀あり、前部長小池泰太郎小頭齋藤東一郎兩氏に紀念品を贈呈せり

當區西澤勝太郎氏の 命弟西澤肥太郎氏は、當區青年會を、金五圓也を贈られたり、氏は現在滿洲の長春に在任し、長春市の市會議員の榮職に有る、多數の支配人を置き藥品商店をされつゝあり。

去る四月十日例會に於て支部見學旅行を廢し、團の主催なる、見學旅行に参加すべく決定せり、其の見學候補地は九月例會に於て、各々目的地を發表し見學地を決定して團に提出すべく決定せり

當區に於て春蠶掃立數は七百五十枚にして、當區の聯合養蠶組合の催青室は手塚公會室に常設せられてあつて春夏秋を通じて催青を行なはれます、春蠶の催青期間は五月四日に初めて廿四日迄に全部終了しました

- ◎手塚戊申文庫報告 昨年九月初旬より今年の四月末日迄に當支部の文庫は、左の通り貸出しを致しました。
修養の部 五十一部
文學の部 五十五部
小説の部 二百三十七部
歴史の部 五部
農業の部 十二部
衛生の部 一部
雜の部 九十八部
法律の部 四部
本年度の戊申文庫貸出總數 五百二十六部
本年度の巡迴文庫貸出總數

百六拾壹部
本年度手塚戊申及巡迴兩文庫の出冊總數は左の通り有ります。
合計六百八拾四部也

十人支部より

武田市左衛門氏、祖母キナ氏は四月下旬に逝去された。
當支部觀櫻會は五月九日午後一時より塔之原に於て催された。爛漫と咲き乱れた櫻花の下に、青春の血湧かせ肉踊らせて、半日の歡樂を心行くまで味つた。
當區處女會にては五月十一日、新緑満る温泉場田澤に一日の清遊を試みた。
當區用水上げ口の破損箇所修繕セメント

論文募集

左記に依り論文を募集致し、本村を愛する諸賢の熱誠なる御投稿を御願ひ致します。
一、論題 西鹽田村振興策
一、行數 十九字詰百八十五行以内
一、切 七月末日限り
一、發表 九月號
一、選者 村長、校長、村農會會長
一、賞金 一等五圓一名
二等二圓二名
三等一圓三名
時報編輯局

宛名
一、賞金
二、選者
三、發表
四、切
五、行數
六、論題
七、御投稿を御願ひ致します。

東前山支部より
感謝狀贈呈、五月九日午後一時より觀櫻會開會、尙當日は黒坂前支部長、並兼原前副支部長に長年の功勞に酬ゆる爲、茶器一席を感謝狀に添へて贈呈した。
今年もつとのおくれるだらうと豫期して居た塔の原の櫻も急のあた、かきで思ひの外早く咲いたので丁度見頃と云ふ九日當支部の觀櫻會を催した。花は満開云々は絶好の花見日和其れに此の日は日曜とあつて、いやはや人出の多い事江戸の鳴飛山を思はせる様だつた。猶つと山吹等萬花繚亂たる幽大な歡樂境で人々は酒に酔ひ花に舞ひ興じた愉快な様は此所ならでは見られね様だつた。亦此の日は軍人會の花見宴もあつて非常な賑やかさだつた。
五月一日より藤の木竹内一三氏が當支部に入會した。

新町支部より
塔の原觀櫻會、五月九日、當支部では塔の原の觀櫻會を催した。折からの麗かさにすつかり景氣づいて樽の傾げかたも素晴らしかつた。
郵便局勤務、福田賢吉君は長野遞信官吏

養成所を今春三月優秀は成績で卒業し現在上諏訪郵便局電信課に勤務
春蠶狀況、當區春蠶の掃立は二十日頃より二十四日に亘つた。桑葉の發育が遅れた關係や霜害等で稚蠶飼育養は他方面より購入する向も多かつた。蠶室保温方法としては埋辦法によるもの漸次増加し養蠶総戸數の五六%を示してゐる煉炭を使用する家は未だ無い様である。霜害も夏秋蠶養には被害の著しいものもあつたが、春蠶では掃立を減する程の事はなかつた。

河川調査を終了。内務省令に依つて行はれた河川調査は當區では五月二十四日に完成して、翌二十五日に區協議員、水路委員を招集して該調書の閱覽會を開いた、調書の提出は當區が最も早かつたやうである。
千曲公園清遊。五月廿六日午後一時當區協議員、水路委員並河川調査委員は新緑の千曲公園に半日の清遊を試みた、一市五郡に亘る眺望を意のままにし、岩鼻の岩壁を削つて走る清流の音に耳を洗ひ乍ら、芽の串であつた鮭の味は忘れる事の出来ない印象であつた。

霜除祭 當區青年會は前來より、霜除祭執行を(八十八)當日區より委託されて居つた。五月二日例に依り會員一同は該神社傍の觀月堂へ賑々敷い參詣者と並び豊かなおみきこに依つて盛な祭禮を行つた。
觀櫻會 五月十一日青婦兩會合同にて塔の原に觀櫻會を催した。年内唯一のお花見會は儘に人生の喜を喚起をせずには置かなかつた。

遠足會 當區處女會は十五日彌津のお姫様へ參詣す可く午前八時發足、一行は途中無事參詣を終り歸途大屋に止まり農民美術展覽會を一覽し夕刻目出度散會
會歌編作 當區處女會は各員愛會の念湧くが如く、此程會歌を編出した、其會歌は別記の通り、斯ふして會を慕ふの念は益々培養されて行く。

他郷通信
拜啓初夏の候農家も多忙の御事と思ひますが、其後は意外の御無音に打過ぎました。が會員諸彦には御變りもなき事と遠察致します。降つて小兵事去る十二日住み馴れた帆船を退船し運用學校練習船富士に練習生として入校致しましたから乍他事御休心下さい
諸彦の御壯健を祈ります。
横須賀港 小林 長 命

ため四月限り辭職した。
五月分より電燈料收金主任を齋原直意氏にお願いした。
五月廿二日第四部にては火防宣傳を實施し一般養蠶家に火の注意を促した。終つて後電線支障の枝切作業をす。

春日抄

邦 一郎

春の陽の光かすみて遙にも千曲の流れしろしろ見ゆる
嶺と嶺連なる上に盛り上る信越國境の雪の深しも
春なれど國境の雪はきねやらで冷たき雨のひねもす降れり
久々に降れる春雨夕晴れてみみずの歌のかすかなるかも

學校より

直江津修學旅行。天候に於て春季を以て最もよしとする直江津方面は父兄の同意を得て五月十四五の兩日舉行、尋六生徒八十名一泊の上無事歸校。
兒童身體検査。四月二十日より舉行全校六百名中の人員及歩合は次の如し
該班人員 百人三對フル割合

Table with 2 columns: 發育 (Development) and 體格 (Physical Condition). Rows include 齒齒アル者 (Teeth), 發育 (Development), 體格 (Physical Condition), 平均年齢 (Average Age), 身長 (Height), 体重 (Weight), 胸圍 (Chest Circumference).

海軍記念日。五月二十七日の海軍記念日には晴天なれば例年の通り鉄條山へ、全校生徒の登山を舉行する筈。

壯丁學力試験

五月二十二日本村内壯丁の學力試験が行はれた。中等學校卒業生は除く、受験す可き者三十四名中五名の缺席があつた。壯丁の學歴を總括すると、尋卒六、高一修三、高卒一八、中學一、修一、同三、修一、同四修一、蠶業一、丸子農商(乙)卒一、岩倉鐵道卒一、遞信講習卒一、である。試験問題は左の通りであつたが、國語の成績は一般に良好であつたに比較して、算術は著しく劣つてゐる傾向がある。

國語

第一問題(ラ施セル所ニ讀方ヲ附セ) 學校ノ北ニ小高イカガアリマス。ヲカノ上ニ天ジンサマノオミヤガアリマス。コヘ上ルト、私ノ村ハ一日ニ見エマス。

第二問題(ハノ所ノ讀方ヲ附セ)

我が國の馬は西洋諸國の馬にくらべると、せいも低く、體格もおとつてゐるが、近年外國から種馬を輸入したので、大に改良されて、いたる所に良馬を見るやうになつた。

算術

(一) 一俵四圓ノ木炭ハ一〇〇圓デハ何俵買ヘルカ。
(二) 三日間ノ旅行デ最初ノ日ハ一里、次ノ日ハ二〇里、其ノ次ノ日ハ七里半ヲ歩イタ、平均一日ニイクラ歩イタカ。

尋常小學校卒業シタル者

國語

第一問題(ラ施セル所ニ讀方ヲ附セ) 一國の文化の程度は、其の國民が國法を守る精神の厚薄に依つて、測ることが出来るといはれてゐる。我々は常に國法にしたがつて、幸福な生活を営み、あはせて國の品位を高めることにつとめねばならぬ。

第二問題(漢字に讀方をつけ全文を解)

人一度故郷を離れば、故郷の風物は常に其の心中に往來す。嬉しき時に故郷を思ひ悲しき時に亦故郷を思ふ。久しく異境にありて故郷に歸れば、山川草木悉く歡ん

で我を迎ふるの感あり。殊に業成り名達げて之を故郷の父老に告ぐるは、人生の至樂なり。故に古來志を立つる者、錦を着て故郷に歸るを希はざる者なし。

算術

(一) 甲乙二人が旅行した、其ノ費用ノ中、甲ハ汽車賃七圓五〇錢ヲ出シ、乙ハ宿料一〇圓五〇錢ヲ出シ、損得ノナイ様ニスルニ如何ニスレバヨイカ

國語

第一問題 高等小學校卒業並に實業補習學校卒業 尋卒第二問題と同じ

第二問題

愛は萬物を生育する太陽の光に比すべく、愛ありて始めて人生の妙味あり。社會の平和を得るも、國家の安寧を保つも、愛の結合に依れり。然れども一步を誤れば、此の貴ぶべき情も却つて恐るべき弊害を醸すことあり。されば愛情は常に明確なる智力と鞏固なる意志とを以て節制を加へざるべからず。

算術

(一) 尋常(二) 同ジ
(二) 或日新聞デ債券ノ相場ヲ見タルニ、6. 利某社債ハ額面100ニ付102.50、5. 利公債92.00デアッタ、何レヲ買フ方ガ利廻リヨクテ其ノ差ハ何程カ。

農村振興より農民救済

山極 隆道

今日農村振興の問題が極めて八釜しい然し乍ら私の考へる所では疲弊困憊して居るもの、問題は決して農村そのものではなくからうかと思ひます即ち「農村」云ふ「村」の問題ではなくして其處に棲む農民と云ふ「人」の問題にあると信じます言ふ迄もなく普通

一般には今日の所謂農村社會問題の如きも農村問題の一部分として取り扱ふて居るらしいが之は大なる間違ひであると思ひます斯の如き問題は農村問題と云ふ莫大なる問題の幕の内に抱擁すべきものではなくして農民問題と區別した判然した問題の一部分の内に取扱ふ可き問題であらふと思ひます勿論一般に言ふ所謂農村社會問題が村と云ふ地域の上にて起る問題であることは言ふ俟たないがその問題の發現體は村にあるのではなくして農民自身の内にあるのであるから之を只今も言ふ如く農村問題ではなくして農民問題であります斯の如く究めて來ると今日一般に農村問題と言ふ言葉の内に抱擁して居る大部分の問題は實は農民問題であると言ふ事が出来ませう坊間週々言を強ふて言ふ者があります今日の農村は此の儘にして放任すれば乾度滅亡するに想違はないと斯の如きは我を以つて言はすれば實に本末顛倒も甚だしい暴論であります農村は此の儘にして置いては上流社會が言ふが如く決して滅亡して終ふものではないと思ひます當だ其處に棲む農民それ自身が滅亡する憂ひがあると思ひます勿論農民が滅びれば農村は寂びれるに相違ありませんけれども此の場合と雖も誰れやらの言ではないか「國」びて山河在り」の嘆の如く農民は滅びても農村そのものは残ると思ひます寂びされて居る村の自治體の基礎が動搖すれば勿論國家の基礎で危ぶからしめると言ふことは言ひ得るが此の場合にも村の自治體構成の要素は農民の各個である事は忘れてはいけません從つて農民生活が脅威される場合に村の自治體が動搖し延いては國家の基礎に影響するものであります從つて一般の言ふ國家の基礎問題に觸れる問題であると言ふは農村が最初に於て何うなるか農民其自身の反省と自覺を促します。

ぬ春の姿を現した。自分が小學校を出でて上京してより早五年の星霜は流れた。燃ゆる様な華かな功名心を胸に抱いて上京したのも此の陽春四月であつた。五ヶ年間の生活は本當に苦しみと生れ乍らの負けじ魂から自ら苦しみの渦中へ落ちて行つたのである。そうして現在も若し乍らも其の苦學を断念し得ず、涯しもない學の海に恐ろしい力で卷込まうとする生活難の渦中に陥り苦しんでゐる。而も過去五ヶ年の苦學から得た酬は病弱の身体と、物質と精神的の損害のみである事を考へて馬鹿々々しく思ふ。そして暗いジメ／＼した室で苦しみ疲れて喘ぎ／＼黒血を吐いて死んで行く自分を想像して慄然として身振ひする。然も其の苦學生活を思ひ切る事の出来ぬ自分の不甲斐なきを情なく思ふ。電気工夫、書生、職工、車夫、配達夫、轉々として、それを立志小説に書かれてゐる様な苦しみを知ると味つた。周囲の冷たい睡に絶えず壓迫を感じ乍ら尙之に反抗し、或時は不可抗的な運命を痛切に嘆いて抗事もあらず。短いな人生を一刻々々々享樂して行けと唱へ詩人の聲も努力奮闘主義を鼓吹する先輩の聲も、何ら感ずるでもなく前途に大きな不安を感じ乍ら暗夜を探り／＼蝸牛の歩みを續けて居る。斯うして俺自身はさう移つて行くのだらう。

以上上京苦學五年間の體驗より得たる感想を断片的に下手な文章で書いたのです。沙上の樓閣の様な危い希望を抱いて、苦學てふ言葉華やかなものと想像して都會に憧る地方の青年男女の方は何かしら得るところが自分たとすれば幸甚です。然し自たは苦學を呪ふものではない。自分が兎も角も、まがりなりにも苦學生たる以上、苦學希望者に對して中止を宣告する者でもない。只アヤフヤな都會病に罹つてゐる青年諸君に、上京する前に都會そのものをよく研究せられん事を老妾心から申上げて置くのである。

最後に苦學希望者に一言申上る事は餘程環境に恵まれざる限り苦學は不可能であること自分は言ひたい自己の體驗から。……一九二六、四月東京の於て下宿

兵事雜報

豫て本年度海軍志願兵として受檢の結果合格證書を付與せられた。水兵安藤忠雄君機關兵吉池松治君は各々横須賀鎮守府舞鶴練習部へ入團を被命去る二十九日午前九時郷里出發六月一日無事入團す

編輯室より

他郷にゐる方では所々變更された時は御手数でも大至急編輯局まで御通知下さい。毎月返送になる時紙が多くなつて困りますから。原稿は是非とも十九年誌に書いて下さい。編輯が非常に手取れますから。論文彙集は新らしく、計割で當て御投稿下さい。夜も續いて題を掲げる様です。面白い問題があつたら教へて下さい。

苦學生の手記斷片

東京 大口義司
ごん底に苦しむ人々の前にも自然は變らぬ春の姿を現した。自分が小學校を出でて上京してより早五年の星霜は流れた。燃ゆる様な華かな功名心を胸に抱いて上京したのも此の陽春四月であつた。五ヶ年間の生活は本當に苦しみと生れ乍らの負けじ魂から自ら苦しみの渦中へ落ちて行つたのである。そうして現在も若し乍らも其の苦學を断念し得ず、涯しもない學の海に恐ろしい力で卷込まうとする生活難の渦中に陥り苦しんでゐる。而も過去五ヶ年の苦學から得た酬は病弱の身体と、物質と精神的の損害のみである事を考へて馬鹿々々しく思ふ。そして暗いジメ／＼した室で苦しみ疲れて喘ぎ／＼黒血を吐いて死んで行く自分を想像して慄然として身振ひする。然も其の苦學生活を思ひ切る事の出来ぬ自分の不甲斐なきを情なく思ふ。電気工夫、書生、職工、車夫、配達夫、轉々として、それを立志小説に書かれてゐる様な苦しみを知ると味つた。周囲の冷たい睡に絶えず壓迫を感じ乍ら尙之に反抗し、或時は不可抗的な運命を痛切に嘆いて抗事もあらず。短いな人生を一刻々々々享樂して行けと唱へ詩人の聲も努力奮闘主義を鼓吹する先輩の聲も、何ら感ずるでもなく前途に大きな不安を感じ乍ら暗夜を探り／＼蝸牛の歩みを續けて居る。斯うして俺自身はさう移つて行くのだらう。

農村振興より農民救済

山極 隆道
今日農村振興の問題が極めて八釜しい然し乍ら私の考へる所では疲弊困憊して居るもの、問題は決して農村そのものではなくからうかと思ひます即ち「農村」云ふ「村」の問題ではなくして其處に棲む農民と云ふ「人」の問題にあると信じます言ふ迄もなく普通

壯丁學力試験

五月二十二日本村内壯丁の學力試験が行はれた。中等學校卒業生は除く、受験す可き者三十四名中五名の缺席があつた。壯丁の學歴を總括すると、尋卒六、高一修三、高卒一八、中學一、修一、同三、修一、同四修一、蠶業一、丸子農商(乙)卒一、岩倉鐵道卒一、遞信講習卒一、である。試験問題は左の通りであつたが、國語の成績は一般に良好であつたに比較して、算術は著しく劣つてゐる傾向がある。

國語

第一問題(ラ施セル所ニ讀方ヲ附セ) 學校ノ北ニ小高イカガアリマス。ヲカノ上ニ天ジンサマノオミヤガアリマス。コヘ上ルト、私ノ村ハ一日ニ見エマス。

算術

(一) 一俵四圓ノ木炭ハ一〇〇圓デハ何俵買ヘルカ。
(二) 三日間ノ旅行デ最初ノ日ハ一里、次ノ日ハ二〇里、其ノ次ノ日ハ七里半ヲ歩イタ、平均一日ニイクラ歩イタカ。

西塩田時報

號二卅第

行發日一回一月毎
錢三金價定
錢十金行告廣

大正十五年六月廿五日印刷
大正十五年七月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村
編輯人 樋口 秀實
印刷所 山浦活版所
今縣上田市六二六
今縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

小縣郡川西十ヶ村道路組合規約

第一條 小縣郡泉田村九ヶ村ハ左ノ道路ニ關スル事務ヲ共同處理スルヲ爲メ町村制第百二十九條第一項ニ依リ組合ヲ設ク

一、麻績、九子線 起點青木村修奈良峠 終點富士山村二木峠

一、川邊、西内線 起點西塩田村下之條 終點西塩田村西峠

一、塩尻、富士山線 起點北鹽尻驛 終點富士山村砂原峠

一、室賀、西塩田線 起點室賀村押切 終點西塩田村新町

一、浦里、別所線 起點浦里村役場 終點別所村比蘭樹

一、東塩田、東内線 起點東塩田村役場 終點全村平井寺峠

一、中塩田、西塩田線 起點中塩田村役場 終點西塩田村舞田

一、東塩田、九子線 起點東塩田村下之郷 終點富士山村久保峠

一、浦里、西塩田線 起點浦里村役場 終點西塩田村役場

一、青木、鹿教湯線 起點青木村役場 終點西塩田村大明神原

一、浦里、中塩田線 起點浦里仁古田停留所 終點中塩田村川西病院

一、室賀村、村上線 起點室賀村神門 終點室賀峠

一、泉田、浦里線 起點泉田和合上田線分岐 終點浦里村岡

第二條 本組合ハ泉田村川邊村室賀村浦里村青木村西塩田村別所村中塩田村東塩田村富士山村ヲ以テ組織ス

第三條 本組合ハ泉田村外九ヶ村道路組合ト稱ス

第四條 組合役場ハ泉田村役場ニ之ヲ置ク

第五條 組合會議員ノ定數ハ三十二名トシ各村會ニ於テ其村民中村會議員ノ被選舉權ヲ有スル者ヨリ左ノ員數ヲ選舉ス

泉田村三名、川邊村三名、室賀村二名、浦里村四名、青木村五名、西塩田村三名

第六條 議員ハ名譽職トシ其任期ハ四ヶ年トス

第七條 議員中缺員ヲ生シタル時ハ補欠選舉ヲ行フ補欠議員ハ其前任者ノ殘任期間在任ス

第八條 本組合ニ組合長及組合長代理者並ニ收入役一名ヲ置ク

第九條 組合長ハ泉田村長ヲ組合長代理者ハ泉田村助役ヲ收入役ハ泉田村收入役ヲ以テ之ニ充ツ

第十條 本組合規程ノ定ムルトコロニ依リ常設又ハ臨時ノ委員並ニ必要ノ有給吏員ヲ置ク

前項ノ吏員ハ組合長之ヲ任免ス

第十一條 本組合ノ經常費ハ二分ノ一ヲ毎年四月一日現在各村戸數ニ二分ノ一ヲ前年度縣稅戸數別負擔額ニ依リ分賦ス

道路ノ新設修繕及維持ニ關スル費用ハ組合會議決ヲ以テ分賦方法ヲ定ム

第二章 訓練項目時數及訓練季節

第四條 訓練項目ハ修身及公民科教練普通學科職業科トス

第五條 訓練時數ハ四ヶ年ヲ通ジテ修身及公民科百時教練四百時普通學科二百時職業科百時ヲ下ラザルモノトス

第六條 訓練項目ノ課程ハ別表ノ如シ但シ訓練項目中教練ヲ除クノ外適宜分合シテ之授クルコトアルベシ

第七條 現ニ學校ニ在學スルモノ若クハ相當學力アリト認メタルモノ又特別ノ事由アル者ニ對シテハ一部訓練項目ヲ課セザルコトアルベシ

第八條 本訓練所ノ毎年ノ訓練ハ一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第九條 訓練委員會ハ訓練日及訓練日ノ訓練終始ノ時刻ハ凡ソ左ノ如シ

一、訓練季節及訓練日

繼續訓練期 一月一日ヨリ四月三十日及十二月一日ヨリ十二月卅一日ニ至ル

隨時訓練期 五月一日ヨリ十一月三十日ニ至ル

二、毎訓練日ノ訓練終始ノ時刻

繼續期ニアリテハ塩田公民學校ノ教授時刻ニ準ズ

隨時訓練期ノ訓練終始ノ時刻ハ主事之ヲ定ム

第三章 入所退所修了及費用

第十條 本訓練所ノ入所期ハ毎年一月トス但シ止ムラ得ザル事情アリト認メタル者ハ中途之ニ入所セシムルコトアルベシ

第十一條 本訓練所ニ入所スルコトヲ得ルモノハ前年十一月三十日ニ於テ十六才以上十七才未滿ノモノトス

但シ止ムラ得ザル事情アリト認メタル者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

者ハ十七才以上ニシテ入所セシムルコトアルベシ

第十二條 本訓練所ニ入所セントスル者ハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シタル履歷書ヲ添ヘ願書ヲ本訓練所ニ提出スベシ

第十三條 本訓練所ニ入所シタル者ニハ所定ノ青年訓練手帳ヲ所持セシム

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタルモノハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提示スベシ

第十五條 本訓練所ヲ退所セントスル時ハ其ノ事由ヲ述ベ且ツ青年訓練所手帳ヲ提示シ出席時數其他必要ナル事項ノ記入証明ヲ受クベシ

第十六條 訓練ヲ受クルモノニシテ居住所身分等ニ變更ラシタル時ハ其ノ都度届出スベシ

第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノニハ左記様式ノ修了証ヲ授與ス

課程表

訓練項目	年次			
	第一	第二	第三	第四
修身及公民科	道徳ノ要旨 公民ノ心得 責任以上	道徳ノ要領 國民道徳ノ特 及責任以上	道徳ノ要領 國民道徳ノ特 及責任以上	道徳ノ要領 國民道徳ノ特 及責任以上
教育	各個教練部隊 教練陣中勤務 隊旗信以上	隊旗信以上	隊旗信以上	隊旗信以上
國語	普通文ノ講讀 作文以上	普通文ノ講讀 作文以上	普通文ノ講讀 作文以上	普通文ノ講讀 作文以上
數學	實用數學珠算 一以上	實用數學珠算 一以上	實用數學珠算 一以上	實用數學珠算 一以上
歷史	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上
地理	人文地理ノ大 要以上	人文地理ノ大 要以上	人文地理ノ大 要以上	人文地理ノ大 要以上
理科	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上
農業	切ナル農業ニ 適以上	切ナル農業ニ 適以上	切ナル農業ニ 適以上	切ナル農業ニ 適以上

訓練項目時數及訓練季節

訓練項目	年次			
	第一	第二	第三	第四
修身及公民科	道徳ノ要旨 公民ノ心得 責任以上	道徳ノ要領 國民道徳ノ特 及責任以上	道徳ノ要領 國民道徳ノ特 及責任以上	道徳ノ要領 國民道徳ノ特 及責任以上
教育	各個教練部隊 教練陣中勤務 隊旗信以上	隊旗信以上	隊旗信以上	隊旗信以上
國語	普通文ノ講讀 作文以上	普通文ノ講讀 作文以上	普通文ノ講讀 作文以上	普通文ノ講讀 作文以上
數學	實用數學珠算 一以上	實用數學珠算 一以上	實用數學珠算 一以上	實用數學珠算 一以上
歷史	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上	近世ニ於ケル 國民ノ大要以上
地理	人文地理ノ大 要以上	人文地理ノ大 要以上	人文地理ノ大 要以上	人文地理ノ大 要以上
理科	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上	日常生活ニ適 切ナル理科ノ 大要以上
農業	切ナル農業ニ 適以上	切ナル農業ニ 適以上	切ナル農業ニ 適以上	切ナル農業ニ 適以上

塩田青年訓練所豫算案

(大正十五年)

- 一、手當、主事手當、年額二十圓
指導員手當教練指導員二名、一名八月手當七十圓十二月分此金八百四十圓他一名八月手當三十圓五月分此金五百五十圓計金九百九十圓
- 二、雜給、旅費、主事及指導員出張赴任實費支辨金五十圓、使手當年額十圓臨時雇人夫料金十圓計金七十圓
- 三、需要費備用品費、職員用草二脚十六圓、椅子二脚十五圓、印章附屬品十五圓、戸棚消耗品費諸帳簿類五圓、用紙類六圓、筆墨代五圓、木炭二、目八十圓、雜品代十圓計金百六圓
- 四、豫備費金五十圓
總計金千四百九十八圓

信購組合より

出資金拂込期日のお知らせ
出資金第一回分は大正十三年度に拂込済です。第二回即ち大正十一年増口分は本年度拂込みにて拂込済となり。第三回増分即ち大正十三年増口分は本年拂込みにて三回済む分であり。十四年度の配當金は本年拂込出資金と差引御通知申上げます。徴收期日は村税徴收日と全くと御座いますから豫め御承知下さい。(七月廿五日頃の豫定) 出資金は申す迄もなく組合の資金にて組合の資金は即ち皆さんの財産です。期日御忘れなく拂込の義務を御履行下さい。

組合の効果と使命
組合の貯金は！銀行や會社の預金や保險の掛金債券等の様に都會へ集中されるものではありません、即ち組合の貯金は貸付金とか其他の事業資金となり本村産業に直接間

接好影響を及ぼす事は申す迄もなく。又購買部に於ては一般物價の調節を計り、産業經濟の必需品を取扱ひ、生活改善、相互扶助の使命を帯び、組合は本村の適切な經濟機關であります。

組合員の皆様よ！何時も申上げる事ですが勤儉貯蓄間に合ふ事は必ず組合で！を御忘れない益々我が村の産業の振興に一層の御努力を切望いたす次第です。

貯金利率の御知らせ
唯今實行して取扱つて居る貯金貸金利率は一當座貯金が 日歩百圓に付 一錢五厘 一定期貯金が 年利率 八分迄

一貸附金利率は年附貸附が 年九分 一全 普通貸附が日歩 三錢三厘

定期貯金は御預けの期間金額の多少により高低が御座います。尙家族貯金又は團體貯金等は金額の多少にかゝらず御拂戻しに於ては御座います。

組合は御承知の如く政府縣廳の保護と監督の下に活動する一種の公益法人です。からすべての税金は免せられ、事業資金と低利に供給され、尙利益本位に經營する事業ではなく即ち共存同榮を理想として居る仕事です。から御預りする貯金は出来るだけ良い利率で御預りいたし、御貸しする御金は低利率で御預りいたし、御貸しする御金は低利率にて御融通申上ぐ可く活動して居る次第です。

組合書記宮澤喜熊氏は今回家事の都合により六月二十日附職せり。

●組合員 命長命丸(一名賢二) (紙切製)

忠孝、正直、節儉、慈悲、信義、勤勉此の品々を等分に調合し用ゆべし

一、調合法
一、功 能

家内不和合に良し。身代衰へ定海日の胸の痛むに良し。掛取諸かけ仕拂困る時に良し。掛小使錢切れたるに良し。その他貧乏の病一切を根治する事神の如く日月を安樂にむかへ世の中に安住すること請合なり

不忠、不孝、家業怠慢、大酒に入つて、一旦決したものの、様であつたが事重大なる為、具體的決定を爲さず、更に慎重に研究を重ねて最後案を作る為、比較測量をする事になつた。

◆母校へ松樹寄附
(NK生)

甲子同級會では去る五月十二日二間餘の見事な松を寄附し本村小學校正門の横に植えた。因に此の松樹は和方平吉氏が中塩田村望月大助氏より買入れたものを、該同級會並生殿と決定せり。

◆海軍本年度節點呼点は八月二十一日午前八時より上田市役所に於て小縣郡上田市の在郷兵に付き執行せらるるの事

▲後備工兵上等兵田村英雄君は演習召集により七月九日工兵第十四大隊へ、豫備歩兵

宮澤村議遊
本村々會議員宮澤友一氏は六月十二日急病にて逝去された。享年四十七才

故村議は嘗て本村小學校首席訓導として、亦、退職せられて後も惣代、村議等の地位にあること多年、盡力せられたるごころ少くなかつた。今俄に長逝を聞くのは惜むべきである。

●學務委員改選
本村學務委員黒坂重市郎氏辭職に付、六月一日村會にて改選の結果、樋口左近氏當選された。

●時 記の記念日
六月十日は昔天智天皇が長くも漏(水時計を用ひ、始めて報時の事を行はせられた日に當る故に我國では此の日を以て時の記念日としてある。

本村に於ては當日正午十二時に各區一齋に○鐘を打ち、工場は氣笛を鳴し、各自の時間觀念を喚起した。

◆中央道路再測量
本村に於て改修すべき道路中、最も緊急を要すべき中央道路(新町區を経て役場に至るもの)は從來屢々問題となり、幾度か調査も行はれたが、何分地勢其の他の複雑な事情の爲、延引して今日に至つた、本年

◆健康兒童審查會開催
兒童保健に關する思想發展普及に基き川西健康兒童審查會を左記により川西病院内に開催に就き御希望の方は左記要項熟覽の上来る十日迄に本村役場に申込まれたし(本村定員凡十八)

一、兒童年齢 大正十四年七月二十五日より大正十五年六月卅日迄に出生のもの

一、期日及び場所 七月二十日川西病院内

一、本會は体格が立派で總てがよく整ひとして丈夫な兒童を推奨し兒童に對する世の人の注意を促し兒童發育の標準を示したのであります

一、兒童に就き審査すべき事項は左の通りです。イ身長 ロ体重 ハ胸圍 ニ頭圍 ホ体質(營養)

一、審査の結果優秀なる兒童を選び賞状及び賞品を授與し且當選兒童は之を撮影して一般に知らしめ其係を後世に残します

◆七月ノ納税
大正十五年度宅地租第一期分
縣稅營業稅雜稅前半年期分
村稅戸數割前期分
農會費會員割全額

●納稅日 七月二十五日

一等卒竹下德人君は七月三日歩兵第五十聯隊へ各三週間宛入隊を命せられたりと本年壯丁検査は六月二十二日執行せられたり

全 二、七日抽籤の結果左記の通り

兵科 抽籤番號

甲 輪輸三 齋藤勝夫 甲 騎 五 小出清己
全 輪輸六 小林 薫 一 黒坂 清
全 歩 五 吉田信夫 三 乙 輪輸六 柳澤尚士
全 大 小 松 清 甲 輪輸 三 宮澤清春
全 騎 三 木下 幸 甲 機 七 日向榮次郎
一 乙 步 元 保科正春 甲 野重 四 金澤富平
一 乙 輪輸九 西澤又八郎 甲 步 六 大島司馬
一 乙 野砲二 横山彌太郎 甲 步 三 竹内實治
一 乙 輪輸二 小池 豊 一 乙 步 三 竹内衛佐雄
一 乙 全 三 黒坂左京 一 乙 步 一 竹内清之
一 乙 飛行二 中澤農夫見 甲 步 一 竹内清之
一 乙 野砲 二 福田眞澄 甲 水 三 前島雄之助
一 乙 鐵道 二 福田英雄 甲 步 二 市村俊市郎

◆村 會
五月二十九日役場内に村會開會、左記の件を附議し何れも可決した。

一、寄附金採納の件
一、學務委員辭職承認並に後任者選舉の件
一、町村道路線認定諮問の件
一、町村道改修の件
一、本年度縣稅營業稅雜稅納額議定の件
一、道路組合設置の件
一、道路改善保護規程を定むるの件
一、西塩田郵便局へ集配事務開始請願の件
一、大字十人に郵便物二回配達申請の件

◆學務委員移動
本村助教黒坂重一郎氏は學務委員兼任の處今回其の辭職を申出、五月二十九日の村會に於て後任者選舉の結果樋口左近氏當選就職されることになつた。

◆御 寄 附
一金拾圓 宮澤丑太郎殿
右の通り御寄附下さいました紙上を以て厚く御禮申上げます

今度は根を

市村克人

「桑の中から小唄がもれる、小唄聞きたや顔見たや」の養蠶情緒も去年の秋軒端に泣く虫と共に細り行き一時休息の状態にあつたが、新緑幕に包まれる頃となつて再び目の前に頭を上げて来たわけである、「信濃の蠶、蠶の信濃」と或人が評されたが外に...

飼育方法を以つて人を引つけ様としたことである、其の結果あつては〇〇飼ひこつちではXX飼ひなんぞ云々種類の兒を生み落すことに没頭してしまつて一般養蠶家に基礎的養蠶知識の普及を忘れてしまつたことである。其の他にも種々の原因はある...

純真粗朴なる土の子の叫び

大澤 三平

俺は純真粗朴なる土百姓である。恵まれたる農業に満足してゐる者だ今は、毎日朝から晩まで蠶に使はれて自然を相手に恵まれた自己の使命に向つて只管に繰進して居るのである、純潔なる肉体がばらに取つかれてにじみ出る血！そこには人生の苦しみがある然し俺はごまかす間もなく...

現代の一般養蠶家の状態を見るに莖や葉は充分なもので行かないけれど或る程度まで進歩して居る然し根はあまりに貧弱である云々も過言でない、將來此の養蠶をして進歩の二字を附せしむるには非共養蠶家の自身が此の基礎の根を伸すことに意を用ふる共に又此が指導にあたる人達もこの基礎知識を益々進歩せしむるに於て最も必要のことである。

西前山處女會の歌

空を渡る雲の影
私法大師の巡遊に
たゝめる岩の頂は
わのん行者の岩屋や
雷山や驚かす岩
ひでのりに里人が
天のこぼれを流れる
不動の滝や宮の川
夏は寒き塩野
社は式内郷社にて
古き伽藍の中禪寺
薬師のみ堂法の灯は
かゝる住よき屋はしき
はぐま、まれば、乙女子の
つめよ、つめよ、乙女子の
己が修業に醒めよ
文化の進みたるゆひなく
重き使命を果さん

公民學校々友諸君へ告ぐ

會則變更に伴ない。各幹事選任に附き木村に於ても全會員の選挙により決定すべき所であり、農繁期の事に於て全部集集も不可能な事から、相談の結果左記の通り地集致し、御意向御承知下さい。

小作地調査

税務署よりの指令に依り、現在小作に附しある地籍(田畑、宅地、山林、原野、池沼)の調査が行はれた。調査項目は地目、地番、地價、契約小作料、同種類、地主、小作人の數項に亘つてゐる。

編輯室より

青葉の深い頃となりました。春蠶も大概上簇を終りました。四十日間の不眠不休の辛勞は美しい白い繭となつて慰められます。悲観された繭の値も濱の活況と品

質の優良さにより豫想以上の相場を現はしました。何はともあれ私共にとつては喜ばしい事です。之から先の状況も今のところ更に悲観すべき材料は無さそうです。張合をつけてしつかり働かませう。

夏こそ私共農民に恵まれた天地ではないでせうか。日は照りつけます、植物は伸びます、精の續く限り働かませう、白日の下に、避暑ならずとも青田を渡る風に一脈の涼味を覺れるではありませんか。六月の田植は天狗様も魂消ると云ひます。明るく見せた、麥が忽ち片付けられて青田になつて行くところは實際驚かされま

カ イラに映じ六のは六月某日午後三時、信譽組合榎場、入つて来たのは二十四位位組合の取引先の店員らし。M事務員さん「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」

「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」 「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」 「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」

「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」 「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」 「やあ、變りまして御目出度う、今年も相變らずん」

郡縣小縣野長

錄附號二卅第報時田壩西

Table with multiple columns: 役場 (Office), 位置 (Location), 面積 (Area), 廣袤 (Extent), 部落數 (Village Count), 土地 (Land), 氣候 (Climate), 戶口 (Population), 人口 (Demographics), 動態 (Movements), 社會 (Society), 消防 (Fire), 議會 (Council), 文書 (Documents), 小學校 (Schools), 兒童 (Children).

Table with multiple columns: 養蠶 (Silk Rearing), 耕理 (Agriculture), 森林 (Forestry), 產物 (Products), 銀行 (Banking), 會社 (Societies), 質屋 (Warehouses), 組合 (Associations), 農會 (Farmers' Association), 肥料 (Fertilizers), 畜產 (Livestock), 家畜 (Domestic Animals), 畜價 (Livestock Prices), 市町村稅 (Municipal Taxes), 國稅 (National Taxes).

勸										育																					
主要					主要					總價格					生產物					教育費					教員						
種					種					種					種					種					種						
瓦	酒	玉	座	製	小	大	小	大	糯	種	種	種	種	種	種	十二	十三	十四	總	圖書	青年	學	其	教育	教	人	人	人	人	人	人
一	一	一	一	一	二	一	二	四	三	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

考 備										要 摘										通 交										生 衛 及 事 兵										政									
當 戶 一 人 又 一 人										當 戶 一 人 又 一 人										當 戶 一 人 又 一 人										當 戶 一 人 又 一 人										當 戶 一 人 又 一 人									
其	衛	生	費	費	費	費	費	費	費	其	衛	生	費	費	費	費	費	費	費	其	衛	生	費	費	費	費	費	費	費	其	衛	生	費	費	費	費	費	費	費	其	衛	生	費	費	費	費	費	費	費
1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

<p>村會議員</p> <p>武田助左衛門 黒坂重市郎 宮澤友一 市村秀實 樋口秀三郎 山極喜三郎 佐藤清五郎 小宮山節 宮澤八十八 樋口左近 齋藤市太郎 會根正一 小林留次郎 小林祐藏 平林祐藏</p>									
<p>學校組合會議員</p> <p>佐藤清五郎 樋口左近 宮澤八十八</p>									
<p>川西道路組合會議員</p> <p>齋藤重太郎 佐藤清五郎 宮澤友一</p>									
<p>澤山財産組合會議員</p> <p>樋口左近 武田正雄 春原種儀 宮澤友一 會根正一 瀧澤重 倉澤喜内 宮澤久三郎 福田駒太郎</p>									
<p>土地調査員</p> <p>黒坂重市郎 山極喜三郎 竹川利博 東川照司 荒川邦孝 吉池良平 佐藤三郎 瀧澤定巳 鷺原義男 吉澤廣次 宮澤兵部 宮澤欣次郎 金澤清次郎 齋藤清人 樋口勇人 山極博人 福田賢一郎 倉下藤衛 竹下幸衛 荒井精一 内田彌</p>									
<p>西塩田小學校</p> <p>校長兼訓導 校長兼訓導 訓導</p>									
<p>西塩田村聯合衛生組合</p> <p>會長 副會長 聯合會長 副會長 齋藤重太郎 大藤代</p>									
<p>西塩田信用購買組合</p> <p>組合長理事 專務理事 箱田梅作 武田正雄</p>									
<p>農區長</p> <p>吉澤茂七 樋口野藏 市村弘 小池德四郎 山極乾 小藤文太郎 齋藤一二三 保田由太郎 福田正雄 保田利吉 福澤只吉 横山健治 竹下信 東川忠市郎 東川幾太郎 竹内海一郎 坂口辰十 平辰藏 小林乙作 小極國時 山極國時 吉池平 竹内巳代治 宮澤友一 佐藤三郎 佐藤義男 鷺原政太郎 吉澤恭太郎 小池政太郎 山極幸藏 山下幸吉 平山博</p>									
<p>村誌編纂會</p> <p>會長 幹事 委員 竹下繁松 黒坂重市郎 武田繁太郎 宮澤丑太郎 宮澤久三郎 六川靜治 佐藤寄位 樋口知</p>									
<p>西塩田村軍人分會</p> <p>會長 副會長 理事 幹事 佐藤知 市村弘 荒井精一 宮澤茂士 瀧澤伴一郎 黒坂哲太郎 竹下亥地人 和方平吉</p>									
<p>西塩田青年團</p> <p>團長 副團長 理事 支部長 野倉山極 山極恒 手塚勇 西前山 東前山 新町 山極博之助 武田助之助 齋藤清人 樋口秀實 武田博之助 山極博之助 齋藤清人</p>									
<p>文庫員</p> <p>池田榮人 東川多壽男 保科和雄 小池智明 曲尾智明 宮澤茂士 春原正造 小林正造 小田信夫 小山林慶一郎 小田保長 吉澤信夫 宮澤茂士 中澤和孝 東川榮人 池田榮人</p>									
<p>評議員</p> <p>和方平吉</p>									
<p>幹事</p> <p>竹下亥地人</p>									
<p>全理事</p> <p>黒坂哲太郎</p>									
<p>全幹事</p> <p>和方平吉</p>									

西塩田時報

第三號

每星期一發行
定價 金一圓
廣告 金三圓
發行所 西塩田青年團

大正十五年七月廿五日印刷
大正十五年八月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村
印刷所 山浦活版所
全縣上市市六二六
發行所 西塩田青年團

陪審裁判とはどんなものか?

司法省刑事局

一、陪審裁判は何時から行はれるのか
我が國の陪審法は大正十二年四月に出たのであるが、陪審法廷を新築したり、陪審員の名簿を作成する等、色々の準備が必要なので、實際に陪審裁判が行はれるのは大正十七年からの見込である。

二、陪審裁判とはどんなものか
專門の裁判官の外に素人の人々を加はつて裁判をすることをいふのである。我が國の陪審裁判は、刑事事件の陪審裁判であつて、地方裁判所で裁判するや、重い刑事事件の公判に國民中から籤に當つた素人の人々十二人を立會せ、法廷の審理、辯論を聽かせた後、裁判官の出す問題に付いて、陪審員一同から答を出させ其の答に基いて、裁判官が裁判するのである。これが、陪審裁判の骨組である。

三、陪審ではどんな事件を裁判するのか
其の一は放火、殺人といふやうな死刑又は無期の懲役、禁錮などに處せられることのある事件である。これらの事件は被告人が陪審裁判を請求してもしくなくとも、通例、陪審に掛けるのである。其の二は、竊盜、詐欺のやうな、三年より重い懲役、禁錮で罰せられることのある事件である。これらの事件は被告人から陪審裁判を請求した場合には、其の取扱をするのである。しかし、何れの場合でも、被告人が公判や其の準備の取調で自白した場合には陪審に掛けない。又、選挙に關する罪や、騒擾罪や、其の他の特殊の犯罪に付いては陪審に掛けないのである。

四、陪審員にはどんな人がなるのか
先づ市町村長の手で陪審員資格者名簿が作られる。市町村長は、其の名簿の中から地方裁判所長の定めただけの審員候補者を抽籤し、其の抽籤に當つた者だけの名簿(陪審員候補者名簿)を別に作り、この名簿を地方裁判所長に送る。地方裁判所長は、公判の日が定まると、各市町村から集つてゐる陪審員候補者名簿の中から、市町村の大小に應じて一人又は數人の陪審員を抽籤し、陪審員三十六人を公判の日に出すのである。公判では、検事と被告人とが陪審員の中から、氣に入らぬ者を排斥する忌避と云ふ手續をして結局陪審裁判に立會ふ十二人の陪審員が定まるのである。

五、陪審裁判の模様
公判は裁判官、検事、書記、陪審員、被告人、辯護人が列席して開かれる。先づ、陪審員が公平誠實に職務を行ふことの誓から始まり、續いて、検事が被告事件の一部始終を陳述する。次に、裁判長が被告人を訊問して其の辯解を聴き、更に證人、鑑定人等を訊問したり、其の他の證據調をする。證據調が済むと、検事と辯護人とが有罪無罪の意見を述べる。かうして辯論が終ると裁判長が陪審員に對して詳しく事件を説明し、説明が済むと更に被告人がどう云ふことを行つたか、例へば人を殺したか、火を放つたか云ふやうな問を書面に記載して陪審員に訊ねる。そこで、陪審員一同は評議室に退いて、意見を交換して評議をする。評議が纏まると、答申を問書の餘白に記載し、評議室を出て公判廷に歸り、答申の附記された問書を裁判長に提出する。陪審の答申が相當であればこれに基いて、裁判所が刑を言渡したり、又は無罪の言渡をする。若し答申が不當であれば、事件を更に他の陪審の評議に掛けることとして公判を閉ぢる。

公民權の擴張

町村制の改正に依つて町村民の範圍が擴大されたと共に其の選舉權についても著しく擴張されることになりました。

一、帝國臣民たる男子にして年齢二十五年以上のもの

二、獨立の生計を営む者

三、二年以來其町村に住居する者

四、二年以來其町村の直接町村税を納むる者

でありましたが改正法に依りますと、例外を除く(帝國臣民たる年齢二十五年以上の男子にして二年以來町村住民たる者であり、従つて戸主たる者)とを問はず二十五年以上のものは立派に公民權を持つことになりました。

然して町村民は町村會議員の選舉權並に被選舉權を有すると共に府縣制の改正に依つて府縣會議員の選舉權もある事になりましたので來るべき總選舉からは擴張された權利に依つて益々お互の自治体の發達を圖ることが出来る譯であります。

次回募集
夏季附意結字日月水木金土
八月十五日無延開卷時報九月號
賞天容納地人粗景選者中和堂産川宗臣

他郷に奮闘
せらる、
皆様よ!
今年の夏も
御丈夫で
御働さ
下さい

暑 中 御 伺

- 西 塩 田 村 役 場
- 西 塩 田 村 小 學 校
- 西 塩 田 信 用 購 買 組 合
- 西 塩 田 村 農 會
- 西 塩 田 消 防 組
- 西 塩 田 衛 生 組 合
- 西 塩 田 保 安 組 合
- 西 塩 田 村 兵 役 優 待 會
- 西 塩 田 軍 人 分 會
- 西 塩 田 婦 人 同 志 會
- 西 塩 田 青 年 團
- 西 塩 田 時 報 刷 所 山 浦 活 版 所

役場欄

決算報告書

大正十四年度本村歳入出決算左ノ通り七月十三日本村會ノ認定ヲ經タリ

収入ノ部

- 金千六百十七圓四十六錢 財産ノ生る収入
金四百五十四圓三十錢 使用料手数料
金三千六百十六圓三十六錢 國庫下渡金
金七百六十三圓四十八錢 交付金
金四百十二圓七十五錢 縣費補助
金千八百十二圓七十二錢 繰越金
金千九百七十八圓八十七錢 雜收入
金二千九百二十六圓六十三錢 村稅
金三十五圓 基本財産繰入
歳入合計 金三万九百七十七圓五十七錢

歳出經常部

- 金四千八百十八圓七錢 役場費
金九十四圓六十錢 會議費
金四百三十三圓二錢 土木費
金一万四千五十五圓四十二錢 小學校費
金八百十三圓三十六錢 實業補習學校費
金十八圓四十五錢 傳染病豫防費
金十六圓 虎眼豫防費
金百二十二圓九十錢 勸業費
金二百五十五圓九十五錢 警備費
金百四十七圓七十八錢 基本財産造成費
金五百七十六圓五十錢 財產費
金四千九百四十二圓二錢 諸稅負擔
金百三十七圓八十七錢 神社費
經常部計 金二万五千五百九十三圓三十三錢

歳出臨時部

- 金八百八十圓 補助金
金二千五十四圓五十三錢 土木費
金十四圓五十錢 表彰費
金十三圓二十九錢 積立金
金千三百八十五圓九十八錢 寄附金
金七圓五十錢 社會改良費
金三百五十九圓七十錢 財產費
金百七十七圓五十四錢 村誌編纂費
臨時部計 金四千七百六十八圓四錢

田畑地租免除について

地租條例改正の結果田畑地價が其の同居家族の分と合算し二百圓未滿なる時は其の申請に依つて地租を免除されることになつたことは既に報告の通りであります

今月の納稅

縣稅戶數割前半年期分
納稅日 八月二十五日
右により免租されたる田畑には地方稅の地租附加稅を賦課する譯には行きません

土地の賃賃價格調査

今春の帝國議會に於て地租は土地の賃賃價格に依り徵收することが最良法なるに決したが大正十七年度より施行することになりま

兵事一東

既報の通り七月三日より三週間歩兵五十聯隊に應召せし竹下徳人君は七月二十四日附を以て歩兵上等兵に昇進

門札を掲げて下さい!!!

門札がない爲に郵便物の届先が不明だつたり、尋ね人が分らなかつたりしてお互に不便を感ずることが多いことあります

川西健康兒童會

川西十ヶ村健康兒童會は既報の通り二十日川西醫院内に開會せり

千曲川揚水計畫

小縣郡川西十ヶ村では一昨年大旱害に罹り、水枯れの際農家等憤慨的に互に雨乞はが、効果なき爲、千害対策として行ふ

盆は今月

從來慣行によつて九月施行して來た魂祭(盆)は養蠶の關係上郡合が悪いのでごうにか變更したいものと色々思案をめぐら

火災見舞

七月八日神川村大屋の火災は其の被害甚大にして實に同情に堪へざるものあり、本村に於ても些少ながら金一封を贈つて見舞の意を表した

寄贈書籍

一、臺灣事情 大正十四年版 一部
一、最近の臺灣 一部
右の書臺灣花連港測候所内武田由喜殿より御寄附下さいました

村會

七月十三日午前九時より役場樓上に村會開會左記の件を可決した

法律と制度

- 市町村制度の改正
道府縣制の改正
北海道會計法の改正
郡役所の廢止
道府縣に學務部土木部產業部衛生部の増置
各警察分署の昇格
郡廢に伴ふ小學校令の改正
郡廢に伴ふ徵發召集事項移管
治安警察法第十七條の撤廢
勞働爭議調停法實施
改正工場法の實施
鑛夫勞務扶助規則改正實施
健康保險法實施
青年訓練所の實施

七月一日より

- 入選優良兒 石巻 恒
浦里 鉛木久一
山本 稔
倉澤 幸子
中瀬 幸子
宮澤 新
西澤 誠三
東 隆一
宮原 春江
全
宮澤 正壽
青木 東 たま子
中瀬 福澤けさみ
川邊 小井戸せつ子

選外優良兒

- 浦里 久保美子
中瀬 誠三
西澤 誠三
小林 誠三
横澤 和
下形 久江
新保 政茂
浦里 中村義雄
富士山 清水謙

選外優良兒

- 浦里 久保美子
中瀬 誠三
西澤 誠三
小林 誠三
横澤 和
下形 久江
新保 政茂
浦里 中村義雄
富士山 清水謙

選外優良兒

- 浦里 久保美子
中瀬 誠三
西澤 誠三
小林 誠三
横澤 和
下形 久江
新保 政茂
浦里 中村義雄
富士山 清水謙

選外優良兒

七月一日は普通法の主旨に準據して改正された新地方制度が全国的に實施せられ、納稅資格を撤廢した公民權に基いて行はれる選挙はまづ自治体より試験せられる事になつた。即ち自治權の擴張を眼目とし、勞働階級の社會的更正に第一歩を踏出し、自治行政勞動行政の一新紀元を畫した

學 校

小學校より

夏こそ子供の樂園です、暑も物かは長い日も短かいはかり遊ぶ、此頃子供の遊びや健康上に一層注意を要する事は勿論です。水泳に行つて大人や泳ぎの出来る人があなかつた為、一大事を出来たとか、腐敗したものを食べて中毒したとか、其の他暑さあたりや、水あたりといふ様なことは毎日の様に聞かれます。學校でも常に兒童に注意をして居りますが、家庭におかれても亦御注意を御願ひ致します。

協同實習地に就て

隣田公民學校

當校に於ては冬季、季節教授をなす生徒に實習期の四月下旬より十一月迄の間、各生徒の協同訓練、學理の實際性、農業經營改良上の知能を練り農業趣味を深める爲め等、種々教育上農村振興上の立場より、協同實習地を設置する事に致しました。地勢上生徒數とを參酌して左の豫定の下に各村農會に委嘱して土地借入の斡旋を御願致しました。

- 中壙田 四ヶ所 西壙田 四ヶ所
- 東壙田 三ヶ所 富士山 二ヶ所
- 別所 一ヶ所

茲には西壙田の分のみを書き、皆様の御了解を得たいのであります。

始め學校では山田、東西前山、手塚上組手塚下組、新町十人を各一團とし四ヶ所設置の考へをした、然し色々都合で遂山田と新町中心の二ヶ所だけ設置する事が出来ました。純然たる學校の生徒とは違ひ家庭に於て相當經濟上の働きをする生徒であるので余り多くの實習試作を課する事は不可なるを思ひ一人當り水田二十坪内外蔬菜十坪内外を標準とし、それに一集團の人數を乗じて各實習地の坪數を算出し、田畑の都合で多少の變更を豫量した譯です。

當校に於ては先に此話を生徒にし各一團々々をして、組織立て統一、聯絡の便宜を

計る爲め、生徒に役員を選擧させました。その結果及生徒氏名等左の通りです。

◆新町部

後三 部長 横山信之

後二 部長 山本通敏

後一 部長 石川直己

後二 幹事 節田清衛

後一 幹事 武田久雄

後三 部長 齊藤米理

後二 部長 金井清三

後一 部長 竹下万作

後二 幹事 竹下忠亥

後一 幹事 竹下豊

後二 幹事 竹下作治

後一 幹事 竹下治

新町部は小林次助氏所有水田約二百坪小長嶽氏所有蔬菜園約百廿坪の地を借入れました。そして田は六月廿七日愛國を挿秧し畑には學校に於て温床で栽培した苗苗を配付し越瓜、胡瓜、佛掌薯、俗名分銅芋、紫蘇、瓜哇薯、里芋、玉葱、甘藍、春蒔、白菜、魯菜等を栽培して居ます。尙續いて結球白菜野澤菜等を作る豫定です。

山田部は適當の水田が見當らなかつたので、蔬菜園の約八十坪を借入れ前記新町部と全じ様な野菜を試作させました。

そして兩者共肥料配合や栽培管理現業に就いては學藝より三教諭交替に巡視して指導し、蔬菜、果樹、養蠶、普通作物、病虫害防除等に關しては繼續的に啓蒙刷りを配付し且、月々農業行事を活版刷りにして配付し時事の知識涵養に努め實習の効果の大きなを計つて居ります。又武田技手殿も時々巡回御指導下さる様御願ひして居ります。

兩部共尙ほ早天下の經營一段の努力を集中する事と思ひます。殊に新町部の如きは瓜味薯を出産前に收穫高價に賣却し、大人も考へつかぬ紫蘇の如き特殊作物を栽培し種々經營の妙を發揮して居ります。何れ收益調査、經濟調査も致しますから機會を見て發表する考へです。又耕種法や施肥等も書き度いと思ひます。

支 部 通 信

手塚支部通信

手塚支部では七月十日全會員出席にて手塚公園の手入れと草刈りを行った

◆青年會經營の見本桑園の夏秋葎専用桑の入札を行った。總賣却高百餘圓となつた

六十一年一度の旱害が度々來て困る當部落では一昨年の日照に於て今年早くに其の對策として動力を据付け晝夜兼行で水を上り其の爲め此の早にも今の所大した損害も受けずに居る

十人支部通信

◆應急灌漑作業、早り續きの爲、水田の灌漑には殊に大困難を來した。當區では七月十四日、場口下に吸上ポンプ數臺を裝置し用水堰に揚水した。

◆雨祭の神樂、七月十六日の夕刻万人の待ち煮れた雨は來た。一時間余に亘つて、此の平地に潤はした。ほんごに起死回生の雨であつた。翌十七日は雨祭りであつた。

新町支部より

區民皆鎮守に參拜し、青年會では神前に御禮の神樂を奏した。其の後で一同打揃つて事務所へ參集し祝ひの神酒を頂戴した。

◆信購組合事務員、當支部會員小山豊君は宮澤前事務員の後へ事務員に就職された。

他 郷 通 信

心も身も燃えたる様な春も何時と無くすがたをかくしましたをうして元氣にみちた夏がおとつれまして、先日はわびしく時報お送り下さいました、ありがたうございまして故郷の事も思い出されて一人なつかしく存じます。先は御禮かたが益々御發展あらんことを祈ります。

埼玉縣南埼玉郡八幡村 小學校内 小松しよ

謹啓時下盛夏の候貴村益々御繁榮之段奉賀候、小生來名以來意外にも御無沙汰に打過ぎ申候處會員諸君には其の何の御變もなく誠に結構な事と存じ上候、陳者毎々西壙田時報御送附下さり有難く茲に謹んで厚く御禮申上候尙會員諸氏には益々御健勝にて御暮しの程祈り上候

名古屋市中區流町 青島商會支店内 山田 寅 雄

謹啓盛夏の候西壙田青年會御繁盛の段奉賀に存じます、過日は小生に西壙田時報御惠下さり誠に有難く謹んで御禮申上ます雜沓の都會にて懐しき西壙田時報により故郷の隆盛を目前に知る事が出来るのは誠に有難き幸であります。謹んで御厚禮申上ます。益々御隆盛の程を祈り上げます

東京府下南千住三河島二五三一 河原次郎様方 林 猛

拜啓貴閣益々御隆昌奉賀候。陳者毎々西壙田時報御惠送下され難く御厚禮申上候。別途臺灣事情一部御送付申上候に付御高覽下さり度候

臺灣花蓮港潤候所 武田 由 喜

拜啓六月一日御發行西壙田時報御惠送下され毎々恐縮の至りに御座候先は不取敢ず御厚禮まで申上度如斯に御座候 勿々敬具

東京市外西大久保四十二 中 川 辨 吉

拜啓嚴暑の折から團員諸兄御動靜如何に候や御伺ひ申上候。小生は只今淺間山麓の僻村に養蠶家を廻り居候。露下とも言ふべし土地に候へば低溫多濕の爲、飼育も容易ならず、頭を悩まし居り候。氣候遅れたる土地の事なれば夏蠶は廿五日頃より掃立の様子に候。時節柄團員諸兄より御自愛專一に先は御伺ひませ

北佐久郡吾加村廣戸 福 田 眞 澄

暑中おつかひ申します

皆様壯健で益々御發展あらんことをお祈り致します。毎同時報お送り下さいまして有難うございませ

松本歩五にて 増 澤 利 吉

椰子の樹繁る南洋の空より 暑中御伺ひ申上候 南洋カロン郡島バラオ港にて 富士運用術練習生 小林長命

暑中御伺ひ申上候 霞ヶ浦海軍船空船一八 大澤重己

謹啓益々酷暑の折柄各位益々御勇壯に御過しあらせられ候哉お伺ひ申上候

團員諸君は小生出發以來益々村區の爲に國家のため御盡力下さる事と推察致し候小生は入隊後は故郷の様子を時々推察致し候小生見仕り候。誠に遠路までお送り下さり有難く厚く御禮申上候先は取致す御禮申上候

朝鮮騎兵廿七聯隊一中隊四班 小宮 山 源 一

八月の智識

トアラゲの大海戦 ナポレオンの海軍をナイル河口に於て英國のネルソン提督が全滅せしめた約百年前分前九年の役 源頼義、義家が安部頼時を扇川に亡した。約八五〇年前八月三日長藩英佛の軍艦と下關に戦ふ 赤手を以て強國に對し、國論を喚起した攘夷の意氣を見よ。 元治元年八月四日 一不祥事。 三百年前八月十三日 豊臣秀吉薨す 蔚山沖の海戦 我上村龍隊が浦潮の艦暴艦からしめたといふ仁義の戦ひであつた。

明治三十七年八月十四日 始めて種痘を試む 嘉永二年八月十六日 源頼朝薨す 僧文覺に説かれて奮起し、伊豆に兵を擧ぐ約七百年前八月十七日 旅順總攻撃開始 明治天皇の至仁なる聖旨を傳へん爲山岡少佐の交付した勅降狀を露軍が拒絶した爲遂に總攻撃開始

明治三十七年八月十九日 薩藩士英人を生麥に斬る文久二年八月廿日 韓國併合條約成立 明治四十二年八月廿二日 白虎隊の切腹 明治元年八月廿三日 和氣清磨配流 暗雲時に聖明を齎つたが天

津日嗣の基は清静の誠忠によつて固

められた 神護景雲三年八月廿五日 明治天皇即位大禮 明治元年八月廿七日 日露講和條約成立 明治卅八年八月廿九日 獨逸賠償問題の調印成る 大正元年八月三十日 今上天皇降誕 明治十二年八月三十一日

西塩田時報

西塩田村振興策 (三等當選)

文論

小池 豊

號四卅第

行發日一回一月每 定 價 三 金 行 告 廣
錢 十 金 行 一 料 告 廣

大正十五年八月廿五日印刷
大正十五年九月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村
編輯印刷 樋口秀實
印刷所 山浦活版所
全縣上市市六二六
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

時々の早霜害等が吾村の他に比してはるかに少ないのは事實である、洪水地震等の不慮の災害もまた今迄に問題となる程の事はなかつた、無盡蔵の寶を有する山林は多く而して交通も相當開けて、村の隅々まで自動車のエンジンの響は聞こゆる現状である、ます地勢上自然には恵れた村と言得るであらう。

住めば都で何不足ないと思つて居た愛郷西塩田村の振興策、そこには農業養蠶上の改善、村治改革、悪習打破、副業奨励、共同事業の發展、曰く何曰く何、と數ねて見たならば何程あるか知れない。而し乍ら其實行は到底望まれない事である、と斷言したい、無自覺な自己主義な村人許りであつたなら、どうして完全にこれが望まれよう、現在の吾村でもこうした實情ではないだらうか？私は叫びたい農村發展の根本は否西塩田村の振興は唯一つ村民自身の自覺にまつより外にない、難ぶかしい空論を語るを止めよう、やがて覺めた村民が生れたなら總ての難問題は解決して振興の道は開らる、鐵城の元に樂園の如く文明の世の安住地の様に開けた村の内に、老も若きも男も女も文明の聖代を感謝しつゝ、鐵取る手を軽く其の生活は幸福の光に浴す事であらう、自覺！難ぶかしい事だらうか？そしてそれが果して第一の振興の根本だらうか？拙い筆を便りに論ずる自分の責任は重い、農村は疲弊した、此村も農村なら此仲間に入れて然るべきだらう、本當だ疲弊したそ

うして危険の斷崖上にあるのだ、誰が何故に疲弊せしめたのだ、農民よ村民よ其れは農業者自身ではなかつたか、日々に進み社會の文明に並行すべく努力しなかつた吾々の罪ではないか、収入と支出は償はなくなり、その職業者に比して労働は激しい、そして一年一日としてゆつくりした休日とてないのだ、百姓は割に合はない若勞許りしてつまらないこれが農業者の總てか、滲らす所の言葉だ、労働は神聖だらう百姓は呑氣だらうが而して進歩のない階級はどしどし生存競争の敗殘者となつて行くのだ、日進月歩の社會を見よ呑氣だと言つて居る百姓が呑氣でない事を見出すであらう、自覺しなければならぬ自分等を見出して努力しなければならぬ自分等の収入の少ない内からの濟意識が少い吾々は収入の少ない内からの支出は何程に上るか、農村疲弊の因は判明するだらう、蠶を飼ふのには養蠶教師を雇ふ何んと言ふ矛盾だ、父祖傳來何十年養蠶で生活する人間が先生に就かなければ蠶が飼へない、何んと言ふ情ない事だらう、其のこ無自覺から他の職業より後れた所があるではないか、百姓を特別の者と考がて百姓に勉強は必要だ、と少しも斯の道の研究をしなかつた、自分等がはぶかしくなるだらう、此の村にも年々四五人の養蠶教師が来る一人八百圓と見て四千圓だ、其の四千圓は年々他町村に出て行くではないか、其金を毎年貯蓄して置いたら何十年の後に有益な公設機關が出来上るで

はないだらうか、而し今の村人の頭の働きでは養蠶教師不要は遺憾乍ら實行は出来ないので、其に努力がより精勵が必要になるのだ、養蠶教師が不要なら其れと同等な知識を得れば、だらう一年間學校で簡單な學科と少し許りの實地をし、養蠶教師様で済まして居るではないか、高等小學校を出た普通人なら當然誰れしも一ヶ月の修養でなれるとしたなら、普通教育を終つた吾々が少しの努力で學校出等の到低及ばざる知識と手腕を得る事は易なるものではない、其に村人の自覺の必要があるだらうか、其に村人の自覺の必要がある、眞に自覺して努力したなら數年後の養蠶經營上の發達は驚くべきものだらう。

養蠶教師不用の祝福すべき時代は來り一歩進めて現在の事業方法を改善し、僅少なる費用と努力を以て利益を増大し、繭糸の販賣に桑園の改良に未知數な發展を望まざれば、ではないか、お、尊き村人の自覺！一日一日進む文化に後れた村民は新しい事業の多くに失敗を重ねて居るではないか、種々なる共同事業は振るはず中には解散の止むなきに到つたものさ多いではないか、其のこ文化に後れた村人の無自覺な頭の働きのなかつたのだ、共同事業の行かぬ其原因は奈邊にある、其のこは時代に後れた自己主義な事業者許りを見受けなかつたか。

役場から配布される宣傳ポスターを眞に解する人物が何人ある、そして其れを實行出来る人物に於てをや、野菜物の消毒一ッ完全に出來ない者が立派な農業者なんだ、農家經濟に肥料學に農器物農業必要物の購買に其のこは商人ソコソコの頭の働きの要

るのだ、にもか、はらず斯學の研究等は言ふまでもなく毎日の新聞にさをも目を通ず人間が此村に何割あるだらう、相當年記の青年ですら自分の頭にも解し得られぬ小説の三面記事は見て生糸肥料其他の相場欄のを見方を知つて居たらうか随分疑がはしいものである、酒代になる金はあつても一冊の雑誌を買ふ金はなく、遊ぶ暇はあつても研究の時はない否其れに對して覺めた努力がないのだ、こうして農村の總ては時代から後れて疲弊の低に落ちて行く。

百姓も立派な資本家と見る事が出来る、資本家が資本の活用を成し得なかつたなら百姓でなくとも疲弊するのは當然ではないか、此資本活用に眼覺めぬ農民がどうして榮耀、政治家が自己の爲の農村振興や理論家の振興策に耳をかして居るべき時でない、村民自らが眼覺めだした時其にはどんな方法を講ずるよりも完全に振興は計れるだらう、國稅が少なくなつてごに振興の誠が得られよう、焼石に水の様な金を政府が出すを待つて居てどうして村の發達の一助となるものか、共同事業を盛んにせよ、副業をせよ勤儉を節約を生活改善を、と當局者がいかにあせつても色附のポスターを配布しても村民の頭にどれ程の響きがあつたらう、息子が兵隊に行くと言つては酒肴で振舞ひをする死んだ生きたと身分不相應なお祭りさばぎに使ふ金は村の内からどの位出て行くのだ、其の金の全部は都會の商人の手に集められて行くではないか、そして後に残つた代價は唯虛榮心を満足させた許りだ、中には借金してまでこうした事をす馬鹿者のありと聞く、何んと言ふ時代錯誤な事なんだらう、収入が少なくなつて出る金が多ければ各自の否村の富が減つて行くのは當然ではないか、村の振興の當局者として先に立つ識者の内に、まづ村治改革を陋習打破も其人間の頭からと言いたい、冬季間の副業問題、まず考がわて見るが、一年中せつせと休みも修養もせず働いて又冬も忙し程の仕事があつたら其れこ

募集論文に就いて

前號に於て募集致しました論文に就いて、皆様の澤山な投書を期待して居りましたが、農繁期の故か豫期した程の數を得られず、且内容も充實したものを得られず遺憾乍ら一、二等に推すべきものがなかつた由でした。因て別項記載のものを三等として推された譯です。

(編輯部)

蠶の「ダニ」に就いて

西壠田村農會

本年は氣候其他の關係上か特に「ダニ」の被害各地に相當る様に見受られます。「ダニ」に就ては從來地方によりては黒点病と稱せられ相當の損害を蒙り居たは事實でありませが豫防驅除法等に至つては兎角等閑に附された傾向がありませ就而該虫の經過習性等一應參考迄にこゝにかゝる事に致しましたから發生以前に於て適宜の施設を爲し豫防驅除につとめて下さい

ダニ母虫

一、所屬 「ダニ」は動物學上蜘蛛綱のダニ目「サルコプトイデ首科」たる「タルツネシデ科」「亞科」「ペテクロイデス屬」の一種にして「ソリクモ」等の近親なり

二、形態 形少にして肉眼にて容易に認め難きものなり雌雄に依りて異なる雌の幼期は紡錘形をなし〇、二六—〇、一九耗なり頭部は明に分れられ胸部腹部は明瞭ならず頭部は三角形を呈し腹部は最大なり体色は淡黄を帯びたる褐色にして頭部は赤褐色を呈す漸次成長するに従ひ腹部は膨大して三十倍位となり腹面滑にして淡黄色を呈す而して漸次黄褐色に變じ卵粒又は之より孵化せる幼虫其他發育程度を異にせる種々なる仔虫を藏す之の期に至れば運動することなく腹部の粘着力に依り蠶蛹に密着し絶食の狀態となり其後幼虫を産下してすぐ斃死す雄は成長することなく交尾後直に斃死す生育期に於て蠶体上に散活に運動せるものは肉眼にて發見し難きも百二十倍位の顕微鏡にて檢すれば容易に認め得

三、經過習性 胎生にして産下せられたる仔虫はすぐして生殖器完成し産下後直に交尾す母虫「ダニ」は仔虫を産下し間もなく縮少斃死雌は交尾後二、三日にて死するも雌は盛に活動して母虫の寄生せる寄主又は他の寄主に寄生し自己に適合したる状態にては二、三日にして成長極度に達するものなり「ダニ」一匹の仔虫産下数は四百に及ぶことあり四、五月の候より産下を初むるものなれ共温度低きを以て春蠶に於ては其被害を見ること少きも夏秋蠶期に於ては高温なる爲め被害甚大なり初期一代は低温な

る故成長に三十日間間の長期間を要す故春蠶には「ダニ」の被害を見る事少きも七、八月頃の高温期には成長盛にして十日位にて一代を終る十月頃迄を繰返し一ヶ年間に二十世代に及ぶものなり仔虫は食物を得ざれば二日以内に斃死す三日間生存するもの稀なり

四、病徴 一、蠶兒の病徴 被害の甚だしきは稚蠶期に多くして壯蠶期に少く眠期に多くして食期には稀なり加害を受け後發病斃死に至る迄の時間蠶令及寄生「ダニ」の数の多少等に依りて異なるものなれ共短きものは三十分乃至二時間にて斃死するものを生ず如斯短時間に發病するものなれば其の死因は「ダニ」育体より發する毒素の分泌に依るものとせらるる蠶兒は食欲不振となりて後赤褐色粘着性の不正形軟尿を泄し体軀多少瘠瘦し頭部を輿紀し左右に振動し或は不垂する等苦悶の狀を呈し口中より黄綠色の汁液を吐き出す屍体は軟にして變色は第四第五環節の加害部より始り前後に向つて次第に黒節の色となり黒變腐敗液化する事少く多褐色となり乾固す「ダニ」の深く食入りたるものは「ダニ」により被害せらる

二、蛹体の病徴 加害場所は腹部前域及腹部腹面の褶皺間なり從て褶皺のため全部又は一部隠るゝことあり被害部は黒變陷入し後部を縮縮するを以て一見蠶蛆の寄生を蒙る蛹の如し一蛹を寄生する成熟期雌虫の数は四五十頭多きは二百頭に達す

三、蠶蛾 蠶蛾にも寄生すれ共其數少く多くなりも十頭内外なり

五、寄生の経路 「ダニ」の第一次に寄生せるものは「麥蛾」「稻のすいむし」「竹の象鼻虫」「杉のかみきり虫」「くも」「きんげ虫」等の幼虫又は成虫にして此等より蠶に寄生するものなり之等が蠶室内に入る経路は

一、新しき麥稈を以て家根を葺きたる下に飼育せる場合麥稈中に潜伏せる麥蛾の「ダニ」の爲に被害せらる

二、附近に麥稈の存在する爲麥蛾發生し夜間燈火に集り蠶室内に入り來りて其「ダニ」に被害せらる

(古來麥蛾は蠶の血を吸ふと稱せらるる此種の例は本郡に非常に多し)

今月の納税

一、畑租納税前半年分

二、所得稅第一期分

三、臨時地租附加稅(縣稅)

四、臨時地租附加稅(縣稅)

納稅日 九月二拾六日

一、稲の「すい」虫中の「ダニ」が新しき稻葉を以て造られたる葉又は切葉を用ひたる場合に寄生す

(本年は此例多く特に昨年稻立ち悪しきものは「すい」虫に侵されたるもの多き葉を用ひしものは然り)

二、山林又は其附近に於て天幕張りの條桑をなせる場合杉の「ひめすきかみきり」の「ダニ」により被害せらる

(此例も本郡に於て開けり杉にて蠶室を改造せる場合に特に注意を要す)

三、蠶箔の竹の潜む象虫の「ダニ」に被害せらる

(静岡縣に於て被害を蒙りし事あれど本郡には聞かず)

六、驅除豫防法

上述の第一次寄生宿主を蠶室内に近よらしめざる事を最良とすれ共最も關係深き葉竹等育蠶上欠くべからざるものなれば何れも殺虫の後使用するを安全とす左に其の方法

を連れ

一、麥稈類は一切蠶室の周圍に近よらしめず麥の調製等も可成人家離れたる所にて行ひ且つ麥稈は焼き棄つべし麥蛾は發生すれば其近所の何れの家にもこぼものなれば徳義上全農家の注意を促すこと肝要なり

二、麥稈にて屋根を葺き換ふる場合は別記藥品熱氣等の消毒を行ひ然る後使用し必ず天井を張り麥稈と直接蠶兒と相面接ざる様にすべし「ダニ」に成虫の儘越冬すれば多数は冬期間に死するものにして試験に依れば數十頭中生存せるものは三頭に過ぎざり

三、麥の收穫時期附近麥稈の存在せる場合は常に被害多き地方は夜間蠶室の電燈を黒布等を以て被覆し置き露出を避くべし尙他の方面に誘殺するを可とす

四、切葉類等は必ず殺虫後使用するべし此等の材料とする(室息の項参照)

五、殺虫の化學的方法

1、乾熱 熱に對しては抵抗力弱く攝氏八〇度(華氏一七六度)に一分間 攝氏五〇度(華氏一二二度)に廿五分間接觸時は斃死す(藪の蒸室を使用し百二十度以上昇せしめたる後三十分乃至一時間を経過せしむれば安全なり温度高き時は更に時間を短縮し得蒸器はかくして可成使用せられたし)

2、濕熱 攝氏五〇度にて三秒にて斃死す然し安全を期するために時間は乾熱の場合に準じ三十分間經過せしむべし

3、室息 室息には割合に抵抗力強く桑の「すきむし」は二十四時間蛹は五日間「ダニ」は四十時間を浸漬して始めて斃死するものなれば最も安全を期するには寒冷の時期五日間以上一週間水中に入れ置き其後上げて寒氣に曝し水結せむべし

(葉 蠶莖等はかくして使用するべし)

4、昇汞 昇汞には割合に強く二百倍昇汞にて消毒を要するものなれば實用上の効果少

5、日光 夏日直射日光にて一時間四十分にて斃死す然し實際の場合には日陰の方面に廻る故に効果薄し

6、二硫化炭素 二硫化炭素を以て消毒する

場合室内千立方尺に對し三ポンドを二十四時間蒸氣放置せば可なり

硫黄二立方尺に硫黄一匁燃焼し一時間密閉をししたる場合斃死せり

(廣き蠶室にては完全を期する事困難なり)

去る八月十六日午後四時半より五時半頃に亘り暴風雨に伴ひ本村一帯に降雹あり就中大字手塚字飯沼字龍坂口大字前山向矢ノ倉前矢ノ倉西馬場東馬場惣門上町宮本町塔ノ原以南等は二錢銅貨大の雹降多量に及び桑園及農作物の被害甚大なりしを十八日郡農會より技手の出張を乞ひ實狀を踏査したるに桑は小牧に被害甚敷成長点を折損したるもの多く其地は六割に及び最も被害少きは鼠返にして二割内外なり被害見積價格左の通り

桑園 九千五百圓 激甚地面積四十町歩

蔬菜 一百圓 南瓜夕顔茄子其他

雜穀 一百圓 大豆類及蕎麥

桐 三十圓

計金九千七百三十圓

八月二十七日午前九時より役場内に村會を招集し左記の件を議定した

記

一、基本財産蓄積條例改正の件

一、町村稅賦課徵收規程改正の件

一、町村稅督促料條例改正の件

一、土木委員設置規程改正の件

一、衛生委員設置規程改正の件

一、林業委員設置規程改正の件

右條例規程の改正は基本財産蓄積條例に於て蓄積項目の中に馬籍手數料及指定寄附金の二項を加へ、督促料條例中督促手數料金拾錢を貳拾錢に、賦課徵收規程に於ては稅制改正の結果特別地稅附加稅を加へ、其他の委員設置規程に於ては町村制改正の結果「本科公民中ヨリ村會之ヲ選舉ス」を「本科公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ村長ノ推薦ニ依り村會之ヲ定ム」と改正したのである

降雹被害調

振

國

勤 儉 週 間

で ま 日 七 り よ 日 一 月 九

勤儉は 幸福の 實を結ぶ
家を 興して 國富ませ
一錢を 笑ふものは 一錢に泣く
蓄ふる ものば 日に強し

興

力

信購組合より

七月末現在調査本組各事業成績表を示せば次の如し、圓以下切捨

組合員数	六一一人	
出資総額	參六四〇圓	
拂込済出資金	貳五壹〇七圓	
貯金現在高	壹六〇參九五圓	
貸付金現在高	五七貳四四圓	
借入金現在高	八四五〇圓	
預け金現在高	九四六四四圓	
購買品買却高	四貳〇貳四圓	
以上の内六月末との増減額は左之如し		
科	増額 減額	
一、拂込済出資額	四、〇三三強	
一、貯金現在高	二、四六六強	
一、預け金現在高	四九、〇五〇	
一、購買品買却高	二、四四五高	
一、借入金現在高		二〇、〇〇〇
一、貸付金現在高		九、五九六強

斯の如き好成绩を表はして居ります、賢明なる組合員諸君よ相互の福利の爲に勤儉貯蓄「共存同榮」此の産業組合の中心觀念を忘れず益々自分の組合を御利用あらん事を切望する次第です。

信用は金では買へぬ寶なり
組合に入れ凡て世の人
安く買ひ廉く賣ること人の世の
人の務めぞ盡せ諸人

貯金して歸へれば強い人になり。
●産業組合高等講習會は去る八月廿日より五日間野尻湖畔に於て開催され小縣郡内組合より各一名づゝ出席、本組合よりは武田理事出席受講された、講師は農林省事務官小徹八彌、産業組合中央金庫 厚東武雄、全國購買組合聯合會肥料主任技師荻原壽雄、長野縣農林主事 岡田只雄、其の他の諸氏にて講習科目は、一、歐米に於ける産業組合運動の近況 産業組合金融 一、肥料取引 一、爲替業務の本質の實際 一、改正産業組合法其他等であつた。
●産業組合婦人講習會は去る八月廿六日より五日間上田市小學校本校に開催され講習科目は、一、消費經濟と婦人 一、産業組合の概念 一、購買組合の事業 一、被服の取扱 一、割烹等にて本組合よりは保科よしの

氏出席受講せり。

秋肥料購入の好期来る。我々農民の最も重要欠く可からざるものは肥料である。事申す迄もありませんが年々歳々習慣的に同じ様な肥料を高くも安くも同數量を申込み、其地の土壤の關係、作物の關係價格の高低等に余りに無關心で肥料を使用なされて居る方がありはすまいかと存じます。私共は此の肥料の購入期と其の主成分の有る價格の最も格安なる經濟的肥料を購入しなければなりません。本年は昨年比し総ての物が下落して居ります。爲替關係や色々の關係にもありますが昨今の肥料市場は近來になき安値を出現して居ります。此の

論文 新題

- 第二回論文左記に依り募集致します
奮て御投稿を御願ひしませう
- 一、論題 婦人參政論
- 一、行數 十九字詰百行以内
- 一、ノ切 十月十五日限り
- 一、發表 十一月号
- 一、宛名 時報編輯局

支 部 通 信

●手塚支部より
一昨年の干害の折當區の地蔵様を十日間晝夜兼行にて祈願をしたところ願望なつて當區域及び近在は相當の收穫を見て其の有難さが世間のまことなつて居つたところ本年も一昨年以上の干害を蒙つて居つた折當區にても種々對策に付いて協議の上今後數日も干天が続いたならば雨乞を初め様々其の翌日地蔵尊の雨乞帳を立てたところ其の日の午後眞白になつてゐた地面をこげよとばかりの大恵雨があつて十六日は午後一時區民一同は無量寺に參集して雨祝の酒盛りをした、雨乞帳を四度ばかり立てたが其の度毎に恵雨があつたので益々有難さが益して来るばかりであつた。
●八月十六日の降雹の被害は樋之口の一部分にして幸ひ大被害はまぬがれた。

新町支部より

●非常用水池 八月十六日午前八時より、當區消防部員出動し區内産川筋四ア所に非常用水池を浚漕した。此の日夕刻、掘つた用水池も押流すかと許りに、あの結構な雨が来たのであつた。
●秋蠶狀況 早稲の秋蠶は、桑葉の發育の悪しかたつたのと、稀な暑氣の爲に不良の向もあつたが、十三日以後の掃立の分は良好である。

他 郷 よ り

左記の方々から鄭重な御便りがありました
京都府下中舞鶴練習部第二四分隊 安 藤 忠 雄
松本歩兵五十聯隊第九中隊 福 田 勝
東京府下隅田川町新田一二二六 西岡建一様方 武 田 島 治
樺太西海部惠須取樺太工業會社々宅 前 島 善 之 助

人命救助表彰

本村大字手塚無量寺住職西澤龍瑞氏は、去月二十五日同區不動池において北澤佐三郎氏の溺死せんとすを發見救助した廉により八月二十三日高橋知事から表彰された。

九月の歴史

關東大震災 大正十二年九月一日
セダンの役 佛王ナポレオン三世は大奈翁の霸業を夢みて普魯西に戦をいざんだが、普國には英帝ツルヘルム一世を初め、ビスマルク、モルトケ等の愛國英雄出で、遂に佛軍大敗、ナポレオン三世は剣を脱して降つた。
約六十年前九月二日 遼陽の激戦 明治三十七年九月四日 元の使者を鎌倉に切る 未曾有の國難に面して動せぬ時宗の膽を見よ
建治元年九月七日 一世一元の制を定む 明治元年九月八日 河中島の戰 謙信軍騎河川を渡つて信玄の陣中に迫り一舉に雌雄を決せんとしたが遂に成らず、天長城を殘して兩軍は去つた、天長三年九月十日 日本に初めて鐵道開通 東京橫濱間、今にして思へば隔世の感があるではないか
明治五年九月十二日 明治天皇御大葬乃木大将夫妻殉死 國民追憶の涙更に新し大正元年九月十三日 關ヶ原の大戦 慶長五年九月十四日 支倉六右衛門羅馬に向ふ 其の冒險的勇氣には寧ろ驚かされる。
慶長十八年九月十五日 黄海大海戦 明治二十七年九月十七日 平民に姓を許す 明治三年九月十九日 頼山陽没す 天保三年九月廿三日 城山落城 一代の英雄も志を得ずして末路如何に悲惨なる明治十年九月廿四日 名海將ネルソン生る一七五八年九月廿五日 笠置山陥る 元弘元年九月廿八日 奈良の大佛を鑿る 天平七年九月廿九日 靖國神社落成 明治卅四年九月卅日

信購組合監査

八月二十六日午前十時より、西壙田信購組合監査執行、農林省永友事務官、全米澤屬官、及縣茶鍋主事補本組合に出張、各帳簿に掛り細密なる監査あり、成績何れも良好なりき。尙組監事代表として佐藤監事奉會せり。

産業組合高等講習會概況

去る八月二十日より全二十四日に至る五日間野尻湖畔に於て第三回産業組合高等講習會が開會せられまして私も茲に出席しました依て其の概要所謂講習の要點だけを断片的に申し上げる事に致します

一、産業組と産業

一、産業組と産業
一、産業組と産業
一、産業組と産業
一、産業組と産業
一、産業組と産業

二、産業の世界性

二、産業の世界性
一、世界的分業
一、世界的相互依存
一、産業の國際觀
一、殊に通商平衡待遇

三、國際聯盟

三、國際聯盟
一、通商平衡待遇と門戸解放主義
一、支那問題
一、勢力範圍と門戸解放
一、華府會議
一、我が産業上見支那
一、産業と各種主要問題

四、人口問題

四、人口問題
一、人口問題
一、人種問題
一、移民と植民
一、原料品問題
一、軍備と産業
一、外交と産業
一、平和と産業
一、戦争と産業

五、戦争と産業

五、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業

六、戦争と産業

六、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業

七、戦争と産業

七、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業

八、戦争と産業

八、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業
一、戦争と産業

右の如くであります今回の講習は講演と申します方が良い様な感じがしました内務部長の開會の詞にも今回は専ら組合指導の任に當る者の爲めに精神講習を開くのでありますと申されました。

講習會は前記時間割表の如く午前八時に開會し大抵正午或は午後一時頃には閉會致しました講師は一時交代にて出席します故に聞きすぎる方は休みの時間がなく會員はづれも多少疲勞の感があつた様であります

が要するに一組合として講演材料が廣且大に過ぐるの思ひがしめた故に細かい事は他日に譲る事に致しますしかし斯道の専門家の講演でありまして各員皆謹聴して閉會を告げましたのは向によろこばしき事

で又得る處も必ずや大なりと信するものであります。
一、中央金庫に就きては該金庫の必要と其の經過及び其の關係等のお話であり、金融機關の系統特殊銀行との關係中央より地方將た地方より中央低利資金の出處方法等廣汎なお話でありました信用組合の事業に就ては種々詳細なお話もありました下略

自作農創設では複雑なる事情に於て僅かに一時間の講演でありまして一般に理解を與へしや否やを疑ふの感がありましたしかし直接問題なる故相當質問もありました

では四万五千匹の蠶をとつたそうだと。之が全國としてのレコードだらうと。
●朽木の蠶業試験場長の島島といふ人は、條桑散土育法を創案した。要領は「條桑を蠶座の長邊線と平行にかまき形に給與する」といふんだから別に奇もない譯だ。之が今春特許を受け努力節約法とし蠶業界の一革命だといふので今更の様に農林省、常大等で研究されてゐるそうだと。昔、豆と麥の別を知らないお殿様があつたと、ある本で見たことがあるが、それと相去ること遠からずではないか。此のお歴々に此の邊のハナシガヒを見せてやりたいものだ。此の人達がいはいゆる最高學府にあらせられる學者なのである。

が何れ近きうちに詳細なる印刷物を以て御報導することに致しますこの事でありませう改正法規につきましては其の條文の改正せられたるものに依て其の理由と必要との説明をなし又信用組合事務取扱上多少の變更はありましたが之れも後日に譲る事にいたしたいのであります。

二、全購聯は肥料に就ての講演でありませう帝國金肥の費額と逐年の趨勢を談じ大豆粕の製造及び取引の方法硫酸の製産と取引方法等でありませう吾々小組合の者も必ず知る要はありますが實行と言ふ事は不可能であります輸入商の對外取引者の必要のごとで現に取引しつゝあるものであります。

一組合運動としては英米獨佛等先進國産業組合の濫觴より經過方法等殊に英國の現在の事情につき詳細なる事實談がありました

他郷に出て居られる方々、住所の變つた場合に、御手数数年必ず新任所を御知らせ願ひたいものです。毎月返送になるものが、るので實に困りますから。

我が日本の産業組合は主として英國制をとりし乙の國は購買を経とし或は信用を主とし或は消費を主とするあり其の國々の状況により一定不變のものではない様であります

中にも「デンマルク」は歐洲列強の間に介在せる小國なれ共農業の天國と歌はれ従つて産業の發達は實に賞讃に値ひするご聞きました。

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

他出して居られる方へ

他郷に出て居られる方々、住所の變つた場合に、御手数数年必ず新任所を御知らせ願ひたいものです。毎月返送になるものが、るので實に困りますから。

我が日本の産業組合は主として英國制をとりし乙の國は購買を経とし或は信用を主とし或は消費を主とするあり其の國々の状況により一定不變のものではない様であります

中にも「デンマルク」は歐洲列強の間に介在せる小國なれ共農業の天國と歌はれ従つて産業の發達は實に賞讃に値ひするご聞きました。

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

三、國際聯盟は斯界の大家松原法學博士の精神的講演にして皆能く謹聴致しました

國旗新調に就き御願

今回國旗を新調することに定りました。總額金六十圓の豫算で大方の御寄附を御願ひ致したいと思ひます。御伺ひして御願ひしたいと思ひますから有志の方は九月中に支部長迄御申出を願ひます。

追々讀書季節に入ります。西壙田圖書館でも九月下旬頃新書籍を購入する豫定であります。就いては書籍を精選して一層圖書館の内容を充實させる爲に大方諸君の御指示を得たいと思ひます。因つて九月二十日迄に希望書籍名を團事務所亦各支部長迄御申出を願ひます。

夏季節は日月光水木金土和室産産宗匠御評天夕焼けて水の間開るし時雨

水鏡の朝に雲を汲む納涼かな不動路や土橋くすくすして鹿若葉

八橋の水も流じや水瓜並びけり夜市の燈籠し水瓜並びけり

水鏡の朝に雲を汲む納涼かな不動路や土橋くすくすして鹿若葉

八橋の水も流じや水瓜並びけり夜市の燈籠し水瓜並びけり

水鏡の朝に雲を汲む納涼かな不動路や土橋くすくすして鹿若葉

八橋の水も流じや水瓜並びけり夜市の燈籠し水瓜並びけり

水鏡の朝に雲を汲む納涼かな不動路や土橋くすくすして鹿若葉

八橋の水も流じや水瓜並びけり夜市の燈籠し水瓜並びけり

水鏡の朝に雲を汲む納涼かな不動路や土橋くすくすして鹿若葉

編輯室より

未曾有の暑さ云はれた此の夏も、季節は争はれず、太陽が南歸線に遠のくに随つて幾分暑さよくなりました。私共百姓もから秋蠶を飼上ければやつのんびりした気分になります。

今年も亦ぞ十三三年の様な日やけに出合はすのかと惱ましい思ひを續けましたが幸ひに土用明けになつてから兩三度の雨があつて、ほんとに生き返つた様な気が致します。あの雨がもう少し早かつたらと怒も出ますが、田の土を白く焼かずに済んだのは先づ以て結構でした。

◆新秋の氣爽かなる折から益々御健在で御勤き下さい。それと共に亦筆硯を磨かれて續々と紙上に名論卓説を御寄せ下さい。

次回募集
秋季隨意
選者 三峯庵遊月宗匠
〆切 九月十五日限り
宛名 西壙田村新町福田鐵發
發表 時報十月號紙上
賞 天位落卷地人粗景

◆始ご毎月の様に編輯の済む頃になつて届原稿があるので困ります。次號に廻すには惜しいし、繰合せて其の月に出さうとすれば、其の爲に發行が著るしく遅れますから毎月成る可く二十日頃までに御投稿下さる様御願ひして置きます。

別所街道の端のある田に立てる案山子、装笠を着せて雨ざらしにして置くにはいかにも惜しい好男子にお在するのよよく見ると、是れなん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

カメラ
なん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

カメラ
なん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

カメラ
なん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

カメラ
なん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

カメラ
なん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

カメラ
なん去んぬる壙野神社甲子祭に衣冠を召した瀟灑な姿に若い女衆をヤンヤと言はせた九西製絲場の山車の小野道風大人の成れの程でこそぞ知られた。

西園田時報

號五卅第

行發日一回一月每
錢三金價定
錢十金行判告廣

大正十五年九月廿五日印刷
大正十五年十月一日發行
長野縣小縣郡西園田村
編輯人 樋口秀實
兼發行人 樋口秀實
印刷所 山浦活版所
全縣上田市六二六
今縣小縣郡西園田村
發行所 西園田青年團

殻を破るもの

秀三

わが農村の青年に送る

我實に爾曹に告げん、一粒の麥若し死なば只一つにてあらん、死なば多くの實を結ぶべし

農村の青年諸君

世紀末的頹廢の洗禮をうけたわが日本も二十世紀初頭の文化に浴して眼まぐるしい世相の推移に呆然としてゐる時代も過ぎやうとしてゐる。おれ達は深く自己を省察すると共に時代の渦流を考究しておれ達のコースを誤りなく進むことに力めなければならぬ。而もおれ達の前には無数の問題が限りなく置かれてあるのだ。今は先ず普通選挙前に於ける政治と青年とに就いて諸君の考慮を煩はし一層の發憤と努力を望まなければならぬ。

農村の青年諸君

東洋の大帝國世界の三大強國の一つと言はれるわが日本にも後れ馳せながら普通選挙が行はれることになつた。準備は整つたおれ達は凡て鉄棒を持てゐる。各自の鐵棒は只一本だ。けれども矢鱈に振廻したならば自己を傷めるのみでなく他をも傷けることになる。おれ達は立場の同じ者が各自の鐵棒を持寄つてこれから巨大な堅固な立派な鉄筋コンクリートの殿堂を作り上げなければならぬのだ。考へて見るとおれ達の任務も亦重し

「棄權することが最も選挙権を有効に使用するものだ」と言はれた時代は過ぎた。おれ達はごご迄も中正のスタートに立ておれ達自身の爲にそしてそれが社會の伸張を

招致するが爲におれ達は殻を破て社會の渦流の中へ突貫しなければならぬ。

農村の青年諸君

我國の政治發達史は外國のそれと非常に趣を異にしてゐることを忘れてはいけない

我國に於て政權は君主のもので稱されども眞に君主のものであつた時代は殆んどない

古代は君主の名に於て貴族の壟斷することありて中世紀に於ては武家の手に移り、近代に於ては財閥の繼にすることとなり

今日民衆に向てデモクラシーを絶叫する何れの大政黨でも財閥の前には醜い叩頭を繰返してゐるのだ。政党内閣であらうと憲政内閣であらうと擇ぶところはない

看板は異なる様に見ても等しく財閥の手に握られて無邪氣な農民を懷柔せんとしてゐるおれ達は全力を擧げて彼等を排斥しなければならぬ。繰返して言ふ。おれ達の利益は既成政黨の何れによつても保證されるものではない。おれ達は一日も早く農民自身の集團を造り來るべき普通選挙に備へなければならぬ。將來の政治は必ず農業者、商工業者、労働者、三者の對立となるであらう

農村の青年諸君

警廢問題にからまる這般の長野事件は漸く落付いたかに見ゆる。併し本統に考案すべき問題はこれからあるのだ。事件突發以來いろんな觀察が下されてゐるが而も眞にその淵源に溯りて批判したるものを聞かない。おれ達は寧ろ前知事に深い同情を持

農村の青年諸君

此に至つておれ達は憤然として覺醒しな

いであらうか。既成政黨を打破して眞實に政治をおれ達の手中に確保しなければならぬ。而して誰が此の運動の魁となるのか。それはおれ達青年を措いて他に決して求めらるゝものではないのだ

農村の青年諸君

自治体には政黨的色彩の加はることのいけないことは過般の東京市政の上に見るも明らかである。殊に農村に於ては内憂を拂ひ外に向て固く團結することが緊要だ。既成政黨の看板に眩惑されてゐること

農村の青年諸君

過日の東京朝日に見た歐洲より歸朝せるある公使が「歐洲の政黨政治は已に行詰つた」と語つた記事も自ら頷ける節がある

今日の政黨政治は舶來品だ。おれ達青年は本統に農草原瑞穂國に傳來の政黨政治を生かして行かなければならぬ。

中年以上の人は凡て何等かの形に於て因襲にとらはれ止むを得ざる情實の絆に束縛されてゐるものみだ。だから中正のコースを進み難い立場にある。之に反して新に選挙権を得るおれ達は何と言つても若い。おれ達は眞におれ達の立場を反省して何物にも束縛されることがなしに新しいおれ達の正當なる権利の行使に忠實であらねばならぬ。次いで來るべき人たちに笑はれる様なことは苟且にもあつてはならない。

農村の青年諸君

自治体には政黨的色彩の加はることのいけないことは過般の東京市政の上に見るも明らかである。殊に農村に於ては内憂を拂ひ外に向て固く團結することが緊要だ。既成政黨の看板に眩惑されてゐること

農村の青年諸君

過日の東京朝日に見た歐洲より歸朝せるある公使が「歐洲の政黨政治は已に行詰つた」と語つた記事も自ら頷ける節がある

今日の政黨政治は舶來品だ。おれ達青年は本統に農草原瑞穂國に傳來の政黨政治を生かして行かなければならぬ。

農村の青年諸君

此所に注意すべきはおれ達が新聞や雑誌で見たまゝを直に農村に持來ることだ。商工業の般盛な都會に於ける労働者乃至無産者ご地方に於けるそれは自ら相異することと思はなければならぬ。殊に此の地方は他府縣に見る様な大地主もない代りに全數を占める中心となるものは自作農及自作兼小作農である。これ等の農民が社會の前線に立て既成政黨の打破と農民黨の結束を絶叫し正當の權利を主張すると共にその把握を期せなくてはならない。マルクスは經濟生活の過程を貨幣—商品—貨幣といふ公式を以て表はしてゐる。今日は貨幣—貨幣—貨幣であつて人間は此の間の推移

農村の青年諸君

一町も先からニコ／＼やつて來るこの人の怒つた顔

背高く立派なる紳士なり而して佛菊と雖も村長以上

六回も太平洋を往復し金をうなるほどためて來てふ

まだ見ず

眞面目なまゝの上のまゝのみに人に立派な嫁を買つて

やりたし

活動が飯より好きと聞かざりて演説の技師はごうで

す

甘い語でもあらんカバカ／＼と櫻草(あひながら笑つ

てゐるは

「何か考へてあるよ哲學者ベスタロッチにさし似

たらすや

若くて沈黙家なりしはあれと酒を飲むと聲に似たり

御寄附

左記の通り時報發刊費の中へ御寄附下さいました。紙左を以て厚く御禮申上ます

金五圓也 横濱市龍頭町 竹下喜信殿

金貳圓也 本村 市村克人殿

人物短歌月旦

背高く立派なる紳士なり而して佛菊と雖も村長以上

六回も太平洋を往復し金をうなるほどためて來てふ

まだ見ず

眞面目なまゝの上のまゝのみに人に立派な嫁を買つて

やりたし

活動が飯より好きと聞かざりて演説の技師はごうで

す

甘い語でもあらんカバカ／＼と櫻草(あひながら笑つてゐるは

縣會議員選舉人名簿調製に就て

我國多年の歴史でありました衆議院議員選舉法の改正は昨年行はれ、所謂普通選舉の制度は確立したのであります。而して立憲政治は自治の訓練に待つ所の多いの申すまでもありませんので地方自治に於ける選舉權も又同じく之を擴張し自治に參與する權能も又一般に擴張することの適當なるを思ひ地方制度の上にも本年之が改正が行はれたのであります。

明年九月行はるべき縣會議員總選舉は普通選舉の制度に依り初めて行はれるのであります。其の有權者は從來の約二倍に相當するものと見られてをります。即ち前にも報告して置いた通り公民權の擴張に依つて帝國臣民たる男子に對しては原則として悉く選舉權を附與せられたのであります。

有權者たることを確定するには大体左の様な順序を経るのであります。

- 一、選舉人名簿確定期間 九月十五日現在
 - 二、選舉人名簿覽覽期日 自十一月五日 至十一月十九日
 - 三、選舉人名簿に對する異議申立 全上
 - 四、異議申立を村會の決定 自十一月二十日 至十二月二日
 - 五、市町村會の異議申立決定期間 至十二月二日
- 市町村長より送附を受ける日より十日以内

六、選舉人名簿確定期間 十二月廿五日 至十二月廿九日

七、選舉人名簿覽覽期間 十二月廿四日迄

以上の手續を経て確定した名簿に登録せられない時は法律上有權者であつても投票を行ふことは出来ないものでありますから先づ第一に選舉人名簿の調製を完全にするのが肝要であります。

制限選舉時代に於ける村役場の調査は多く公簿に依準して來ましたが今後は此の舊套を脱して實地調査主義に依ることになりました。即ち本縣に於ては縣令を發して各市町村に調査員を設け調査カードを配付して夫々各自に記入を求むる方法を採つたのであります。

斯くして役場に於ては調査員の調査した、カードに依つて非本籍人の分は各其の本籍地に登録上の必要事項を照會したり本籍人は一々公簿と對照して住所、生年月日其の他を照合したりして名簿の調製を急いで居ります。

産業組合運動に就て

武田必途生

産業組合の精神講演の概要を叙して御參考に致したいと思ひます。順序として其の濫觴を極めて簡単に申上げます。産業組合は十九世紀に英國に於て創設せられたのであります。世紀の有名なるナポレオンが佛國より起ち歐洲を席捲し、大戰爭を惹起するや歐洲諸國何れも皆此の戰爭の渦中に投じて日夜國難に奔走し、又他を顧るの暇なしの時

にあり獨り英國は一輩對水大陸を離れて加ふるに精銳なる海軍又たく防備に努め竟に英傑ナポレオンを遂げて遠く英國の海邊に於て英艦の外は海軍をして海上を扼せしめ内は専ら産業の發展を畫策し以て列國に軍需及び日用品の供給をなし非常なる奇利を博したり夫れと共に電氣工業の發達著しく進歩し從つて工業會社の發展勃興又目覺しく從つて國民は殆ど擧げて職工となり或は之に要する人夫に使役せらるゝに至り國力大に揚り物價日に高し然るに一度戰禍の終局を告ぐるや列國皆疲弊窮迫至だしく故に國力の復興に吸々として自國産業之絶に自給自足を奨励し國民又一意専心之絶に努めぬ依つて他英國物資の輸入自然に杜絶しぬ故に異常なる發展をなせし工業は一時萎靡衰退又救ふべからず依て工場は閉鎖し工人の革職解雇相繼ぎ以て止むを得ず自衛の策をなす之れに依り職工は會社に迫り今日迄の發展及び其の利益は一に吾人勞働者の勤勉によれる者宜しく利益を均等に分配すべし然らざれば糊口に窮すと請求甚だ

急なりき會社側は言を左右に託し却て今日迄恩惠の待遇をなしたりと言ひて意見の衝突日に甚しかりき之の時に當り英人ローパー トホモンと言ふ人敢然として之の間に立ち論じて曰はく戰禍に参加せし各國は戰後國策に翼々之れ努め恢復又近きにあらん然るに英國は戰爭の厄を國土に受けざるのみならず却つて多大なる利益を得上下國民狂喜日夜享樂然るに今や一度戰爭の終局を見るや否や直ちに階級意見を異にし徒らに爭議を事とし騷擾に之れ耽る異し之れを抛擲せんと國に産業充實せざれば砂上の樓閣の如きもの人も家も村も又皆然り資本家側は讓歩の意なくんば吾人勞働者は共同經營以て自己を衛るべし之れ自己安うして國家又安し。依つて先づ必需品生産の目的を以て生産組合を組織せり之れ即ち産業組合の紀元にして産業組合内に生産組合ある所謂

なり。

一、物資の生産あれば又之れを消費するは自然の理にして又消費すべきものなり一方生産は組合を組織し消費は隨意たらしむるは意味をなさず組合統制上遺憾の点少からず依つて消費組合を創設し以て生産消費の供給圓滑を計り、然れども必要な物資は組合悉く之れを生産し又組合全部消費する中々至難の事業なり故に生産品に余剰あれば之れを販賣し又消費に不足ある場合は購買して組合員に供給せり物資の購入販賣は共同經營多量取引を最よとし之れを購買組合を組織し販賣組合を組織せり然り而して生産をなし購買消費を經營する之れに要する費用資金の融通の圓滑を計らざるべからず依つて僅少な貯蓄金又多少余剰ある場合は生産購買其の他の利益の幾分かを貯蓄せしめ尙進んで之れを奨励し資金供給の基礎を確保するに務めしむ是れを信用組合とし主腦を設け置き總ての經營指導をなさしむ斯の如くして産業組合は滔々として歐米各國に延びて隆盛を極めぬ然して今や國家に欠くべからざる事業とし各異なる國情に従いて經營し各階級

衆議院議員選舉人名簿調製

十月一日現在を以て衆議院議員選舉人名簿が調製される。右は舊法に依るもので制限選舉の名簿であるが現在の名簿に登録されてあるものは納稅要件を缺くも資格には關係がないことになつたので右該當者は全部名簿に登録される譯だ。

肥料市價調査

(壙田公民學校)

調査事項	肥料名		アラスカ魚粉末	豆板	豐年大豆粕	硫安	智利硝石	蛹粕
	含有量	含有量						
磷素含有量	九八%	九八%	六〇	七二%	六八%	一〇〇%	一五〇%	八八%
窒素含有量	三九	六〇	一〇	一五	一〇	一〇	一〇	一〇
加里含有量	七〇	六〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
十貫ノ市價	七〇	六〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
肥料十圓中二含有ルス	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
成分量	加里	磷素	加里	磷素	加里	磷素	加里	磷素
室素肥効價	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三
金額十圓ノ肥料中ノ各成分ノ眞價	加里	磷素	加里	磷素	加里	磷素	加里	磷素
合計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

右表の説明

- 一、豊年大豆が四圓になつた。硫安が六圓になつた。ごらなれば安いか其の含有成分を算出しなれば安いか。又同じ室素の一貫多でも大豆粕の室素と硫安の室素とでは効き方が違ふ。之等を考慮して現在の市價としては何の肥料が、どの位安いかを厳密に調査した前表が即ちそれである。
- 二、含有成分量は本縣農事試験場發表のものを用いた。
- 三、市價は中壙田信用購買組合の九月一日現在の小賣相場である。
- 四、肥効價とは成分の、方の割合である。硫安の肥効を一〇〇として算出した川瀬博士のものを採用した。
- 五、十圓の肥料の各成分の換算は、室素は二、磷素は一、加里十五錢を標準とし
- 六、以上は唯肥効のみの計算で土性及作物の色々考慮し各肥料の影響は別問題であるが併し、最も經濟的な肥料を購入されて使用されん事を希望します。

尙改正法に依る名簿の調製は次の總選舉前に其の方法等が指示されるのであらう。本選舉人名簿は補欠選舉等のあつた場合にのみ使用されるものである。

今月の納稅

一、所得稅第二期

一、村稅戸數附加稅 後期分

一、財産組合入山料

納稅日 拾月廿五日

小學校

●通知表の見方に就いて
従前も直接印刷物により、或は時報紙上に依つて父兄の御了承を願つて置きましたにも關はず、過日第一學期の成績表を御覽になつて、「いつも優等の成績だに今年は何故に斯く不良か？」との御疑念を抱かれた方が、其の依つて来たる原因を受持の教授の方法の良否か、或は成績査閲上の不統一に歸せらるゝやに推斷さるゝは、甚だ遺憾であります。

夏季登山

●夏季登山
体育の積極的鍛練として、例年舉行いたしました登山は、去る八月十五日淺間へ登りました。全員九十余名。火氣を嚴禁された爲め、豫定の露宿が出来なかつたのは残念でした。むし暑さ蚤に攻められた火山館の一夜も、忘れ難い笑ひ草の種でした。

運動部

●運動部
野球部は八月末上田との對戦による惨敗の辛さを奮起の鞭として、猛練習の結果、拮据青年團主催の大會には、コールドゲームのスコアにて依田隆の中堅九子をはふり、浦里東塩田等の仕合は互角でした。教育會主催の大會に出場権を得べき豫選マッチは、中塩田と汗を握るの大接戦で、遂に三對四にて惜敗しましたが、其の技術の伯仲の間に有ることは、総ての人の認むる處でした。

修學旅行

●修學旅行
本年度から旅行案を作り、特別の事情の無い限り、毎年左記の通り決行することにし、今年秋季分は九月末の豫定です。
尋五 妙香山(一泊) 秋
尋六 直江津(一泊) 春
高一、二、日光と諏訪本(二泊) 隔年
●土屋訓導逝去
四月より本校に教鞭をこられた土屋茂氏は去る八月七日、腦膜炎にて死亡さる。痛惜に堪はず、謹んで弔意を表する次第であります。

論文新題

●論文新題
第二回論文左記に依り募集致します。燈下筆に親しむに宜しき此頃、奮て御投稿をお願い致します。
一 論題 婦人參政論
一 行數 十九字詰百行以内
一 ノ切 十月十五日限り
一 發表 十一月号
一 宛名 時報編輯局

支部通信

●支部通信
十人支部より
◆當支部員、小林珠喜君は八月十六日死去された、行年三十才。
◆當區秋蠶は先月中を以つて大体に、收購を終へた模様で、結果は一般に思はしくない様な話である。
◆農繁期の爲閉館してゐた圖書館を、十月一日曜より開館する。
◆當支部秋季修學旅行は十月初に行ふ筈である。
◆當區婦人會處女部にては十月上旬中に、修學旅行を行ふ由。

手塚支部より

●手塚支部より
九月廿六日午後七時より支部役員會を開き例會及び後期九月から向ふ十二月までの仕事や其の他の協議をした。
◎當區の秋蠶早口は先月十五日前後に上簇を終へしも、遂に續出にて結果は思はしくなかつた、晩秋蠶も九月下旬から十月五日前後に上簇せし結果は早々と同じ様な旨きであつた。
◎支部戊申文庫は九月第二日曜から開かれた。

新町支部より

●新町支部より
◎支部例會、九月二十日支部例會を開き各々自相互の勘定を濟し、旅行の件其の他を協議した。旅行は今年の景氣に鑑み、極めて小規模に八幡山田温泉方面に一泊の徒歩旅行を試みる事とした。
◎文庫貸出開始、新町文庫は九月二十六日より圖書貸出を開始。
◎秋蠶不良、今年の秋蠶は早口より晩秋蠶に至るまで概して不良に終つた。平年作に獲れた人は少數であつた。いつも相當自信のある人も、今年の秋蠶の不作には尠からず驚かされて寄るご觸るご此の話である。嫁や息子任せにしてゐたおばあさん達まで營養不良や乾濕何度の差などやつてゐる。成績の思はしくない人は懐勘定が一年の早害より覺えないといつてゐる。殘桑が夥しいので更に來春の活躍に大きな望みをかけてゐる。

他郷より

●他郷より
左の諸氏より御鄭重なお便りがありました。
東京市日本橋區平松町
住友信託株式會社東京支店
黒坂 和夫
習志野騎兵第十三聯隊第四中隊
兒玉 光昭
東京市外三河島新堀八六〇番地
林 猛

他出しておられる方々へ御願

●他出しておられる方々へ御願
度々申上げる事ですが、毎月時報が返送になるものが多くて甚だ困ります、御手数數年転居の節は新住所を御知らせ下さい。
吳々も御願ひ致しておきます。

小池選手の活躍

●小池選手の活躍
小縣陸上競技豫選會で長野縣聯合青年体育大會に出場すべく小縣那豫選陸上競技大會は九月二十四日午前八時より鷺専校庭に於て開催された。此の競技に本團代表選手として小池茂君出場し、左記の如き縣下としては驚くべきレコードを以て三種目に一等の榮冠を得た。
走巾飛 二〇尺八寸

十月の歴史

●十月の歴史
走高飛 五尺四寸
ホ、ス、ジャンプ 四二尺二寸五分
斯くて小池君は縣陸技會に出場する資格を獲たのである。益々君の奮闘を祈つてやまない次第である。

嚴島の夜襲、毛利元就が其の主大内氏の仇を報せん爲、朝廷に請ひ、勅許を得て陶晴賢を嚴島に襲つて滅した。川中島、山崎と共に天下の三大義戦と稱せられる、三十七年前十月一日江戸大地震死者二十万、安政二年十月二日江華島事件 明治九年十月三日後龜山天皇神器を後小松天皇に授く 元中元年十月五日
日本海軍獨逸領南洋諸島を占領す。椰子茂る島に日章旗は靡へり獨逸の魔手は完全に東半球より驅逐された。
北白川宮征臺 明治二十八年十月八日東京に初めて中學校を設く
アントワープ陥落、平和なる永世中立國白耳義も暴落なる獨軍巨砲の前には健氣な奮闘も空しくつた、歐洲大戰の序幕戦 大正三年十月十一日
排聖芭蕉逝く 元祿七年十月十二日
明治天皇東京遷都 明治元年十月十三日
徳川慶喜大政奉還、源頼朝以來七百年の武家政治は終焉を告げ明治維新の大業の基は茲に始まり蒼生は王化に浴する事となつた。
慶應三年十月十四日
南洲月照と海に投す 安政五年十月十五日
大隈重信爆彈を投せらる 明治二十二年十月十八日
モスコイに於てナポレオン敗退す、絶世の孔子生る 周靈王二十年十月廿一日
熊本の乱 明治八年十月廿四日
伊藤公暗殺せらる、ハルビン驛頭に朝鮮兇徒の爲に仆れた事は公の最期の「一層光輝を添へた明治四十三年十月廿六日」
吉田松陰降せらる。安政六年十月二十七日
濃尾大地震。明治二十四年十月二十八日
教育勅語降下。明治二十三年十月三十日

西塩田時報

郵便年金に就て

十月一日より實施 西塩田郵便局

社會生活が複雑になり、色々の困難や不安が加はつた現代に於ては、將來の經濟生活を緊守と保障する何物かなくては、何人も安心して其の日々を過すことは出来ませぬ。之が爲には政府として社會が、今回政府で創められた郵便年金は恰も其の目的に合致し、經濟生活の脅威に對し、豫め備へる方法として最も適當の事であり、此の制度は保險の一種であつて加入者は、一定の期間掛金を掛け續けるか又は、一時に掛金を拂ひ込むかして置けば、政府は之を利殖して定まつた年齢から死亡に至るまで一生の間、官吏や軍人の恩給の様に毎年元利金から成る一定の金額を支拂ふのであります。従つて豫め老後の生活に備へ余生を安樂に送らんとする方々に取つて、最も便利な制度であります。即ち年金制度は所得能力を爲した後の用意として國民生活の安定の爲に必要な社會制度であります。由來我國には家族制度が發達して居るから老後の生活には遺憾ないやうではありますけれども、經濟組織の變化、國民思想の變遷等、時の推移に當つて今後は各人が、獨立して其の生活を安固にすることは一層必要なことでありまして、亦假令獨立して生活を維持する必要のない者に限りましても生涯確實な収入の途があることは、安心立命の極めて有益な方法であると思ひます。

今其の一例を示します。

例一 三十才のときに百二十九圓を一時に拂込むと六十才から死ぬまで百圓宛年金を受取る事が出来る。亦、途中死亡した時でも掛金だけは受取ることが出来る。

例二 六十才の人が一時に千〇九十四圓拂込むと其年から死ぬまで百圓宛年金を受取ることが出来る。

例三 三十才から六十才まで年々十三圓宛拂込めば六十才から死ぬまで、百圓宛年金を受取ることが出来る。

右は一例に過ぎませぬが詳細なことは郵便局に就いて御聞き下さい。亦、時々御伺しなして御説明致す考へであります。兎に角、この制度は保險の一種であつて加入者は、一定の期間掛金を掛け續けるか又は、一時に掛金を拂ひ込むかして置けば、政府は之を利殖して定まつた年齢から死亡に至るまで一生の間、官吏や軍人の恩給の様に毎年元利金から成る一定の金額を支拂ふのであります。従つて豫め老後の生活に備へ余生を安樂に送らんとする方々に取つて、最も便利な制度であります。即ち年金制度は所得能力を爲した後の用意として國民生活の安定の爲に必要な社會制度であります。由來我國には家族制度が發達して居るから老後の生活には遺憾ないやうではありますけれども、經濟組織の變化、國民思想の變遷等、時の推移に當つて今後は各人が、獨立して其の生活を安固にすることは一層必要なことでありまして、亦假令獨立して生活を維持する必要のない者に限りましても生涯確實な収入の途があることは、安心立命の極めて有益な方法であると思ひます。

吾が産業組合員に望む

武田正雄

一産業組合の創設及び其の必要と經過は前號に畧述しました様な譯で進展して來たのであります。吾が國に於ても同じく組合法を制定せられねばならぬ。産業組合の普及を唱導し以て産業の發展を期し國力の培養に勉め國

號六卅第

行券日一回一月毎 錢三金一假日定 錢十金一行一料價廣

大正十五年十月廿五日印刷本
大正十五年七月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村先登
編輯印刷 樋口秀實
兼發行人 樋口秀實
全縣上市市六二六
印刷所 山浦活版所
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

長慶天皇御在位詔書宣布

長慶天皇御在位宣布の詔書は二十一日官報號外を以て左の如く公布せられた。

朕惟フニ長慶天皇在位ノ事蹟ハ史乘ノ紀述審ナラサルモノアリ今ヤ在廷ノ臣僚ニ命シ深究精覈セシメ其ノ事蹟明瞭ナルニ至レリ乃チ大統中同天皇ヲ後村上天皇ノ次ニ列ス茲ニ之ヲ宣示ス

御名 攝政 宮内大臣 一木喜徳郎 若槻禮次郎 内閣總理大臣

大正十五年十月二十一日
皇室のため誠に慶賀に耐へず
一木宮内大臣謹語

謹みて案するに長慶天皇御登極のことは多くの史家の論議するところなるが然もこれに對し有力なる學者にして往々反對の意見を發表せるものあり故を以て同天皇の御在位は確定するに至らず以て今日に及べり。然るに近來新史料の發見せらるゝと共に考語も「精正を加へ從來の史料に對する見解自ら一新せるものあり、現に八代博士の如き廣博なる研究を發表せるものもつてまづこれを臨時の御在位を明かにせり、即ち樞密顧問に御諮詢あらせられ長慶天皇を大統中後村上天皇の次に列し奉ることに御治定あらせられ今日詔書をもつて宣示せらるゝに至りしものなり。

長慶天皇親告の儀

長慶天皇を人皇第九十八代の天皇としてわが皇統譜に御登列申上げる事になつたので賢所皇靈殿、伊勢神宮、畷傍山陵へそれぞれ報告せられた。之によつて長慶天皇の御次の御臨出天皇より一代宛順送り回数奉り今上陛下は第百二十三代に仰ぎ奉る趣旨を各學校、青年訓練所等へ其の筋よりそれ／＼指令があつた。

購買組合を設立せられた時の理事者の指導と組合員の誠意とに依り爾來數載現在の發展をなしたるは望外の幸と言ふべし漸く隣を齋基基礎成らんとし今や活動の域に進まんとしつゝあるの時にあたり固く相連ぎ計營訓策實に困憊の情歴然たるものあり然れども本組合は幸に組合長の奮勵と組合員各位の努力とに依り大過なきを誇りとするのみならず進んで之の狂瀾怒濤を前にして端然自若能く進路を誤らざらん事に努力するを以て今日に至る次第でありめんとす組合員各位之の微意を諒とし組合

事を切に望む次第であります。一産業組合は御承知の通り組合員以外には御得意な從つて組合員以外に便利を受くる事もありませぬ如何に發展し如何に活動せんとするも組合員の自覺によれる利用後援なければならぬ如何にも爲す事は組合員の努力に依りて興り組合員の利用なきに依りて衰ふ實に組合員の自覺を要求し利用を望む切なる所謂なり利用せしめて組合の不振を叫ぶは木に登りて魚を捕いんとするものご何等撰ぶ所がないのであります組合員各位とて組合を利用せざるは眞の組合員たるの義務を完全に負はざる者と言べきであります。

組合名	員數	資本金
中塩田組合	七四	二四、六八
西塩田組合	一一	三、二〇
中塩田組合	七四	二四、六八
西塩田組合	一一	三、二〇

之れを比較して見ますと思ひ半に過るご申しませぬが組合の太るも瘦せるも一に組合員の自覺如何にあるのであります。能く流るゝ水は常に清しければ下る程物資はいつも新らしき品物を活し上る事になり價も亦いつも時價標準で差上げられまます事はつまじ言ふだけ野暮だと思ひ釋迦に説法は存じであります亦信用の方も深し御利用下されば金利も安く御貸しも出来る事になり基礎が鞏固になれば低利の資金も餘分に借り得る事になります。さうすれば御同様に低利の金を借り得る事が出来る。と言ふ事は解り切つた事であらふと思ひます。如何程の利益がありましても皆御同様組合員の利益でありますから精々御利用下さい。御願ひを致します。

書籍御寄附

今回大分縣宇都宮村水崎、修造會本部より、同會々主事馬田成道の記念事業の一環として委託書籍を本團圖書部へ寄附されました。御希望の力は圖書部へ就いて御覧下さい。

一、信仰の極致 故東陽園成師著
一、死の宣告を受けて 醫學士安波勳八著

大正十五年度郡下各町村縣稅戶數割最高納額者其他一覽

本表は郡下川邊村にて調製せられたるもので非常に興味あり亦好参考表であり、全村が卒先して本調査を施行せられたるに對し敬意を表する次第であり、また、本報はこの有意義の調査表を拜借して更に本村内皆様に御知らせ致す次第であります。

Table with columns: 町村名, 納稅者數, 最高納額, 氏名, 最高納額順位, 均壹戶額, 下壹戶平均額, 全上納戶數に對する割合, 村戶數割附. Rows list various villages like 滋野, 縣津, 和川, etc., with their respective tax data and names of top contributors.

役場欄

土地賃貸價格編級調查施行
十月十九日より上田稅務署副松田重雄氏來村、一週間に亘り各大字の土地精通者と共に地勢の實狀を踏査し土地賃貸價格の編級調査を施行した。

縣議選舉人名簿縱覽

明年ノ縣會議員選舉ニ要スル選舉人名簿左記ニ依リ關係者ノ縱覽ニ供ス
大正十五年十一月一日
西壠田村長竹下繁松

秋季清潔檢查

秋季清潔檢查は去る十七日野倉を始めとして二十四日迄に終了せり成績概して良好にして中にも山田區は最も優良であつた。

健康兒童審查會賞狀授與式舉行

曩きに川西兒童健康相談所主催に係る健康兒童審查會入選兒に對し去る二十二日午後一時より中壠田小學校に於て審査長佐伯博士白石社會課長外名譽職員臨席賞狀授與式を舉行せり、式後佐伯博士の育児に對する講演會尙夜は活動寫眞等あり當日は川西各村婦人會幹部の多數出席ありて盛會なりき。

澤山入山開始

澤山財產組合の林野内小柴株の採取は本月十日より開始致します。
入山料は一人につき一圓でありまして組合役場(本村役)に於て入山鑑札を交附致しますから入山希望の向は申出して下さい。
尚入山期間は四月末日迄であります。

所得調査委員選舉

上田稅務署管内所得調査委員及補欠員の選舉は十月二十日各市町村役場に於て選舉を施行し十月二十三日上田稅務署に於て開票の結果郡部に於ては左の諸氏當選した。

今月の納稅

- 所得調査委員
屋代町 新村 寅治郎
松代町 伴 雄三郎
坂城町 春日 六郎
壠川村 兒 西衛 一
九子町 工 藤房 次
中壠田村 遠 藤 用治郎
青木村 中 村 五郎
殿城村 柴 崎 新一

納稅日

十一月二十六日
租税地租後半期分
國稅等稅後半期分
全縣稅附加稅後半期分
縣稅附加稅後半期分
縣稅附加稅後半期分
資本利子稅第二期分

藥品評會

西壠田養蠶組合聯合會主催第一回藥品評會は去る十月十六日西壠田小學校第二講堂に於て開催した。
審査長(郡農會技師倉澤美徳)氏出席午後三時賞狀授與式を舉行せり續いて審査長より審査報告終つて郡農會長代理として一條の訓辭有り終つて宴會

澤山入山開始

澤山財產組合の林野内小柴株の採取は本月十日より開始致します。
入山料は一人につき一圓でありまして組合役場(本村役)に於て入山鑑札を交附致しますから入山希望の向は申出して下さい。
尚入山期間は四月末日迄であります。

澤山入山開始

澤山財產組合の林野内小柴株の採取は本月十日より開始致します。
入山料は一人につき一圓でありまして組合役場(本村役)に於て入山鑑札を交附致しますから入山希望の向は申出して下さい。
尚入山期間は四月末日迄であります。

澤山入山開始

澤山財產組合の林野内小柴株の採取は本月十日より開始致します。
入山料は一人につき一圓でありまして組合役場(本村役)に於て入山鑑札を交附致しますから入山希望の向は申出して下さい。
尚入山期間は四月末日迄であります。

澤山入山開始

澤山財產組合の林野内小柴株の採取は本月十日より開始致します。
入山料は一人につき一圓でありまして組合役場(本村役)に於て入山鑑札を交附致しますから入山希望の向は申出して下さい。
尚入山期間は四月末日迄であります。

支 部 信 通

◆手塚支部より

◆當支部にては先月十一日夕歸りにて長野へ見學旅行をした。天氣半晴旅行日和當日出席者二十四名午前五時出發上田發六時四十六分に乗り込み長野着七時四十六分それより長野縣農事試驗場を見學善光寺參詣し城山公園にて晝食午後二時より早稻田大學對フロントン大學の野球試合を見たその日スコアは一對四にて早稻田大學が敗戦しました。けれど技量伯仲にて試合は實に立派でファンを酔はしめました試合時間一時間三十五分四時三十五分閉戦す。それより長野にて夕食なし長野發六時三十五分に無事歸村しました。

◆十人支部より

◆當支部青年は例年通り見學旅行を二泊三日を以て戸隠より赤倉に至り野尻に滞遊して最も楽しき三日を過ぎて無事に歸つた。◆當部有志で本年揚水に使用したモータを區より借受け齊藤玄十郎氏宅の東に新たに精米所を設置した。當區では十月二十三日麥奴豫防を行つた。

◆野倉支部より

◆當區農事組合にては曩に集會所設立に決して工費約九百圓を投じ九月中旬工事に着手せり。竣工は十一月初旬なり。◆當區本年度栗柿の不出來の結果半年に比較して七八百圓の損失なり。◆本年九月廿六日松本聯隊の豫備召集に應じた齋藤新氏は二十日無事歸郷せり。◆吉池良平氏祖母、ちやう女は長々病氣の所養生不叶八月二十日永眠し十月五日改葬式あり。

◆西前山たより

◆火の見櫓建替 當區現在の火の見櫓は過去積年の風雨に曝され、所々に朽腐生せし爲め、此度は耐久の力ありとする鉄筋櫓に建替へる事に決した。

◆支部會旅行

◆支部會旅行 當支部旅行は今夏の情勢に鑑み、日返り旅行とし一行二十三名は靈泉寺温泉に一日の清遊を試た。

◆植林記念祝宴會 當青年會の基本財産とする山林は、明治三十九年の創成に懸るもので、當時の植林が漸く其効果を見るに際し本會は斯ふした時宜に想遇する幸を思ふと同時に植付當初苦心を重ねた人達の御勞苦に感謝す可く、恰も本年は此二十年に當るを以て十五日中禪寺に當時の正副總代會長及び後の會長の諸士を招待して宴會を催し又記念品を贈り懇ろに本會の意中を述べた。

◆新町支部より

◆當支部は豫定の如く九月二十八日、上山田、八幡方面に一泊旅行を試みた。不景氣をかこつてつても旅へ出て見ると、さすがに愉快な気分であつた。歸りに上山田市公會堂で鶴見祐輔氏一行の政界刷新に關する講演を聞いて歸つた。

◆山田支部より

◆十月一日當支部では秋季見學旅行として長野に行き工業學校、信毎新聞社、測候所農事試驗場外二三ヶ所を見て夕刻かへつた。◆十月九日十日二日間亘り區民總出て道路の修理をした。

◆山田選手神宮競技へ

◆山田選手神宮競技へ (本縣代表) 曩に報じた如く郡豫選會に於て見事な記録を作つて優勝した小池茂君は十月十日の松本縣營運動場に舉行された縣神宮豫選會に出場し、更に驚異すべき好記録を作つた。

◆小池選手神宮競技へ

◆小池選手神宮競技へ (本縣代表) 曩に報じた如く郡豫選會に於て見事な記録を作つて優勝した小池茂君は十月十日の松本縣營運動場に舉行された縣神宮豫選會に出場し、更に驚異すべき好記録を作つた。

◆記念運動會

◆記念運動會 第十一回記念運動會は十月二十日、快晴微風爽やかなる運動日和に恵まれて小學校庭に行はれた。六十數番皆ざりざりに興を呼び一村譽つて愉快な気分につつた。

れた、當五部では宣傳ビラを貼り器具を掃除を行つた。◎二十日過ぎた頃は確かに平年作には行くと思はれた稲作は其の後枯穂病が著し發生し五分作以下と見ゆる田もある。ごしても平年作は難かしいやうである。

第二回戦 優勝戦

○東前山 不戦

○山田

○東前山

○新町

○山田

○東前山

現在青年の懦弱を慨し浮薄を憤り又思想の悪化をなげくのであります。私達も亦同感です。けれども驕つて他方に於て運動熱の年を追ふて旺盛に赴くものがあつた全國に所あらゆる階級を通じて各種の運動熱が開かれるのをみるのは確かにこの輕佻浮薄の傾向に對する一つの喜ぶべき反動現象を信ひべきものであります。近頃我地方青年の思ひつきありまき從來の惡習が著しく改められつゝありまき青年自身の自覺反省に依ることは勿論であります。一方運動熱の勃興も與つて力あります。『スポーツ』は、それによつて得られる内臓諸器關或は筋肉の正しい發達、新陳代謝の調整、抵抗力の増加等肉体的方面ばかりでなく精神的方面に於て『スポーツマンシップ』(運動家精神)の養成されることに依つて又『スポーツ』の精神は吾國武士道の精神と酷似し公正寛容、純真と信義とを基調と致して居るのであります。競技にはお互に死力を盡して居ますがその争は所謂君子の争ひであつて競技が一度ばかりの酒々落落々笑つて袂を分つ所に男性的の尊さがあつた。戦ひ利あらずして不幸な事を得たであらうか自己の行動は果して『美』であつたかか權る所、正に『スポーツマン』の本懐であつて所謂武士道の華でありました。則ち禮に始まり禮に失せし勝負決して禮に分れ勝者驕らず敗者沮まざる所は眞の『スポーツマン』のみが獨り味ひある境地であります。現今國際に於ては勿論あらゆる階級の通過して、淺ましい争ひが行はれて居る際獨りこの『スポーツ』のみが國の如何階級の上下種族の差別を問はず世界人類を一國として光風霽月の心を以て各自自身神の發露を見得る所にあるべき『スポーツ』は人を作る私はこの意味に於て限りなき運動競技の讚美者であります。

現今國際的に盛になつたる運動競技が吾々に如何なる効果を及ぼすかと言ふことにつて少し迷はせて頂かざるやうに。

スポーツの國民精神陶冶の上に又團體生活の訓練の上に國民の体格改善健康増進の上に極めて有益である事は敢て申上げられんこともありません。世人は動もすれば

西塩田時報

號七卅第

行發日一四一月每
錢三金一價定
錢十金一料告廣

大正十五年七月廿五日印刷
大正十五年三月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村
編輯印刷 樋口秀實
兼發行人 樋口秀實
全縣上市市六二六
印刷所 山浦活版所
發行所 西塩田青年團

歐米自治視察談

赤穂村長 福澤 泰江

此稿は十一月二十一日富士山小學校に於ける講演の概要であります。充分に趣旨をつくす事の出来ないのは遺憾であります。御参考になるか否かは幸であります。（山極）

私は全國町村長會より派遣されました。米を通り駄足の様に廻つて来ました。外國と日本の自治の比較をして見て如何に日本の自治を培つて行つたらいかと言ふことを少し研究して見まして皆様の御参考にお供したいと思ひます。日本は昔から治者、被治者といふ區別感があまりにはつきりして過ぎて居ました。歐米では皆治者、即ち各自が自治体を構成する要素であるといふ觀念を抱いて居ます。日本も國民に參政権が與へられて年既に久しいのに一般が今以て被治者といふ觀念に囚はれて居るの

歳末の辭

大きな期待をかけて乗り出した今年も余りうまい目の出ない中に匆々として暮れ様として居る。爲すべき事は多かり多く残されて今更日暮れて道遠しの感が深い。新しい年を踏み出した時の元氣に比べると、斯んな筈ではなかつたかと愚痴が出る。廣く見渡せば、國としても随分目まぐるしく而も記憶に残る意義ある事も見當らない。強て求むれば日本に世界記録を破つたものが二つある。一國の宰相が偽證罪で告訴されたので、競技界の世界新記録と。解散風は吹いたり止んだりし、不景氣風は常に吹荒び暗雲低迷の裡に年はひたひた押

が不思議でなりません。最も恐るべき困難の余弊であります。昔からお上の役人の言ふ事はよく聞くが自分等の推戴してゐる村長の意見を聞かないといつた風が見ゆる。天下りの役人よりも村長の方が位重大な責任を持つてゐる。今夏の警廢問題にしても梅谷知事が轉任になつて問題の火の手は静まつた様なもの、之が若し村長の場合だったら恐らく子孫の代に至るまで恐まれる事でありませう。地方に對する中央の監督範圍を出来る丈縮めて行く、之が地方分権であります。然らば地方分権を主張する前に如何なる準備が要るか私共は要求する前に自らの自治を進めるが第一であります。地方分権は明語る。先づ、する事の事をして今年を忘れて了ふことだ。

治廿二年自治制の布かれた時山縣内相の發表した理由書に明かされて居ます。即ち地方分権の眞意は一、地方に適切なる政治を行ふ爲。二、政治責任を明らかにする爲。三、國民を政治的に訓練する爲の三項であります。此の眞意を徹底させる爲には自治制度が更に改善されなくてはならぬと思ひます。長野警廢問題の如きも地方分権が確立されてゐたなら知事の獨斷もなく躊躇もなかつたらうと思ひます。歐米の自治の發達した國では警察權も村長に委任され教員の任免も學務委員の權限とされ教員の俸給も國庫負担となつて居ます。元來我國と歐米では自治發達の歴史が違ひます。日本は國を劃つて區劃し、歐米では多くは聯邦組織となつて居ます。國によつて各特長がありますが大体に於て自治制度が探りて我國の範とすべきものが多いのであります。我國は自治制度が幼稚な爲、無用の煩雜な事務に拘泥せざるを得ない状態にありませぬ。全國に卅五萬といふ夥しい役人を抱えます。之だから政務の簡潔は思ひもよらず自治も進まない理です。そして之等の役人の多くは恩給になるのを待て退くといふのですから國費の約一割（億三千万圓）は恩給に支出される状態にありませぬ。恩給亡國論等の起るの怪しむに足りませぬ。之も自ら治める精神を忘却してゐた積弊でありませぬ。昔野に遺賢無しの語を天下泰平に治まる事に用ひたのであります。何ぞ計らん人物を抜いて中央に集め野（地方）に賢者無からしめたのが抑中央集權の萌芽であり、善政の行はれなかつた象徴であり

ます。そして學校の如きまで中央に集めたる。歐米では學校は都會を避けて田舎へ建て、御當地に公民學校が相寄つて成立してゐると聞きましたが實に結構と思ふ。女學校にしても、都會の華美な中に設けてその渦中で健實な良妻賢母を作り出すと言つてもそれは無理な話であります。政務の簡捷を期するには亦常識が最も必要であります。常識を外れた法律は有り得ない筈であります。常識で判する時は誰の考も歸結は同じであります。少しの手落ちは御互に常識で宥し合ふ精神がなくては今後の煩雜な事務をうまく運用する事が出来ません。歐米に一例を引いて見ますと外國旅券なども面倒な手續を用ひずに村長から下附するところさへあります。町村の事業としては、日本は教育を第一として居ます。歐米は社會的事業を第一として居ます。教授上を比較して日本はあまりに一學級の児童數が多すぎませぬか、之は少し無理だらうと思ふ。其他の点に至ては我國程國民教育の進んだ國はない様に見受けませぬ。

「國の誇を忘れたる國民は己が己と言ひませぬ。國の誇を背景として奮起するは國の興隆する原因となりませぬ。村も其通り、偉大なる我村よ、我村の名を汚さぬ爲に！此の精神があれば必ず發達する、發達しないのは決して村長の責任に歸すべきではないのです。自分の村に自負心を持つて奮起し外に名譽を顯す可く努められたい。丁抹の自治精神の漲れるは驚異に値しませぬ。同國が昔獨逸と戦つて敗れ土地を割譲した時、愛國者陸軍大佐ゲルガス氏は一失ひたる土地の損失を自治の發達の農村的振興によつて償へ」と叫んだ。その精神を振興して今日の成果を齎したと言ひませぬ。獨逸領となつた丁抹の民は互に死すとも丁抹の國語を忘るなど誓て今日に至り、講和會議の際民族自決主義によつて所屬をきめる時此の住民は丁抹語を故に母國に復歸する事が出来たといふ涙ぐみであります。徹底的に活教訓といふべきであります。

要するに町村の治績は、町村民の理解力に町村民道徳の程度を加はつたものであります。町村長の力もそれ以上には出でませぬ。彼の有名な模範村靜岡縣稻取村の如きに逆戻りしたと聞きます。村民は決して引づられてはならない。茲に於て私は教育第一義を振りかざしたい。個々完全な發達に俟つて初めて町村自治政策を確立する事が出来ると思ふのであります。而して自治體の發達から見ますならば公民教育の普及が最も緊要事でありませぬ。丁抹の國民高等學校の組織は此の点に於て申分ないものと思ふ。先生におかれても單に自分の教へ子から偉い人を出して見たいといふ様な考を去つて健全な公民を作り上げるべきを去つて御研究が願ひたい、劃一主義を排して新しい境地（政治生活、經濟生活）を拓いて貰ひたいものであります。

最後に日本の國際的地位を考へて國家の將來に對して皆さんの御考慮を煩ひたいと思ひます。世界文明は小アジアに初まり地中海を中心として西歐に渡りましたが大戰の後は、軍備外交財界各中心は西漸して米國にうつり、大英國の勢力は印度南洋を踏臺として東洋に伸び、新興の氣運に充つる獨逸の眼はいつか東洋に向かんとしつてあります。人類文明の最大災禍に試練された之等の強國の環視する太平洋の眞中に閣下の夢を貪つて居る日本國の將來に想を致す時、實に慄然たらざるを得ないのであります。戦後の各國を見れば恐しい力を以て國力の恢復に努めつて居ます。而して各列強は國家意識を、國民の頭に培ふべく競つて居るのが教育状態に明かに見られるのであります。此の時、我國内では、醜い泥試合をしてゐる場合でありませぬか。政治家と稱する人達が此の外に堂々と天下に争ふべき主義政策がないのでせうか。希くは日本國民は明治三十七八年以前の狀態に歸つて國家觀に對するしつかりした觀念を持して進んで戴きたい。然し私は我國國民は如何なる國難にも耐へ得て、日本皇帝陛下下はいつかは平和的に世界を指導するものであります。私も心身の續く限り自治の發達に携り長く皆様の御教示に預ることが出来れば最も幸福とするところであります。

最後は十一月二十一日富士山小學校に於ける講演の概要であります。充分に趣旨をつくす事の出来ないのは遺憾であります。御参考になるか否かは幸であります。（山極）

土地賃貸價格の調査に就て

名古屋稅務監督局

土地賃貸價格の調査は、政府が曩に第五相嘗に困難を伴ふ事業である事云ふまでも十一議會の協賛を経て實行したる稅制整理ない、實に今回の土地賃貸價格の調査は地に關聯する重要な事項であつて、土地の負擔改正以來の大事業であつて、此の大事業擔を適正ならしむる爲に、現行地租の課稅を完成する爲に大藏省は勿論、全國の稅務標準たる「地價」を「賃貸價格」に改むる目的を以て之を行ふのである。

現行地租の課稅標準たる「地價」は、明治初年に定められたものであるが、其後既に五十余年を経過し、經濟事情の變遷、交通機關の發達、農事の改良進歩等諸般の關係に依て土地利用の狀況は著しく變動したにも拘らず、明治四十三年に於て宅地の地價修正を行つた以外には一般的に地價の修正を行つたことがないのである。之が爲に現在に於ける地租の負擔は、各地方の間に又同一地方に於ては各地の間に著しい不均衡を來してゐることは殆んど疑のない事實である。故に地租負擔の公正を期するが爲には是非共一般的に地租の課稅標準を改正しなければならぬ必要に迫られてゐるのである。

地租の課稅標準改正に付ては種々の方法が考へられる。即ち收穫を基礎として現行の法定地價を修正するもの一つの方法であり、亦時價を基礎として課稅する事も一つの方法であるけれども、政府に於て各種の方法から調査研究を遂げた結果によれば、「土地の賃貸價格」を課稅標準とする事が最も適當である云ふ結論に達したのである。

蓋し土地の賃貸價格と云ふものは、地主が土地を賃貸する場合に於て通常收受すべき賃料であつて、能く其の土地の利用價值を表はし、負擔力に適應したる課稅をなすための目標として最も適當であるのみならず、其の調査も比較的容易であると信ずからである。

尤も調査が容易である云ふのは、他の方法に比較しては困難の度が輕いと云ふ意味に過ぎないのであつて、大正十五、十六の二年間と云ふ短い期間内に全國一億數千萬筆の土地に於て其の調査を完了する事は

相當に困難を伴ふ事業である事云ふまでも、實に今回の土地賃貸價格の調査は地に關聯する重要な事項であつて、此の大事業擔を適正ならしむる爲に、現行地租の課稅を完成する爲に大藏省は勿論、全國の稅務標準たる「地價」を「賃貸價格」に改むる目的を以て之を行ふのである。

現行地租の課稅標準たる「地價」は、明治初年に定められたものであるが、其後既に五十余年を経過し、經濟事情の變遷、交通機關の發達、農事の改良進歩等諸般の關係に依て土地利用の狀況は著しく變動したにも拘らず、明治四十三年に於て宅地の地價修正を行つた以外には一般的に地價の修正を行つたことがないのである。之が爲に現在に於ける地租の負擔は、各地方の間に又同一地方に於ては各地の間に著しい不均衡を來してゐることは殆んど疑のない事實である。故に地租負擔の公正を期するが爲には是非共一般的に地租の課稅標準を改正しなければならぬ必要に迫られてゐるのである。

地租の課稅標準改正に付ては種々の方法が考へられる。即ち收穫を基礎として現行の法定地價を修正するもの一つの方法であり、亦時價を基礎として課稅する事も一つの方法であるけれども、政府に於て各種の方法から調査研究を遂げた結果によれば、「土地の賃貸價格」を課稅標準とする事が最も適當である云ふ結論に達したのである。

蓋し土地の賃貸價格と云ふものは、地主が土地を賃貸する場合に於て通常收受すべき賃料であつて、能く其の土地の利用價值を表はし、負擔力に適應したる課稅をなすための目標として最も適當であるのみならず、其の調査も比較的容易であると信ずからである。

尤も調査が容易である云ふのは、他の方法に比較しては困難の度が輕いと云ふ意味に過ぎないのであつて、大正十五、十六の二年間と云ふ短い期間内に全國一億數千萬筆の土地に於て其の調査を完了する事は

相當に困難を伴ふ事業である事云ふまでも、實に今回の土地賃貸價格の調査は地に關聯する重要な事項であつて、此の大事業擔を適正ならしむる爲に、現行地租の課稅を完成する爲に大藏省は勿論、全國の稅務標準たる「地價」を「賃貸價格」に改むる目的を以て之を行ふのである。

現行地租の課稅標準たる「地價」は、明治初年に定められたものであるが、其後既に五十余年を経過し、經濟事情の變遷、交通機關の發達、農事の改良進歩等諸般の關係に依て土地利用の狀況は著しく變動したにも拘らず、明治四十三年に於て宅地の地價修正を行つた以外には一般的に地價の修正を行つたことがないのである。之が爲に現在に於ける地租の負擔は、各地方の間に又同一地方に於ては各地の間に著しい不均衡を來してゐることは殆んど疑のない事實である。故に地租負擔の公正を期するが爲には是非共一般的に地租の課稅標準を改正しなければならぬ必要に迫られてゐるのである。

地租の課稅標準改正に付ては種々の方法が考へられる。即ち收穫を基礎として現行の法定地價を修正するもの一つの方法であり、亦時價を基礎として課稅する事も一つの方法であるけれども、政府に於て各種の方法から調査研究を遂げた結果によれば、「土地の賃貸價格」を課稅標準とする事が最も適當である云ふ結論に達したのである。

蓋し土地の賃貸價格と云ふものは、地主が土地を賃貸する場合に於て通常收受すべき賃料であつて、能く其の土地の利用價值を表はし、負擔力に適應したる課稅をなすための目標として最も適當であるのみならず、其の調査も比較的容易であると信ずからである。

尤も調査が容易である云ふのは、他の方法に比較しては困難の度が輕いと云ふ意味に過ぎないのであつて、大正十五、十六の二年間と云ふ短い期間内に全國一億數千萬筆の土地に於て其の調査を完了する事は

今月の税金

村稅第四期分
國稅營業稅割 本稅額圓=付 金八十錢
縣稅營業稅割 本稅額圓=付 金八十錢
所得稅割 本稅額圓=付 金十四錢
納稅期日十二月二十日

兵事雜報

●本村出身現役兵中左記兩氏は伍長勤務を命せられた。
吉池光元君。佐藤勝己君。
●大正十六年度過齡者は明治三十九年十二月十一日より明治四十年十一月三十日迄に滿二十才となる者に來年一月十五日迄に本村長へ戸主より過齡届を差出す事になつて居ります。今役場の調査によると左記人名は過齡該當者であります。
竹内 留治 曲尾 智明 小林 扇松
竹内 勝雄 中村 康巳 竹内 清
竹内 武治 山極善太郎 竹下 正平
大庭 種雄 市村嘉壽仁 竹下 才吾

●左記の者は入團の爲め十二月二十八日郷里出發せらる。
機關兵 日向次郎 水兵 前島雄之助

種口	勝人	宮澤	勝平	東川多壽男
種口	長敏	兒玉	亮一	竹内 正富
種口	友吉	福田	賢吉	平山 武男
種口	周信	小林	富治	平山 護
種口	義忠	竹内	正勝	瀧澤 理
種口	基平	福平	小林	清進
種口	澤利吉	吉池光元	佐藤勝己	
種口	矢澤要吉	坂口良黨	大澤重己	

大正十六年度簡閱点呼

年	集	徵
大正五年	既教育	未教育
大正七年	大正五年	大正十二年
大正九年	大正七年	大正十三年
大正十一年	大正九年	大正十四年
大正十三年	大正十一年	大正十五年
大正十三年	同	

理想的の自治

之に棲んで風氣健康共に佳良に、子弟教育の途悉く備り、民は勤儉力行自ら其業を勵んで自營の志あり、富んで敢て傲らず貧しくして益々勞し團體を通じて民に協同一致の精神ありて苟も輕薄の風潮に染まず、茲に生を營むる者は貴賤を論せず均しく歡喜の情に富み、人々其の公益に依りて衣食の上の名譽と信ず、此の如きは自治の好模範と謂はざるべからず。一國の自治は果んで遽かに此の域に達すべからず、而も恒に追うて之に到らんことを期すべし。

(米ハベシヤミハリソン兵書第一節)

一、組合員が父母となりて茲に當組合は生れまして而して今や發育上最も骨の折れ又骨の折り相妻のある小兒時代であります故に皆様が相共に慈愛母家族としてよく自分の物と思つて我が子を養ひつくり育てる如く益々真心を傾注してうんと本氣になつて此の組合を教養して立派なものに仕上げて下さいどうか親子扱いにしないで本に本が我が子と思つて可愛がつて共存同榮と云ふ域へ御互に一日も早く進み着きたいと思ひます。

◆産業組合員及び家庭の各位へ 必 途 生

一、産業組合は如何なる必要ありて設立せられ如何なる人の手によりて生れたりやと問はる本組合員の要求によりて茲に生れたりやと答ふるならん。

一、果して然らざれば組合員は相共に之の組合を善導し教養し完全に生長せしめ實せる發達をなさしむるは御同様組合及び其の家族各位の希望として又當然なる責任であらうと思ふのであります。

一、人生を見て同じ様な氣がします真心を籠めし父母兄弟に養育せられてこそ愛らしく圓々と發育をしてさうして完全なる又立派なる人格を備へて人生の幸福は自然に備はつてまいります。幸福ありて快樂が伴ふのであります若し不幸にして誠なき人達の冷ややかなる教養を受けられんか其の得ざるもの往々たるにありてあります。從つて貴重なる身を危ふくし又人生の幸福を悲惨の淵に沈ましむるものも又中々多いのであります世の父母たり兄弟たるもの、深く「猛省すべき事でありませぬ。

一、之の人生を考へ産業組合を想ふ時果して其の相同じきものあるを痛切に感せられるのであります。

◆小縣青年團修養講習會

那青年團の修養講習會は例年通り別所村常樂寺に於て十一月十九日より二十四日まで六日間、各講習生は共同の自煩生活を行ひ乍ら聴講した。講演並に講師左の通り。

思想問題及社會問題
帝大教授經濟學博士 河合榮次郎
ユートピア思想と統計思想
東京市政調査員 齋間 驥一
宗教思想と人生
文學士 半田 幸海
本團より選任した聴講者は左の三氏であります。
保科和男君 市村幸一郎君 和田忠義君

西塩田郵便局表彰

西塩田郵便局は大正十四年度郵便事務上過失絶無に、成績可畏なるを以て今回名古屋逓信管理局から表彰狀に金一封を添へて表彰された。

因に此の表彰の名譽を得たのは南北佐久、小縣三郡に於ては岩村田局と二ヶ所丈であるといふ。

御寄附
時報發刊費の中へ左記の通り御寄附下さいました紙上も以て厚く御禮申上げます
一 金拾圓也
東京市外杉並町高圓寺 曲尾重人殿

聯合村 農産物品評會
聯合村農産物品評會は十一月二十一日より三日間富士山小學校に開催された。同日中同校で、福澤赤穂村長の自治講演(二十一日)農村振興活動寫真、講談神田南風氏(二十二日)今年秋蠶蠶蠶に就いて長野縣蠶業試驗場長水井技師の講演。賞状授與式(二十三日)があつた。

体力の源泉

小池 生

路傍に茂りし草も今は見る影もなくあはれな姿となつた。日本アルプス連山は既に白雪積りやがて近山へも里へも見舞はんとする時期がきた。漸く静かな心持になつて自分が今まで進めてきた道をふりかへつて見る事もでき又これからの歩みをもしんみり考へる事も出来る。

即ち現今大變に盛んになつてきた陸上競技についてである。而し競技に就て充分の御理解ある皆さんにそのことを申し上げ様とするのでなうだか釋迦に説法、カントに哲學の講義をする様な氣がして汗顔にたへない。而しそれを押切つてあへて書くことを躊躇しない理由も何處にか在る事を考へて頂きたい。競技の價値は茲に述べる必要がない。最近に於て著しく發達して來た事が其の有力な證明である。而し私が特に記載する以所のものは体育協會がモットーとする、正しく!普ねく!たへす!これを今よりも一層理解していただきたい点である。眞に國民の体力を増進するには國民全体がたへす續けて而も正しき要領でなすべきである。先年國際オリンピック大會に出場のため巴里へ遠征した日本代表選手は歸朝して異口同音に体力の歐米人に及ばざるをなげかされてゐる。

競技練習の原則

平生競技場に出て競技の練習をなすのに最初から激しい運動をなすのはよくない。此

マツチ一本で貳百五拾萬圓を烟

(本縣下)

縣保安課が調査した本年一月から八月に至る縣下の火災度数は二百九十一件に上り、此の燒失戸數五百六十六戸棟數千百棟、延べ建坪一萬六千二百六十四坪損害見積り建物百六十四萬四千八百二十五圓物品九十九萬三千七百四拾九圓の計實に二百五拾萬八千五百七十二圓といふ驚くべき巨額に達してゐる。火災原因の重なるものは弄火三十四件を筆頭にコタツ三十二、焚火二十九、殘火二十、提灯二十二、放火十九、煙突十三、吸殻十一件等で子供の弄火の如何に恐るべきかを如實に物語つてゐる。

の注意は健康の上から見ても技術を進める上から見ても大切な事である。今最も合理的であること信せられて居る練習法は最初に軽い運動に依つて身心に次に行ふ強い運動に對する準備を興へ主眼とする競技の練習をなし終りに亦軽い運動を行つて興奮したる心身を静かにおち附けさせること云ふ方法である。最初の軽い運動のことを普通に「ウォーミングアップ」と云つてゐる。此の運動は次に行ふ一番大切な運動に對して準備を興へるのであるが故に次の運動の如何に依つて「ウォーミングアップ」に相違のあることは考へられるが最初に全身の軽い運動をなし次に練習せんとする競技の準備的運動をするのが普通である。普通に行なはれてゐるウォーミングアップの種類と順序と要領とを簡単に左に記することにしよう。

一、頸の運動。先づ全身の姿勢を正しく取り靜かに頸を左右に屈げる五六回、前後に屈げること五六回更に右方から廻轉する反對に左方から廻轉すること各三回位でこの運動を終るである注意として頭部は大切な部分であるから成べく靜かにする。二、臂の運動。肩をやほらかしく臂の力を養ふのが目的である。直立姿勢を取り兩手を一緒に前上、後方へと軽く廻す次に反對の方面に廻轉する。練習すべき競技が競走であれば足趾中の手の振り方を此の時に練習することよ。三、胸と腹及び背と腰の運動。足を左右に開き直立姿勢を取り兩腕を前より上げながら上体を十分後方に屈げる。次に兩腕を下すと同時に上体を腰から屈るの注意としては後方にまげる場合は胸を十分に

開き腹筋を伸して息を吸ふ。前にまげる時は腰を十分にまげて息を吐く。四、横腹の運動(開脚直立姿勢を取り臂を利用して体を左右にまげる、即ち体を右にまげる左手を上げて左横腹の筋をよく伸ばす、次に体を左にまげる時は右手を上げて右横腹の筋を伸ばす回数五六回)。五、脚筋の運動。脚筋を十分に左右に振り廻して体を左右に廻し横腹の筋を伸ばす。脚筋を十分に左右に開き兩手を兩膝にのせ左右兩脚をかはるがはる伸ばす、丁度相撲を取る時に足をならす時の様な調子で、それから股を出るだけ開く練習もする此の運動は足の關節をやほらかにし且つ内股の筋肉を伸ばして競走時に十分跨を開く準備とする。六、下肢の運動。膝を上げて股を高く上げる、其の際兩手を腹の邊に置き股で手のひらを打つ様にする。次に兩腕を前にの肩の高さに伸ばし右左足交互に手を蹴

開き腹筋を伸して息を吸ふ。前にまげる時は腰を十分にまげて息を吐く。四、横腹の運動(開脚直立姿勢を取り臂を利用して体を左右にまげる、即ち体を右にまげる左手を上げて左横腹の筋をよく伸ばす、次に体を左にまげる時は右手を上げて右横腹の筋を伸ばす回数五六回)。五、脚筋の運動。脚筋を十分に左右に振り廻して体を左右に廻し横腹の筋を伸ばす。脚筋を十分に左右に開き兩手を兩膝にのせ左右兩脚をかはるがはる伸ばす、丁度相撲を取る時に足をならす時の様な調子で、それから股を出るだけ開く練習もする此の運動は足の關節をやほらかにし且つ内股の筋肉を伸ばして競走時に十分跨を開く準備とする。六、下肢の運動。膝を上げて股を高く上げる、其の際兩手を腹の邊に置き股で手のひらを打つ様にする。次に兩腕を前にの肩の高さに伸ばし右左足交互に手を蹴

團長並副團長選舉

十一月月上旬、樋口團長は辞表を提出されたので評議員會に於ては頗る之を遺憾とし、種々情理を盡して留任を懇請したが遂に及ばず、同二十五日評議員會を開き、辭職を承認する事となり、後任の選舉を行つた。其の結果、團長に武田駒之助氏、副團長に樋口勇氏當選就任された。樋口前團長は任に在る事六年に亘り本團の爲に貢献せられたところ甚大である。

ム(型)を五六回練習することか、ハードルの時には足を直角に開く練習をなすが如きは即ちそれである。この順序や要領をよく呑み込んだ上實地練習の場合に遺漏ならんことを望む。ウォーミングアップは唯に競技の準備となるのみならず日常健康を増進する上にも頗る効果のある運動である。食はず嫌いは暫らくきよき、直に實行して見て然る後に批判を乞ふ次第である。

家畜品評會入賞

小縣郡農會主催東信家畜品評會は十月三日九子町に開催されましたが本村齋藤清人氏の白色レグホーン種一番は入賞しました

和歌

十一月二十三日我が村に故郷會が開かれれば年よりも若きもともに圓居してかたるも御代の恵みなりけり

時報俳句

五印 暁冬 暁 選者 白六軒可京宗匠 五印 さんくき更け行く冬月の 矢澤 勝利 岸路より梨と種もやしやの山 山極 秀峰 釣舟をつなぎし勝る葉葉かな 全 人 釣場の淋しき勝る葉葉かな 全 人 閨の戸を叩く時雨のいそしみ 山極 秀波 大雪や窓から風音の呼つてけり 樋口 紫葉 雲の道間ふ身に降りて敷へけり 全 人 農民の讀書い時雨やふりこもり 山極 ミノル 僕編む庭に山茶花はほけけり 山極 秀峰 雀遊ば糞糞箱やふゆひがけ 全 人 暗鐘のさへ行くぞいな 全 人 戸のすきを吹くは夜生の吹雪哉 黒坂 邦郎 スケートの客賑ふや洲津彦 全 人 雪道を引きつ荷馬車のきき音 全 人 七印 江櫻の半開門やふゆこり 山極 秀波 いくつ寝て来るや春待つ小供哉 福田 鉄哉 郵便夫客々路の吹雪かな 黒坂 邦郎 五客 ふゆ牡丹花に寒のはなかりけり 矢澤 勝利 鳴くや千鳥風の颯沓す波頭 福田 鉄哉 嵐やみて後静かなり月さゆる 樋口 紫葉

ラカメ

徳富一郎先生、全國町村長會に招待されて講演の一節「現今の内閣大臣に町村長の出来人は一人もないが、これに御樂りの町村長各位の中には大臣の務まる人が幾らもある。」

編輯余録

◆毎々御引立に預かつた時報も、今年本誌を以て御別れである。編輯者もごかく皆様の御厚意にあまへて筆が走り過ぎたりし後援下さつた諸賢の御厚意に幾重にも御禮申上る。 ◆投稿せられる各位の御厚情にも亦、編輯部一同は當々感謝の念を捧げて居たが改めて茲に御禮申上る。 ◆愈々年も押つまつて來た。皆さんどうぞ御健在で多幸な春を迎へて下さい。 ◆新年號の一切は都合上早く致しますが(十二月十五日)何卒澤山御投稿の上新年號を充實したものにして下さい。 ◆時報部も更に筆硯を新にして皆様に新年号に御目にかゝります。

西塩田時報

號八卅第

行發日一同一月每
錢三金假定
錢壹金行一料告廣

昭和元年十二月廿六日印刷納本
昭和二年一月一日發行
長野縣小縣郡西塩田村
編輯印刷 樋口秀實
兼發行人 樋口秀實
全縣上市市六二六
印刷所 山浦活版所
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

諒闇の中に新年を迎ふ

時報編輯局

茲に新年を迎へて人々は更生の意氣に蘇つては只々感涙にむせぶのみである。世界のも最も幸福なる民として生を享けられ悲しき涙を拂つて、第百二十四代の吾等は齊しく生の歡喜に躍り、泰平を唱へ皇統を繼がせ給へる新帝陛下を仰いで帝國し、更に皇國の隆昌を祈り、吾等の使命を想ふ時、如何に國民は脈々たる力を覺ゆ自覺し、之より拓かる可き新天地に突進する覺悟をしつかりと持たなくてはならない。

あゝ然し、あまりにも悲しき者なるよ、無後の世界を親しく見開して御識東西を兼ね窮を祈りまつりし天皇は昨冬、國民悲嘆の給ひ、夙にお弱き父陛下に代られて萬機を涙の中に英靈天に登らせ給ふた。洩れ承る裁斷せられ給ふた御孝心は拜するに畏しところによれば先帝は御生來、何れかと言以て日本帝國の皇帝としての御資格を充分へば御健康の玉体には拜せられなかつた。に具へられ國民の讃仰おく能はざるところ登極以來、あまりに内外多事なる時局に直である。

面せられ、能く此の難局を打開せられ國威今や世界に雄飛する日本として重大なる時を發揚し給ふた。其の過度なる御心勞が御局に面する時、新帝陛下をお助けして昭和健かならざる玉体に御障りありしと拜承し維新の國史に一層の光輝あらしむるは國民

諒闇の中に新年を迎ふ

- 西塩田村役場
- 西塩田村小學校
- 西塩田村農會
- 西塩田信購組合
- 西塩田村軍人分會
- 西塩田婦人同志會
- 西塩田聯合衛生組合
- 西塩田村保安組合
- 西塩田村消防會
- 西塩田兵役優待會
- 西塩田青年團

の抱負であり義務でなくてはならない。此の際、悲しみの爲に萎微するなく相一致して國力を培養し益々帝國の興隆に精進しなくてはならない。昭和第一春を迎へ茲に謹んで新帝陛下の御健康と、國家の安泰を祈る。

御寄附

左記の通り、時報發刊費の中へ御寄附下さいました紙上を以て厚く御禮申上します。

- 一金拾圓也 佐藤基助殿
 - 一金壹圓也 本村小池 豊殿
 - 一金壹圓也 上市市 齋藤利治殿
- 左記の方々は、庭球遊技會に賞品の御寄附がありました厚く御禮申上します。
- 喜福堂殿、綿屋殿、藤屋殿、

和歌

●産業組合 横の舎
諸共に心あはせて業を
はげまは國も榮行くへし

●組合長箱田大人の人となり私淑して
咲く梅の花の色香にたくわてん
清きは君の心なりせば

天皇の崩御を悼み奉りて
拜む目も涙のつゆにこもりけり
のぼる朝日の影もうすれて

新年文藝

◎和歌 R X 生

見渡せば四方の高嶺の雪消はてかすみた
なびき春は來にけり
新年の年立ち昇る朝日影神代にかへるこ
うちこそすれ

◎正月の歌 黒坂邦朗
新玉の年立つ今朝を降る雪に静けき心す
みて行くなり
天津日の光り射し添ふ群山に降り積りた
る正月の雪

俳句

◎新年雑題
武藏野に初春さざろく祝大飽
悦にも言はんばかりの初日影
鶴の舞ふ雲井の奥や初日の出
まだ戀は知らぬ頃なり羽子の友
福壽草年玉物と並べけり R K 生
元日やすまして出ても屠蘇氣分
やさしくも強き味方やかなる取 S Y 生
慾のなき賽の勝ちり繪双六 全人
初富士の裾ひろく鶴の聲 紫峯
屠蘇に酔ふて祖父が自慢の謠哉 全人

川柳

酔ざれば亦相變らず澄まし様 R X
初刷に自今禁酒が目立ちたり 全人
内閣も左義長に似たり燃り盛り 紫峯
かるた會に行つたと思ふ處女の親 全人

都々逸

岩を吹き出す淺間のけむも
出れば世間の風次第 二樹男

狸謠正調

ひよあかきおなごでよけりや
おらが娘を嫁にやろ
ほかにごりわはからだめなれど
氣だてばかりが親自慢

兎年

民謡 金澤直山
やりくり越した年の坂
明けりや陰山雪の山
つかれ寒さは増すばかり
然し今年しは兎年
寒さつかれは知らぬ筈
龜と兎の歌のやうな
兎じや此の山登れまい
油断大敵片時も

諒闇の中に新年を迎ふ

- 西塩田村長 竹下繁松
- 西塩田小学校長 六川静治
- 村會議員 小林留次郎
- 宮澤八十八
- 黒坂重市郎
- 齋藤市太郎
- 山極喜三郎
- 市村藤作
- 曾根正一
- 小宮山 武田助左衛門
- 樋口秀實
- 樋口左近
- 佐藤清五郎
- 平林祐藏
- 佐藤三郎
- 驚原義男
- 吉澤政太郎
- 小池恭太郎
- 山極件藏
- 東川幾太郎
- 竹下榮吉郎
- 萩原三平
- 駐在巡查 山浦活版所

うかつにや越せない雪の道
目標定めわきめせず
無口で精出せビョン／＼と
お断り。諒闇に就き御勸題に因るものは
次号に廻します。亦新年文藝も縮少しまし
たが御諒承下さい。

◆一月に役場へ届出る

法令に依り、届出をなすべき期間の定められたる場合、其の手續を怠つたり、失期したりする等、不利益を招いたり、罰せられたりする事がありますので、其の都度適當の方法を以て各關係者に通知して注意を促して居りますが、左記は一月中に届出べき事項です。關係者は失期しない様に届出をして下さい。

徴兵適齢届 一月十五日限り

法定の期間は一月末日限りであります。が整理の都合上役場へは一月十五日迄に届出をして下さい。

(明治三十九年十二月二日より明治四十年十二月一日迄の出生男子)

家事故障徴集延期願
寄留地徴兵受検通常願(一月末日限り)
徴兵適齢者所有不明願(一月末日限り)

◆一月の納税

納税日 一月十日
田租第一期
納税日 一月二十五日
宅地租第一期
所得税第一期
臨時雑税

徴兵適齢者にして前記の願届書を提出せんとすものは一月末日限り届出でねばなりません。

殊に寄留地徴兵受検願は寄留地受検の希望があり乍ら失期する向がありますから御注意下さい。

就學申立書 一月二十五日

右届書も一月末日限りであります。が整理の都合上前記期日迄に提出して下さい。(大正九年四月二日より大正十年四月一日迄出生者)

該當者は役場の公職に依つて調査して各保護者に通知致しますが、萬一漏落がありました場合は保護者から申立をして下さい。

就學免除願 一月末日限り
就學猶豫願 一月末日限り

學齡に達して疾病、貧窮、發育不完全等の理由に依り前記の願を提出せんとするものは何れも一月末日が期限であります。その期前限に役場又は學務委員に就て御相談下さい。

◆西壙田村道路改善保護規程

第一條 本村ハ管内道路橋梁ノ改善、保護ヲ全カラムル爲メ本規程ヲ設ク
第二條 本村内道路橋梁ノ新設改修保護維持ニ就テハ法律命令其他特別ノ規定アルモノ、外總本規定ニ依ル

第三條 管内町村道並ニ橋梁ノ改修計畫ヲ立ツル爲メ路線ヲ左ノ三等級ニ分類ス
一等路線 二等路線 三等路線
第四條 前條各等ノ類屬スル路線ハ別ニ路線等級表ヲ編製シ村會ニ諮問シ村長之ヲ決定ス

其ノ異動ヲ生シタル場合亦同ジ
第五條 二等三等ノ路線ニシテ延長百間以上引續キ道路橋梁ニ適シタル改修又ハ新設工事をシタル箇所ハ其部分ノ第一等路線ニ編入スルモノトス

第六條 道路橋梁改修ノ順位ハ一等路線、二等路線、三等路線ノ順序トス
但シ村會ニ於テ急務ヲ要スルモノト認ムルモノニ就テハ此ノ限りニアラズ

第七條 町村道及橋梁ノ新設改修又ハ災害復舊工事ニシテ村費ニ餘裕ナキ場合又ハ關係地元ニ於テ速成ヲ要望シ村會之ガ必要ヲ認メタルトキハ左記歩合ニヨル關係地元寄附ヲ受クルコトアルベシ
一等路線 實支出總工費ノ四分ノ一以内
二等路線 全 三分ノ二以上
三等路線 全 四分ノ三以上

第八條 關係地元ニ於テ速成ノ希望アル場合ハ第一号様式ニ依リ速成請願書ニ設計書及寄附採納願ヲ添付シ毎年一月中ニ村長へ出願スベシ

第九條 工事施行路線ニ取捨撰定ハ土木費豫算ノ範圍ニ於テ村會之ヲ決ス
第十條 當時修繕工事又ハ一等ノ路線ニ就テハ村ニ於テ之ヲ行テ其他ノ路線ニ就テハ關係地元ニ於テ道路愛護ノ趣旨ニ基キ之ヲ執行スルモノトス

第十一條 府縣道及町村道ノ除雪作業ハ其利害關係ノ如何ニ依ラズ其ノ關係地元ニ於テ社會奉仕的ニ執行スルモノトス

第十二條 道路ノ砂利敷溝溝及路面直シ其他道路維持修繕全第五條第十條第十一條ノ事項ハ其ノ關係地元ニ於テ常時巡視ノ上執行スルモノトス

第十三條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

或る對話

甲「或るところで大きな田の賣買があつたが、新にその田の所有者となつた人が小作料を引上げ様とした。その爲小作料の起る心配があつた。そこで縣廳の役人が中へ入つて事を圓滿に解決した。その方法は大地主に話し込んで金を極めて低利に融通して小作人に分け前と言つた。田を買はせた。これで地主も心配なく、小作人も喜んで居るから之を圓滿解決といふのだ。」

乙「地主はそれでいゝかも知れぬが小作人はどうして満足が出来るか、いくら低利の資金でも今の小作料だけでは利息の利拂にも十分とはいへない。況や元金を返すにどうしてやだ。」

甲「田は大地主の手には戸數割が高くなるから、君のいふ通り、いゝ利廻りにならないけれど、小作人が持てばもつといふ利廻りになる、それにも少し足せば元金の支拂が出来るとなつて居る。」

乙「それでも小作人が喜ぶとは判らない、今迄は不作の時に小作料をまけてもらふことが出来たが、これから不作の時に利子をまけてもらふことは出来まい。」

◆聖上御惱御平癒祈願

聖上陛下後惱重らせらるる、といふ報が一度全國に傳へ、國民は齊しく心痛し奉り、ひたすら御平癒を祈つてゐたが、其筋よりも御平癒祈願を爲すべく達しあつたので十二月十四五兩日に亘り各部藩鎮守に熱誠なる御平癒祈願を捧げた。亦、小學校、軍人分會にても郷社神野神社に詣り御平癒を祈つた。

◆知事公選の建議

昨年十二月十八日最終の長野縣會では、正副議長の提案した知事公選の意見書を可決し直に内務大臣に稟請の手續をこつた。縣會の決議で府縣知事の公選をその筋に稟請したのは全國で初めてであらう。

其の要旨は「府縣は自治体であるに拘らず官吏を以て知事におて自治官吏との協働

甲「君の言通り眞の自作農制定は、小作人に金錢經濟を教へることだ。換言すれば彼等をして田を欲しがらない様にならしむることだ。小作人が田を買はうとさへしなれば田は安くなる。そこで之を買つても農業が引合ふ様になり農村問題も初めて本筋に入つて来る。之が本當の社會政策だ。人自自らを賢明にするでなければ社會政策と呼ぶことは出来ない。然るにこの自作農制定なるものは物質物にも早晩行詰るのを知りつつ、こゝから勸めてやらせるのだから近頃の高い相場で之を買つた人が困るといふかも知れないがそんなことは今の世の中にいゝるもある、株の相場が下つても、誰も株主に氣の毒だといふ人はあるまい。」

乙「そう考へて来ると一体低利資金といふのが變なものだ。中産以下の汗のかたまつた郵便貯金は、出来る丈有利に廻して貯金の利子を高くするがよい。貧乏人の金を安金持のばら銀行を救済したら、反社會政策になるだらう。」

◆大字十人へ一回配達

大字十人は従來郵便物の配達一日一回であつたが村會の決議を以て其の筋へ一回配達方申請中の處、十二月二十一日より一回配達に改定の旨指令があつた。

◆入山者へ御注意

組合林へ小柴、秣等を採取の爲め入山するものは必ず入山鑑札を携帯下さい。鑑札を携帯せずして入山したる者は規程に依り處罰せられます。

西壙田村外二ヶ村財産組合
澤山財産組合
全

一月行事

- 一日 四方拜
二日 野倉、手塚支部新年會
三日 東前山新町十八支部新年會
四日 御用初め
... (more events listed)

西壠田信購組合より

組合員各位の健康と幸福を祈り併せて本村と組合の発展を祝し益々組合員の組合利用を希望す

一日より三日迄例年の通り休業いたしました。四日仕事はじめ。五日より八日迄本組合十五年度末現在事業成績調査の爲購買品の棚卸を役員員総掛りにて詳細に調査をいたしました。故購買部は臨時休業いたしました。御承知願ひます。

是だけは實行致しませう

一、時惜しみ力一ぱい勵みませう。
一、豫算立て世帯費に暮しませう。
一、分守り派手な交際止めませう。
一、貯蓄して自覺の基を作りませう。
一、愛し合ひ社會の爲に盡しませう。
一、國の爲國産品を使いませう。

地球から見た郷里

地球上の位置を知るに便する爲に、假に經度、緯度といふものが設けられてある。經度といふのは、英國のグリニッチ天文臺を起點として、それより東西に一八〇度宛目まで北極に至るまで八〇度、南極へ八〇度になつてゐる。之は既に小學校で教へられた通りだ。

大正十五年度五ヶ村品評會稻多收成績

Table with columns for village names (e.g., 竹内菅次郎, 竹内其之助) and their respective rice harvest results (e.g., 愛國 三石三斗〇升七合).

小學校父兄懇話會

小學校父兄懇話會は昨冬十二月四日に開催された。各父兄は午前中は授業の實際や成績を參觀し、午後は、各受持教師と打解けて父兄の希望を聞陳したり、教師の意見を聴いたり、其の他學校と家庭との連絡方法等に亘つて懇談を遂げた。

講習會出席員へ

小縣青年團講習會へ出席された方々から、講演筆記の原稿を戴いてありますが、紙面の都合上甚だ遺憾ではあります。次號へ廻るのもございますが、悪しからず御承下さい。

支部通信

西前山より
十二月六日早朝警備隊に當部落消防部員一同出勤。早懸にて用水の流れる中原組の非常用水地にポンプを使用して灌水。同日午後一時より鹽野神社事務所に於て去る十一月十九日起工せる當區馬場より手塚區久保に通ずる里道落成祝賀式に宴會。

新町支部より
昨冬十二月二十六日に當支部青年會の十五年度決算の認定會を開いた。

手塚支部より
支部例會十二月二十四日午後七時開會。會長より本年度最後の協議事項報告等あり終つて郡聯合青年團講習會へ出席された市村幸市郎君の報告演説あり、支部役員にて一月八日に入營する可き兵士の送別茶話を催して本年最終の例會も面白く一時過ぎる頃散會した。

農村經濟論

市村幸一郎

去る十一月廿五日(即ち廿四日迄六日間)常葉寺に於て同業者(小縣省青年團修業講習會)の修業報告を演説せられた。

近代農村問題即ち農民救済を如何にするべきか云ふ事が、よく識者間及び當局者の中に喧ましく唱へられる様になつて來ました。之れは事實として眞に喜しい現象であり、從來に於ても農民救済が農村振興と云ふものに唱へられた。其の之れは如何なる救済であつたか今に至つて考へたならば唯單に資本主義經濟論も資本家の救済のみであつて眞の目的とする労働者救済方面には全然手が及ばなかつた事が判然致しました。

然手が及ばなかつた事が判然致しました。それが爲めに何事になつても労働者は經濟的に束縛を受けて居つて當局者が如何に救済をさげよとも其結果は見出す事が出来なかつたのであります。實隆當局者や又世の經濟家が愛ふる如く、農村が日々に衰頹し疲弊して益々荒廢に向ひつゝありし事は之れ當然の事なりと云ふ事が出来ませぬ。

農村の疲弊荒廢は簡單に農村そのものの憂ひであるばかりで無く實に國家社會の興廢に關する重大なる大問題である事は云ふまでもありません。總て商工業何業によらず相助けて國威盛ならしむるものは何と云ふても我國では矢張農事をおいては他に何物も有りませぬ、農は即ち國力發展の源泉であります。

此所に於て最近やうやく眞の農民救済の聲が起り農民自身も亦自發的に自ら生きんが爲に自由にも多く自己生産の方針を立て必要本位主義になつて來たのであります。資本家は營利主義目的の爲め労働者經濟生活状態の如何等は更に顧みる事なく唯々利潤を多く見る事のみを以て、小農家即ち労働者は何れも水平線以下に置かれ居る。資本家も一箇の人間であるならば労働者も亦一箇の人間でなくてはなりません。

れば之れは御互ひに生きんが爲めの平等を均等にする必要がありませぬ。從來の如き状態にありては今幾時日を経過するも好果の實現は計り難い。此處に於て労働者一齊に漸然頭上自己生きんが爲めには自ら自由にも多々生産して自給自足の道を取つて自己の突進する道に向つて行く方針になつて參りました。營利主義を倒し眞の農村救済を欲するならば口を言ふ事よりも先ず第一に其の當事者が各人の自覺を促す事が急務だらうと思ひます。總て自己生産より來る必要本位主義の道には如何なる資本主義即ち營利主義利潤主義と云へ共其の進路を切り倒されるのが來る可き順序であります。

從來我が國にては農は國の基なりと云ふ唱導し乍ら或一面に於ては商工立國と云ふに唱へ商工業方面に最善の努力をし農村の中堅たる青年をして種々なる方法を講じて青年に離村の念を起さしむるが如きは矛盾も實に甚きものであります。併し農を以つて國家の本位を定むるが如き工業を以つて立國の本位を定むるが如きは要するに一方に偏した實現の無かつたし問題であつて殖産興業の途は如何にして兩者相共に適應するにあらざれば進歩發達はするものではありませぬ。又一步深く考へて見れば工業が益々發達するとしてその原料には化學的作用其他種々なる方法も進歩するに相違ないが大体に於て其の原料の大部分は農を仰がねばなりません。工業進歩發達すればする程農工の關係は益々密接の度を濃くする事になります。

更に商工業方面に於ても同様で國民の大多数が農業従事者の爲めその般成は即ち農民の購買力の如何によつて決する、國策貿易中最大主位を占めて居る生絲の如きは皆農家の手によりて供給されて居ります。前述の如く總ての點に農民の力大なるを見る時に國家社會の富強を計るに於て農は國の基ひなりと云ふも敢て過言では無いと思ひます。更に之れを國民の精神體力の方面から觀るに之れ又他業の遠く及ぶる成績を上げて居ります。

國家的中央に立ちて怪腕を振り名を稱せし幾多の人物は皆農村に生の聲を上し事實を見て明かに表明して居ります。又肉體的方面に於ては徵兵検査の結果に於て良く現れて居ります。大正拾陸年度壯丁検査に於ては、郡部が甲種三四、五パーセント乙種四六、四パーセント市部が甲種三二、一パーセント乙種四一、四七パーセント以上は長野縣平均)又同年全國の平均は郡部に於て甲種が三二、七パーセント乙種が三八、七四パーセント市部に於ては甲種二四、四九パーセント乙種三二、七六パーセントと言ふ數字が表れて居ります。之れを以て見ても如何に都會人に比して農村人の體育が發達して居るかが一目瞭然の事と思ひます。

國民の元氣即ち國力の充實を來すには農村を置いては何物もありません。我が國の農業は全數の七割が小農でありま前に述べた通り小農(労働家)は何れも經濟的に恵まれません。従つて子弟の教育不充分の爲め智力の點に於ては少なからざる缺陷があります。近頃は段々普通教育の普及によりて大いに智力を増進しましたけれども、充分と云ふ事は出来ません。現在の當局者は農民の知識が低いと如何かと言ひ乍ら一方高等學府の建設に腐心し法學士や理學士さては何々學士等と學位の調節に頭を廻らして居るのは如何か?學位にして農村の救済は出来ぬ、眞に救済法の一として農村知識を發するならば實業學校等を層一層多く建設して澤山の農民子弟收容し教育せよ、然る後學んだ所の學理を實地に應用させ農事の改良を計る事が必要であります。

斯の如くにして農民子弟に教育を施したる結果として唯單に農民の智力を増進し其徳性を養ふばかりでなく、將來に於て社會に立ちて活動する時に到れば既に之等が學校にて修得した智能を實地方面に活用し以つて生産上にも少なからざる効果を來す事は言をまちませぬ。

即ち此の農業教育は獨り精神的の爲めのみならず従つて又物質的の改良に資する所以であるから即ち之れ農村改良の根本的手段であります。農村救済の道は多々ありますが一口に云つたならば唯すべからず經濟的に恵めよと言ふ事です。救済法を三分けて見ますと、農民の負擔を軽減する事、高利貸を廢し低利資金を多く貸し與へて生産物の増加を計る事、副業を奨励し能く努力を年中平均に用ひしめる事、また由來尠少なる資本を有効に活用して資本の遺利を開發する事、或は交通機關を發達させる事等其の方法は頗る多くあります。

ピンポン大會開催
別項「一月の行事」中にある様に本月廿一日全西協出ピンポン大會を左記に依り開催する。不明の向は本團運動部に就て御尋ね願ふ。
一、期日 一月廿一日午前九時より
一、會場 小學校
一、參加者 年齢男女の別を問はず
一、辨當 持參のこと
一、賞 優勝者にはメダル其の他商店有志者よりの寄贈品を勝者に呈す

併し現在文化の程度の上から従つて社會經濟上の變動は益々悪化して生活の上進租税の壓迫等々農民をして刻々に困難の淵に陥し入れて行きます。そこで此の變動に對抗す可き新機關を設けて難を救ふの必要を感じ置きました。併し時過るに従つて現在では物業も農工も皆同じ様に利潤方面の空氣に染り營利主義目的となつて一つとして農民の味方はありません。農民省では養蠶者救済の方法として乾貯倉庫を奨励しましたけれども之れも全く反對に製糸家即ち資本家の弾力性を補ふ爲めの方更となつて居ります。そこで最近最も有力な救済法として産業信用組合農會等の設備が全うされて參りました。農會は調査機關となり或又實行機關となつて農事の改良を圖り産業組合貯蓄救済組合等は資本的遺利に調節をする等それれ農民の爲めに活動し農民も亦之れを信じて活用するに至つた事は喜しい事でありませぬ。我が國の総面積の耕地。耕地に對する人口の割合の表數字は略します。(終り)

今年卯の年、兎といふやうな十二支の中間一番やさしい動物だ。あの赤い寶石の様な澄んだ眼、億病さうに動かす耳、ほごんに可愛い、鰻をだまかした揚句に皮を剥かれて泣いて居るところを大國主命の御情で助かつた困憐の白兎や、龜と斬殺をす時、對手をなめて晝ねをして敗けた兎など、ごかく憶病な癖に小口才な眞似をして、ごかく居る。

兎
今年卯の年、兎といふやうな十二支の中間一番やさしい動物だ。あの赤い寶石の様な澄んだ眼、億病さうに動かす耳、ほごんに可愛い、鰻をだまかした揚句に皮を剥かれて泣いて居るところを大國主命の御情で助かつた困憐の白兎や、龜と斬殺をす時、對手をなめて晝ねをして敗けた兎など、ごかく憶病な癖に小口才な眞似をして、ごかく居る。

月の世界に餅を搗いて居る兎、天地の初めからお月様に抱かれて……
時には月明の野に佳人の甘いさやきも開いたらうさ羨しいことだ。人の頭か進んで來て、今は天文台の望遠鏡にかゝつて、此の美しい兎君の正体に種々な判断が與へられるが、それはどうでも、永久に美しい兎であつて欲しい。

編輯餘録
★諺中「新年を迎ふは、春さの名の物悲し、空気が重く垂れ、あつて居ます。決して此の際、懐しむべきは懐しむべきに勉め。
★時節は皆御の御の御にあつたが、無難に成長して此の春で第五年目に入りました。此の上にも皆御の後援を切に御願ひしておきます。實際時節を充實させるも、さういふ編輯者の才さ、ふり、立派な原稿を御授け下さる皆御の手にあると思ひます。ごかく其の御心算を御授け下さる、年頭に當つて御願ひします。編輯部も御授け下さる、年頭に當つて御願ひします。★御授け下さる、御心算は必ず編輯部まで姓名を御知らせ下さい。出版法によつて姓名は承つておかけなければなりません。★小縣青年團の講習に出席された方々から報告書が出版つて居りますが、紙面の都合で上号より趣いたつて居ります。★何卒御承知下さい。★話によると今年一月二月は雪が多いそうです。雪は五年の實りといひます。どうも結構な年になりたいので、暖かにならぬまで風邪ひの核元元氣で

西塩田時報

號九卅第

行發日一四一月每 定 價 三 錢 行 告 廣 一 料 金 三 錢

昭和二年一月廿六日印刷
昭和二年二月一日發行
編輯印刷 長野縣小縣郡西塩田村三 武田駒之助
兼發行所 全縣上市市六二六
印刷所 山浦活版所
全縣小縣郡西塩田村
發行所 西塩田青年團

先帝御追号は

大正天皇と勅定

本日官報號外にて告示

大行天皇御追號は二十日午前十一時官報號外を以て左の如く告示された

昭和二一年一月十九日大行天皇の追號左の通り勅定あらせらる

大正天皇

宮内大臣 一 木喜徳郎
内閣総理大臣 若 槻 禮 次 郎

御陵名は「多摩陵」

本日宮内省から非公式に發表
大正天皇の御神靈永久に鎮まり給ふべき御陵所は府下武蔵野御陵苑地内に御宇中であるがその御陵名については宮内大臣並に内閣総理大臣において慎重に御選考の上既記の通りその陵名案三つを得御裁可を仰された結果いよいよ本紙既報の通り御追定あらせられたので二十日宮内省より非公式に發表された

御陵名「多摩陵」

新自由主義の提唱ミルの自由論

河合榮次郎

講習生 和田忠義

現實の社會は自己の説ばかり通して異説か
起さるご言論を停止さず事が一般社會に多
い是の点につき最も時勢として新自由論ミ
ルの思想が良いと思ふ又現實を基として居
る時行爲の自由を眞の自由と考へて居る
人が多し是等の誤た点を明かすにはミ
ルの自由論が時代錯誤に最もふさはしく思
ふ故にミルの自由論につき物語る第一にミ
ルの自由論の本体第二にミルの傳記第三に
自由論の善き点を申上げるミル自由論は昔
より祖先が傳統しないが何時しか人の精神

内に共同を認め茲に團體を知りて人間は自
由でなければ成らぬと言ふ半面自由尊重を
叫ぶの今迄は此の時自由論が研究する必要
が生れるのであるは自由で成ればならぬと言ふだけだ
るされど現實の社會に於て自由は取離され
て居る場合ではない大いに考慮研究なす必
要がある。
自由と言ふ内に思想言論と行爲とに分つ自
由本體を又二つに分ちて考へる事が出来る
A 思想言論の自由 B 行爲の自由となる

自己を基として考へる時思想と言論は絶對
自由で有るけれど行爲は他人に影響を及ぼ
す故に成立した自由で無い故に現實社會
諸問題が此の行爲の自由を成立した自由と
考へるは大なる誤りである此れ自由主義の
悪い点であります

自由の要求はマルサス主義で言ふならば
ロレタリヤ階級の人を普及宣傳にして自己
の思想主義に基づかせる一手段の器に過ぎ
ない何故ならば人間として最も大切な人類
愛とか人間愛の爲とか善とか悪とか是が
非とか考へ無故に有る
我々人間には生活上より言ふならばカント
の自由論とかミルの自由論が良い何故なら
ば人類愛や人間愛を保護し善悪を考へ
是とか非とか考へてなすは成らぬ事を
なすを自由と言ふ故に有る

第三番目に現れたミルの自由論が理想で有
る故はよりミルの自叙傳の内に有るミルの
傳記をお話致します
ミル新姓名はジョンスタミル
ミルは西歴一八〇六年英國ロンドンにて生
れ幼年時代より意志の強い獨立自營の考へ
の持主で有つた ミルの父親はジェリスミ
ルと言ふ人でミルを教育したのはデロー
ーペンサムと言ふ學者で有つたミルは今よ
り百二十年前に生れた人で貧家の故に様々
の人の父育てられた大恩人が数人有つた
ミルの父親はスコットランドの貧家に生れ
た人で小兒の思想は教育法の力に良りて何
如様にものなると思ふペンサム氏に自己思想
を説き小兒の教育を頼んだ

ミルの教育法としては三才の時ギリヤ語
を教へ五才の時國語及國文學を教へ七才の
時數學を教へ十一才の時論理學を教へ十三

才の時經濟學を教へ十三才の時より覺わて
居るか否やを散步の途中にて試験なし答案
出來ぬ時は父親より教へ答へぬ時は非常
に叱つた是の試験問題に苦しめられつゝ成長
なしたミルの心では確實な教育は幸福で有
つたが半面は悲觀なしなげいた
十四才の時ミルは佛蘭西に洋行勉學なした
佛國に於て社會感に打たれ歸國なす洋行期
間は一ケ年なり歸國後ペンサム十法論に
て勉學なす時自己觀念を認めそして人間と
して大切事は獨立富貴であるとか考へ今迄
分の思つた正義人道とか道徳とかは人間に
對して何とも成らぬ唯だ人格を造る器であ
ると思ふ時自己考へは裏切られ人間自尊心
り善悪とか是とか非とかを見分るのだ決し
て正義人道や徳義の成すべき者で無いと思
つた時ミルは十五才で有つたミル氏は自分

御寄附

今回左記の通り時給發刊費の中へ御寄附下さいました
誌上にて厚く御禮申上ます。
一 金拾圓也
四日市濱田一六八番一 田島好殿
因に氏は職澤松林の末弟、西塩田小學校第一回卒業上
中學校を経て早大商科を卒業し山陽家に入る現在東郷
會社四日市支店長として活動せらる

一 金壹圓也
東京市本郷區町三ノ一 作棟方 小林恒人殿
ナシヨナル製菓所佐藤 一 作棟方 小林恒人殿
東京府下野田町松芳商會田中捨彌殿
ズンボン用具三組

の進むべき道を見出した時頭ははつきり
關晩に燈火を見出した様に暗んだ今迄は母
上姉上兄弟の言ふ事は唯だ傳統的になして
居たが始めて善とか悪とかを見分けなして
なすねば成らぬ事であるから爲すと言ふ様
に批判が出来た此の時ペンサムの教の利己
主義最大多數の最大幸福をつかむ事が出来
た自分の思想は高い所に置いて一つ一つ觀
分が出来た時自分に對する悔や悔やまごつ
いて居る總ての思想が整理出來た此の時別
人の様に發達なした ミル十七才の時友人
と共同して論文を出し又ウイストミルと言
ふ雑誌を出した又は討論會を開きて輿論を
一ち／＼參考となした職業としては參拾五
年間會社員に就職なして副社長まで昇つた

參拾五年目に政府事業に會社はなりてミル
は恩給年一萬圓受け樂に生活なした我が國
が大正の御代に變る頃死亡した自由思想界
の大恩人にして天才者と言ふて良い
思想上より言ふならば十五才の冬人間は快
樂さ苦痛で働らぬ事を知らながら社會は最
大多數の最大幸福を作らうと考へて居る此
れを最善と思ふ時社會の最大多數の最大幸
福が何故に善いだらうと言ふ感念が起る此
の時ミルは此の煩悶に苦しめられた此の煩
悶の爲に十五才より二十才迄五ケ年間考へ
た時何事も分らなく成つた其し一方は何
故に成さねばならぬか其れ故成せと言ふ事
が分らなく成つた此の時ミルの神經衰弱
に落ちた時である此の様子を例へて言ふな
らば航海中船が淺瀬に乗り上げたも同じ事
カジはあるけれど風の力がなまき爲に再び海
中に入る事が出来ぬ有様で有る此の五ケ年
間苦しんで始めて此の時至りて思想が發達
なす考の違つた点がかはつきり分る様になつ
て自分の考へて居た社會は最大多數の最大
幸福を得るが最後の善と思ふ時此れ以上生
きんが爲に成長せんが爲に最大多數の最大
幸福を得るのだと考へた時に惱は消れた頭
ははつきりなした時二十一才頃であつた此
の外に性慾上現れし戀愛問題があつた是れ
はテラー主人の持つた即ちテラー主人
の妻君であつた何時しかミルと精神上戀愛
問題をつんで居たテラー婦人行爲につき
夫はすべてを許して居た死亡なす時お前
はミルと結婚なせと言ふた人である(四回續く)

拜啓 小生出發の際には御熱誠なる御見送り
に與りまして有難く御禮申上ます
御陰様を以て途中無事左記の部隊へ入營致
しましたから御安心下さい
昭和二年一月十日

- 赤坂近衛歩兵第三聯隊機關銃隊 吉田信夫
- 赤坂近衛歩兵第三聯隊第三中隊 市村儀市郎
- 宇都宮騎兵第十八聯隊第一隊 木下 幸
- 宇都宮騎兵第十八聯隊第二中隊 小田清巳
- 世田谷重砲兵聯隊 福田眞澄
- 世田谷重砲兵聯隊 金澤富平
- 松本歩兵五十聯隊第六中隊 大島司馬
- 第五中隊 竹下新市

役場欄

一月十九日村會開會

- 一 川西十ヶ村道路組合會議員選舉ノ件
- 一 役場處務規程中改正ノ件
- 一 部落有財產整理委員設置規程廢止ノ件
- 一 村道路ニ關スル規程廢止ノ件
- 一 川西十ヶ村道路組合會議員選舉ノ結果左記ノ者當選就任セリ
- 齋藤重太郎 佐藤清五郎 宮澤久三郎
- 其ノ他ノ件原案通り可決ス
- 一月廿九日村會開會
- 會議事項
- 一 西壠田村區長設置規程ヲ定ムルノ件
- 一 區長及區長代理者推薦ノ件
- 一 町村道路線等級表決定ノ件
- 一 西壠田村區長設置規程
- 一 第一條 本村ハ町村制第六十八條ニ依リ左ノ七區ヲ置ク

今月の納税

田租第二期 納税日 二十五日

- 一 十八區、東前山區、西前山區、手塚區、新町區、山田區、野倉區、
- 第二條 各區ニ區長及其ノ代理者各一名ヲ置ク
- 第三條 區長及其ノ代理者ノ任期ハ二ヶ年トス 但シ補欠選任ニ依ルモノハ前任者ノ殘任期間トス
- 附則
- 第四條 本規程ハ昭和二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 區長及區長代理者推薦ノ件
- 本村區長設置設置規程ニヨリ本年二月一日ヨリ就職スベキ區長及區長代理者ヲ左ノ通リ推薦ス
- 昭和二年一月二十九日提出全日可決

西前山區長宮澤秀市郎全上代理者兒玉善代
 手塚區長小池恭太郎全上代理者市村福太郎
 新町區長福田留作 全上代理者 保科徳吉
 山田區長竹下北松 全上代理者東川近太郎
 野倉區長坂口辰十 全上代理者 池田榮太
 以上

東前山區長齋藤重太郎全上代理者齋藤洋爾
 西壠田村長 竹下繁松

農會總代選舉に關して

本年三月に農會總代の總選舉が行はれることは皆さんも既に御存じの事と思ふが尙ほこの選舉に就いて知らねばならぬことを大體述べる第一に如何なる人が選舉資格を有するかそれは農會法第十一條の會員資格を具備して居る人であれば宜しいのであるけれども之を例示して見れば大體左の如し

- 一、其の地區内に於て耕地牧場又は原野を所有する者
- 二、其の地區内に居住せざるも耕地、牧場又は原野を其の地區内に所有する者
- 三、其の地區内に於て農業を営む者
- 四、其の地區内に居住せざるも其の地區内に於て農業を営む者
- 五、假令未成年者女子又は一戸を構へずとも其の地區内に於て耕地牧場又は原野を所有する者
- 六、其の地區内に在る耕地、牧場又は原野の質權を有し自ら農業を営む者
- 七、耕地、牧場及原野の所有者に非ざるも民法第一千條に依る遺産相続をなす者
- 八、民法第一千條に依る遺産相続とは遺産相続に相續開始の時より被相続人の財產に屬せし一切の權利承継す但し被相続人の一身に專屬せしものは此限りにあらずとなり而して前に掲げたる施行規則第一條の該當者にして左記農業のみを営む者は之を除く
- 九、一 反歩未滿の他人の土地に於て行ふ耕種
- 一〇 一ヶ年を通して根莖蠶種四枚未滿又は之に相當する蠶種を掃立て行ふ養蠶
- 一一 前二号に掲ぐるものを併せ行ふ農業等である尙ほ本人が都合悪くして選舉場へ行かざるの出来ない場合は左記の委任狀

豚の種付を奨む

豚に就てはお上で色々獎勵したり或は皆さんの自覺(即ち自給肥料の必要と廢物利用等)によつて大分飼育されて來たのは大變類が難歎であるが唯一つの缺點として得ることが出来ないことであるがうさ飼育するならば大きく優良な豚を飼育した方がよいことは分りきつて居ることであるそこで本縣ではここに眼をつけて優良な豚を多く繁殖させる様に本郡の畜産組合へも種豚を交付しそして其中の一匹が本村農會へ昨年二月配布されたのである本村農會二初雪号と云ふ名稱の豚で血統はヨークシャーであるが豚公異郷の風土に慣れなかつた爲めかしばらくの間病氣中であつた未だ幼少であつたので従つて西壠田村の氣候に慣れたせいか或は管理者が親切に下さつた爲めか昨年の秋頃から大発生長し始めて今では立派な一人前の豚となつて先頃も二回ばかり種付をしたが大分成績が良い様であるそこで皆さんに御奨する本村にこのやうな立派な種豚があるのだから何も御苦勞をして遠く迄種付に連れて行つたり或は血統の不明のやうな不良の豚を種付させる必要はあるまい殊に今は種付の時だから種豚のある人は好機を逸せず種付

路線等級表

- 本村道路改善保護規定第四條により一月二十九日の村會に於て左表の如く決定
- 川邊西内線 一、二、三等路
 - 大字十人中壠田村界より西峠頂上迄
 - 山田前山線 一、二、三等路
 - 山田區北の澤より東前山公會場に至る
 - 西壠田中壠田線 二、三等路
 - 手塚區堰口のより手塚區大海澤村界
 - 室賀西壠田線 二、三等路
 - 新町區 田見分岐中野停留場まで
 - 青木鹿教温線 三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百
 - 野倉區北嶽より字木割西内村界迄
 - 野倉線 二、三等路
 - 手塚區の口より野倉區湯小路別所村界
 - 保福寺線 二、三等路
 - 野倉深澤橋より同區北嶽青木村界
 - 野倉八木澤線 二、三等路
 - 野倉公會場東より山田區中壠田村界
 - 紺屋村線 一、二、三等路

人と會

- 竹下村長 一月六日、十二日の兩日川西道路組合會議の爲泉田村役場へ出張、一月七日小縣町村長會出席の爲聯合事務所へ一月廿八日小縣郡農會評議員會出席の爲小縣郡農會へ
- 二月三日方面委員會にて聯合事務所へ出張
- 黒坂助役 一月廿六日豫算に關する事務打合せの爲小縣聯合事務所へ出張
- 二月四日行政調査會出席の爲聯合事務所へ
- 黒坂書記 一月二十日上田稅務所及上田工區へ出張、二月四日豫算事務打合せの爲小縣聯合事務所へ
- 荒井書記 一月廿一日兵事主任會へ出席の爲上田市公會堂へ
- 常泉技手 一月三十日西壠田村外二ヶ村財產組合林業委員會出席の爲來村さる
- 研究會 一月廿二日本村農會事務所に於て

村社八幡社前より西壠田中壠田線迄
 野倉橋道線 二、三等路
 野倉區別所村界より同新田保福寺線に
 手塚八木澤線 二、三等路
 手塚區西紺屋村より西芝付村界迄
 鹽野王子線 一、二、三等路
 御社鹽野神社より字加生(中野線)
 宮原中野線 一、二、三等路
 鹽野ドトメキ橋より一本柳(中野線)
 前山橫斷線 一、二、三等路
 前山寺門前より西前山向矢の倉
 宮原金井線 一、二、三等路
 西前山宮原より野倉穴平に至る
 穴平線 二、三等路
 西久保舊學校門前より女神山麓
 馬場線 二、三等路
 前山橫線より分岐手塚區新道橋に至る
 宮本新町線 二、三等路
 宮本町山岸より新前橋縣道迄
 梅の木線 二、三等路
 澤山フタマタより梅の木峠頂
 十八前山線 二、三等路
 東前山事務所より甲田池西にて停留所
 附 本表に記載なき路線は總て全線三等路

諸會議日割一月中

- 一日 勞務協働會勞動部委員會
- 三日 御大葬遙拜式各種團體打合會議
- 六日 信購組合役員會養豚組合總會
- 七日 御大葬遙拜式村民一般
- 九日 大行天皇奉悼會 於前山寺
- 十二日 西壙田村外二ヶ村財産組合會議
- 十五日 學務委員會
- 十七日 澤山共有財産組合會議
- 十八日 村會議員協議會
- 十九日 西壙田信購組合定期總會
- 二十日 西壙田信購組合定期總會
- 廿一日 村農會總會
- 廿三日 養蠶組合聯合會總會
- 廿七日 通常村會

支部通信

手塚支部通信

◆一月二日支部總會を行ふ。新年會は諒閣中に付き御遠慮申上げ大正十五年度決算報告理事文庫員改選等をなし諸般の協議事項をなした。理事には金澤直人君當選せられた。前理事齋藤清人君は六年間其の職を全たせられた。

◆一月十八日支部通常例會を行ふ、會則變制を行ひ役員改選せしが全部再選になりたり。

◆一月三十日支部婦人會合同にてピンボン大會を行ふ。青年會では市村正吾君婦人會にては山極やす子女が優勝せられた。

◆一部消防にては一月五日總會役員選舉を行ふ。部長市村弘氏代理大口昌平氏外小頭再選各々當選五十年に相當するため紀念事業として創立五十年に相當する大字總集會に計り之が起行する事に可決せられた。

◆當區總集會は一月二十日午前九時より開かれた。正副總代土木員氏子總代より十五年度決算報告等あり。協議事項として。堰トンネル下口約三十間をコンクリートにて基礎工事を行ふこと公會堂屋根替疊の表替等可決された。其の二三の協議することありたり。

◆一月十九日中澤多仁子さんは良縁ありて中壙田村保野へ嫁せられた。

◆一月七日第四班にては總會を開き前班長辭職され後任に瀧澤三郎氏が當選せられた。

◆一月十一日午後より手塚社交俱樂部新年總會及び役員改選等あり、會長に山極寛氏當選された。

支町支部より

◆新町支部新年會は一月三日午前九時より當區公會場に開催、前年度決算報告、會務報告、本年度の豫算議決の後各部主任の選任を行つた。

◆一月二十日新町區總集會開會、前年度決算報告、本年度豫算議決、配定例一部修正等あり、總代理保科徳吉兩氏當選、區長福田留作、區長代理保科徳吉兩氏當選、區協議員四名改選、尙王子神社御上屋建立並道路用水堰に就ての特別委員八名の選任あり。

◆二月一日當區副業組合の總會があつた。前年度買割の益額二万五千七百枚、外に縄担ぎダラ其の他を合し買上総額三百三十七圓であつた。尙今年の受付價格を協定した。最後に當組合長の選舉を行つた結果、小林丈助氏當選、前組合長保科徳吉氏は當組合創立の大正七年より引續いて今日に至るまで役員として盡力せられた。

◆二月四日、區長の事務引継あり。

◆二月五日、當區中組農事組合の集會あり相談役、督勵委員の選舉を行つた。

◆當支部、副部長小山保長君令姉は一月下旬、良縁ありて東築摩郡錦部村へ嫁せらる。今年の正月は諒閣の爲、落付き沈んだ気分であつた爲、讀書は盛んであつた。文庫の貸出部數も従來にない多數であつた。

◆當區中組、下組の伊勢講の代參者は一月二日出發、同六日夕下向。

山田支部通信

◆一月四日當區第二部消防組の役替があつた。

◆一月十日當區の總集會開催區長外役員の満期に付改選をなせり。

◆一月十二日當支部にては午後七時より總會を開き役員改選をなせり。

◆一月十七日例年の新年宴會は諒閣中に付き午後七時より茶話を催す。

◆一月十九日午後七時より婦人會總會開催昨年十二月二十六日竹下ひろの氏は良縁ありて東内村へ嫁せらる。

東前山支部通信

◆一月三日春季總會開會、支部長より諸般の報告ありたる後本年度入營兵士吉田信夫、木下幸、小出清己君等を送るの辞並に兵士の謝辞等あり、續いて大澤重己君の海軍に關する話があつた。

◆全五日當區事務所にて第四部消防の役替が行はれた。

◆全七日東前山處女會あり。

◆全十一日第四部消防正副部長及び機關手は器具修理のため上田へ出張。

御大葬遙拜式

大正天皇神去りましてより四十余日國民の涙未だ新しき早、御靈柩は宮城を出でさせられ春寒き多摩陵に鎮まりまし給ふ。此の日二月七日午後二時小學校では奉悼歌を唱し、いごも嚴かな追拜式を行つた。同六時には村内各種團休一般村民も小學校庭に肅然として集り遙拜式を行ひ、遙かに哀悼の誠を捧げた。

◆全十二日ボンブ使用法の豫習を行ふ。

◆文部省主催成人教育講座に大澤重己、瀧澤、金井、吉田賢男の三君出席さる。

◆舊年十二月十一日池田八十五氏は上田市へ、同廿六日大澤まさ氏は西前山へ大々嫁入せらる。一月廿一日小宮山喜伊氏は中壙田村五加區より迎妻。

◆小松一雄氏舊臘十二月七日長逝せらる。氏は前村會議員にして行年五十才、村治の爲に盡された處勤なからず、前途ある氏の逝去は痛惜の至りである、九日の葬儀には支部長參列し弔意を表した。

野倉支部通信

◆一月二日當支部新年會を大字青年會場に開催山極支部長の開會の辞に續いて諸般の報告等あり併せて支部長山極殿退會に付き長年の功勞に酬ゆる爲め、感謝狀及び記念品を贈呈しました、續いて役員満期に付き改選を行ないました處、支部長に内田文彌氏副支部長に池田榮人氏當選しました、終て茶話會に遷る本年度の希望等意見の交換をなし解散した。

◆一月五日大字總會を開き役員満期に付き改選を行へり、總代に坂口辰十氏副總代に池田榮五郎氏當選す、尙は多くの協議事項を一決して解散した。

◆一月六日消防組三部では初集會を開會し役員任期満了に付き改選を行へり、部長吉池良平代理山極盈兩氏當選す、併せて一般役替をなして解散しました。

◆一月十一日消防組三部では機關手の諸氏事務所集合なし、小頭内田氏の指導のもとにボンブ使用法を熱心に練習された。

◆一月十三日夜當支部例會を開き二三の協議を一決して九時閉會す。

◆一月十九日より當支部では會員諸君の希望により夜學會を開會し種々の學科を熱心に研究せられつゝあり。

◆宇都宮騎兵十八聯隊に在營中の瀧澤福次郎氏は昨冬十二月一日付けを以て上等兵に進級せられたり。

◆逝る人 池田徳吉氏祖母カツ氏は去る日老衰の爲八十歳の高齡を以て永眠せられた。

西前山より

◆當支部は例に依り一月四日春季總會開催諒閣裡に迎へられた昭和二年の初頭會は各員緊張の中に而も徹底的盛會であつたのは道に新年會だけであつた。

◆一月七日當區軍人會の新年會あり。新入會の諸君等もあり話頭百出し盛會裡に閉會。

◆毎月十五日を例會日とした當支部は、既に總會もあつたが特に要件ありて當日開會區の初集會に出す可き三四件協議す。

◆十八日當區定期總會あり。本年は役員改選期に當り選舉の結果總代元玉益貴代氏副總代宮澤季一郎氏當選せられ、其他諸氏に異動あり、年と共に改廢増補多事なり行

◆事項は「道路外二三件は追而となし」夫々決定された。

十人支部通信

◆一月三日當支部は本年度初集會を開き前年度の決算報告、今年度事業諸般の打合せをなせり。

◆一月四日第五部消防の役替は十人公會場に開かれ、因に役員改選の結果は、部長、武田市左衛門、代理、福田三政、小頭、火、武田駒之助、全田村英雄、小頭、水、成田誠福田邦治。

◆一月五日、齋藤たい子氏死亡、行年六十八。

◆一月十一日 第五部消防はボンブ掃除、十人新町この器具の交換をなして、各戸に亘り火防宣傳を行へり。

◆一月二十日大字初集會、當日は種々、役員改選を行へり、因に左記兩氏は區長に當選就任せり、武田市左衛門代理齋藤洋爾。

◆一月廿七日、大字有志よりなる伊勢講の代參に當る四氏は當日出發、全井一日下向された。

伊豆少將講演

去る一月二十五日小學校に於て陸軍少將伊豆凡夫閣下の講演が、本村軍人分會主催の下に行はれた。演題「時局に對する國民の覺悟」終始熱誠の置つた講演で殊に乃木將軍の犧牲的精神を説くあたりは多大の感動を興へた。

因に閣下は日露戰役に第一師團附參謀中佐として乃木將軍の配下にあり、旅順の堅壘に向つた勇將である。

信州にも港

古來信州は山國にして海に遠く勿論海に浮ぶ船の築場即ち港はあらうは無いが昭和の大御代に世は榮へ進むと共に信州の山國にも港が出現した。

今回逕信局海事部では信州の諏訪湖に於ける笹井氏の所有の高島丸を調査した處同船は排水量九トンあり船港規則に依り同臺帳に登録することになつた結果同船濱濱地上飯訪町が港になつた譯である。

公民學校々友會

(一月廿二日午前九時開會)

公民學校本年度第一回男女合併校友會は中壙田小學校裁縫場に於て開かれ、出席せる公民青年男女無慮數百余名！一同着席するや、齊藤校長先生より一場の訓話あり次で會長の開會の辞あり寒氣凜然たる中にも若人の氣概は烈々たるものがあつた。

次に諸辨士の演題と名を記す

- 1 叱られる者は幸福 若山箕嘉九
- 2 希望 水野きよみ
- 3 病 武田よしみ
- 4 酒の悪い所 川出さめよ
- 5 十字架の力 林 龜三郎
- 6 女性の叫び 瀧澤きよ子
- 7 理想の少女 黒澤 やす
- 8 建設の努力 工藤 保作

◆今月の納税

田租第三期
所得税第三期
縣稅所得稅附加稅
納稅日 三月二十五日

9 研究問題(現代青年男女の欠陥如何)
論者 市川さき 神津 進 宮原一男
武田かの 淺川かつね 瀧澤ます
武田久雄 新田初代 宮原一喜
齊藤校長先生の滿鮮視察談
午後(午後一時より)

- ◎齊藤先生(別所校長)の昔話あり
文福茶釜の由來
- 10 公民學校の皆様に
中澤 とし
11 農業を尊べ 峰村 嘉一
12 實習地に就いて 赤沼 清人
13 心掛け 丸山 良子
14 常識 宮澤きよみ
15 質朴な懐かしい農村 黒澤 盛忠
16 共同一致に就いて 寺島 兼代
17 不撓不屈 竹花 由勝
18 三つの精神 林 さち子
19 運命の開發 佐藤あきの
20 如何にして幸福を得るか 横山 信之

21 頼もしい人 關 やすよ
22 婦人運動は男子の爲め 林 薫
23 ノートル法の二 神津 政次
24 農村を救へ 上澤 安衛
25 農家の不經濟 瀧澤きよ子
26 廻天の事業を爲すべき時は來れり 本木 義春

以上の如き演題の下に諸辨士の熱盛なる大辨論あり、殊に研究問題の「我等青年男女の欠陥如何」の發表は最も熱盛なりき次に其の要説を記す。

男子部辯士曰く「現代の女子否男子にも其の多くは皆虚榮に流れてゐる此の腐敗したつある農村又國家なるにも拘らず現状のまゝ進んだらば、實に國家の前途たるや危と云ふべし！或は又現代の學生(未成年者を指す)中には酒煙草を或は飲み或は喫し其の身は恐るべき犯罪者となり悲しむべき國家社會の法律破壞者の汚名を着るに至る者あるは何事ぞ

嗚呼！場場の公校諸士よ斯かる汚濁しきつた社會を誰が救うでしょう。

諸士よ親愛なる公校の諸士よ其れが救護の責任は實に吾等青年にあるのです」と。

女子部辯士曰く「現代の青年は少も男らし所がない皆弱々しい女人の様な男子である斯う思つた時私達は非常に心細くなる。薄な美等に誘惑されて其の結果一生を誤つてしまふ様な人のあるのは實に歎はしい事である。

諸辯士の思想發表終つたのは四時。夕日斜めに窓を射て寒鴉の一行空を翔るを見る！ 一月二十二日稿 (委員記)

◆公民學校本年度第一回スケート大會

満目の山野、霜氣凜然たる一月二十七日我公民學校々友會主催の下に、スケート大會は開かれたり。

出場せる我校健男子、實に一百有餘、青春の熱血溢る、許りの意氣の前には寒さも風も物の數ではなかつた。

八時半、準備全く成り、愈々我校健男子の水上競技は開始さる。

第一回(一週) 一着二ノ二 山極 英雄
第二回(一週) 一着二ノ二 長谷川審一
第三回(一週) 一着二ノ一 甲田 廣
第四回(三週) 一着二ノ一 小出 理則
第五回(三週) 一着二ノ一 竹内 好
第六回(二週) 一着二ノ一 宮原 一雄
第七回(五週) 一着二ノ一 赤沼 清人
第八回(五週) 一着二ノ一 小山 理則
第九回(五週) 全二ノ一 保科 義廣
第十回(三週) 全二ノ二 山極 英雄
第十一回(三週) 全二ノ三 宮原 一雄
第十二回(一週) 下駄履嚴爭
一着二ノ一 若林貞雄
一着二ノ一 赤沼清人

數學の嫌厭に就て

(一) 無 志

今兄弟二人の子供に菓子を與へた時、又は弟に多く兄に少く與へたる時、何れか一方より小言の出る事は皆さんのよく経験された事と思ひます。何故に小言が出るのでありませう。それは與へるお菓子の多少に依ると言ふ事は誰でもがうなづかれる事實であります。かくの如く増したり、減じたりすることの出来るもので、大小の關係が判然として居る事、相等しと云ふ事が明瞭である事の二條件を満足するものを數學の方では量と申します。例へば、物の長さとか重さであるとか、温度であるとか、角度の如きものは皆量であります。

世の争事等は全部この量の多少に起因すると言つても過言ではあると思ひます。又自分でも過言ではあると思ひます。時等は、長さの觀念を必要と致します。かくの如く人間生活の上に數學的智識を須たない事では、それにも拘はらず、今日社會一般の人々は兎角數學を嫌ひ勝て餘程特殊の人でない限り、數學の本なんか手にしやうとも致しません。

試みに、現代青年青年の前で「數學とは何ぞや」の問ひを發してごらん下さい。青年青年は何と答へるでござらませう。或る人

第十三回(三週) 一ノ一 宮原 一雄
第十四回(三週) 二ノ一 保科 義廣
第十五回(三週) 二ノ二 山極 英雄
第十六回(三週) 二ノ三 宮原 一雄
第十七回(一週) 前スネーク 山極 英雄
第十八回(一週) 後スネーク 宮原 一雄
第十九回(スプーンレース)
一着 宮原一雄 二着 山極英雄
二着 赤沼清人 三着 林四男
第二十回(二週) 下駄履スプーンレース
一着 神津 進 二着 横山信之
第廿一回(十週)
一着 小出 理則 二着 宮原 一雄
第廿二回(一週) 學年別リレー
一着二ノ一 小出理則 宮原一雄
竹内 好 室賀 古平一郎
二着二ノ一 保科義廣 甲田敬一郎

會と人

◆黒坂助役 二月十六日川西病院會議へ出席の爲め川西病院へ出張す
◆樋口收入役 二月十六日稅務主任會議へ出席の爲め聯合事務所へ出張
◆金澤書記 二月十六日稅務主任會議へ出席の爲め聯合事務所へ出張
二月十四日十五日衛生講習會へ出席す
武田技手 二月十四日技術員會議へ出席の爲め郡農會へ
◆村會協議會 二月十八日協議會開會し本年度豫算に付き協議せり
◆農會總代會 二月二十一日總代會開會し村農會本年度豫算ノ決議をなせり
◆池田縣駐在官 二月二十三日來村し昭和二年度豫算編成ノ狀況調査をなす
◆上田警察署在勤淺川喬治氏本村受持巡查並して泉田村より轉任さる

は「知らない」と言ひます。或る人は「學校で一番いぢめられるもので、入學試験等では最も苦められるもので」と答へるでござらませう。次に「數學を知らずして暮すに何の不自由なきや」と再び問ふてごらん下さい。「なにちや」とも再び問ふてごらん下さい。小學校でやつた加減除算が、何知つて居れば充分だ、今考へると、如何してあんなもので、學生生徒を苦しめるのかちつともわからん、等々の答が數學に對する、一般人の代表的感想であらうと思ひます。

すでに然りとせば、何故に生徒は數學で苦しめられるのであらう。何故に學校を出れば、數學の本を開かないのであらう。何故に、數學は殆んど生活と没交渉なのであらうか。この問題に就て少し考へたいと思ひます。これは小學校や、中等學校の先生の悪いと言ふ事もありませうが、この外に現代青年青年にして數學の嫌厭する二三の起因を擧げて見ませう。

一、數學上の常識的な興味ある讀み物が殆んどない。

數學は物理、化學、地理、歴史、小説の如く、義務教育の終つた人ならば、誰にでも解かる様な本は、ほんたうに、この學問の性質上著はす事が極めてむづかしいのです。そして、實際たゞ讀んで面白くないと思ふ本は、ごく探せば、殆んどないと言ふ事でありませう。従つて數學の本を開かない故に忘れるのであります。

二、難問題に富む事

何故に、そんなに難解であらうか。それは疑ひもなく數學自身の本質たる極單なる抽象的形式主義より來るのであります。これには色々種類もあるが其の主なるものを二つに分けて考へて行かうと思ひます。

イ代數で解けば何等の困難もない問題を故意に算術の問題としたり三角法を用ふれば容易なるものを初等幾何の問題としたりすることでありませう。何とならば算術の問題ははるかに代數に解けるから、各種技巧を弄しなれば容易に解き得ない種類のものではありません。

これは其の性質多くは孤立的單獨のものであつて系統ある一般的のものではありません。それで斯様な難題を何等かの方法で分組研究し且つその方法を記憶させる爲めに多くの問題集を刊行されて居ります。而して乍らこれでももまた役に立たない様に自分には思はれます。

三、或る小部分を除けば純數學的であり吾々の生活に全く無關係な非實用的である。若し應用的な部分があるとしても、それはほんの申譯に入られてゐるのであつて應用的精神が充ち満ちて居りませう。だから問題は如何にも數學者が作り上げたもの許り列べられ日常生活や自然科學と殆んど没交渉なもので終つて居ります。

かくの事によりて現代青年青年は數學を嫌ふのではないでせうか。(以下次号)

西壙田信購組合より

二月廿日西壙田小学校に於て第七回通常總會開會組合員總數六百九名中出席者四百九拾貳名内委任狀提出の者五拾參名なり...

て参り愈々農家も一日と心忙しくなつてまいりました何事も用意周到でなければなりません、春肥の受渡も一時に混雑いたしました...

支那の歴史を有する有志者は、會員中或は他郷に或は長旅の客とすら遺憾とし静に同志會を自論むや早速多數の賛成を得一月二十三日盛大なる發會式を見るに至つた...

支那通信

新町支部より

西前山支部

同同志會

二月二十三日

支那通信

新町支部より

西前山支部

同同志會

二月二十三日

支那通信

新町支部より

西前山支部

同同志會

二月二十三日

支那通信

新町支部より

西前山支部

同同志會

二月二十三日

兒童健康相談 三月十六日午後二時より 四時迄本村役場内にて

御大喪 太陽はほほえむ 水

冬枯の林上を 潮の如く流れゆく曉のはほほえみ、 遠近の梢が、 海藻の如く揺れて、 群鳥がさつと立つた。 東へ！ 東へ！ 曙の空へ！

體力の源泉(二)

クロガミ

甲 今日競技の方面でスタートと言ふ言葉が口になされてゐる様だが一體どんな物だか其の正體を明らかにしてみたい。

乙 あ、大變よい御質問ですね、そんなら少しく書く事にしよう。

直立法はつと前から存在し而も短中長距離何れの競走にも用ひられたものであるが近頃では競技が進行するにつれて短距離にのみ用ひらるゝクラウチングスタートが生れたのである、私共が小學生の時分にはクラウチングの字も知らずに唯でたために出發法をやつてゐたのであるに、時代の進むにつれスポーツの合理的研究は益々其の歩を進めて今では小學校に於てすら此のクラウチングを用ひる様になつた。

踏踏法は西曆千八百八十七年頃米人マーフィー氏に依りて始められたもので踏踏法と稱せられる外に屈膝發走法又はカンガルー發走法等とも言はれる。カンガルーが飛び出す様子を見てゐてそれから色々研究されてこの發走法が生れたのであると言ふ様な説もある所から考へてカンガルー發走法の別名にも故ある哉である。

最初此の方法で練習して優秀の事を立證したのはエール大學のシルレル氏であつた。其の始め同選手が競技會に参加して出發線上にこの姿勢を取つた時に役員はおろか觀衆までもこの異様な様子にびつくりして全く驚走を知らぬ初心者と嘲けつた。けれども砲一發出發の合圖と共に鮮かに群を抜いて先頭に出た走者は何ぞ計らふ此のシルレル氏であつたので役員も觀衆も皆驚いて開いた口がふさがらざりき、此の時からこの發走法が科學的に研究されたものであることが了解されそれより非常な勢

を以て普及されてゐる状態となつた。出發の合圖は三段になつてゐる、一、オンユーア、マーク、二、ゲットセット、三、ビストルである。即ち各自自分の位置につけ。用意、ズドンと云ふ順序である。

スタンディングスタートは主として中長距離に使用されてゐるが出發の合圖はやはり三段になつてゐる。

つたない筆をいくら振つてもやつぱりおなじ事だ、簡單ではあるがこれで筆をおくどうでせう、スタートの大體をつかみ得たでせうか。

童 話

春 雨

五年女 中澤 泉

校舎の横の櫻の木、横からのぞいて見た時に、言ふに言はれぬ白いつゆ、ころりとおちて次の枝、枝へへとおちて行く。これがたのしい春雨だ。

田圃の細道

山極樹一

田圃の細道さびしい、月が笑つて見て居るが、田圃一人はさびしいな。(大正十五年五月作)

御断り

小縣青年團講習會報告書の中猪間驥一先生の分が残つてゐますが誌面の都合上次号へ廻りますが御承知下さい。

昭和二年西田村農會經費收入豫算

一 會費	二二〇〇圓
二 補助費	二二〇〇圓
三 補助費	四〇〇〇圓
四 補助費	四二〇〇圓
五 補助費	二七一〇圓
六 補助費	一四一〇圓
七 補助費	一四一〇圓
八 補助費	一四一〇圓
九 補助費	一四一〇圓
十 補助費	一四一〇圓
十一 補助費	一四一〇圓
十二 補助費	一四一〇圓
十三 補助費	一四一〇圓
十四 補助費	一四一〇圓
十五 補助費	一四一〇圓
十六 補助費	一四一〇圓
十七 補助費	一四一〇圓
十八 補助費	一四一〇圓
十九 補助費	一四一〇圓
二十 補助費	一四一〇圓
二十一 補助費	一四一〇圓
二十二 補助費	一四一〇圓
二十三 補助費	一四一〇圓
二十四 補助費	一四一〇圓
二十五 補助費	一四一〇圓
二十六 補助費	一四一〇圓
二十七 補助費	一四一〇圓
二十八 補助費	一四一〇圓
二十九 補助費	一四一〇圓
三十 補助費	一四一〇圓
三十一 補助費	一四一〇圓
三十二 補助費	一四一〇圓
三十三 補助費	一四一〇圓
三十四 補助費	一四一〇圓
三十五 補助費	一四一〇圓
三十六 補助費	一四一〇圓
三十七 補助費	一四一〇圓
三十八 補助費	一四一〇圓
三十九 補助費	一四一〇圓
四十 補助費	一四一〇圓
四十一 補助費	一四一〇圓
四十二 補助費	一四一〇圓
四十三 補助費	一四一〇圓
四十四 補助費	一四一〇圓
四十五 補助費	一四一〇圓
四十六 補助費	一四一〇圓
四十七 補助費	一四一〇圓
四十八 補助費	一四一〇圓
四十九 補助費	一四一〇圓
五十 補助費	一四一〇圓
五十一 補助費	一四一〇圓
五十二 補助費	一四一〇圓
五十三 補助費	一四一〇圓
五十四 補助費	一四一〇圓
五十五 補助費	一四一〇圓
五十六 補助費	一四一〇圓
五十七 補助費	一四一〇圓
五十八 補助費	一四一〇圓
五十九 補助費	一四一〇圓
六十 補助費	一四一〇圓
六十一 補助費	一四一〇圓
六十二 補助費	一四一〇圓
六十三 補助費	一四一〇圓
六十四 補助費	一四一〇圓
六十五 補助費	一四一〇圓
六十六 補助費	一四一〇圓
六十七 補助費	一四一〇圓
六十八 補助費	一四一〇圓
六十九 補助費	一四一〇圓
七十 補助費	一四一〇圓
七十一 補助費	一四一〇圓
七十二 補助費	一四一〇圓
七十三 補助費	一四一〇圓
七十四 補助費	一四一〇圓
七十五 補助費	一四一〇圓
七十六 補助費	一四一〇圓
七十七 補助費	一四一〇圓
七十八 補助費	一四一〇圓
七十九 補助費	一四一〇圓
八十 補助費	一四一〇圓
八十一 補助費	一四一〇圓
八十二 補助費	一四一〇圓
八十三 補助費	一四一〇圓
八十四 補助費	一四一〇圓
八十五 補助費	一四一〇圓
八十六 補助費	一四一〇圓
八十七 補助費	一四一〇圓
八十八 補助費	一四一〇圓
八十九 補助費	一四一〇圓
九十 補助費	一四一〇圓
九十一 補助費	一四一〇圓
九十二 補助費	一四一〇圓
九十三 補助費	一四一〇圓
九十四 補助費	一四一〇圓
九十五 補助費	一四一〇圓
九十六 補助費	一四一〇圓
九十七 補助費	一四一〇圓
九十八 補助費	一四一〇圓
九十九 補助費	一四一〇圓
一百 補助費	一四一〇圓

昭和二年西田村農會經費支出豫算

一 事務所費	二九三
二 報費	一五
三 雜費	二〇〇
四 旅費	二〇〇
五 需用費	二〇〇
六 選舉費	四三〇
七 雜費	一〇〇
八 會費	三五
九 會費	三五
十 會費	三五
十一 會費	三五
十二 會費	三五
十三 會費	三五
十四 會費	三五
十五 會費	三五
十六 會費	三五
十七 會費	三五
十八 會費	三五
十九 會費	三五
二十 會費	三五
二十一 會費	三五
二十二 會費	三五
二十三 會費	三五
二十四 會費	三五
二十五 會費	三五
二十六 會費	三五
二十七 會費	三五
二十八 會費	三五
二十九 會費	三五
三十 會費	三五
三十一 會費	三五
三十二 會費	三五
三十三 會費	三五
三十四 會費	三五
三十五 會費	三五
三十六 會費	三五
三十七 會費	三五
三十八 會費	三五
三十九 會費	三五
四十 會費	三五
四十一 會費	三五
四十二 會費	三五
四十三 會費	三五
四十四 會費	三五
四十五 會費	三五
四十六 會費	三五
四十七 會費	三五
四十八 會費	三五
四十九 會費	三五
五十 會費	三五
五十一 會費	三五
五十二 會費	三五
五十三 會費	三五
五十四 會費	三五
五十五 會費	三五
五十六 會費	三五
五十七 會費	三五
五十八 會費	三五
五十九 會費	三五
六十 會費	三五
六十一 會費	三五
六十二 會費	三五
六十三 會費	三五
六十四 會費	三五
六十五 會費	三五
六十六 會費	三五
六十七 會費	三五
六十八 會費	三五
六十九 會費	三五
七十 會費	三五
七十一 會費	三五
七十二 會費	三五
七十三 會費	三五
七十四 會費	三五
七十五 會費	三五
七十六 會費	三五
七十七 會費	三五
七十八 會費	三五
七十九 會費	三五
八十 會費	三五
八十一 會費	三五
八十二 會費	三五
八十三 會費	三五
八十四 會費	三五
八十五 會費	三五
八十六 會費	三五
八十七 會費	三五
八十八 會費	三五
八十九 會費	三五
九十 會費	三五
九十一 會費	三五
九十二 會費	三五
九十三 會費	三五
九十四 會費	三五
九十五 會費	三五
九十六 會費	三五
九十七 會費	三五
九十八 會費	三五
九十九 會費	三五
一百 會費	三五

昭和二年西田村農會費收入分賦方法

昭和二年二月二十一日提出決議
一、會員割
昭和二年度會員名簿に登録せられたるもの一人に付金二十錢宛を賦課す納期を七月二十五日とし納期後會員たるものは隨時徴收す
二、地租割
四月一日現在耕地牧場原野所有者より其

地租一圓につき金二十錢宛を賦課す全額を徴收す

西田村農會長 竹下繁松

うっかり喰へない菓子

菓子には赤や黄、青その他金色で如何にもおもしろい彩りの施されたものが大へん多いが、それ等の中には往々有害な色素を用ひられたものがあるから、色に誘惑されてうっかり喰へやうものなら忽ち中毒を起す。即ちお菓子に用ひられる有害な色素と云ふも亦ではローダミン、黄ではオローラミン、青ではメチレンブルー、紫ではチンチやナビオンツト、金色では銅粉等が主なるものであるが、駄菓子屋や夜店邊りで賣つてゐる如何にもおもしろい菓子類には右のやうな色素の用ひられた菓子が大へん多いのである。調査した處によると有平糖に二十七件、金花糖に三十九件、餡の中に六件、前種に三件、干菓子に四件落雁に一件、カステラ焼に一件、以上のやうに有毒色素を用ひた菓子があつた。色の種類別にすると黄色いオリラミンを用ひた物が一番多く三十一件、赤のローダミンが二十七件、青色のメチレンチヤナピオンツトが二件、メチレンフイオレットと云ふ色

ラカメ

前編長崎口閣下の秘蔵のラカメの時計は見た人もあるかも知れないが、時計よりも銀に似てゐるメタが、時計には不似合ふ尤物である。ラカメの字がパツチリ入つてゐて、箱の裏のマークが刻まれてゐる見事な出来を承る。このラカメは高主権の英國中學校の運動大會で全島より集つた各校の選手を驚退し、優勝の栄冠として授けられた。標に括弧を置く。○或は治やさん、一杯機嫌でメートルを上げて白く「俺はこゝまで喧嘩なしたことがない、人が怒つた時

編輯余録

老猫すら炬燵を抜け出し春の訪れに友あさり歩く頃とはなつた南より流れ来るそよ風は何んぞとなく心は滑り農家も一日と心忙しくなつてまわりましたお互に堪忍の袋を肩に何處迄も辛棒を杖に自重自愛なれ。不景氣もどうやらごん底期を通り越した様だ然し本當な事は云へない好景氣になつて來て始めて不景氣のどん底が分かる次第だ。人間は弱いのだ。實に意氣地がない自分で自分を呆される事が多い。少し景氣が良ければ調子付き。不景氣風に少しでも襲はれた時は實に青菜に鹽で顔色なしたこゝろで萬物の靈長と云ふから。まづ色々申上げないで「人の御世話にならない様に人の世話ならするやうに」心掛ける事だ。